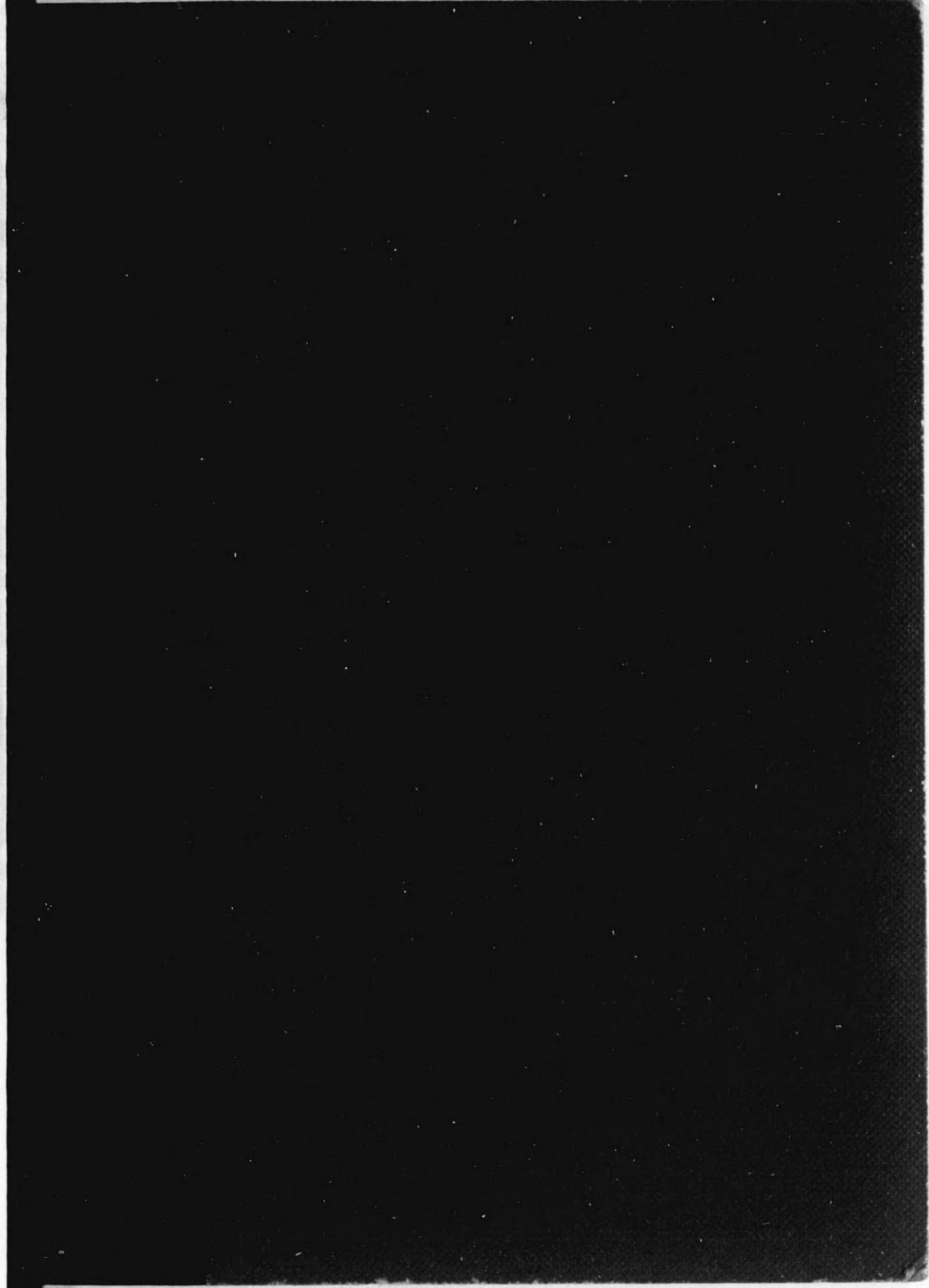




始



377.35

T.46

東京工業大学一覽

昭和 25 年度

377.35
T046

「東京工業大学一覽」再刊に際して

本大学一覽は昭和17年を最後として当時我国の置かれた諸般の情勢に災され、以後中絶の余儀ない状態を続けて来た。然るに今や本学は教職員、学生一体となつての撓まぬ努力によつて真に理想の学園、科学の殿堂として着実に復興の一途を辿りつつある。この時に当つて大学一覽を再刊し本学の現状を伝えることの意義を認め、昨年来その準備に着手し漸くここに発刊の運びとなつた。収録内容は文部省通牒大学一覽様式に準拠して一応在来の形式を踏襲したが、本学の現況は新学制へ急速に移行の過程にあるため、時々刻々に移り変わる姿を適確に把握することには予想外の困難を伴つた。そのため本書の内容、形式には共に意に満たない点もあろうし、いささか拙速の誹りも免がれないが、過渡期の避け難い事情を諒せられたく、これらは逐次巻を追つて改めることとしたい。

昭和26年2月

寄贈
東京工業大学
殿

東京工業大学事務局

国立国会
26.8.20
図書館

52406

東京工業大学一覽目次

| | |
|---------------------|---------|
| 1. 本学の概要 | (5) |
| 2. 学 年 暦 | (8) |
| 3. 沿 革 略 | (9) |
| 4. 法 ・ 令 | |
| (1) 教育基本法 | (20) |
| (2) 学校教育法(抜萃) | (22) |
| (3) 学校教育法施行規則(抜萃) | (28) |
| (4) 国立学校設置法(抜萃) | (32) |
| (5) 国立学校設置法施行規則(抜萃) | (35) |
| (附)学 位 令 | (40) |
| 5. 本学の諸規程 | |
| (1) 事務組織規程及び事務分掌規程 | (42) |
| (2) 学 則 | |
| 新 制 大 学 | (50) |
| 旧 制 大 学 | (58) |
| (3) 授 業 科 目 | |
| 新 制 大 学 | (83) |
| 旧 制 大 学 | (86) |
| (4) 名譽教授に関する規定 | (108) |
| (5) 運営委員会規程 | (109) |
| (6) 教授總會規定 | (109) |
| (7) 教員適格審査委員会規程 | (110) |
| (8) 学 位 規 程 | (110) |
| (9) 学位請求論文公聴会規程 | (112) |
| (10) 研究協力委員会規程 | (113) |
| (11) 刊行物委員会規程 | (113) |
| (12) 工業所有権取扱に関する規程 | (114) |
| 工業所有権取扱に関する規程施行細則 | (115) |
| (13) 電子顕微鏡管理委員会規程 | (117) |
| (14) 光熱管理委員会規定 | (117) |
| (15) 部屋割委員会規定 | (118) |
| (16) 警防委員会規程 | (119) |
| (17) 保健衛生委員会規程 | (120) |

| | |
|-------------------|-------|
| (18) 教務部委員規程 | (121) |
| (19) 研究科特別研究生選定規程 | (121) |
| (20) 学修コース委員会規程 | (122) |
| (21) 図書館委員会規程 | (123) |
| 6. 機構及び職員 | (125) |
| 7. 学生, 生徒 | |
| (1) 学生, 生徒現在表 | (155) |
| (2) 学生の平均年齢表 | (155) |
| (3) 学生, 生徒の状況 | (156) |
| 1. 在籍者, 休学者 | |
| 2. 入学率 | |
| (4) 学生の父兄職業別表 | (157) |
| (5) 学生, 生徒氏名 | |
| 1. 研究科特別研究 | (158) |
| 2. 研究科 | (159) |
| 3. 大学部 | |
| 新制 | (159) |
| 旧制 | (165) |
| 4. 附属予備部 | (177) |
| 5. 聴講生及び選科生 | (178) |
| 8. 卒業者 | |
| (1) 卒業者氏名 | (179) |
| (2) 学科別卒業者表 | (184) |
| (3) 卒業者, 卒業後の状況表 | (185) |
| 9. 敷地, 建物及び設備 | |
| (1) 敷地 | (186) |
| (2) 建物 | (186) |
| (3) 設備 | (191) |
| 10. 学位録 | (219) |
| 11. 奨学資金 | (223) |
| 12. 昭和24年度歳入・歳出概況 | (231) |
| 13. 予算・決算10ヶ年表 | (235) |
| 附 録 | |
| 東京工業大学学友会々則 | (238) |
| 東京工業大学協同組合規約 | (244) |
| 建物配置図 | |

1. 本学の概要

本学の目的

本学は、将来工業技術者、工業経営者、理工学研究者並びにその教育者として指導的役割を果たすことが出来る有能善良な公民を育成する目標の下に、これに必要な一般的教育と専門的訓練を学生に附与するとともに、研究を通じて科学及び技術の水準を高め、もつて文化の進展に寄与し、人類の福祉に貢献することを目的としている。

本学の傳統

本学が浅草区蔵前にあつた東京高等工業学校の昇格によつて昭和4年成立したのであることはよく知られている。しかし本学の起原を尋ねると明治14年5月26日の職工学校創設にまでさかのぼる。爾来69星霜、東京工業学校、東京高等工業学校を経て今日に到つたのである。職工学校、工業学校、高等工業学校、大学の目的使命は当時夫々異なつてゐる。それにも拘らず本学が常に上級学校へ発展の途を歩んで来たのは、明治の初期に早くも工業立国を唱えて職工学校を設立した先驅者たちの開拓者精神が常に脈々として流れており、この傳統精神によつて、わが国の工業の発展に於て時代の又社会の最も必要とする工業技術者の教育を心掛け、わが国の工業の實質的發展に力を尽さんと常に努力して来たために外ならない。終戦直後過去の大学における技術教育が公民としての高い教養を学生に附与しなかつた欠陥と暗記教育の弊を卒直に認め、本学が他大学に卒先して昭和21年4月以来人文及び社会科学を履修課程中に折込んだのもこの傳統の現れである。

教育方針

前掲の目的を達するにも、本学は、その傳統の精神に即して、自主的に思考し行動する青年、即ち、自ら必要な資料を集め、それらの眞実性を批判評量し、そ

の結果に基づいて正しい判断を下し、これに従って積極的に行動する青年を育成してこれらを社会に送ることを考える。従つて、学習について本学は、教官の指導援助の下に行われる学生諸君の自発的勉学に主体を置く方針を採用している。

課程の履修について

課程の履修方法については、本学も一般の新制大学同様単位制を採用している。即ち一科目についての学習はそれが教室内であると否とを問わず、毎週3時間15週の学習活動を1単位と計算する。ある種の講義のように1時間の授業に対して教室外で2時間の学習を必要とする場合には、毎週3時間1学期間(15週)の科目は3単位に計算する、また実習のように全ての学習が実習場だけで行われる場合には毎週3時間1学期間の科目は1単位に計算する。各科目について所定の課程を修了すれば、その科目に与えられている単位を獲得出来る。かくして4ヶ年以上在学して最低120単位及び体育4単位を獲得すれば本学を卒業出来る。但しこの120単位の内容に関しては後に述べるような制限が加えられている。

本学の課程の最初の2ヶ年は一般的且基礎的な勉学に、後の2ヶ年は専門的な勉学に重点が置けるように考慮されている。しかし前期2ヶ年と後期2ヶ年は劃然と分れている訳ではなく、4ヶ年の課程は一体として考えられており、一般教育に関しても、4ヶ年絶えず人文科学に接触し得るように考慮されている。本学の一般教養科目は次のように設けられている。

人文関係 哲学、芸術、文学(国語、外国語)

社会科学関係 経済学、社会学、歴史

自然科学関係 数学、物理学、化学、生物学、心理学

学生諸君は卒業までに各系列からそれぞれ2科目以上合計9科目以上単位数で36単位以上を獲得しなければならない。

本学で専攻し得る分野は

数学、物理学、化学、機械工学、電気工学、工業化学、繊維工学、金属工学

建築学、工業経営

である。

本学の全課程は第1学年に全学生に共通な一般的且基礎的な科目、第2学年に

理学及び工学の大きな分野に共通な科目、第3学年に2以上の専門課程に共通な科目、第4学年に専門科目を履修し、漸次に専門化の途を辿り得るように考慮されているから、学生はその過程において自己の適性、能力、興味等に最も適した分野を選択することが出来る。

卒業後の称號

本学に4年以上在学して、一般教養科目38単位以上(内実習、実験10単位以上を含む)専門科目25単位以上(内演習、実習、実験、8単位以上を含む)体育4単位の必修科目及び選択科目47単位以上、卒業論文10単位、合計124単位以上得たものには教授会の議を経て工学士の称號を授ける。

環 境

本学は東京急行電鉄の目蒲線と、大井町線の交叉点である大岡山駅直前の高台に位置し、冬は白雪に包まれた富士山を眺め、春は桜花に彩られた校庭に憩いながら、愉しく学窓にいそむことが出来る。学園として環境亦良好である。

2. 学 年 暦

4月1日 学 年 度 始
翌年3月31日 学 年 度 終
4月1日 前 学 期 始
10月31日 前 学 期 終
11月1日 後 学 期 始
翌年3月31日 後 学 期 終

休 業 日

春期休業 3月第4月曜日から4月第2土曜日まで
夏期休業 7月第3月曜日から9月第2土曜日まで
冬期休業 12月第4月曜日から翌年1月第2土曜日まで

日 曜 日

1月1日 元 旦
1月15日 成 人 の 日
3 月 中 春 分 の 日
4月29日 天 皇 誕 生 の 日
5月3日 憲 法 記 念 日
5月5日 こ だ も の 日
5月26日 創 立 記 念 日
9 月 中 秋 分 の 日
11月3日 文 化 の 日
11月23日 勤 労 感 謝 の 日

臨時の休業日はその度ごとに定める

3. 沿 革 略

東京工業大学は昭和24年法律第150号国立学校設置法により昭和24年5月31日に設置せられたのであるが、その歴史は古く明治14年から始まつた。東京職工学校が発展拡大されたものである。今その沿革を略記すれば次の通りである。

明治14年(1881)

5月26日 文部省が創めて東京職工学校を、東京に設立。

設置に関する布達書次の通り

(写)

第2号

今般職工学校ヲ東京府下ニ設立シ東京職工学校ト相称条此旨布達候事

明治14年5月26日

文部卿 福 岡 孝 弟

9月27日文部一等属正木退蔵校長に任ぜらる。

明治23年(1890)

1月 東京職工学校に職工徒弟講習所を附属す。

3月3日 校長正木退蔵公使館書記官兼外務省参事官に任ぜられ退職す。

3月5日 非職文部省参事官兼文部省会計局次長手島精一校長に任ぜらる。

3月24日 勅令第43号文部省直轄諸学校官制改正によつて東京職工学校を東京工業学校と改称。

8月 東京工業学校附属職工徒弟講習所を附属職工徒弟学校と改称。

明治27年(1894)

6月14日 文部省令第12号工業教員養成規程によつて工業教員養成所を創設し東京工業学校長の管理とす。

明治30年(1897)

11月 校長手島精一文部省普通学務局長兼校長に任ぜらる。

明治31年(1898)

1月18日 文部省普通学務局長兼校長手島精一願に依り本官並兼官を免ぜら

れ、教授阪田貞一校長心得を命ぜらる。

2月8日 阪田貞一校長に任ぜらる。

明治32年(1899)

2月10日 校長阪田貞一教授に任ぜられ、手島精一校長に任ぜらる。

3月3日 文部省令第13号実業学校教員養成規程によつて工業教員養成所に附属工業補習学校を置く。

明治34年(1901)

5月10日 勅令第99号によつて東京工業学校を東京高等工業学校と改称す。

明治35年(1902)

3月27日 勅令第98号文部省直轄諸学校官制の改正によつて東京高等工業学校長管理の工業教員養成所を附設す。

明治43年(1910)

3月26日 勅令第66号文部省直轄諸学校官制の改正によつて東京高等工業学校附設工業教員養成所附属の工業補習学校を東京高等工業学校の附属とす。

大正5年(1916)

9月22日 校長手島精一願に依り本官を免ぜられ、教授阪田貞一校長に任ぜらる。

大正9年(1920)

12月1日 校長阪田貞一薨去す。

12月2日 教授吉武栄之進校長事務取扱を命ぜらる。

12月21日 教授吉武栄之進校長に任ぜらる。

大正10年(1921)

3月30日 勅令第94号によつて東京高等工業学校附属工業補習学校を廃止。

大正13年(1924)

3月29日 勅令第58号によつて東京高等工業学校附属職工徒弟学校を廃止。

大正15年(1926)

6月30日 校長吉武栄之進願に依り本官を免ぜられ教授中村幸之助校長兼教授に任ぜらる。

昭和4年(1929)

4月1日 勅令第36号によつて官立工業大学官制を定め東京工業大学を置き定員を左表の通り定め、なお当分の間附属工学専門部及び附属工業教員養成所を置く。

| 大学長 | 教授 | 助教授 | 事務官 | 助手 | 書記 | 司書 | 技手 | 合計 |
|-----|----|-----|-----|----|----|----|----|----|
| 1 | 14 | 14 | 1 | 33 | 15 | 1 | 2 | 81 |

中村幸之助大学長兼教授に任じ附属工学専門部教授齋藤俊吉附属工学専門部主事兼附属工業教員養成所主事に補せられ教授以下職員を任命。

大学部学則及び特設予科規則を制定。

勅令第40号によつて文部省直轄諸学校官制を改正し東京高等工業学校並びに、同附設工業教員養成所を削除。

4月15日 大学第1回の入学宣誓式を挙行翌16日より授業を開始。

昭和5年(1930)

4月15日 特設予科規則を改正して学力に応じ相等学年に入学の途を開く。

4月18日 勅令第79号官制改正によつて職員定員中教授3人助手3人を増加して学生主事及び学生主事補1人を追加。

昭和6年(1931)

2月7日 本学震災復興事業の執行を本大学長に委任されたのでこれを掌理するため学内措置を以て復興部を設置。

3月30日 勅令第23号官制改正によつて職員定員中教授2人助教授2人助手4人を増加し同31日附属工学専門部及び附属工業教員養成所を廃止。学則を改正して学年制を科目制に改む。

昭和7年(1932)

3月31日 学士試験合格者128名に対し第1回卒業証書を授与。

9月30日 学内措置を以て特設予科を廃止。

勅令第285号官制改正によつて東京工業大学に附属予備部を設け専任職員教授8人助教授1人助手2人を置く。又大学部助教授2人を増加す。

10月1日 附属予備部規則を制定。

昭和8年(1933)

3月27日 勅令第35号官制改正によつて職員定員中書記1人を増加す。

昭和9年(1934)

2月28日 勅令第29号官制改正によつて東京工業大学に建築材料研究所を附置し職員定員中助教授3人助手6人書記2人を増加す。

3月1日 教授加藤与五郎建築材料研究所長に補せられ所員以下職員の補命あり即日開所す。

4月10日 工業及び工業経済に関する調査研究をずるため学内措置を以て工業調査部を設置。

11月20日 附属予備部規則を改正して学科目の学年配当を変更す。

昭和10年(1935)

2月16日 勅令第18号官制改正によつて職員定員中技手1人を増加す。

3月27日 学則を改正して授業科目の改廃を行い学期別毎週授業時数を授業時概数に改む。

12月19日 天皇陛下皇后陛下の御真影を下賜せらる。

昭和11年(1936)

4月20日 精密機械工学講習会規程を制定。

昭和12年(1937)

2月4日 附属予備部規則中科目及び毎週授業時数を改正。

7月20日 勅令第350号官制改正によつて職員定員中附属予備部教授1人を増加す。

8月1日 学内措置を以て臨時学史編纂部を設置。

昭和13年(1938)

4月1日 臨時工師養成部を設置し同規則を制定。

5月3日 勅令第311号官制改正によつて職員定員中学生主事補1人を増加す。

昭和14年(1939)

2月21日 勅令第32号官制改正によつて東京工業大学に資源化学研究所を附置し職員定員中助教授2人助手5人書記1人を増加す。

2月22日 教授加藤与五郎資源化学研究所長に補せられ所員以下職員の補命あり

り即日開所す。

4月1日 学内措置を以て臨時化学分析工員養成部を設置し同規則を制定。

4月7日 勅令第188号官制改正によつて職員定員中教授2人助教授4人助手7人書記2人を増加す。

4月8日 航空機工学科の新設に伴い学則を改正して学科標準課程を改む。

6月19日 寄宿舎規則を制定。

12月27日 勅令第882号官制改正によつて東京工業大学に精密機械研究所を附置し職員定員中教授2人助教授2人助手8人書記2人を増加す。

12月28日 教授佐々木重雄精密機械研究所長に補せられ所員以下職員の補命あり即日開所す。

昭和15年(1940)

4月1日 既設化学工学教室を廃止し化学工学科の新設に伴い学則を改正して各学科標準課程を定む。

臨時工師養成部及び臨時化学分析工員養成部を廃止し臨時工業技術員養成所を新設して機械科、化学分析科及び窯業科の3科を置く。

5月10日 東京工業大学附属図書館規程を制定。

6月25日 勅令第425号官制改正によつて職員定員中教授3人助教授3人助手5人書記2人を増加す。

11月15日 臨時学史編纂部を廃止。

12月6日 勅令第860号官制改正によつて職員定員中教授3人助教授3人助手10人書記2人を増加す。

昭和16年(1941)

4月1日 金属工学科及び燃料工学科の新設に伴い学則を改正し標準課程を改む。

5月6日 勅令第538号官制改正によつて職員定員中教授6人助教授10人助手18人書記2人を増加す。

11月26日 学則を全面的に改正。

12月8日 太平洋戦争宣戦布告。

昭和17年(1942)

3月31日 大学長兼教授中村幸之助依願免官となり、大阪帝国大学教授八木秀次大学長に任ぜらる。

5月26日 勅令第537号官制改正によつて東京工業大学に附属高等工業教員養成所を置く。職員定員中教授4人助教授4人助手8人を増加し技手1人を減ず。

(金属、燃料学年進行と教養新設)

10月3日 勅令第667号官制の改正によつて職員定員中教授2人助教授1人及び助手4人を増加す。

(学年短縮に伴う金属燃料の学年進行)

11月1日 勅令第749号行政簡素化実施のため官制の改正によつて職員定員中書記3人を減ず。

昭和18年(1943)

2月1日 勅令第52号官制改正によつて東京工業大学に窯業研究所を附置し、職員定員中教授2人助教授2人助手4人及び書記1人を増加す。講師平野耕輔窯業研究所長事務取扱を命ぜられ所員以下の補命あり即日開所す。

7月28日 勅令第614号官制改正によつて助教授2人及び助手2人を増加す。
(燃料金属の学年進行と教養の学年進行)

10月1日 東京工業大学に特別研究生の制度並びに幹部技術者講習所及び附属予備部に特設予科を置く。

10月5日 勅令第760号官制改正によつて職員定員中教授1人増加す。

昭和19年(1944)

1月6日 勅令第9号官制改正によつて東京工業大学に電子工学研究所を附置せられ職員定員中教授3人助教授3人助手10人及び書記2人を増加す。

1月7日 教授山本勇電子工学研究所長に補せられ所員以下職員の補命あり即日開所す。

学内措置を以て東京工業大学生産工学研究部規程を制定し工業調査部規程を廃止。

2月22日 勅令第94号官制改正によつて助教授2人を増加す。(大学院に特別

研究生制度)

3月31日、勅令第200号官制改正によつて附属工業専門部が設置され専門部教授12人助教授7人助手4人生徒主事1人書記3人及び生徒主事補1人増加す。

4月1日 東京工業大学に機械科、電気科、電気通信科、航空機科、金属工学科、化学工学科の6科を内容とする附属工業専門部を設置。

5月1日 附属工業専門部の入学式を挙行し授業開始。

8月22日 勅令第515号官制改正によつて東京工業大学に燃料科学研究所を附置し職員定員中教授5人助教授8人技師1人助手16人書記2人及び技手2人を増加す。(教授2人、助教授2人助手4人の資源化学研究所拡充を含む)講師田中芳雄燃料科学研究所長事務取扱を命ぜられ所員、以下職員の補命あり、即日開所す。

12月5日 大学長八木秀次技術院総裁に任ぜられ教授渡辺孫一郎大学長事務取扱を命ぜらる。

12月16日 技術院次長和田小六大学長に任ぜられ教授渡辺孫一郎事務取扱を免ぜらる。

12月19日 勅令第668号官制改正によつて教授1人助教授3人及び助手3人を増加す。(大学院制度刷新及び科学拡充)

昭和20年(1945)

4月1日 附属工業専門部に窯業科を新設。

5月24日 空襲により電気化学科実験室航空機工学科風洞実験室及び機体実験室、資源化学研究所研究室、建築材料研究所研究室及び研究工場、職員集会所、学生控室、診療所、自動車車庫、門衛所、倉庫、官宿舎及びその他の木造建物建坪1,808,324坪(延坪2,085,824坪)戦災焼失した。

5月31日 勅令第333号によつて附属工業専門部教授10人助教授5人助手3人及び書記2人を増加され附属予備部教授1人を減ぜられた。

8月15日 大太平洋戦争終結。

9月30日 幹部技術者講習所を廃止された。

10月5日 学内措置として教授会を教授、助教授懇談会と改む。

12月31日 大学部航空機工学科及び燃料工学科並びに専門部航空機科を廃止。
昭和21年(1946)

3月1日 教授、助教授懇談会を教授総会に改む。

3月14日 勅令第141号官制改正によつて職員定員中事務官1人及び書記1人を増加、教授2人助教授2人助手9人附属工業専門部教授5人助教授3人及び助手2人を減じ学生主事及び学生主事補を削除す。

3月22日 電子工学研究所を電気科学研究所に改む。

3月31日 臨時工業技術員養成所を廃止。

4月1日 勅令第189号官制改正によつて文部部内職員は文部事務官、文部技官、文部教官となる。

勅令第191号官制によつて親任官及び諸官の級別は、親任、1級、2級、3級となる。

勅令第206号官制改正によつて官立工業大学官制を廃止し官立大学官制公布、学則を改正して標準課程をコース別課程に改む。

附属工業専門部、附属予備部規則及び寄宿舎規則を改正。

5月1日 学内措置を以て研究事務を処理するため研究協力部を、学務の運営に関する事務を処理するため、理学系、応用化学系、応用物理系、建築系及び経営系を置く。

運営委員会を設く。

5月7日 勅令第263号によつて東京工業大学教員適格審査委員会を設く。

5月10日 東京工業大学学位請求論文公聴会規定を定む。

6月12日 研究協力委員会、学生部委員会、部屋割調整委員会及び建築設備復旧委員会を設く。

7月11日 大岡山文教地区立案委員会を設く。

勅令第356号官制改正によつて職員定員中附属予備部教授1人助手1人を増加す。

(予備部修業年限延長)

昭和22年(1947)

1月31日 東京工業大学開放講座委員会を設く。

3月24日 勅令第93号官制改正によつて職員定員中附属工業専門部教授7人3級教官5人及び3級事務官1人増加す。

(専門部学年進行)

4月23日 学修コース委員会、美化委員会及び東京工業大学警備班を設く。

6月1日 学報刊行委員会を設く。

7月5日 政令第127号官制改正によつて職員定員中教授2人助教授2人3級教官4人を増加し3級事務官2人附属工業専門部教授8人3級教官7人を減ず。

(応用力学の新設、専門部学年減少)

7月9日 部屋割調整委員会を廃止し部屋割実施委員会を設く。

9月22日 東京工業大学警防委員会を設く。

10月1日 文部省の依託によつて科学教育研究室を設く。

12月10日 緊急電力委員会を設く。

12月12日 東京工業大学行政監察委員会を設く。

昭和23年(1948)

3月31日 附属工業専門部を廃止。

4月10日 総務部長石井茂助死亡のため教授山田良之助総務部長事務取扱を命ぜらる。

5月31日 東京工業大学工業所有権運用委員会を設く。

6月1日 東京工業大学処務規程を廃止し東京工業大学事務処理規程を制定し事務機構を改正す。

8月1日 繊維技術研究工場を設置し職員定員中3級技官2人嘱託1人雇10人を増加す。

8月23日 政令第225号官制改正によつて職員定員中3級事務官4人を増加す。

10月13日 緊急電力委員会を廃止し、光熱管理委員会を設く。

10月19日 失火のため第一分館及び柔剣道場、建坪532坪(延坪920坪)全焼。

11月11日 文部事務官佐藤憲三総務部長を命ぜられ文部教官山田良之助総務部長事務取扱を免ぜらる。

11月16日 授業科目詮衡委員会を設く。

12月8日 東京工業大学保健衛生委員会を設く。

昭和24年(1949)

1月10日 学報刊行委員会を廃止し東京工業大学刊行物委員会を設く。

1月31日 図書館委員会を設く。

3月11日 美化委員会を廃止。

5月31日 法律第150号国立学校設置法によつて国立東京工業大学を設置し工
学部を置く。旧制の東京工業大学、東京工業大学附属予備部、東京工業大学
附属高等工業教員養成所は新制に包括さる。

同法律をもつて東京工業大学に左の研究所を附置す。

建築材料研究所(建築用材料に関する学理及びその応用の研究)

資源化学研究所(資源に関する化学の学理及びその応用の研究)

精密機械研究所(精密機械に関する学理及びその応用の研究)

窯業研究所(窯業に関する学理及びその応用の研究)

電気科学研究所(電気科学に関する学理及びその応用の研究)

燃料科学研究所(燃料科学の学理及びその応用の研究)

東京工業大学に置かれる職員の定員を次表の通り918人と定められた。

| 学 長 | 教 授 | 助 教 授 | 講 師 | 助 手 | 教務職員 技術職員 事務職員 | 計 |
|-----|-----|-------|-----|-----|----------------------|-----|
| 1 | 81 | 93 | 27 | 164 | 552 | 918 |

文部教官和田小六大学長に補せらる。

文部事務官佐藤憲三事務局長に補せらる。

文部教官山田良之助教務部長に補せらる。

東京工業大学事務組織規程を改正し昭和24年6月1日より施行され昭和24年

11月1日より新規程によつて運営す。

新制度によつて学則を改正し標準課程を改む。

6月22日 文部省令第23号によつて事務局、教務部、工学部、事務部、附置研
究所事務部、附属図書館事務部を設く。

7月8日 新制学生の入学式を挙行し授業を開始。

12月14日 東京工業大学電子顕微鏡管理委員会を設く。

昭和25年(1950)

5月24日 文部省令第17号改正によつて職員の定員を次表の通り923人に改
む。

| 学 長 | 教 授 | 助 教 授 | 講 師 | 助 手 | 教務職員 技術職員 事務職員 | 計 |
|-----|-----|-------|-----|-----|----------------------|-----|
| 1 | 86 | 93 | 30 | 271 | 442 | 923 |

7月20日 東京工業大学名誉教授に関する規定を制定。

4. 法 令

(1) 教育基本法抜萃 昭和22年3月29日 法律第25号

われらは、さきに、日本国憲法を確定し民主的で文化的な国家を建設して世界の平和と人類の福祉に貢献しようとする決意を示した。この理想の実現は根本において教育の力にまつべきものである。

われらは、個人の尊厳を重んじ真理と平和を希求する人間の育成を期するとともに普遍的にして、しかも個性ゆたかな文化の創造をめざす教育を普及徹底しなければならない。ここに日本国憲法に則り、教育の目的を明示して、新しい日本の教育の基本を確立するためこの法律を制定する。

第1条(教育の目的) 教育は人格の完成をめざし、平和的な国家及び社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値をたつとび、勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

第2条(教育の方針) 教育の目的は、あらゆる機会に、あらゆる場所において実現されなければならない。この目的を達成するためには、学問の自由を尊重し、實際生活に即し、自発的精神を養い、自他の敬愛と協力によつて、文化の創造と発展に貢献するように努めなければならない。

第3条(教育の機会均等) すべて国民は、ひとしくその能力に応ずる教育を受ける機会を与えられなければならないものであつて人種、信条、性別、社会的身分、経済的地位、又は門地によつて教育上差別されない。

国及び地方公共団体は、能力があるにもかかわらず経済的理由によつて、修学困難な者に対して、奨学の方法を講じなければならない。

第4条(義務教育) 国民は、その保護する子女に、9年の普通教育を受けさせる義務を負う。

国又は、地方公共団体の設置する学校における義務教育については、授業料はこれを徴収しない。

第5条(男女共学) 男女は、互に敬重し、協力し合わなければならないものであつて、教育上男女の共学は、認められなければならない。

第6条(学校教育) 法律に定める学校は、公の性質をもつものであつて、国又は地方公共団体の外、法律に定める法人のみがこれを設置することができる。

法律に定める学校の教員は、全体の奉仕者であつて、自己の使命を自覚し、その職責の遂行に努めなければならない。このためには、教員の身分は尊重され、その待遇の適正が期せられなければならない。

第7条(社会教育) 家庭教育及び勤労の場所その他、社会において行われる教育は国及び地方公共団体によつて奨励されなければならない。

国及び地方公共団体は、図書館、博物館、公民館等の施設の設置、学校の施設の利用その他、適当な方法によつて教育の目的の実現に努めなければならない。

第8条(政治教育) 良識ある公民たるに必要な政治的教養は、教育上これを尊重しなければならない。

法律に定める学校は、特定の政党を支持し、又はこれに反対するための政治教育その他政治的活動をしてはならない。

第9条(宗教教育) 宗教に関する寛容の態度及び宗教の社会生活における地位は教育上これを尊重しなければならない。

国及び地方公共団体が設置する学校は、特定の宗教のための宗教教育その他宗教的活動をしてはならない。

第10条(教育行政) 教育は、不当な支配に服することなく国民全体に対し直接に責任を負つて行われるべきものである。

教育行政は、この自覚のもとに教育の目的を遂行するに必要な諸条件の整備確立を目標として行われなければならない。

第11条(補則) この法律に掲げる諸条項を実施するために必要がある場合には、適当な法令が制定されなければならない。

附 則

この法律は公布の日からこれを施行する。

(2) 学校教育法 (抜萃) 昭和22年3月31日
法律第26号

改正 { 昭和23年7月法律第133号第170号
" " 24年5月 第148号
" " 6月 第179号
" " 12月 第270号
" " 25年4月 第103号

第1章 総 則

第1条 この法律で学校とは小学校、中学校、高等学校、大学、盲学校、聾学校、養護学校及び幼稚園とする。

第2条 学校は国、地方公共団体及び私立学校法第3条に規定する学校法人（以下学校法人と称する）のみがこれを設置することができる。

2. この法律で国立学校とは国の設置する学校を、公立学校とは地方公共団体の設置する学校を、私立学校とは学校法人の設置する学校をいう。

第3条 学校を設置しようとする者は、学校の種類に応じ監督庁の定める設備、編制、その他に関する設置基準に従い、これを設置しなければならない。

第4条 国立学校及びこの法律によつて設置義務を負う者の設置する学校の外、学校（大学の学部又は大学院についても同様とする）の設置、廃止、設置者の変更その他監督庁の定める事項は、監督庁の認可を受けなければならない。

第5条 学校の設置者は、その設置する学校を管理し法令に特別の定めある場合を除いては、その学校の経費を負担する。

第6条 学校においては、授業料を徴収することができる。但し国立又は公立の小学校及び中学校又は、これらに準ずる盲学校、聾学校及び養護学校における義務教育については、これを徴収することができない。

2. 国立又は公立の学校における授業料その他の費用に関する事項は、監督庁がこれを定める。

第7条 学校には、校長及び相等数の教員を置かなければならない。

第8条 校長及び教員（教育職員免許法の適用を受ける者を除く）の資格に関する事項は、監督庁がこれを定める。

第9条 左の各号の1に該当する者は校長又は教員となることができない。

1. 禁治産者及び準禁治産者

2. 禁錮以上の刑に処せられた者

3. 免許状取上げの処分を受け、2年を経過しない者

4. 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又は、その下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する、政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

第10条 私立学校は、校長を定め、監督庁に届け出なければならない。

第11条 校長及び教員は、教育上必要があると認めるときは監督庁の定めるところにより学生、生徒及び児童に懲戒を加えることができる。但し体罰を加えることはできない。

第12条 学校においては、学生、生徒、児童及び幼児並びに職員の健康増進を図るため、身体検査を行い及び適当な衛生養護の施設を設けなければならない。身体検査及び衛生養護の施設に関する事項は、監督庁がこれを定める。

第13条 左の各号の1に該当する場合には、監督庁は学校の閉鎖を命ずることができる。

1. 法令の規定に故意に違反したとき

2. 法令の規定により監督庁のなした命令に違反したとき

3. 6ヶ月以上授業を行わなかつたとき

第14条 学校が設備、授業その他の事項について、法令の規定又は監督庁の定める規程に違反したときは、監督庁はその変更を命ずることができる。

第15条 (削除)

第16条 子女を使用する者は、その使用によつて、子女が義務教育を受けることを妨げてはならない。

自第17条

略

至第51条

第5章 大 学

第52条 大学は、學術の中心として広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授、研究し知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とする。

第53条 大学には、数個の学部を置くことを常例とする。但し特別の必要がある場合には、単に1個の学部を置くものを大学とすることができる。

第54条 大学には、夜間において授業を行う学部を置くことができる。

第55条 大学の修業年限は4年とする。但し特別の専門事項を教授研究する学部及び前条の学部については、その修業年限は、4年を超えるものとするができる。

第56条 大学に入学することのできる者は高等学校を卒業した者若しくは通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相等する学校教育を修了した者を含む）又は監督庁の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた者とする。

2. 略

第57条 大学には専攻科及び別科を置くことができる。

2. 大学の専攻科は、大学を卒業した者又は監督庁の定めるところによりこれと同等以上の学力があると認められた者に対して精深な程度において、特別の事項を教授しその研究を指導することを目的とし、その修業年限は1年以上とする。

3. 大学の別科は前条に規定する入学資格を有する者に対して簡易な程度において、特別の技能教育を施すことを目的とし、その修業年限は1年以上とする。

第58条 大学には、学長、教授、助教授、助手及び事務職員を置かなければならない。

2. 大学には、前項の外、講師、技術職員、その他必要な職員を置くことができる。

3. 学長は校務を掌り所属職員を統督する。

4. 教授は学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

5. 助教授は教授の職務を助ける。

6. 助手は教授及び助教授の職務を助ける。

7. 講師は、教授又は助教授に準ずる職務に従事する。

第59条 大学には重要な事項を審議するため、教授会を置かなければならない。

2. 教授会の組織には、助教授その他の職員を加えることができる。

第60条 大学の設置の認可に関しては監督庁は、大学設置審議会に諮問しなければならない。

2. 大学設置審議会に関する事項は、命令でこれを定める。

第61条 大学には研究所その他の研究施設を附置することができる。

第62条 大学には大学院を置くことができる。

第63条 大学に4年以上在学し、一定の試験を受け、これに合格した者は学士と称することができる。

2. 学士に関する事項は監督庁がこれを定める。

第64条 公立又は私立の大学は、文部大臣の所轄とする。

第65条 大学院は、学術の理論及び応用を教授研究しその深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的とする。

第66条 大学院には数個の研究科を置くことを常例とする。但し特別の必要がある場合においては、単に1個の研究科を置くものを大学院とすることができる。

第67条 大学院に入学することのできる者は第57条第2項に規定する者とする。

第68条 大学院を置く大学は監督庁の定めるところにより博士その他の学位を授与することができる。

2. 博士、その他の学位に関する事項を定めるについては監督庁は大学設置審議会に諮問しなければならない。

第68条の2 大学は、大学に学長、教授、助教授、又は講師として多年勤務した者であつて、教育上又は学術上特に功績のあつた者に対し当該大学の定めるところにより、名誉教授の称号を授与することができる。

第69条 大学においては公開講座の施設を設けることができる。

2. 公開講座に関し必要な事項は、監督庁がこれを定める。

第70条 第28条第6項第45条及び第50条第3項の規定は、大学にこれを準用する。

自第71条
至第84条 略

第85条 学校教育上支障のない限り学校には社会教育に関する施設を附置し又は学校の施設を社会教育その他公共のために利用させることができる。

第86条 (削除)

第87条 略

第88条 この法律に規定するものの外、この法律施行のため必要な事項は監督庁がこれを定める。

自第89条
至第92条 略

附 則

第93条 この法律は昭和22年4月1日からこれを施行する。(以下略)

第94条 左に掲げる法律及び勅令はこれを廃止する。

大学令

学位令

自第95条
至第97条 略

第98条 この法律施行の際、現に存する従前の規定(国民学校令を除く)による学校は、従前の規定による学校として存続することができる。

2. 前項に規定する学校は、文部大臣の定めるところにより従前の規定による他の学校となる。

3. 前2項の規定による学校に関し必要な事項は文部大臣がこれを定める。

第99条 (削除)

第100条 従前の規定による学校が第1条に掲げる学校になつた場合における在学者に関し必要な事項は文部大臣の定めるところによる。

第101条 従前の規定による学校の卒業者の資格に関し必要な事項は文部大臣の定めるところによる。

自第102条
至第107条 略

第108条 従前の学位令による学位は第94条の規定にかかわらず第98条の規定による大学において、文部大臣の定めるものの外、なお従前の例によりこれを授与することができる。

第108条の2 第68条の2の規定により名誉教授の称号を授与する場合には、当分の間、旧大学令、旧高等学校令、旧専門学校令又は旧教員養成諸学校

官制の規定による大学、大学予科、高等学校高等科、専門学校及び教員養成諸学校並びに文部大臣の指定するこれらの学校に準ずる学校の校長(総長及び学長を含む。以下本条において同じ)又は教員としての勤務を考慮することができるものとする。

2. 前項に掲げる学校は、当該学校の校長又は教員として勤務した者に対し、第68条の2の規定に準じて名誉教授の称号を授与することができる。

第109条 大学の修業年限は、当分の間、第55条の規定にかかわらず、文部大臣の認可を受けて、2年又は3年とすることができる。

2. 前項の大学は、短期大学と称する。

3. 第1項の大学には、第62条の規定はこれを適用しない。

第110条 前条に規定する大学を卒業した者が、第55条に規定する大学に入学する場合には、その卒業した大学における修業年限を、文部大臣の定める基準により、入学した大学の修業年限に通算することができる。

附 則(昭和23年法律第133号)

この法律は、公布の日から、これを施行し、昭和23年4月1日から、これを適用する。但し、学校教育法第60条及び第68条第2項の改正規定は、国家行政組織法施行の日(昭和24年6月1日)からこれを施行する。

附 則(昭和24年法律第148号抄)

1. この法律は、昭和24年9月1日から施行する。

2. この法律施行の際、現に校長又は教員の職にある者については、学校教育法第9条第2号の改正規定にかかわらず改正前の同法第9条第3号の規定を適用する。

附 則(昭和24年法律第179号)

この法律中第56条の改正規定は昭和25年3月1日から施行する。

附 則(昭和25年法律第103号)

1. この法律は、公布の日から施行し、昭和25年4月1日から適用する。

2. 略

(3) 学校教育法施行規則 (抜萃)

| | | |
|------------|------|--------|
| 昭和22年5月23日 | 文部省令 | 第11号 |
| " 23年10月 | " | 第18号 |
| " 24年9月 | " | 第34号 |
| " 24年11月 | " | 第39号 |
| " 24年12月 | " | 第44号 |
| " 25年3月 | " | 第12号 |
| " 25年4月 | " | 第13号 |
| " 25年9月 | " | 第24号 |
| " 25年10月 | " | 第28号改正 |

第1章 総 則

第1節 設置 廃止

第1条 学校には別に定める設置基準に従い、その学校の目的を実現するために必要な校地、校舎、校具、運動場、図書館又は図書室その他の設備を設けなければならない。

2. 学校の位置は、教育上適切な環境にこれを定めなければならない。

第2条 学校設置の認可を受けようとする者は左の事項を記載した書類に校地、校舎、運動場、寄宿舎等の図面を添え、監督庁に申請しなければならない。

- 1 目的
- 2 名称
- 3 位置
- 4 学則
- 5 経費及び維持方法
- 6 学校開設の時期

2. 前項第1号から第3号までの変更は、公立学校については監督庁の認可を受け、私立学校については監督庁に届け出なければならない。

3. 第1項第4号及び第3号の変更は、監督庁に届け出なければならない。

第3条 前条の学則中には少くとも、左の事項を記載しなければならない。

- 1 修業年限、学年、学期及び授業を行わない日（以下休業日と称する）に関する事項
- 2 部科及び課程の組織に関する事項
- 3 教育課程及び授業日時数に関する事項
- 4 成績評価及び課程修了の認定に関する事項

5 收容定員及び職員組織に関する事項

6 入学、退学、転学、休学及び卒業に関する事項

7 授業料、入学料、その他の費用徴収に関する事項

8 賞罰に関する事項

9 寄宿舎に関する事項

第4条 校地を増減し、又は校舎、運動場、寄宿舎等の増改築をしようとするときは、設置者において、その図面を添え、監督庁に届け出なければならない。

自第5条 略
至第7条

第2節 免許状及び資格

第8条から第10条まで (削除)

第11条 学長、教授、助教授、及び助手の資格に関する事項は別にこれを定める。

第3節 衛生、懲戒その他

第12条 身体検査、健康相談、疾病の予防措置、学校給食その他衛生養護の施設に関する事項は別にこれを定める。

第13条 懲戒は学校がこれを行う。但し退学は市町村立の小学校及び中学校以外の学校において、左の各号の1に該当する者（都道府県立の盲学校及びろう学校の義務教育を受けるものを除く。）に対してのみこれを行うことができる。

1. 性行不良で改善の見込がないと認められる者
2. 学力劣等で成業の見込がないと認められる者
3. 正当の理由がなく出席常でない者
4. 学校の秩序を乱し、その他学生又は生徒としての本分に反した者

第14条 略

第15条 学校において備えなければならない表簿は概ね次の通りとする。

1. 学校に係のある法令
2. 学則、日課表、教科用図書配当表、学校医視察簿及び学校日誌
3. 職員の名簿、履歴書、出勤簿並びに担任学級、担任の教科又は科目及び時間表

4. 指導要録、出席簿及び身体検査に関する表簿

5. 入学者の選抜及び成績考査に関する表簿

6. 資産原簿、出納簿及び経費の予算、決算についての帳簿並びに図書、機械器具、標本、模型等の教具の目録

7. 往復文書処理簿

2. 前項の表簿中、指導要録又はその抄本は10年以上、その他の表簿は5年以上これを保存しなければならない。

3. 学校が廃止又は閉鎖された場合には、国立又は公立の学校にあつてはその設置者において、私立学校にあつてはその監督庁において、指導要録又はその抄本を保管しなければならない。

第2章 小学校

自第16条 至第27条 略

第28条 校長は、小学校の全課程を修了したと認めたる者には、卒業証書を授与しなければならない。

自第29条 略

至第43条

第4節 学年及び授業日

第44条 小学校の学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。以下略

第3章 略

第4章 高等学校

自第56条 略

至第63条

第3節 通信教育その他

第64条 通信教育に関する事項は、別にこれを定める。

自第64条 略

至第65条

第5章 大学

第1節 設備、編制、学部及び学科

第66条 大学（大学院を含む。）の設備、編成、学部及び学科の種類並びに学士

に関する事項は、別に定める大学設置基準による。

第2節 入学、退学、転学、休学卒業その他

第67条 学生の入学、退学、転学休学及び卒業は、教授会の議を経て、学長がこれを定める。

第68条 学位に関する事項は、別にこれを定める。

第69条 学校教育法第56条第1項の規定により、大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者は、左の各号の1に該当する者とする。

1. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者

2. 文部大臣の指定した者

3. その他大学において相当の年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めたる者

第69条の2 略

第70条 学校教育法第57条第2項（第67条において準用する場合を含む。）の規定により大学の専攻科（大学院を含む。）入学に関し、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者は、左の各号の1に該当する者とする。

1. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者

2. 文部大臣の指定した者

3. その他大学の専攻科（大学院を含む。）において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めたる者

第71条 公開講座に関する事項は、別にこれを定める。

第72条 第28条、第44条第1項及び第64条の規定は、大学に、これを準用する。

第6章 略

第7章 略

第8章 雑則

自第78条 削除及略

至第107条

第108条 学校教育法第105条の規定による通信教育については別にこれを定める。

第109条 (削除)

第110条 校地を増減し、又は校舎、運動場、寄宿舎等の増改築をしようとするときは、第4条の規定にかかわらず、当分の間、設置者において、その図面を添え、監督庁の認可を受けなければならない。

附 則 (昭和25年文部省令第28号)

1. この省令は公布の日から施行し、昭和25年9月1日から適用する。
2. この省令施行の際、現に学校、国立及び公立学校の設置者又は私立学校の監督庁において保存又は保管中の学籍簿の保存又は保管については、第15条第2項及び第3項の改正規定にかかわらず、なお従前の例による。但し保存又は保管を要する期間は、10年以上とする。

(4) 国立学校設置法 (抜萃) 昭和24年5月31日 法律第150号

改正 昭和24年11月法律第226号
25年3月 # 第51号

第1章 総 則

(設置及び所轄)

- 第1条 この法律により国立学校を設置する。
2. 国立学校は文部大臣の所轄に属する。

(定義)

第2条 この法律で「国立学校」とは学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に定める学校のうち国立の大学及び高等学校並びに同法第83条に定める各種学校で国立のものをいう。

第2章 国立大学

(名称及び位置等)

第3条 国立大学の名称位置、学部及びその国立大学に包括される学校は左表に掲げる通りとする。

(抜萃)

| 国立大学の名称 | 位 置 | 学 部 | 学校教育法第98条の規定による学校で上欄の国立大学に包括されるもの |
|---------|-----|-----|--|
| 東京工業大学 | 東京都 | 工学部 | 東京工業大学 東京工業大学附属予備部 東京工業大学附属高等工業教員養成所 |

(附置の研究所)

第4条 国立大学に左表の通り研究所を附置する。

(抜萃)

| 大学の名称 | 研究所の名称 | 位 置 | 目 的 |
|--------|--|-----|---|
| 東京工業大学 | 建築材料研究所 資源化学研究所 精密機械研究所 窯業研究所 電気科学研究所 燃料科学研究所 | 東京都 | 建築用材料に関する学理及びその応用の研究 資源に関する化学の学理及びその応用の研究 精密機械に関する学理及びその応用の研究 窯業に関する学理及びその応用の研究 電気科学に関する学理及びその応用の研究 燃料科学の学理及びその応用の研究 |

第5条 略

(附属図書館)

第6条 国立大学に附属図書館を置く。

第7条 略

(講座等)

第8条 国立大学の各学部に置かれる講座又はこれに代るべきものの種類その他必要な事項は文部省令で定める。

第3章 第4章 略

第5章 職員及び職

(国立学校の職員の定員)

第12条 各国立学校に置かれる職員の定員は別表第1及び第2までによる。

(国立学校の職)

第13条 各国立学校(附則第3項及び第5項に規定する学校を含む)に置かれる職の種類及び定員については文部省令で定める。

(国立学校に置かれる職員の任免等)

第14条 国立学校に置かれる職員の任免，懲戒その他人事管理に関する事項については国家公務員法（昭和22年法律第120号）及び教育公務員特例法（昭和24年法律第1号）の定めるところによる。

（命令への委任）

第15条 この法律又は他の法律に別段の定めのあるものを除く外国立学校の組織及び運営の細目については文部省令で定める。

附 則

1. この法律は公布の日から施行する。但し第1条の規定は，学校の修業年限及び学年の進行に関しては，昭和24年4月1日から適用があるものとする。
2. 左に掲げる勅令は廃止する。

（抜萃）

官立大学官制（昭和21年勅令第206号）

3. 第3条に規定する大学はそれぞれその包括する学校の課程を存置するものとし，それらの課程の履修，卒業及びそれらの課程を担当する教職員の身分等に関する事項並びに第3条に規定する大学に包括する学校に附置される学校についてはなお従前の例により取扱うものとする。
4. 前項の規定の実施に関し必要な事項は，文部省令で定める。
5. 6 略
7. 国立大学に包括される学校に置かれる職員の定員は，それぞれその学校を包括する国立大学の職員の定員に含まれるものとする。
8. 略
9. 第12条及び前項の規定は，別に政府職員の定員に関して定める法律の適用に影響を及ぼすものではない。
10. 11. 12. 13 略

附 則

この法律は，昭和25年4月1日から施行する。

別表第1

（抜萃）

| 国立大学の名称 | 大学に置かれる職員の定員 |
|---------|--------------|
| 東京工業大学 | 923人 |

その他略

（5）国立学校設置法施行規則（抜萃）

昭和24年6月22日文部省令第23号
昭和25年5月 文部省令第17号改正

第1章 国立大学

第1条 国立学校設置法（昭和24年法律第150号，以下法という）第3条に規定する各国立大学に学長，学部長，主事，教授，助教授，講師，助手，附属学校の長及び教員並びに教務職員，技術職員及び事務職員を置き，その定員は，別表第1による。

第2条 学長，教授，助教授及び助手は，学校教育法（昭和22年法律第26号）第58条に規定する職務に従事する。

2. 講師は教授又は助教授に準ずる職務に従事する。
3. 教務職員は，大学で定める職にある者とし教授研究の補助その他教務に関する職務に従事する。
4. 技術職員はこの規則に定めるものを除く外，大学で定める職にある者とし，技術に関する職務に従事する。
5. 事務職員はこの規則に定めるものを除く外，大学で定める職にある者とし，庶務，会計等の事務に従事する。

第3条 国立大学の各学部の長は，学部長としその大学の教授である者をもつて充てる。但し単に1箇の学部を置く大学にあつては学部長を置かないことができる。

第4条 教授上又は管理上必要がある場合には，国立大学又はその学部に分校を置くことができる。

2. 分校の長は主事としその大学の教授である者をもつて充てる。

第5条 各国立大学に，事務局及び厚生補導に関する部を置く。但し，特別の事情がある場合は，これらを合せて一つの部局とすることができる。事務局は，

庶務、会計及び施設等に関する事務をつかさどる。

2. 事務局及び前項の部には、それぞれその大学の規模に応じ、適当数の課を置くことができる。
3. 事務局、部及び課の長は、それぞれ局長、部長及び課長とする。
4. 局長は、事務職員をもつて、部長は、事務職員又は教授もしくは助教授である者をもつて、課長は、事務職員又は技術職員をもつて充てる。但し、必要がある場合は、教授又は助教授である者をもつて充てることができる。

第6条 法第4条に規定する各研究所にそれぞれその長を置き、その大学の教授である者をもつて充てる。

第7条 法第5条に規定する各研究施設にそれぞれその長を置き、その研究施設の規模に応じその大学の教授又は助教授である者をもつて充てる。但し特別の必要がある場合は事務職員をもつて充てることができる。

第8条 略

第9条 大学において必要がある場合は、法第6条に規定する図書館に分館を置くことができる。

2. 図書館及び図書館分館の長は、それぞれ館長及び分館長とする。
3. 館長はその大学の教授である者をもつて、分館長は、その大学の教授又は助教授である者をもつて充てる。但し、必要がある場合は、館長又は分館長は、事務職員をもつて充てることができる。

第10条 国立大学の各学部、分校、附置の研究所、学部附属の研究施設及び図書館には、その規模に応じてそれぞれ事務部又は事務室を置くことができる。

2. 事務部及び事務室の長は、それぞれ事務長及び事務主任とする。
3. 事務長及び事務主任は、それぞれ事務職員をもつて充てる。

第11条 法又はこの規則に定めたものを除く外、国立大学の内部組織に関してはそれぞれその大学の定めるところによる。

第2章、第3章、第4章 略

附 則

1. この省令は公布の日から施行し昭和25年4月1日から適用する。

以下略

別表第1

| 国立大学の名称 | 学部長 学長及 主事 | 教授 | 助教授 | 講師 | 助手 | 附属学校 の長及び 教員 | 教務職員 技術職員 事務職員 | 計 | |
|---------|------------------|----|-----|-----|-----|--------------------|----------------------|-------|-------|
| | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | |
| 東京工業大学 | 1 | — | 86 | 93 | 30 | 271 | — | 412 | 923 |
| 北海道大学 | 1 | 8 | 248 | 254 | 53 | 459 | — | 1,516 | 2,539 |
| 北海道学芸大学 | 1 | — | 110 | 102 | 23 | 19 | 67 | 357 | 679 |
| 室蘭工業大学 | 1 | — | 28 | 24 | 7 | 3 | — | 98 | 161 |
| 小樽商科大学 | 1 | — | 17 | 13 | 8 | 1 | — | 60 | 100 |
| 帯広畜産大学 | 1 | — | 18 | 16 | 9 | 2 | — | 105 | 151 |
| 弘前大学 | 1 | 3 | 71 | 75 | 37 | 68 | 59 | 556 | 870 |
| 岩手大学 | 1 | 3 | 82 | 77 | 28 | 16 | 27 | 364 | 598 |
| 東北大学 | 1 | 8 | 323 | 312 | 78 | 677 | 49 | 2,538 | 3,986 |
| 秋田大学 | 1 | 2 | 72 | 66 | 21 | 8 | 47 | 279 | 496 |
| 山形大学 | 1 | 4 | 86 | 87 | 25 | 22 | 38 | 332 | 595 |
| 福島大学 | 1 | 2 | 65 | 57 | 21 | 8 | 52 | 224 | 430 |
| 茨城大学 | 1 | 3 | 89 | 87 | 30 | 18 | 39 | 311 | 578 |
| 宇都宮大学 | 1 | 2 | 63 | 62 | 15 | 10 | 44 | 268 | 465 |
| 群馬大学 | 1 | 3 | 91 | 84 | 37 | 68 | 47 | 615 | 946 |
| 埼玉大学 | 1 | 2 | 48 | 54 | 13 | 13 | 43 | 176 | 350 |
| 千葉大学 | 1 | 5 | 151 | 135 | 74 | 143 | 70 | 1,070 | 1,649 |
| 東京大学 | 1 | 9 | 458 | 404 | 110 | 1,125 | 13 | 3,745 | 5,865 |
| 東京外国語大学 | 1 | — | 31 | 19 | 8 | 3 | — | 59 | 121 |
| 東京学芸大学 | 1 | — | 141 | 127 | 41 | 24 | 137 | 455 | 926 |
| 東京農工大学 | 1 | 2 | 44 | 42 | 8 | 7 | — | 209 | 313 |
| 東京芸術大学 | 1 | 2 | 47 | 35 | 39 | 7 | — | 163 | 294 |
| 東京教育大学 | 1 | 5 | 174 | 122 | 34 | 95 | 188 | 501 | 1,120 |
| お茶の水女子大 | 1 | 3 | 44 | 34 | 24 | 15 | 73 | 126 | 320 |
| 電気通信大学 | 1 | — | 29 | 27 | 7 | 4 | — | 81 | 149 |
| 一橋大学 | 1 | 3 | 56 | 49 | 13 | 19 | — | 183 | 324 |
| 東京水産大学 | 1 | — | 30 | 29 | 15 | 5 | — | 242 | 322 |
| 横浜国立大学 | 1 | 3 | 100 | 92 | 23 | 18 | 46 | 349 | 632 |
| 新潟大学 | 1 | 6 | 142 | 140 | 59 | 156 | 69 | 942 | 1,515 |
| 富山大学 | 1 | 4 | 66 | 69 | 21 | 15 | 31 | 285 | 492 |
| 金沢大学 | 1 | 6 | 162 | 156 | 76 | 168 | 73 | 1,055 | 1,697 |
| 福井大学 | 1 | 2 | 57 | 53 | 13 | 10 | 21 | 224 | 381 |
| 山梨大学 | 1 | 2 | 61 | 58 | 21 | 10 | 24 | 236 | 413 |
| 信州大学 | 1 | 6 | 133 | 131 | 37 | 99 | 54 | 843 | 1,304 |
| 岐阜大学 | 1 | 2 | 69 | 65 | 22 | 13 | 16 | 264 | 452 |
| 商船大学 | 1 | — | 48 | 31 | — | 30 | — | 156 | 266 |

| 国立大学の名称 | 学長 | 学部長 及び主事 | 教授 | 助教授 | 講師 | 助手 | 附属学校の 長及び教員 | 教務職員 技術職員 事務職員 | 計 |
|---------|----|-------------|-------|-------|-------|-------|----------------|----------------------|--------|
| 静岡大学 | 1 | 3 | 95 | 101 | 33 | 21 | 86 | 392 | 732 |
| 名古屋大学 | 1 | 7 | 181 | 174 | 56 | 312 | 21 | 1,147 | 1,899 |
| 愛知学芸大学 | 1 | — | 83 | 79 | 21 | 19 | 107 | 278 | 588 |
| 名古屋工業大学 | 1 | — | 38 | 35 | 18 | — | — | 108 | 209 |
| 三重大学 | 1 | 2 | 66 | 61 | 20 | 11 | 55 | 254 | 470 |
| 滋賀大学 | 1 | 2 | 48 | 43 | 11 | 8 | 38 | 156 | 307 |
| 京都大学 | 1 | 8 | 305 | 289 | 159 | 636 | — | 2,015 | 3,413 |
| 京都学芸大学 | 1 | — | 47 | 42 | 13 | 9 | 63 | 148 | 323 |
| 京都工芸繊維大 | 1 | 2 | 55 | 55 | 13 | 6 | — | 208 | 340 |
| 大阪大学 | 1 | 5 | 189 | 201 | 71 | 560 | — | 1,552 | 2,579 |
| 大阪外国語大学 | 1 | — | 22 | 15 | 10 | 2 | — | 55 | 105 |
| 大阪学芸大学 | 1 | — | 106 | 101 | 30 | 22 | 113 | 300 | 673 |
| 神戸大学 | 1 | 6 | 175 | 158 | 32 | 50 | 47 | 550 | 1,019 |
| 奈良学芸大学 | — | 1 | 39 | 36 | 11 | 8 | 45 | 121 | 261 |
| 奈良女子大学 | 1 | 2 | 31 | 22 | 21 | 2 | 63 | 96 | 238 |
| 和歌山大学 | 1 | 2 | 52 | 46 | 15 | 8 | 23 | 175 | 322 |
| 鳥取大学 | 1 | 3 | 80 | 76 | 28 | 84 | 20 | 565 | 857 |
| 島根大学 | 1 | 2 | 49 | 52 | 12 | 13 | 45 | 181 | 355 |
| 岡山大学 | 1 | 5 | 106 | 111 | 49 | 178 | 65 | 880 | 1,395 |
| 広島大学 | 1 | 6 | 203 | 166 | 48 | 96 | 171 | 652 | 1,343 |
| 山口大学 | 1 | 5 | 99 | 97 | 29 | 21 | 63 | 378 | 693 |
| 徳島大学 | 1 | 3 | 92 | 85 | 28 | 72 | 47 | 584 | 912 |
| 香川大学 | 1 | 2 | 52 | 44 | 17 | 8 | 53 | 190 | 367 |
| 愛媛大学 | 1 | 3 | 79 | 78 | 22 | 17 | 38 | 323 | 561 |
| 高知大学 | 1 | 3 | 55 | 56 | 11 | 12 | 42 | 188 | 368 |
| 福岡学芸大学 | 1 | — | 77 | 71 | 30 | 12 | 65 | 231 | 487 |
| 九州大学 | 1 | 8 | 250 | 216 | 34 | 541 | — | 1,847 | 2,897 |
| 九州工業大学 | 1 | — | 36 | 32 | 12 | 5 | — | 147 | 233 |
| 佐賀大学 | 1 | 2 | 44 | 52 | 17 | 10 | 26 | 169 | 321 |
| 長崎大学 | 1 | 5 | 103 | 86 | 31 | 129 | 48 | 757 | 1,160 |
| 熊本大学 | 1 | 6 | 125 | 131 | 44 | 152 | 43 | 940 | 1,442 |
| 大分大学 | 1 | 2 | 51 | 43 | 14 | 9 | 45 | 200 | 365 |
| 宮崎大学 | 1 | 3 | 65 | 60 | 16 | 20 | 46 | 246 | 457 |
| 鹿児島大学 | 1 | 4 | 107 | 117 | 24 | 26 | 66 | 482 | 827 |
| 合計 | 69 | 202 | 6,745 | 6,312 | 2,080 | 6,717 | 2,871 | 35,944 | 60,940 |

備考

- 1 主事の定員は、当分の間、教授の定員に含まれるものとする。
- 2 国立大学に包括される法第3条の表の下欄に掲げる諸学校の校長、教授、助教授、3級の文部教官（助教授及び助手）の定員はそれぞれこの表の該当欄に含まれているが、国立大学の学年の進行に伴い変更されるものとする。

3 略

別表第2 略

別表第3

| 法附則第5項に掲げる学校の名称 | 学校長 又は校長 | 教授 | 助教授 | 講師 | 助手 | 教務職員 技術職員 事務職員 | 計 |
|-----------------|-------------|----|-----|----|-----|----------------------|-----|
| 東京医科歯科大学 | 1 | 39 | 32 | 34 | 132 | 554 | 792 |
| 大阪工業専門学校 | 1 | 19 | 11 | 7 | — | 49 | 87 |
| 大阪青年師範学校 | 1 | 10 | 4 | 1 | — | 23 | 39 |
| 合計 | 3 | 68 | 47 | 42 | 132 | 626 | 918 |

(附) 東京工業大学定員

1 東京工業大学定員配当基準方式

(1) 助手以下の定員配当基準

| 区 分 | 助手の配当基準 | その他の配当基準 | 備 考 |
|-------------|--------------------------|----------|----------------|
| 学 部 | | | |
| 旧 制 | 教授各1人に対し 助教授、講師各1人に対し | 2人 1人 | 1講座に対し1人 |
| 新制のための増員に対し | 教授、助教授各1人に対し 体育実技に | 1人 1人 | |
| 研 究 所 | | | |
| 各 研 究 所 | 官制定員による | | 教授、助教授各1人に対し1人 |

(2) 職種別定員配当表

| 区 分 | 大学長 | 教授 | 助教授 | 講師 | 助手 | その他 | 計 | 備 考 |
|-----------|-----|----|-----|----|-----|-----|-----|-----|
| 大 学 長 | 1 | | | | | | | |
| 学 部 | | 61 | 70 | 30 | 205 | 111 | 477 | |
| 理 学 系 | | 9 | 12 | 8 | 30 | 13 | 72 | |
| 応 用 化 学 系 | | 19 | 22 | 8 | 68 | 22 | 139 | |

| 区 分 | 大学長 | 教授 | 助教授 | 講師 | 助手 | その他 | 計 | 備 考 |
|------------------------|-----|-------|-----|----|-----|-----|-----|-----|
| 同 附 属 工 場 | — | — | — | — | — | 9 | 9 | |
| 応 用 物 理 系 | 21 | 25 | 8 | 75 | 25 | 154 | | |
| 同 附 属 工 場 | — | — | — | — | 34 | 34 | | |
| 建 築 系 | 6 | 4 | 3 | 19 | 7 | 39 | | |
| 同 附 属 工 場 | — | — | — | — | 1 | 1 | | |
| 人 文 科 学 系 (新制増員を含む) | 6 | 7 | 3 | 13 | — | 29 | | |
| 研 究 所 | 16 | 21 | — | 56 | 48 | 141 | | |
| 建築材料研究所 | 1 | — | 2 | 6 | 3 | 12 | | |
| 同 附 属 工 場 | — | — | — | — | 5 | 5 | | |
| 資源化学研究所 | 3 | 4 | — | 9 | 7 | 23 | | |
| 同 附 属 工 場 | — | — | — | — | 1 | 1 | | |
| 精密機械研究所 | 4 | 4 | — | 15 | 8 | 31 | | |
| 同 附 属 工 場 | — | — | — | — | 5 | 5 | | |
| 窯業研究所 | 2 | 2 | — | 4 | 4 | 12 | | |
| 電気科学研究所 | 3 | 3 | — | 10 | 6 | 22 | | |
| 燃料科学研究所 | 3 | 6 | — | 12 | 9 | 30 | | |
| 予 備 部 | 9 | (3級)2 | — | 2 | — | 13 | | |
| 事 務 系 | — | — | — | — | 280 | 280 | | |
| ブ ー ル | — | — | — | 8 | 3 | 11 | | |
| 合 計 | 1 | 86 | 93 | 30 | 271 | 442 | 923 | |

(附) 学 位 令 大正9年7月6日
勅令第200号

- 第1条 学位は博士とす。
- 第2条 学位は大学に於て文部大臣の認可を経て之を授与す。
- 第3条 博士の種類は大学に於て之を定め文部大臣の認可を受くべし。
- 第4条 学位を授与せらるべき者は大学学部研究科に於て2年以上研究に従事し論文を提出して学部教員会の審査に合格したる者又は論文を提出して学位を請求し学部教員会に於て之と同等以上の学力ありと認めたる者とす。
- 第5条 学部教員会は前条の論文審査に付、その提出者に対し試問を行うことを得。
- 第5条 大学に於て学位授与の認可を申請するときは論文及びその審査の要旨を

添附すべし。

第7条 学位を授与せられたる者は授与の日より6ヶ月内にその提出に係る論文を印刷公表すべし但し学位授与前既に印刷公表せられたるものなるとき又は文部大臣に於てその印刷公表を相等ならずと認めたるものなるときはこの限りにあらず。

第8条 大学は論文の審査に付手数料を徴収することを得。

第9条 学部教員会に於ける論文審査の手續その他学位に関する規程は大学に於て之を定め文部大臣の認可を受くべし。

第10条 学位を有する者、その榮譽を汚辱する行為あるときは大学に於て学位に関する規程に依り文部大臣の認可を経て学位の授与を取消すことを得。

附 則

本令は公布の日より之を施行す。

明治31年勅令第344号学位令及博士令規則は之を廃止す但し旧令に依り授与したる学位は仍その効力を有す。

本令施行前論文を提出して学位を請求したる者に対しては旧令に依り学位を授与す。

旧令に依る学位を有する者その榮譽を汚辱する行為あるときは文部大臣その学位を褫奪す。

5. 本学の諸規程

(1) 東京工業大学事務組織規程 (昭和24年6月30日裁定)

第1条 東京工業大学の所掌事務を遂行するため左の5部局を置く。

事務局

教務部

工学部事務部

附置研究所事務部

附属図書館事務部

第2条 事務局を左の4課に分ち局長及びそれぞれ課長を置く。

庶務課

会計課

施設管理課

研究協力課

第3条 教務部を左の2課に分ち部長及びそれぞれ課長を置く。

教務課

厚生課

第4条 各事務部に事務長を置く。

第5条 局長は事務職員をもつて、教務部長は事務職員又は教授もしくは助教授である者をもつて、課長は事務職員又は技術職員をもつて、事務長は事務職員をもつて充てる。

第6条 各課及各事務部に適當数の掛を置きそれぞれ掛長を置くことが出来る。掛長は事務職員又は技術職員をもつて充てる。

附 則

この規程は昭和24年6月1日から施行する。

この規程は逐次実施され昭和24年11月1日から完全に運営されるものである。

昭和23年6月1日制定の東京工業大学事務処理規程は昭和24年10月31日これを

廃止する。

附属予備部、附属高等工業教員養成所の事務はそれぞれ関係部局において処理するものとする。

東京工業大学事務分掌規程

第1条 庶務課に庶務掛、文書掛、任用掛及び職階給与掛を置き左の事務を分掌せしめる。

庶務掛

- 1 叙位、叙勲及び褒賞に関する事
- 2 教授会に関する事
- 3 学位に関する事
- 4 出張に関する事
- 5 服務に関する事
- 6 日直、宿直に関する事
- 7 内地研究員及び在外研究員に関する事
- 8 学内参観人に関する事
- 9 学長の秘書的事項に関する事
- 10 他の課他の掛に属さない事

文書掛

- 1 官印の監守に関する事
- 2 諸規定の制定及改廃に関する事
- 3 官報掲載に関する事
- 4 文書の浄写に関する事
- 5 文書の收受、発送に関する事
- 6 文書の整理保存に関する事
- 7 本学時報の発行に関する事
- 8 庶務課主管に属する例規に関する事

任用掛

- 1 職員の任免、分限、懲戒その他人事に関する事

- 2 職員の適格審査に関する事
- 3 人事の記録に関する事
- 4 職員の定員に関する事

職階給与掛

- 1 職員の職階に関する事
- 2 職員の給与に関する事
- 3 職員の恩給に関する事
- 4 謝金及手当に関する事

第2条 会計課に認証掛、負担行為掛、出納掛及び統計調査掛を置き左の事務を分掌せしめる。

認証掛

- 1 支出負担行為の認証に関する事
- 2 会計監査に関する事
- 3 会計課主管に属する例規に関する事
- 4 共済組合に関する事
- 5 他の掛に属さない事

負担行為掛

- 1 負担行為に関する事
- 2 基準給与簿、職員別給与簿及び給与簿証明書に関する事
- 3 支払計画に関する事
- 4 物品の出納保管に関する事
- 5 統制資材に関する事
- 6 不用品に関する事
- 7 自動車に関する事

出納掛

- 1 収入及び支出に関する事
- 2 決算に関する事
- 3 科学研究費の支払に関する事
- 4 委任経理に関する事

- 5 歳入歳出外現金に関する事
- 6 保管有価証券に関する事
- 7 不動産以外の資金に関する事
- 8 徴税に関する事
- 9 会計課の勤務表の管理に関する事

統計調査掛

- 1 業務報告の編集に関する事
- 2 大学一覧の編集に関する事
- 3 学校基本調査に関する事
- 4 その他調査統計に関する事

第3条 施設管理課に企画掛、管財掛、工務掛及び電気掛を置き左の事務を分掌せしめる。

企画掛

- 1 施設の企画に関する事
- 2 概算要求に関する事
- 3 予算の要求及び配当に関する事
- 4 施設管理課主管に属する例規に関する事
- 5 他の掛に属さない事

管財掛

- 1 国有財産に関する事
- 2 不動産資金に関する事
- 3 学内警備に関する事

工務掛

- 1 建物、工作物等の設計、施工及び保守に関する事
- 2 暖房及び瓦斯に関する事
- 3 給排水及び衛生施設に関する事
- 4 営繕用資材の需給に関する事
- 5 庭園の管理に関する事

電気掛

- 1 電力設備の設計, 施工及び保守に関する事
- 2 電話設備の設計, 施工及び保守に関する事
- 3 電気用資材の需給に関する事
- 4 その他電気に関する一切の事

第4条 研究協力課に連絡掛及び直営掛を置き左の事務を分掌せしめる。

連絡掛

- 1 科学研究費その他の研究費に関する事
- 2 学内研究費援助に関する事
- 3 研究助成の目的をもつてなされた寄附に関する事
- 4 受託研究及び試験に関する事
- 5 受託研究員養成に関する事
- 6 工業所有権に関する事
- 7 工業現地指導に関する事
- 8 研究の連絡及び発表に関する事
- 9 刊行物発行に関する事
- 10 研究用資材の斡旋に関する事
- 11 研究に関する統計調査及び報告に関する事
- 12 研究に関する渉外事務に関する事
- 13 研究協力課主管に属する例規に関する事
- 14 他の掛に属さない事

直営掛

- 1 印刷事業に関する事
- 2 電子顕微鏡事業に関する事
- 3 製氷に関する事
- 4 液体空気製造に関する事
- 5 実験研究設備の相互利用に関する事
- 6 その他直営事業に関する事

第5条 教務課に教務掛及び学生掛を置き左の事務を分掌せしめる。

教務掛

- 1 入学, 退学, 休学, 成績その他学生生徒の身分取扱に関する事
- 2 授業, 休業及び試験に関する事
- 3 時間割の編成に関する事
- 4 文部省科学教育研究室に関する事
- 5 講習会に関する事
- 6 教務課主管に属する例規に関する事
- 7 他の掛に属さない事

学生掛

- 1 乗車船割引証に関する事
- 2 在学証明書その他学生生徒に対する証明書に関する事
- 3 学生, 生徒の諸調査に関する事
- 4 卒業生に関する事
- 5 就職に関する事
- 6 教員検定に関する事
- 7 諸儀式に関する事
- 8 学友会に関する事

第6条 厚生課に厚生掛及び保健掛を置き左の事務を分掌せしめる。

厚生掛

- 1 職員学生生徒の福利厚生に関する事
- 2 協同組合に関する事
- 3 寄宿舍に関する事
- 4 学生生徒の宿舍の斡旋に関する事
- 5 日本育英会及びその他学生生徒の給貸費に関する事
- 6 学生生徒内職斡旋に関する事
- 7 他の掛に属さない事

保健掛

- 1 職員, 学生生徒の保健衛生に関する事
- 2 職員, 学生生徒の診療施設に関する事
- 3 課外の体育及び運動に関する事

- 4 運動施設の使用に関する事
- 5 厚生課主管に属する例規に関する事

第7条 工学部事務部に庶務掛及び経理掛を置き左の事務を分掌せしめる。

庶務掛

- 1 他部局との連絡に関する事
- 2 一般調査及び統計に関する事
- 3 文書の処理に関する事
- 4 学部内の参観見学に関する事
- 5 工学部事務部主管に属する例規に関する事
- 6 他の掛に属さない事

経理掛

- 1 配当予算の経理に関する事
- 2 物品の請求受入に関する事
- 3 研究費の経理に関する事
- 4 俸給等の受渡に関する事
- 5 物品の監守、整理及び保管に関する事
- 6 建物及び施設等の営繕修理の要求に関する事
- 7 その他経理に関する事

第8条 附置研究所事務部に庶務掛及び経理掛を置き左の事務を分掌せしめる。

庶務掛

- 1 他部局との連絡に関する事
- 2 一般調査及び統計に関する事
- 3 文書の処理に関する事
- 4 研究所内の参観見学に関する事
- 5 研究所事務部主管に属する例規に関する事
- 6 他の掛に属さない事

経理掛

- 1 配当予算の経理に関する事
- 2 物品の請求受入に関する事

- 3 研究費の経理に関する事
- 4 俸給等の受渡に関する事
- 5 物品の監守、整理及び保管に関する事
- 6 建物及び施設等の営繕修理の要求に関する事
- 7 その他経理に関する事

第9条 附属図書館事務部に庶務掛、分類目録掛、閲覧掛を置き左の事務を分掌せしめる。

庶務掛

- 1 配当予算の経理に関する事
- 2 図書出納簿の登録、保管に関する事
- 3 物品の請求、受入及び監守に関する事
- 4 図書類の寄贈及び交換に関する事
- 5 標本に関する事
- 6 図書館事務部主管に属する例規に関する事
- 7 他の掛に属さない事

分類目録掛

- 1 図書の撰択に関する事
- 2 図書の分類に関する事
- 3 図書の目録に関する事
- 4 図書館報の編集に関する事

閲覧掛

- 1 蔵書及び新刊雑誌の整理、保管、閲覧に関する事
- 2 図書の貸出に関する事
- 3 閲覧統計に関する事
- 4 複写に関する事

附 則

この規程は昭和24年6月30日から施行する。

この規程は逐次実施され昭和24年11月1日から完全に運営されるものである。

(2) 東京工業大学学則 (新制大学) (昭和24年6月1日制定)

第1章 目的及び使命

第1条 本学は将来工業技術者、工業経営者、理工学研究者並びにその教育者として、指導的役割を果たすことができる有能善良な公民を育成する目標の下に、これに必要な一般的教養と専門的訓練を学生に附与するとともに科学及び技術の水準を高め、もつて文化の進展に寄与し人類の福祉に貢献することをその目的とする。

第2章 教科及び学科目

第2条 前条の使命を達成するため左の教科を置く。

一般教養科目

人文科学関係

社会科学関係

自然科学関係

専門科目

理学部門

機械工業部門

電気工業部門

化学工業部門

建築部門

工業経営部門

体育

前項各教科の学科目、時間数、単位数及び必修並びに選択の区分は別表の通りである。

第3章 履修方法及び課程修了認定

第3条 学生は毎学期の始にその学期中に学修しようとする学科目を申告して許可を受けなければならない。

第4条 試験は科目試験及び学士試験とする。

第5条 科目試験は第3条によつて許可した学科目についてその学科目の授業が

終つたときに行う。但し学科目の種類によつては何時でも行うことができる。

科目試験の日割は決定した都度これを発表する。

学科目の種類によつては平常の成績考査を以つて科目試験に代え又は科目試験の成績に加味することができる。

第6条 学生は学修簿に合格した学科目の証明を受けて置くべきである。

願い出があつたときは成績証明書を交付する。

第7条 2年以上在学して60単位以上の科目試験に合格した者は一般理学教育を終つたものとして修業することができる。

前項の修業者には一般理学教育を修了した証明書を授与する。

一般理学教育修了証明書は本学学生以外の者で資格試験に合格した者に対しても授与することができる。

第8条 前条第3項の資格試験を受けようとする者は履歴書、学業証明書に検定料金 400円を添付して願い出なければならない。

前項の出願者に対しては本学の教科に基き検定試験を行う。

第9条 一般理学教育を修業し、なお引続き上級の専門教育を受けるためには進学委員会の選衡を経なければならない。

第10条 3年以上在学して90単位以上の科目試験に合格した者は学士試験願を提出することができる。

学士試験願は6箇月以前に論文、計画又は報告の範囲を定めて願い出て許可を受けなければならない。

前項の論文、計画又は報告については学長の選定した教員の指導を受けなければならない。

学生は指導教員の選定について希望することができる。

第11条 学士試験は論文、計画又は報告に対して審査又は口頭試問で行う。

第4章 卒業及び学士号

第12条 科目試験及び学士試験を通算して120単位以上、体育4単位に合格した者には教授会の議を経て卒業証書を授与し工学士の称号を授ける。

前項の120単位中には36単位以上の一般教養科目が含まなければならない。

第5章 入学、休学、転学及び退学

第13条 左の者は大学部に入学志願することができる。

- 1 高等学校を卒業した者
- 2 本学が高等学校卒業者と同等以上の学力があると認めたる者

第14条 入学を志願する者は履歴書、成績証明書、卒業又は修了証明書及び手札型写真に入学検定料金 400 円を添付して願出しなければならない。

入学志願の時期はその都度決定して公告する。

第15条 入学志願者に対しては入学考査を行い入学者を決定する。

入学考査は身体及び学力について行うのを原則とするが過去の学業成績、性格及び知能について行うことがある。

前項の入学考査の種類及び日割はその都度決定して公告する。

第16条 已むを得ない事情で本学を退学した者が再び入学を願出たときは収容力のある場合に限り前条の定めによらず、身体検査及び口頭試問を行い入学を許可することができる。

第17条 本学が認定した他の大学に1年以上在学した者が本学に転入学を願出たときは本人の挙げた過去の学業成績が本学に於て学修するのに適して、しかも収容力のある場合に限り身体検査及び口頭試問を行い入学を許可することができる。

第18条 入学の時期は毎年4月とする。但し前2条の再入学及び転入学については後学期の始でも差支えない。

第19条 大学部の修業年限は4年とし6年まで在学することができる。但し休学の期間は在学年数に算えない。

第17条及び第18条によつて再入学又は転入学した者の修業年限及び学修の方法は過去に修めた学科目及び在学年限を考査してその個人毎に定める。

第20条 病気その他已むを得ない事情のため2ヶ月以上学修することができなるとき許可を受けて休学することができる。

休学は1年以内とする。但し特別の事情のあるときは引続き許可するが通算して3年を超えることができない。

休学期間中でもその事情の終つたときは届け出て復学することができる。

休学期間中であつても学業を続ける見込がないものと認めるときは退学を命ず

ることがある。

第21条 1年以上在学して他の大学に転学しようとするときは許可を受けなければならない。

第22条 病気その他已むを得ない事情のため学業を続ける見込がないときは願出で退学することができる。

第6章 入学料、授業料、奨学資金及び貸給費

第23条 入学料は金 400 円とする。

第24条 授業料は1学年度金 3,600 円とし、次の区分で納付しなければならない。

前学期分 金 2,100 円 4 月中

後学期分 金 1,500 円 11 月中

なお授業料の月割額は金 300 円とする。

第25条 一度納付した入学料及び授業料はどんな事情があつても返付しない。

第26条 休学が第24条に定めた授業料納付区分の全期間である場合はその期間分の授業料を免除する。

途中で復学するときは直ちにその月分から納付しなければならない。

第27条 退学、除籍又は放学的場合であつてもその学期に属する分の授業料を納付しなければならない。

停学を命ぜられている学生の場合も前項と同様である。

第28条 授業料を第24条に定めた期間中に納付しない者には停学を命じなお引続き怠る者は除籍する。

第29条 本学の学生に対して給費、貸費、賞与その他奨学のために資金を寄附しようとする者があるときはその申込に応ずる。

前項の寄附金はすべて奨学資金とする。

第30条 寄附者は奨学資金に一定の名義を付け又は給費、貸費、賞与その他特別の希望条件を指定することができる。

第31条 給費及び貸費は学力操行共に優秀、志操堅固な学生で学資支弁の困難なものに支給するものとする。但し寄附者が特別の希望条件を指定したものは、その条件による。

給費、貸費又は賞与を受ける者、その金額及び期間は学長が定める。

第32条 給費又は貸費を受けようとする者はその理由を詳しく書いて願出なければならない。

前項の許可を受けたときは身元確実な保証人2人をたてて別に定めた書式によつて誓約書を提出しなければならない。

第33条 貸費を受けた者は卒業後1ヶ年経つた時から、貸与を受けた月数の2倍の期間に月賦で元金を返納しなければならない。但し一時に全部を返納したり又は月賦額以上に返納することができる。

已むを得ない事情によつて貸費返納の延期を願出たときは許可することがある。

貸費を受けた者が死亡したり不治の病気にかかつたときは願によつて貸費の全部又は一部の返納を免除することがある。

第34条 給費又は貸費を受けている学生が休学したときはその期間支給を停止する。

給費又は貸費を受けている学生が成業の見込がないと認めたととき又は停学になつたときは支給を廃止する。

貸費を受けている学生が放學になつたときは直ちに元金全額を返納しなければならない。

願によつて退学したときも前項と同様である。但し特別の事情があるときは願によつて全部又は一部の返納を免除することがある。

第35条 官庁、公共団体又は個人からこの章の定めによつて学生を指名して学資の貸給方を依頼したときはこれに應ずることがある。

第36条 奨学資金管理上の細則は別に定める。

第7章 職員組織

第37条 本学に左の職員を置く。

大学長

教員

教授

助教授

助手

講師

研究員

技術員

事務員

医務員

医師

歯科医師

看護婦

その他

警務員

工務員

作業員

図書出納員

給仕

第38条 庶務規程は別に定める。

第8章 教授会

第39条 本学に教授会を置き教授を以つて組織する。

学長は教授会を召集してその議長となる。

第40条 教授会は左の事項を審議する。

- 1 学科課程に関する事項
- 2 学生の試験及び卒業に関する事項
- 3 学位に関する事項
- 4 教授及び助教授の任免に関する事項
- 5 その他学長が諮問した事項

第41条 学長は教授会に助教授及び講師を出席せしむることができる。これを教授総会という。

第9章 学生定員

第42条 毎学年度の入学收容定員は300人とする。

第10章 大 学 院

自第43条

至第53条（大学院に関する具体的な基準が未決定のため、決定次第規定化する見込である。）

第11章 研究所及び図書館

第54条 本学に左の研究所を置く。

建築材料研究所

資源化学研究所

精密機械研究所

窯業研究所

電気科学研究所

燃料科学研究所

第55条 建築材料研究所は建築用材料に関する学理及び応用の研究を、資源化学研究所は資源に関する化学の学理及び応用の研究を、精密機械研究所は精密機械に関する学理及び応用の研究を、窯業研究所は窯業に関する学理及び応用の研究を、電気科学研究所は電気科学に関する学理及び応用の研究を、燃料科学研究所は燃料科学の学理及び応用の研究を行う。

第56条 本学に附属図書館を置く。

附属図書館に関する細則は別に定める。

第12章 選科生及び聴講生

第57条 大学部の課程の中1科目又は数科目を選んで学修を願ひ出る者があるときは収容力のある場合に限つて選科生として入学を許可することがある。

第58条 選科生は選んだ学科目を学修するに十分な学力がなければならない。

第59条 選科生の在学は1年とする。但し引続き在学を継続しようとする者は許可を受けなければならない。

第60条 選科生は学習した学科目について試験を受けることができる。

試験に合格した者には願ひによつて証明書を授与する。

第61条 大学部の課程の中1科目又は数科目を選んで聴講を願ひ出る者があるときは収容力のある場合に限つて聴講生として許可することがある。

聴講は学期又は学年度ごとに許可する。

第62条 聴講生は選んだ学科目を聴講するに十分な学力がなければならない。

第63条 選科生及び聴講生の授業料は大学部学生と同様である。

第13章 夏 期 講 座

第64条 大学部の課程の1科目又は数科目について夏期講座を開設することがある。

夏期講座の学科目は毎年定めて公告する。

第65条 夏期講座は本学の学生だけでなく、一般にも公開する。

第66条 夏期講座の公開聴講料は金 円とし、前納しなければならない。

一度納付した聴講料はどんな事情があつても返さない。

第67条 本学の学生が夏期講座で合格した単位数は正規の課程の単位数と同様に取扱う。

第14章 学年、学期及び休業日

第68条 学年度は4月1日に始つて翌年3月31日に終る。

学年度を次の2学期に分ける。

前学期 4月1日から10月31日まで

後学期 11月1日から3月31日まで

第69条 休業日は左の通りとする。

日 曜 日

国民の祝日

創立記念日 5月26日

春 期 休 業 3月の第3月曜日から4月の第2土曜日まで

夏 期 休 業 7月の第3月曜日から9月の第2土曜日まで

冬 期 休 業 12月の第4月曜日から翌年1月第2土曜日まで

臨時の休業日はその度ごとに定める。

第15章 寄宿舎及び厚生保健施設

第70条 本学に寄宿舎を置く。

第71条 寄宿舎に入舎しようとする学生は入舎願を提出し許可を受けなければならない。

退舎の場合も前項と同様である。

第72条 寄宿舎生は左の区分によつて寄宿料を納付しなければならない。

前学期分 金 700 円 4 月中

後学期分 金 500 円 11 月中

月割で納付する場合は金 100 円とする。

一度納付した寄宿料はどんな事情があつても返付しない。

第73条 寄宿舎生は学長の任命した職員の指導を受け規則命令等を守らなければならない。

第74条 本学に左の厚生保健施設を置く。

保健診療所

山 の 家 (鹿沢宿舎)

海 の 家 (大貫宿舎)

第75条 寄宿舎、保健診療所、山の家及び海の家運営上の細則は別に定める。

第16章 懲 戒

第76条 大学の規則を守らず学生の本分に反する行爲のあつた者は懲戒する。

懲戒は謹慎、停学及び放學とする。

第17章 雜 則

第77条 大学院、選科生及び聴講生でその章で特別に定めてない事項は大学部の規定を準用する。

附 則

この学則は昭和24年4月1日からこれを施行する。

東京工業大学学則 (旧制大学) (昭和16年11月26日制定
昭和19年4月1日改正
昭和23年5月20日改正
昭和23年7月20日改正)

第1章 学年度、学期及休業

第1条 学年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

学年度を分ちて左の2期とす。

前期 4月1日より10月31日まで

後期 11月1日より翌年3月31日まで

第2条 定期授業を行わざる日左の如し。

日 曜 日

国民の祝日

創立記念日 5月26日

春 季 4月1日より4月10日まで

夏 季 7月11日より9月10日まで

冬 季 12月25日より翌年1月7日まで

臨時授業を行わざる日は其の都度之を定む。

第2章 分科及授業

第3条 東京工業大学に左の学科を置く。

染料化学科

紡織学科

窯業学科

応用化学科

電気化学科

機械工学科

電気工学科

建築学科

化学工学科

金属工学科

第4条 授業科目及びその単位は別表の定むる所に依るものとす。

所属学科の課程及び授業時間割は前項に基き毎学年度始に於て之を定む。

第5条 学生は毎学年度始に於て所属学科の課程に基きその履修せんとする授業科目を申告すべし

第6条 学生所属学科の課程以外の授業科目を履修せんとするときは毎学年度始に於て許可を受くべし。

第3章 入学、在学及退学

第7条 入学せしむべき時期は学年度の始とす。

第8条 入学を志願することを得るもの左の如し。

- 1 高等学校高等科理科及び学習院高等科理科を卒業したる者
- 2 専門学校令に依る工業専門学校を卒業したる者
- 3 高等学校高等科学力検定規程に依り高等学校高等科理科卒業者と同等以上の学力ありと検定せられたる者

第9条 前条に依り入学を志願する者に対しては身体検査を施行し且その数各学科毎にその收容予定を超過したるときは学力選抜試験及び詮衡に依り入学せしむべき者を定む。但し必要ありと認めたるときは入学志願者の数各学科毎にその收容予定を超過せざる場合と雖も学力選抜試験及び詮衡に依り入学せしむべき者を定むることを得。

学力選抜試験は高等学校高等科理科の授業科目中に付之を施行す。

身体検査及び学力選抜試験の科目並に日割等は予め官報に公告し且東京工業大学内に掲示す。

第10条 前条に依り入学せしむべき者の数各学科毎にその收容予定に満たざるときは第8条に掲ぐるものの外左に掲ぐるものの中より入学を志願することを定むるものを定む。

- 1 高等学校高等科文科及学習院高等科文科を卒業したる者
- 2 専門学校令に依る工業専門学校以外の専門学校を卒業したる者

第11条 前条に依り入学を志願する者に対しては第9条の方法に依り入学せしむべき者を定む。

第12条 東京工業大学附属予備部を修了したる者は第8条乃至第11条の規定に拘らず入学せしむ。

第13条 左に掲ぐるものは欠員ある場合に限り第8条及び第10条の規定に拘らず入学せしむることを得

- 1 東京工業大学を卒業したる者にして履修したる学科以外の学科に入学を志願する者
- 2 已むを得ざる事由に因り東京工業大学を中途退学したる者にして更に同一学科に入学を志願する者

前項の規定に依り入学せしめたる者の科目履修方及び在学年限は既修の科目及び在学年数等を考査してその都度之を定む。

第14条 入学を志願する者は履歴書、学業成績証明書、卒業又は修業証明書、手札形写真及び入学検定料を添へ出身学校を経由して願出づべし。

入学に関する出願期限等はその都度之を定め官報に公告す。

第12条の規定に依り入学する者に対しては前項の規定は之を適用せず。

第15条 入学を許可したる者は官報に公告す。

入学を許可せられたる者は所定の方式に依り宣誓を為すべし。

第16条 入学したる者は保証人連署の誓書を提出すべし。

保証人は成年の男子にして東京工業大学所在地又はその附近に住所を有し独立の生計を営むものにして東京工業大学長に於て適当と認めたる者に限るものとす。

保証人は入学したる者の身分等に関し一切の責に任ずべきものとす。

保証人の身分その他に異動ありたるときは遅滞なくその旨届出づべし。

第17条 学生の在学年限は6年を超えることを得ず但し休学を許可したる期間は之を算入せず。

第18条 学生疾病その他已むを得ざる事由に因り2ヶ月以上修学すること能わざるときは許可を得て休学することを得。

休学は1年以上に亙ることを得ず但し特別の事由ありと認むるときは仍引続き之を許可することあるべし。

休学期間は之を通じて3年を超ゆることを得ず。

休学期間に於てその事故止み復学せんとするときはその旨届出づべし。

休学期間内と雖も成業の見込なしと認めたるときは退学を命ずることを得。

第19条 他の学科に転科を志望するものあるときは欠員ある場合に限り詮衡の上之を許可することを得。

前項に依り転科したる者の科目履修方及び在学年限は既修の科目及び在学年数等を考査してその都度之を定む。

第20条 学生退学せんとするときは保証人連署の上その事由を具し願出づべし。

第4章 試験卒業及称号

第21条 試験は科目試験及び学士試験とす。

第22条 科目試験は第5条の規定に依り申告したる授業科目及び第6条の規定に

依り許可せられたる授業科目に付之を施行するものとす。

第23条 科目試験は当該授業科目の授業を修了したるときに於て之を施行するものとす但し授業科目の種類等に依り隨時之を施行することを得。

科目試験の日割等は決定の都度之を告示するものとす。

第24条 実験、製図、実習及び演習に関する授業科目に付てはその平常の成績考査を以て科目試験に代うることを得

第25条 学生は科目試験の成績に関し学修簿に合格の証明を受くべし。

第26条 合格したる授業科目に対しては学生の願出に依り証明書を交付することを得。

第27条 学士試験は論文、計画又は報告に付隨時之を施行するものとす。

第28条 2年以上在学し所属学科の課程中60単位以上の科目試験に合格したる者は論文、計画又は報告の範囲等を定め10ヶ月以前に学士試験願を提出すべし。論文、計画又は報告等に関しては指導教員の指導を受くべし。学生指導教員の選定に関し希望あるときは願出づることを得。

第29条 70単位以上の科目試験に合格し且学士試験に合格したる者には卒業証書を授与す。

第30条 東京工業大学を卒業したる者は工学士と称することを得。

第5章 検定料、入学料、授業料及研究料

第31条 第14条第1項、第51条第2項及び第55条第2項及び第59条第1項に規定する検定料は金400円とす。

第32条 入学を許可せられたる者は入学料金400円を納付すべし。

第33条 授業料は1学年度金3,600円とし左の区分に依り納付すべし但し附属高等工業教員養成所の課程を履修する者に対しては之を免除す。

前期分(自4月至10月)金2,500円 4月中納付

後期分(自11月至3月)金1,100円 11月中納付

聴講生にして特定の学期間のみ聴講せんとする者は月割額を以てその聴講期間中の授業料を前納すべし。

第34条 研究科学生は研究料1学年度金3,600円を毎学年度4月中に納付すべし。

第35条 納付したる検定料、入学料、授業料又は研究料は之を返付せず。

第36条 1期又は1学年度を通じて休学を許可せられたる者にはその期の授業料又はその学年度の研究料を免除す但し授業料若は研究料納期前に休学する者に対しては次月分以降之を免除しその中途復学する者に付ては当月分より之を徴収す。

第37条 退学、除籍又は放学的場合と雖もその期の属する所定の授業料又は研究料は之を納付すべし。

第38条 停学に処せられたる者はその期間中授業料又は研究料を納付すべし。

第39条 授業料又は研究料の月割徴収額は金300円とす。

第40条 授業料又は研究料を所定の期日迄に納付を怠りたる者はその出席を停止し仍引続き納付せざる者は之を除籍す。

第6章 服 装

第41条 学生は別に定むる所の制服、制帽を着用すべし。

第7章 懲 戒

第42条 学生学規に違背し又は学生の本分に反する行為ありたるときは之を懲戒す。

懲戒は譴責、停学及び放學とす。

第8章 選 科 生

第43条 第4条に定むる授業科目中その科目又は数科目の選修を願出づる者あるときは学生の学修に妨なき場合に限り選科生として入学せしむることを得。

第44条 選科生はその選択する授業科目を選修するに足るべき学力を有すべきものとす。

前項の学力は試験検定又は無試験検定に依り之を認定す。

第45条 選科生の在学年限は1年とす但し更に在学を継続せんとする者は之が延期を願出づべし。

第46条 選科生は其の学修せし授業科目に付試験を受くことを得。

前項の試験に合格したる者には願に依り証明書を授与す。

第9章 聴 講 生

第47条 第4条に定むる授業科目中1科目又は数科目の聴講を願出づる者あると

きは学生の学修に妨なき場合に限り聴講生として入学せしむることを得但し検
定料は之を徴收せず。

聴講生は学期又は学年度毎に之を許可す。

第48条 聴講生はその聴講すべき授業科目を学修するに足るべき学力を有すべき
ものとす。

第49条 聴講生に対しては試験を行わず。

第10章 外国学生

第50条 外国人にして第3章の規定に依らずして入学を願出づる者あるときは明
治34年文部省令第15号の規定に依り之を入学せしむることを得。

第51条 前条の規定に依り入学したる外国学生にして本人の志望に依り学力を検
定し高等学校高等科理科卒業者と同等以上の学力ありと認められたる者は学士
試験を受くることを得。

前項の検定を受けんとする者は検定料を添え願出づべし。

第11章 委託生

第52条 官庁及び公共団体より1年以上を在学期間とし履修すべき授業科目を定
め入学を願出づる者あるときは学生の学修に妨なき場合に限り委託生として入
学せしむることを得。

第53条 委託生はその履修すべき授業科目を学修するに足るべき学力ありと認め
たるものに限るものとす。

第54条 委託生はその学修せし授業科目に付試験を受くることを得。

前項の試験に合格したる者には願に依り証明書を授与す。

第55条 委託生にして本人の志望に依り学力を検定し高等学校高等科理科卒業者
と同等以上の学力ありと認められたる者は学士試験を受くることを得。

前項の検定を受けんとする者は検定料を添え願出づべし。

第56条 委託生の実習及び実験等に要する費用は委託者より之を納付するものと
す。

第12章 研究科学生及研究科特別研究生

第57条 研究科学生は指導教員の指導を受けて学術を研究するものとす。

第58条 研究科に入学を志願することを得るもの左の如し。

1 東京工業大学を卒業したる者

2 前号以外のものにして東京工業大学に於て施行する検定に合格したる者

第59条 研究科に入学を志願する者はその研究せんとする事項を具し履歴書を添
え願出づべし但し前条第2号に該当する者は検定料を添付すべし。

前項の入学願書には指導教員の選定に関し希望を記載することを得。

第60条 研究科に入学を志願する者に対する許可は教授会の議を経て之を決定す
るものとす。

第61条 研究科学生は在学年限は1年以上とす。

第62条 研究科学生は指導教員及び担任教員の認許を経て講義実験又は演習等に
出席することを得。

第63条 研究科学生は研究に要する経費を納付すべし但し特にその全部又は一部
を免除することを得。

第64条 研究科学生は毎学年度の終に於てその研究に関する報告書を提出すべ
し。

第65条 研究科学生はその研究事項に関する証明書の授与を願出づることを得。

第66条 研究生にして2年以上在学し研究に従事したる者はその研究したる事項
に関する論文を提出して学位の請求を為すことを得。

第67条 研究科学生は特に許可ありたる場合を除くの外他の業務に従事すること
を得ず。

第68条 研究科に特選給費学生を置くことを得。

特選給費学生は研究科学生中、学力優秀、操行善良、志操堅実にして将来学術
の攻究に従事せんとする者の中より教授会の議を経て之を選抜す特選給費学生
に対しては研究料を免除することを得。特選給費学生に対しては学費の全部又
は一部を給与することを得。

前項の給与すべき学費は月額金75円以内とす。

第69条 特選給費学生にして休学又はその資格を欠くに至りたるときは之を免
ず。

第69条の2 研究科に昭和18年文部省令第74号に依る特別研究生を置く。

第69条の3 特別研究生たらんとする者は研究科特別研究生選定願に履歴書及び

研究に関する業績を添え願出づべし。

特別研究生の員数、志願の時期等はその都度之を定む。

第69条の4 大学長は前条の志願者に付之を詮衡し指導教授を定め文部大臣に推薦しその認可を経て第1期の特別研究生を選定す。

前項の詮衡に当り口頭試問及び身体検査を施行することを得。

第69条の5 第2期の特別研究生は本人の研究事項、研究業績及び指導教授の意見に徴し第1期の特別研究生に準じ之を選定す。

第69条の6 特別研究生に対しては学資として第1期月額金5,800円を給与す但し昭和18年文部省令第74号第7条の規定に依る特別研究生に対してはこの限りに在らず。

前項の学資は引続き休学3ヶ月以上に涉りたるときは4ヶ月目より第1期月額2,900円とす。

第69条の7 昭和18年文部省令第74号第16条の規定に依り償還すべき学費及び研究費の額は左の各号の定むる所に依る。

- 1 学費は特別研究生たりし期間現に支給したる額
- 2 研究費は月額金300円とし特別研究生たりし月数に応じ計算したる額但し休学の月数は特別研究生たりし月数に之を算入せず。

第69条の8 特別研究生病気その他の事故に依り休学せんとするときは指導教授を経て願出づべし。復学せんとする場合亦同じ。

休学の期間は研究年限に之を算入せず。

第13章 貸費、給費又は賞与

第70条 学力優秀、操行善良、志操堅実にして学資負担の困難なる学生に対しては給費又は貸費を為すことを得。

学力優秀、操行善良、志操堅実なる学生に対しては奨学の為特に金円又は物品を賞与することを得。給費、貸費又は賞与を授与すべき者並にその金額及び期間等はその都度之を定む。

第71条 前条第1項に依り給費又は貸費を受けんとする者はその理由を詳し願出づべし。

給費又は貸費の許可を受けたるときは身元確實なる保証人2名連署の上別に定

むる書式に依り誓約書を差出すべし但し保証人の中1名は第16条第2項に規定する資格を具備するものとす。

第72条 貸費を受けたる者は卒業したる後1年を経過したる時より起算しその貸費を受けたる月数の2倍に相当する期間に於て月賦を以て元金を返納すべし但し一時に全額を返納し又は月賦額以上の額を返納することを妨げず。

貸費返納の延期を願出でたるときは已むを得ざる事由ありと認むる場合に限り之を許可することを得。

貸費を受けたる者死亡し又は不治の疾病に罹りたるときは願に依り貸費の全部又は一部の返納を免除することを得。

第73条 給費又は貸費を受くる者休学したるときはその期間之が支給を停止するものとす。

学業を怠り又は操行不良にして成業の見込なしと認めたる時又は除籍若しは停学に処せられたるときは以後之が支給を廃止す。

貸費を受くるもの放學に処せられたるとき又は前項に依りその支給を廃止せられたるときは即時その元金全額を返納せしむ。

願に依り退学したるとき亦前項に同じ但し事情に因り前条の規定を準用することあるべし。

第73条の2 附属高等工業教員養成所の課程を履修する者に対しては学費として月額150円を支給す。

学資支給に関する細則は東京工業大学長之を定む。

第73条の3 附属高等工業教員養成所の課程を履修し又は履修したる者にして昭和17年文部省令第65条第6条の規定に依り授業費の償還を命ぜられたる者の授業費は年額金3,600円とす但し月額償還は金300円とす。

第14章 雑 則

第74条 選科生、聴講生、外国学生、委託生、研究科学生及び研究科特別研究生に対しては各その章の規定に抵触せざる限り学生に関する規定は之を準用す但し服装に関しては第41条の規定に依らざることを得。

附 則

本学則は昭和17年4月1日より之を施行す但し第8条乃至第11条の規定は昭和

17年4月入学せしむべき者に之を適用す

昭和4年4月1日制定東京工業大学学則は之を廃止す。

本学則施行の際現在在学するものに関する取扱に付ては別に之を定む。

附 則

本学則は昭和19年4月1日より之を施行す。

昭和19年3月31日以前の入学に係る者の授業料又は研究料は仍従前の額に依る

但し月割徴収の要ある場合は月額金150円とす。

附 則

本学則は昭和23年4月1日より之を施行す。

別 表

| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 備 考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 備 考 |
|------|-----------|-----|--|---------|-----------|-----|-----|
| 101 | 数 学 | 4.0 | 単位数は毎週70分授業1回13週を以て1単位とし実験、製、演習、講義に就ては毎週3時間13週を以て1単位とす以下同じ | 164 | 分析実験 甲類 | 3.5 | |
| 102 | 数 学 演 習 | 1.5 | | 165 | 同 上 乙類 | 2.5 | |
| 103 | 数学解析 甲類 | 3.5 | | 166 | 工業分析実験 甲類 | 2.5 | |
| 104 | 同 上 乙類 | 2.5 | | 167 | 同 上 乙類 | 1.5 | |
| 105 | 応用数学特論 | 2.5 | | 168 | 同 上 丙類 | 1.5 | |
| 106 | 実験値計算法 | 2.0 | | 169 | 同 上 丁類 | 1.0 | |
| 111 | 一 般 物 理 学 | 4.0 | | 170 | 化 学 実 験 | 2.0 | |
| 112 | 物 理 学 実 験 | 1.5 | | 181 | 化 学 通 論 | 2.5 | |
| 113 | 力 学 | 2.5 | | 182 | 化学工業総論 | 2.0 | |
| 114 | 振 動 学 | 2.0 | | 183 | 無機化学概論 | 2.0 | |
| 115 | 弾性及流体力学 | 2.5 | | 184 | 有機化学概論 | 2.5 | |
| 116 | 熱 力 学 | 2.5 | | 191 | 経済学総論 | 2.0 | |
| 117 | 電子及量子力学 | 2.5 | | 192 | 工場立地法 | 1.0 | |
| 118 | 熱及熱伝導論 | 1.5 | | 193 | 及法 管制大意 | 2.0 | |
| 119 | 電 磁 場 論 | 2.5 | | 201 | 膠 質 化 学 | 2.0 | |
| 120 | 物 理 学 特 論 | 2.5 | | 202 | 染料膠質学 | 1.0 | |
| 121 | 物理量測定法 | 1.5 | 203 | 染料化学 | 3.5 | | |
| 122 | 応用物理学 | 2.5 | 204 | 有機合成化学 | 2.5 | | |
| 131 | 無機化学 | 2.5 | 205 | 色 染 化 学 | 3.0 | | |
| 132 | 無機化学実験 | 1.0 | 206 | 纖維処理化学 | 1.5 | | |
| 133 | 無機化学特論 | 2.0 | 207 | 有機化学実験法 | 1.0 | | |
| 134 | 分 光 化 学 | 1.0 | 208 | 染料化学科演習 | 0.5 | | |
| 141 | 有機化学 | 3.5 | 209 | 同 上 第1部 | 0.5 | | |
| 142 | 有機化学実験 | 2.5 | 210 | 同 上 第2部 | 0.5 | | |
| 143 | 同 上 乙類 | 2.5 | 211 | 同 上 第3部 | 0.5 | | |
| 144 | 同 上 丙類 | 2.0 | 212 | 同 上 第4部 | 0.5 | | |
| 145 | 同 上 丁類 | 2.0 | 213 | 染料化学科実験 | 2.5 | | |
| 146 | 有機化学特論 | 2.0 | 214 | 同 上 第1部 | 2.5 | | |
| 151 | 物 理 化 学 | 4.5 | 215 | 同 上 第2部 | 2.5 | | |
| 152 | 物理化学実験 | 2.0 | 216 | 同 上 第3部 | 2.5 | | |
| 153 | 物理化学演習 | 0.5 | 217 | 同 上 第4部 | 2.5 | | |
| 154 | 物理化学特論 | 2.0 | 218 | 同 上 第5部 | 1.5 | | |
| 155 | 同上第1部 | 2.0 | 217 | 染料化学科実習 | | | |
| 161 | 分 析 化 学 | 2. | 218 | 同 上 第1部 | | | |
| 162 | 定量分析実験 | 3.0 | 251 | 同 上 第2部 | | | |
| 163 | 定性分析実験 | 2.0 | 301 | 色 染 実 験 | 1.5 | | |
| | | | 302 | 紡織機構学 | 2.5 | | |
| | | | | 纖維物理学 | 2.5 | | |

| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 備考 |
|------|----------|-----|----|------|-----------|-----|----|
| 303 | 纖維化学 | 2.5 | | 410 | 硝子及珐瑯 | 3.0 | |
| 304 | 織物構造学第1 | 2.5 | | 411 | 陶磁史 | 1.0 | |
| 305 | 織物設計学第1 | 2.5 | | 412 | 陶磁器工業 | 2.0 | |
| 306 | 纖維工学実験第1 | 6.0 | | 413 | 硝子工業 | 2.0 | |
| 307 | 紡績学第1部 | 2.5 | | 414 | 耐火物工業 | 2.0 | |
| 208 | 同上第2部 | 2.5 | | 515 | 窯業工学実験第1部 | 1.5 | |
| 309 | 織物構造学第2 | 2.5 | | 416 | 同上第2部 | 1.5 | |
| 310 | 織物設計学第2 | 2.5 | | 417 | 同上第3部 | 1.5 | |
| 311 | 織機構造学 | 2.5 | | 418 | 同上第4部 | 1.5 | |
| 312 | 織物仕上学 | 2.5 | | 419 | セメント工業 | 1.0 | |
| 313 | 紡織試験法第1部 | 2.5 | | 420 | 窯業特別講義 | 1.0 | |
| 314 | 同上第2部 | 2.5 | | 421 | 窯業窯炉設計及製図 | 3.0 | |
| 315 | 人造纖維学 | 2.0 | | 422 | 窯業実習第1 | | |
| 316 | 編組学 | 1.5 | | 423 | 同上第2 | | |
| 317 | 纖維工学実験第2 | 7.0 | | 501 | 高分子化学 | 2.0 | |
| 318 | 色彩学及図案 | 1.0 | | 502 | 工業合成化学 | 2.0 | |
| 319 | 染織史 | 1.5 | | 503 | 工業化学測定法 | 2.0 | |
| 320 | 紡績学第3部 | 1.0 | | 504 | 工業化学無機 | 2.5 | |
| 321 | 同上第4部 | 1.0 | | 505 | 工業化学有機 | 3.5 | |
| 322 | 紡織工場設備 | 1.0 | | 506 | 同上第2部 | 3.5 | |
| 323 | 染織統制 | 1.0 | | 507 | 工業化学実験 | 6.0 | |
| 324 | 紡織輪講 | 1.5 | | 508 | 工業化学特論第1部 | 1.5 | |
| 325 | 纖維工学実験第3 | 7.5 | | 509 | 同上第2部 | 1.0 | |
| 326 | 紡織特別講義 | | | 510 | 火薬学及実験 | 1.0 | |
| 327 | 紡織実習 | | | 511 | 工業化学計画 | 1.0 | |
| 351 | 紡織大意甲類 | 1.0 | | 512 | 応用化学実習第1 | | |
| 352 | 紡織仕上学大意 | 1.0 | | 513 | 同上第2 | | |
| 353 | 紡織実験 | 0.5 | | 551 | 纖維素 | 1.0 | |
| 354 | 紡織大意乙類 | 1.0 | | 601 | 電気材料化学 | 2.0 | |
| 401 | 結晶学 | 1.5 | | 602 | 電気化学要論 | 2.5 | |
| 402 | 熔融論 | 2.0 | | 603 | 理論電気化学 | 2.5 | |
| 403 | 珪酸塩固相論 | 1.5 | | 604 | 界面電気化学 | 2.0 | |
| 404 | 窯業原料 | 1.0 | | 605 | 放射線化学 | 1.5 | |
| 405 | 窯業冶金学 | 1.5 | | 606 | 電気化学実験法 | 2.0 | |
| 406 | 窯業燃焼装置 | 1.0 | | 607 | 金属電気化学 | 2.5 | |
| 407 | 及陶磁 | 3.5 | | 608 | 非金属電気化学 | 1.5 | |
| 408 | 耐火物 | 2.5 | | 609 | 金属材料化学 | 1.5 | |
| 409 | セメント | 3.0 | | 610 | 高圧化学工業 | 1.0 | |

| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 備考 |
|------|-----------|-----|----|------|-----------|-----|----|
| 611 | 生物化学 | 1.5 | | 731 | 起重機及運搬機 | 1.0 | |
| 611 | 電気化学輪講 | 1.5 | | 732 | 機械工学特別講義 | | |
| 613 | 電気化学演習 | 2.0 | | 733 | 機械工学実習 | | |
| 614 | 電気化学特別講義 | 1.0 | | 751 | 機械工学大意 | 3.5 | |
| 615 | 電気化学実験 | 6.5 | | 752 | 水力原動機 | 1.5 | |
| 616 | 試金術及実験 | 1.0 | | 753 | 火力原動機 | 1.5 | |
| 617 | 電気化学製図 | 1.0 | | 754 | 機械設計及製図 | 4.5 | |
| 701 | 材料力学 | 2.5 | | 755 | 同上乙類 | 2.0 | |
| 702 | 応用弾性学 | 1.0 | | 756 | 同上丙類 | 2.0 | |
| 703 | 水力学 | 2.5 | | 757 | 機械工学実験 | 2.5 | |
| 704 | 応用流体力学 | 1.0 | | 801 | 電気磁気学 | 5.5 | |
| 705 | 工業熱力学 | 3.0 | | 802 | 交流理論 | 3.0 | |
| 706 | 機構学 | 2.5 | | 803 | 電気回路理論 | 3.0 | |
| 707 | 機械設計 | 2.5 | | 804 | 電子工学 | 3.0 | |
| 708 | 機械製作法 | 2.5 | | 805 | 電気材料通論 | 2.0 | |
| 709 | 機械製作実習 | 2.5 | | 806 | 電気測定及測定器具 | 5.0 | |
| 710 | 蒸汽原動機第1 | 1.5 | | 807 | 電気機械器具第1 | 3.0 | |
| 711 | 機械工学演習第1 | 1.5 | | 808 | 電気工学演習第1 | 3.5 | |
| 712 | 機械設計及製図第1 | 6.0 | | 809 | 電気工学実験第1 | 5.0 | |
| 713 | 機械力学 | 2.0 | | 810 | 電気機械器具第2 | 3.0 | |
| 714 | 実験機械工学 | 2.0 | | 811 | 送配電工学 | 3.5 | |
| 715 | 水力機械 | 2.5 | | 812 | 発電所及変電所 | 1.5 | |
| 716 | 蒸汽原動機第2 | 2.5 | | 813 | 電気鉄道 | 1.5 | |
| 717 | 内燃機関 | 2.5 | | 814 | 電燈照明 | 1.5 | |
| 718 | 工作機械 | 2.5 | | 815 | 電力応用 | 1.5 | |
| 719 | 工作機械特論 | 1.5 | | 816 | 有線通信工学 | 2.5 | |
| 720 | 精密機械工学 | 2.5 | | 817 | 高周波電気工学 | 2.5 | |
| 721 | 機械設計及製図第2 | 6.0 | | 818 | 高電圧工学 | 2.0 | |
| 722 | 機械工学演習第2 | 1.5 | | 819 | 電気機械器具試験法 | 2.0 | |
| 723 | 機械工学実験甲類 | 4.0 | | 820 | 電気工学設計 | 2.0 | |
| 724 | 機械製作法特論 | 2.0 | | 821 | 電気法規 | 1.0 | |
| 725 | 船用機関大意 | 1.0 | | 822 | 電気工学演習第2 | 2.0 | |
| 726 | 冷凍及冷蔵 | 1.0 | | 823 | 電気工学製図第1 | 3.0 | |
| 727 | 暖房及冷房 | 1.0 | | 824 | 電気工学実験第2 | 5.0 | |
| 728 | 圧縮機 | 1.0 | | 825 | 電気機械器具特論 | 2.0 | |
| 729 | 鉄道車輛 | 2.0 | | | | | |
| 730 | 自動車工学 | 2.0 | | | | | |

| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 備考 |
|------|------------|-----|----|------|-----------|------|----|
| 826 | 送配電特論 | 1.0 | | 918 | 構造学演習第2 | 2.5 | |
| 827 | 発変電所特論 | 1.0 | | 919 | 建築設計及製図第2 | 14.0 | |
| 828 | 電力応用特論 | 1.0 | | 920 | 建築施工 | 4.0 | |
| 829 | 有線通信工学特論 | 2.0 | | 921 | 都市計画及建築法規 | 2.0 | |
| 830 | 高周波電気工学特論 | 2.0 | | 922 | 工芸史 | 2.0 | |
| 831 | 電気音響学 | 1.0 | | 923 | 庭園学 | 1.0 | |
| 832 | 電気工学設計特論 | 1.0 | | 924 | 築建経営 | 1.5 | |
| 833 | 電気工学演習第3 | 1.0 | | 925 | 構造学演習第3 | 1.0 | |
| 834 | 電気工学製図第2 | 1.0 | | 926 | 建築設計及製図第3 | 8.5 | |
| 835 | 電気工学実験第3 | 3.0 | | 927 | 彫塑 | 2.0 | |
| 836 | 電気工学特別講義第1 | | | 951 | 建築学大意 | 1.0 | |
| 837 | 同上第2 | | | 1001 | 空気力学第1 | 5.0 | |
| 838 | 電気工学実習 | | | 1002 | 飛行機力学第1 | 2.5 | |
| 851 | 電気工学第1 | 2.5 | | 1003 | 飛行機構造理論第1 | 2.5 | |
| 852 | 同上第2 | 2.5 | | 1004 | 航空原動機汎論 | 2.5 | |
| 853 | 電気工学大意 | 2.5 | | 1005 | 航空工学演習第1 | 3.0 | |
| 854 | 電気工学実験甲類 | 2.0 | | 1006 | 航空工学輪講第1 | 1.5 | |
| 855 | 同上乙類 | 2.0 | | 1007 | 航空機製図 | 5.0 | |
| 856 | 同上丙類 | 0.5 | | 1008 | 航空工学実験第1 | 2.5 | |
| 901 | 構造力学 | 4.0 | | 1009 | 空気力学第2 | 5.0 | |
| 902 | 建築材料 | 5.0 | | 1010 | 飛行機力学第2 | 2.5 | |
| 903 | 建築構造第1 | 5.0 | | 1011 | 飛行機構造理論第2 | 5.0 | |
| 904 | 建築史 | 5.0 | | 1012 | 飛行機計画 | 2.5 | |
| 905 | 建築計画第1 | 5.0 | | 1013 | 飛行機設計 | 2.5 | |
| 906 | 構造学演習第1 | 2.5 | | 1014 | 飛行機工作法 | 1.5 | |
| 907 | 建築設計及製図第1 | 8.5 | | 1015 | 航空原動機力学 | 2.5 | |
| 908 | 自在画 | 2.5 | | 1016 | 航空原動機及同演習 | 4.0 | |
| 909 | 耐震学 | 2.5 | | 1017 | 航空原動機工作法 | 1.5 | |
| 910 | 建築構造第2 | 5.0 | | 1018 | 航空工学演習第2 | 3.0 | |
| 911 | 建築衛生 | 2.5 | | 1019 | 航空工学輪講第2 | 1.5 | |
| 912 | 建築意匠 | 2.0 | | 1020 | 航空機設計及製図 | 5.0 | |
| 913 | 建築計画第2 | 5.0 | | 1021 | 航空工学実験第2 | 2.5 | |
| 914 | 電気設備 | 2.5 | | 1022 | 空気力学特論 | 2.0 | |
| 915 | 杜寺建築 | 2.5 | | 1023 | 飛行機力学特論 | 2.0 | |
| 916 | 防空建築 | 2.5 | | 1024 | 推進機構学 | 2.0 | |
| 917 | 測量及演習 | 2.0 | | 1025 | 飛行機構造理論特論 | 2.0 | |

| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 備考 |
|------|----------|-----|----|------|-----------|-----|----|
| 1026 | 水上機 | 1.0 | | 1204 | 金属化学第1部 | 2.0 | |
| 1027 | 装備及兵装 | 1.0 | | 1205 | 同上第2部 | 2.5 | |
| 1028 | 航空原動機特論 | 2.0 | | 1206 | 金属化学演習 | 1.5 | |
| 1029 | 航空計器 | 1.0 | | 1207 | 金属化学実験 | 1.5 | |
| 1030 | 航空氣象学 | 1.0 | | 1208 | 鋳物及鋳床学 | 2.5 | |
| 1031 | 航空工学輪講第3 | 1.0 | | 1209 | 冶金学大意 | 2.5 | |
| 1032 | 航空工学実習第1 | | | 1210 | 冶金学第1部 | 3.5 | |
| 1033 | 航空工学実験第2 | | | 1211 | 同上第2部 | 2.5 | |
| 1034 | 同上第3 | | | 1212 | 材料試験 | 2.0 | |
| 1051 | 航空工学大意 | 2.5 | | 1213 | 材料試験実験 | 1.0 | |
| 1101 | 化学工学緒論 | 2.5 | | 1214 | 金属分析実験 | 2.0 | |
| 1102 | 化学機械学 | 3.5 | | 1215 | 金属物理学 | 2.0 | |
| 1103 | 化学工学演習第1 | 2.0 | | 1216 | 冶金学第3部 | 2.0 | |
| 1104 | 化学工学第1部 | 2.5 | | 1217 | 金属材料学第1部 | 2.5 | |
| 1105 | 同上第2部 | 2.5 | | 1218 | 同上第2部 | 2.5 | |
| 1106 | 同上第3部 | 2.5 | | 1219 | 金属加工学第1部 | 2.5 | |
| 1107 | 同上第4部 | 2.5 | | 1220 | 同上第2部 | 2.0 | |
| 1108 | 金属腐蝕及防蝕 | 1.5 | | 1221 | 金属工学特別講義 | | |
| 1109 | 化学工学演習第2 | 3.0 | | 1222 | 金属工学設計及製図 | 2.5 | |
| 1110 | 化学工学製図 | 1.5 | | 1223 | 金属工学実験 | 3.5 | |
| 1111 | 化学工学実験 | 2.0 | | 1224 | 金属工学実験第1 | | |
| 1112 | 製造化学実験 | 2.0 | | 1225 | 同上第2 | | |
| 1113 | 高温化学技術 | 2.0 | | 1251 | 金属工学大意 | 2.5 | |
| 1114 | 高压化学技術 | 2.0 | | 1301 | 工業触媒化学 | 2.0 | |
| 1115 | 経済最適問題 | 2.0 | | 1302 | 熱量計算 | 1.0 | |
| 1116 | 工場設計 | 2.0 | | 1303 | 燃料工学基礎実験 | 2.0 | |
| 1117 | 化学工学特別講義 | 2.5 | | 1304 | 燃料工学第1部 | 2.5 | |
| 1118 | 化学工学演習第3 | 3.0 | | 1305 | 燃料工学第2部 | 2.5 | |
| 1119 | 化学装置設計製図 | 2.0 | | 1306 | 同上第3部 | 5.0 | |
| 1120 | 工業化計画実験 | 3.0 | | 1307 | 同上第4部 | 2.5 | |
| 1121 | 化学工学実習 | | | 1308 | 燃料工学演習 | 1.5 | |
| 1151 | 化学工学大意 | 2.5 | | 1309 | 燃料工学設計製図 | 1.0 | |
| 1152 | 化学工学演習実験 | 1.5 | | 1310 | 燃料工学実験第1部 | 1.5 | |
| 1201 | 金属材料及組織学 | 2.5 | | 1311 | 同上第2部 | 1.5 | |
| 1202 | 物理冶金学 | 2.5 | | 1312 | 同上第3部 | 2.5 | |
| 1203 | 物理冶金学実験 | 2.5 | | 1313 | 同上第4部 | 1.5 | |
| | | | | 1351 | 燃料工学大意 | 2.5 | |

| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 備考 |
|---|-----------|-----|-------------------------|----------|---------|--------------|----|
| 1352 | 内燃機燃料 | 1.0 | 附属高等工業教員養成所に於ける必修授業科目とす | 第2学年度 | | | |
| 1401 | 国民道徳 | 4.5 | | 122 | 応用物理学 | 2.5 | |
| 1402 | 哲学概論 | 2.5 | | 152 | 物理化学実験 | 2.0 | |
| 1403 | 心理学 | 3.5 | | 169 | 工業分析実験 | 1.0 | |
| 1404 | 教育学 | 2.5 | | 201 | 膠質化学 | 2.0 | |
| 1405 | 教育史 | 2.5 | | 202 | 染料膠質学 | 1.0 | |
| 1406 | 教育法 | 1.0 | | 203 | 染料化学 | 3.5 | |
| 1407 | 教育制度及教育法令 | 1.5 | | 204 | 有機合成化学 | 2.5 | |
| 1408 | 社会学 | 2.5 | | 205 | 色染化学 | 3.0 | |
| 摘要 | | | | 206 | 纖維処理化学 | 1.5 | |
| 本表に掲ぐる授業科目の外適当と認むるものは随時特別の講義として授業することあるべし | | | | 207 | 有機化学実験法 | 1.0 | |
| 染料化学科課程 | | | | 208 | 染料化学科演習 | 0.5 | |
| 第1学年度 | | | | 209 | 同上第1部 | 0.5 | |
| 103 | 数学解析 甲類 | 3.5 | 210 | 同上第2部 | 0.5 | | |
| 106 | 実験値計算法 | 2.0 | 211 | 同上第3部 | 0.5 | | |
| 111 | 一般物理学 | 4.0 | 212 | 同上第4部 | 0.5 | | |
| 112 | 物理学実験 | 1.5 | 213 | 染料化学科実験 | 2.5 | | |
| 131 | 無機化学 | 2.5 | 214 | 同上第1部 | 2.5 | | |
| 132 | 無機化学実験 | 1.0 | 215 | 同上第2部 | 2.5 | | |
| 134 | 分光化学 | 1.0 | 216 | 同上第3部 | 2.5 | | |
| 141 | 有機化学 | 3.5 | 217 | 同上第4部 | 2.5 | | |
| 142 | 有機化学実験 | 2.5 | 218 | 同上第5部 | 1.5 | | |
| 151 | 物理化学 | 4.5 | 218 | 染料化学科演習 | 0.5 | | |
| 161 | 分析化学 | 2.0 | 318 | 色彩学及図案 | 1.0 | | |
| 162 | 定量分析実験 | 3.0 | 351 | 紡織大意 甲類 | 1.0 | | |
| 163 | 定性分析実験 | 2.0 | 352 | 紡織仕上学大意 | 1.0 | | |
| 183 | 無機化学工業概論 | 2.0 | 353 | 紡織実験 | 0.5 | | |
| 184 | 有機化学工業概論 | 2.5 | 501 | 高分子化学 | 2.0 | | |
| 217 | 染料化学科演習 | 0.5 | 551 | 纖維素 | 1.0 | | |
| 401 | 結晶学 | 1.5 | 605 | 放射線化学 | 1.5 | | |
| 510 | 火薬学及実験 | 1.0 | 856 | 電気工学実験 | 0.5 | | |
| 751 | 機械工学大意 | 3.5 | 1151 | 化学工学大意 | 2.5 | | |
| 756 | 機械設計及興図 | 2.0 | 1152 | 化学工学演習実験 | 0.5 | 第3学年 度に継続 | |
| 853 | 電気工学大意 | 2.5 | 1301 | 工業触媒化学 | 2.0 | | |
| | | | 1351 | 燃料工学大意 | 2.5 | | |
| 第3学年度 | | | | 120 | 物理学特論 | 2.5 | |
| | | | 121 | 物理量測定法 | 1.5 | | |

| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 備考 |
|--------|----------|-----|----|--------|---------|-----|----|
| 133 | 無機化学特論 | 2.0 | | 307 | 紡織学 第1部 | 2.5 | |
| 146 | 有機化学特論 | 2.0 | | 308 | 同上 第2部 | 2.5 | |
| 154 | 物理化学特論 | 2.0 | | 309 | 織物構造学第2 | 2.5 | |
| 155 | 同上 第1部 | 2.0 | | 310 | 織物設計学第2 | 2.5 | |
| 191 | 経済学総論 | 2.0 | | 311 | 織物構造学 | 2.5 | |
| 192 | 工場立地及管理 | 1.0 | | 312 | 織物仕上学 | 2.5 | |
| 193 | 法制大意 | 2.0 | | 313 | 織物試験法 | 2.5 | |
| 303 | 纖維化学 | 2.5 | | 314 | 同上 第1部 | 2.5 | |
| 319 | 染織史 | 1.5 | | 315 | 同上 第2部 | 2.5 | |
| 503 | 工業化学測定法 | 2.0 | | 316 | 人造纖維学 | 2.0 | |
| 951 | 建築学大意 | 1.0 | | 317 | 編組学 | 1.5 | |
| 1152 | 化学工学演習実験 | 1.5 | | 317 | 纖維工学実験 | 7.0 | |
| 紡織学科課程 | | | | 327 | 紡織実習 | | |
| 第1学年度 | | | | 501 | 高分子化学 | 2.0 | |
| 101 | 数学 | 4.0 | | 708 | 機械製作法 | 2.5 | |
| 102 | 数学演習 | 1.5 | | 751 | 機械工学大意 | 3.5 | |
| 106 | 実験値計算法 | 2.0 | | 757 | 機械工学実験 | 2.5 | |
| 111 | 一般物理学 | 4.0 | | 757 | 機械工学実験 | 2.5 | |
| 112 | 物理学実験 | 1.5 | | 854 | 電気工学実験 | 2.0 | |
| 113 | 力学 | 2.5 | | | | | |
| 121 | 物理量測定法 | 1.5 | | 第3学年度 | | | |
| 165 | 分析実験 乙類 | 2.5 | | 120 | 物理学特論 | 2.5 | |
| 181 | 化学通論 | 2.5 | | 191 | 経済学総論 | 2.0 | |
| 301 | 紡織機構学 | 2.5 | | 192 | 工場立地及管理 | 1.0 | |
| 302 | 纖維物理学 | 2.5 | | 193 | 法制大意 | 2.0 | |
| 303 | 纖維化学 | 2.5 | | 318 | 色彩学及図案 | 1.0 | |
| 304 | 織物構造学第1 | 2.5 | | 319 | 染織史 | 1.5 | |
| 305 | 織物設計学第1 | 2.5 | | 320 | 紡織学 第3部 | 1.0 | |
| 306 | 纖維工学実験 | 6.0 | | 321 | 同上 第4部 | 1.0 | |
| 755 | 機械設計及興図 | 2.0 | | 322 | 紡織工場設備 | 1.0 | |
| 853 | 電気工学大意 | 2.5 | | 323 | 染織統制 | 1.0 | |
| 第2学年度 | | | | 324 | 紡織輪講 | 1.5 | |
| 122 | 応用物理学 | 2.5 | | 325 | 纖維工学実験 | 7.5 | |
| 208 | 色染化学 | 3.0 | | 326 | 紡織特別講義 | | |
| 251 | 色染実験 | 1.5 | | 951 | 建築学大意 | 1.0 | |
| 第3学年度 | | | | 窯業学科課程 | | | |
| 第1学年度 | | | | 104 | 数学解析 乙類 | 2.5 | |

| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 備考 |
|-------|---------------|-----|----|---------|---------------|-----|--------------|
| 111 | 一般物理学 | 4.0 | | 411 | 陶磁史 | 1.0 | |
| 112 | 物理学実験 | 1.5 | | 412 | 陶磁器工業 | 2.0 | 第3学年 度に継続 |
| 131 | 無機化学 | 2.5 | | 413 | 硝子工業 | 2.0 | |
| 132 | 無機化学実験 | 1.0 | | 414 | 耐火物工業 | 2.0 | |
| 134 | 分光化学 | 1.0 | | 415 | 窯業工学実験 第1部 | 1.5 | |
| 141 | 有機化学 | 3.5 | | 416 | 同上第2部 | 1.5 | |
| 151 | 物理化学 | 4.5 | | 417 | 同上第3部 | 1.5 | |
| 153 | 物理化学演習 | 0.5 | | 418 | 同上第4部 | 1.5 | |
| 161 | 分析化学 | 2.0 | | 422 | 窯業実習第1 | | |
| 162 | 定量分析実験 | 3.0 | | 501 | 高分子化学 | 2.0 | |
| 163 | 定性分析実験 | 2.0 | | 503 | 工業化学測定法 | 2.0 | |
| 166 | 工業分析実験 乙類 | 1.5 | | 605 | 電気材料化学 | 2.0 | |
| 183 | 無機化学工業概 論 | 2.0 | | 606 | 放射線化学 | 1.5 | |
| 318 | 色彩学及図案 | 1.0 | | 856 | 電気工学実験 丙類 | 0.5 | |
| 401 | 結晶学 | 1.5 | | 1113 | 高温化学技術 | 2.0 | |
| 402 | 熔融論 | 2.0 | | 1115 | 化学工学大意 | 2.5 | 第3学年 度に継続 |
| 404 | 窯業原料 | 1.0 | | 1152 | 化学工学演習実 験 | | |
| 751 | 機械工学大意 | 3.5 | | 1201 | 金属材料及組織 学 | 2.5 | |
| 755 | 機械設計及製図 丙類 | 2.0 | | 第3学年度 | | | |
| 853 | 電気工学大意 | 2.5 | | 154 | 物理化学特論 第1部 | 2.0 | |
| 1351 | 燃料工学大意 | 2.5 | | 191 | 経済学総論 | 2.0 | |
| 第2学年度 | | | | 192 | 工場立地及管理 法 | 1.0 | |
| 118 | 熱及熱伝導論 | 1.5 | | 193 | 法制大意 | 2.0 | |
| 120 | 物理学特論 | 2.5 | | 421 | 陶磁器工業 | 2.0 | |
| 122 | 応用物理学 | 2.5 | | 431 | 硝子工業 | 2.0 | |
| 133 | 無機化学特論 | 2.0 | | 419 | セメント工業 | 1.0 | |
| 144 | 有機化学実験 丙類 | 2.0 | | 420 | 窯業特別講義 | 1.0 | |
| 152 | 物理化学実験 | 2.0 | | 421 | 窯業窯炉設計及 製図 | 3.0 | |
| 201 | 膠質化学 | 2.0 | | 423 | 窯業実習第2 | | |
| 403 | 珪酸塩固相論 | 1.5 | | 951 | 建築学大意 | 1.0 | |
| 405 | 窯業冶金学 | 1.5 | | 1152 | 化学工学演習実 験 | 1.5 | |
| 406 | 窯業燃料及燃焼 装置 | 1.0 | | 応用化学科課程 | | | |
| 407 | 陶磁器 | 3.5 | | 第1学年度 | | | |
| 408 | 耐火物 | 2.5 | | 103 | 数学解析 甲類 | 3.5 | |
| 409 | セメント | 3.0 | | 106 | 実験値計算法 | 2.0 | |
| 410 | 硝子及珪 酸 | 3.0 | | | | | |

| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 備考 |
|-------|---------------|-----|----|---------|---------------|-----|--------------|
| 111 | 一般物理学 | 4.0 | | 511 | 工業化学計画 | 1.0 | |
| 112 | 物理学実験 | 1.5 | | 512 | 応用化学実習 第1部 | 2.0 | |
| 131 | 無機化学 | 2.5 | | 601 | 電気材料化学 | 2.0 | |
| 132 | 無機化学実験 | 1.0 | | 608 | 非金属電気化学 | 1.5 | |
| 134 | 分光化学 | 1.0 | | 856 | 電気工学実験 丙類 | 0.5 | |
| 141 | 有機化学 | 3.5 | | 1151 | 化学工学大意 | 2.5 | 第3学年 度に継続 |
| 143 | 有機化学実験 乙類 | | | 1152 | 化学工学演習実 験 | | |
| 151 | 物理化学 | 4.5 | | 1251 | 金属工学大意 | 2.5 | |
| 153 | 物理化学演習 | 0.5 | | 1301 | 工業触媒化学 | 2.0 | |
| 161 | 分析化学 | 2.0 | | 1351 | 燃料工学大意 | 2.5 | |
| 162 | 定量分析実験 | 3.0 | | 第3学年度 | | | |
| 163 | 定性分析実験 | 2.0 | | 105 | 応用数学特論 | 2.5 | |
| 168 | 工業分析実験 丙類 | 1.5 | | 120 | 物理学特論 | 2.5 | |
| 182 | 化学工業総論 | 2.0 | | 133 | 無機化学特論 | 2.0 | |
| 183 | 無機化学工業概 論 | 2.0 | | 146 | 有機化学特論 | 2.0 | |
| 184 | 有機化学工業概 論 | 2.5 | | 155 | 物理化学特論 第2部 | 2.0 | |
| 401 | 結晶学 | 1.5 | | 191 | 経済学総論 | 2.0 | |
| 751 | 機械工学大意 | 3.5 | | 193 | 法制大意 | 2.0 | |
| 756 | 機械設計及製図 丙類 | 2.0 | | 513 | 応用化学実習 第二部 | 1.0 | |
| 853 | 電気工学大意 | 2.5 | | 951 | 建築学大意 | 1.0 | |
| 第2学年度 | | | | 1152 | 化学工学演習実 験 | 1.5 | |
| 第2学年度 | | | | 電気化学科課程 | | | |
| 第2学年度 | | | | 第1学年度 | | | |
| 143 | 有機化学実験 乙類 | 2.5 | | 101 | 数学 | 4.0 | |
| 152 | 物理化学実験 | 2.0 | | 102 | 数学演習 | 1.5 | |
| 154 | 物理化学特論 第1部 | 2.0 | | 111 | 一般物理学 | 4.0 | |
| 201 | 膠質化学 | 2.0 | | 112 | 物理学実験 | 1.5 | |
| 402 | 溶融論 | 2.0 | | 131 | 無機化学 | 2.5 | |
| 501 | 高分子化学 | 2.0 | | 132 | 無機化学実験 | 1.0 | |
| 502 | 工業合成化学 | 2.0 | | 134 | 分光化学 | 1.0 | |
| 503 | 工業化学測定法 | 3.0 | | 141 | 有機化学 | 3.4 | |
| 504 | 工業化学無機 | 2.5 | | 151 | 物理化学 | 4.5 | |
| 505 | 工業化学有機 第1部 | 3.5 | | 161 | 分析化学 | 2.0 | |
| 506 | 同上第2部 | 3.5 | | 162 | 定量分析実験 | 3.0 | |
| 507 | 工業化学実験 | 6.0 | | 163 | 定性分析実験 | 2.0 | |
| 508 | 工業化学特論 第1部 | 1.5 | | | | | |
| 509 | 同上第2部 | 1.0 | | | | | |
| 510 | 火薬学及実験 | 1.0 | | | | | |

| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 備考 |
|-------|---------------|-----|--------------|------------------|--------------|-----|----|
| 166 | 工業分析実験 甲類 | 2.5 | 第2学年 度に継続 | 184 | 有機化学工業概 論 | 2.5 | |
| 401 | 結晶学 | 1.5 | | 191 | 経済学総論 | 2.0 | |
| 602 | 電気化学要論 | 2.5 | | 192 | 工場立地及管理 法 | 1.0 | |
| 609 | 金属材料化学 | | | 193 | 法制大意 | 2.0 | |
| 611 | 生物化学 | | | 201 | 膠質化学 | 2.0 | |
| 751 | 機械工学大意 乙類 | 3.5 | | 614 | 電気化学特別講 義 | 1.0 | |
| 756 | 機械設計及製図 乙類 | 2.0 | | 616 | 試金術及実験 | 1.0 | |
| 851 | 電気工学 第1 | 2.5 | 617 | 電気化学製図 | 1.0 | | |
| 第2学年度 | | | | 951 | 建築学大意 | 1.0 | |
| 144 | 有機化学実験 丙類 | 2.0 | 第3学年 度に継続 | 1152 | 化学工学演習実 験 | 1.5 | |
| 152 | 物理化学実験 | 2.0 | | 1301 | 工業触媒化学 | 2.0 | |
| 154 | 物理化学特論 第1部 | 2.0 | | 機械工学科課程 第1学年度 | | | |
| 402 | 熔融論 | 2.0 | | 101 | 数学 | 4.0 | |
| 501 | 高分子化学 | 2.0 | | 102 | 数学演習 | 1.5 | |
| 601 | 電気材料化学 | 2.0 | | 106 | 実験値計算法 | 2.0 | |
| 603 | 理論電気化学 | 2.5 | | 111 | 一般物理学 | 4.0 | |
| 604 | 界面電気化学 | 2.0 | | 112 | 物理学実験 | 1.5 | |
| 605 | 放射線化学 | 1.5 | | 113 | 力学 | 2.5 | |
| 606 | 電気化学実験法 | 2.0 | | 701 | 材料力学 | 2.5 | |
| 607 | 金属電気化学 | 2.5 | | 703 | 水力学 | 2.5 | |
| 608 | 非金属電気化学 | 1.5 | | 705 | 工業熱力学 | 3.0 | |
| 609 | 金属材料化学 | 1.5 | | 706 | 機構学 | 2.5 | |
| 610 | 高压化学工業 | 1.0 | | 707 | 機械設計 | 2.5 | |
| 611 | 生物化学 | 1.5 | | 708 | 機械製作法 | 2.5 | |
| 612 | 電気化学輪講 | 1.5 | | 709 | 機械製作実習 | 2.5 | |
| 613 | 電気化学演習 | 2.0 | | 710 | 蒸汽原動機第1 | 1.5 | |
| 615 | 電気化学実験 | 6.5 | 711 | 機械工学演習 第1 | 1.5 | | |
| 852 | 電気工学 第2 | 2.5 | 712 | 機械設計及製図 第1 | 6.0 | | |
| 855 | 電気工学実験 乙類 | 2.5 | 851 | 電気工学 第1 | 2.5 | | |
| 1151 | 化学工学大意 | 2.5 | 1201 | 金属材料及組織 学 | 2.5 | | |
| 1152 | 化学工学演習実 験 | | 第2学年度 | | | | |
| 第3学年度 | | | | 105 | 応用数学特論 | 2.5 | |
| 120 | 物理学特論 | 2.5 | 114 | 振動学 | 2.0 | | |
| 122 | 応用物理学 | 2.5 | 115 | 弾性及流体力学 | 2.5 | | |
| 155 | 物理化学特論 第2部 | 2.0 | | | | | |
| 183 | 無機化学工業概 論 | 2.0 | | | | | |

| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 備考 |
|-------|---------------|-----|--------------|------------------|---------------|-----|----|
| 118 | 熱及熱伝導論 | 1.5 | 第3学年 度に継続 | 951 | 建築学大意 | 1.0 | |
| 122 | 応用物理学 | 2.5 | | 1209 | 冶金学大意 | 2.5 | |
| 713 | 機械力学 | 2.0 | | 1352 | 内燃機燃料 | 1.0 | |
| 714 | 実験機械工学 | 2.0 | | 電気工学科課程 第1学年度 | | | |
| 715 | 水力機械 | 2.5 | | 101 | 数学 | 4.0 | |
| 716 | 蒸汽原動機第2 | 2.5 | | 102 | 数学演習 | 1.5 | |
| 717 | 内燃機関 | 2.5 | | 111 | 一般物理学 | 4.0 | |
| 718 | 工作機械 | 2.5 | | 170 | 化学実験 | 2.0 | |
| 719 | 工作機械特論 | 1.5 | | 602 | 電気化学要論 | 2.5 | |
| 720 | 精密機械工学 | 2.5 | | 701 | 材料力学 | 2.5 | |
| 721 | 機械設計及製図 第2 | 6.0 | | 706 | 機構学 | 2.5 | |
| 722 | 機械工学演習 第2 | 1.5 | | 708 | 機械製作法 | 2.5 | |
| 723 | 機械工学実験 甲類 | 4.0 | | 752 | 水力原動機 | 1.5 | |
| 852 | 電気工学 第2 | 2.5 | | 753 | 火力原動機 | 1.5 | |
| 854 | 電気工学実験 甲類 | 2.0 | | 755 | 機械設計及製図 乙類 | 2.0 | |
| 1051 | 航空工学大意 | 2.5 | | 801 | 電気磁気学 | 5.5 | |
| 第3学年度 | | | | 802 | 交流理論 | 3.0 | |
| 116 | 熱力学 | 2.5 | 806 | 電気測定及測定 器具 | 5.0 | | |
| 120 | 物理学特論 | 2.5 | 807 | 電気機械器具 第1 | 3.0 | | |
| 182 | 化学工業総論 | 2.0 | 808 | 電気工学演習 第1 | 3.5 | | |
| 191 | 経済学総論 | 2.0 | 809 | 電気工学実験 第1 | 5.0 | | |
| 192 | 工場立地及管理 法 | 1.0 | 1201 | 金属材料及組織 学 | 2.5 | | |
| 193 | 法制大意 | 2.0 | 第2学年度 | | | | |
| 354 | 紡織大意 乙類 | 1.0 | 105 | 応用数学特論 | 2.5 | | |
| 702 | 応用弾性学 | 1.0 | 757 | 機械工学実験 乙類 | 2.5 | | |
| 704 | 応用流体力学 | 1.0 | 803 | 電気回路理論 | 3.0 | | |
| 724 | 機械製作法特論 | 2.0 | 804 | 電子工学 | 3.0 | | |
| 725 | 船用機関大意 | 1.0 | 805 | 電気材料通論 | 2.0 | | |
| 726 | 冷凍及冷蔵 | 1.0 | 810 | 電気機械器具 第2 | 3.0 | | |
| 727 | 暖房及冷房 | 1.0 | 811 | 送配電工学 | 3.5 | | |
| 728 | 圧縮機 | 1.0 | 812 | 発電所及変電所 | 1.5 | | |
| 729 | 鉄道車輛 | 2.0 | 813 | 電気鉄道 | 1.5 | | |
| 730 | 自動車工学 | 2.0 | 814 | 電燈照明 | 1.5 | | |
| 731 | 起重機及運搬機 | 1.0 | | | | | |
| 732 | 機械工学特別講 義 | | | | | | |
| 733 | 機械工学実習 | | | | | | |

| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 備考 |
|---------------|-------------|-----|----|---------------|------------|------|----|
| 815 | 電力応用 | 1.5 | | 112 | 物理学実験 | 1.5 | |
| 816 | 有線通信工学 | 2.5 | | 901 | 構造力学 | 4.0 | |
| 817 | 高周波電気工学 | 2.5 | | 902 | 建築材料 | 5.0 | |
| 818 | 高電圧工学 | 2.0 | | 903 | 建築構造 第1 | 5.0 | |
| 819 | 電気機械器具試験法 | 2.0 | | 904 | 建築史 | 5.0 | |
| 820 | 電気工学設計 | 2.0 | | 905 | 建築計画 第1 | 5.0 | |
| 821 | 電気法規 | 1.0 | | 906 | 構造学演習第1 | 2.5 | |
| 822 | 電気工学演習 第2 | 2.0 | | 907 | 建築設計及製図 第1 | 8.5 | |
| 823 | 電気工学製図 第1 | 3.0 | | 908 | 自在画 | 2.5 | |
| 824 | 電気工学実験 第2 | 5.0 | | 第2学年度 | | | |
| 836 | 電気工学特別講義 第1 | | | 726 | 暖房及冷房 | 1.0 | |
| 第3学年度 | | | | 909 | 耐震学 | 2.5 | |
| 182 | 化学工業総論 | 2.0 | | 910 | 建築構造 第2 | 5.0 | |
| 191 | 経済学総論 | 2.0 | | 911 | 建築衛生 | 2.5 | |
| 193 | 法制大意 | 2.0 | | 912 | 建築意匠 | 2.0 | |
| 825 | 電気機械器具特論 | 2.0 | | 913 | 建築計画 第2 | 5.0 | |
| 826 | 送配電特論 | 1.0 | | 914 | 電気設備 | 2.5 | |
| 827 | 発電電所特論 | 1.0 | | 915 | 社寺建築 | 2.5 | |
| 828 | 電力応用特論 | 1.0 | | 916 | 防空建築 | 2.5 | |
| 829 | 有線通信工学特論 | 2.0 | | 917 | 測量及演習 | 2.0 | |
| 830 | 高周波電気工学特論 | 2.0 | | 918 | 構造学演習第2 | 2.5 | |
| 831 | 電気音響学 | 1.0 | | 919 | 建築設計及製図 第2 | 14.0 | |
| 832 | 電気工学設計特論 | 1.0 | | 第3学年度 | | | |
| 833 | 電気工学演習 第3 | 1.0 | | 193 | 法制大意 | 2.0 | |
| 834 | 電気工学製図 第2 | 1.0 | | 920 | 建築施工 | 4.0 | |
| 835 | 電気工学実験 第3 | 3.0 | | 921 | 都市計画及建築法規 | 2.0 | |
| 837 | 電気工学特別講義 第2 | | | 922 | 工藝史 | 2.0 | |
| 838 | 電気工学実習 | | | 923 | 庭園学 | 1.0 | |
| 建築学科課程 第1学年度 | | | | 924 | 建築経営 | 1.5 | |
| 101 | 数学 | 4.0 | | 925 | 構造学演習第3 | 1.0 | |
| 102 | 数学演習 | 1.5 | | 926 | 建築設計及製図 第3 | 8.5 | |
| 111 | 一般物理学 | 4.0 | | 927 | 彫塑 | 2.0 | |
| 化学工学科課程 第1学年度 | | | | 化学工学科課程 第1学年度 | | | |
| 101 | 数学 | 4.0 | | 101 | 数学 | 4.0 | |

| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 備考 |
|-------|------------|-----|----|---------------|------------|-----|--------------|
| 102 | 数学演習 | 1.5 | | 1112 | 製造化学実験 | 2.0 | |
| 111 | 一般物理学 | 4.0 | | 1121 | 化学工学実習 | | |
| 112 | 物理学実験 | 1.5 | | 1209 | 冶金学大意 | 2.5 | |
| 113 | 力学 | 2.5 | | 1301 | 工業触媒化学 | 2.0 | |
| 131 | 無機化学 | 2.5 | | 1351 | 燃料工学大意 | 2.5 | |
| 141 | 有機化学 | 3.5 | | 第3学年度 | | | |
| 151 | 物理化学 | 4.5 | | 1113 | 高温化学技術 | 2.0 | |
| 164 | 分析実験 甲類 | 3.5 | | 1114 | 高圧化学技術 | 2.0 | |
| 183 | 無機化学工業概論 | 2.5 | | 1115 | 経済最適問題 | 2.0 | |
| 707 | 機械設計 | 2.5 | | 1116 | 工場設計 | 2.0 | |
| 754 | 機械設計及製図 甲類 | 4.5 | | 1117 | 化学工学特別講義 | 2.5 | |
| 853 | 電気工学大意 | 2.5 | | 1118 | 化学工学演習 第2 | 3.0 | |
| 1101 | 化学工学緒論 | 2.5 | | 1119 | 化学装置設計製図 | 2.0 | |
| 1102 | 化学機械学 | 3.5 | | 1120 | 工業化計画実験 | 3.0 | |
| 1103 | 化学工学演習 第1 | 2.0 | | 金属工学科課程 第1学年度 | | | |
| 1201 | 金属材料及組織学 | 2.5 | | 106 | 実験値計算法 | 2.0 | |
| 第2学年度 | | | | 144 | 有機化学実験 丙類 | 2.0 | |
| 106 | 実験値計算法 | 2.0 | | 152 | 物理化学実験 | 2.0 | |
| 144 | 有機化学実験 丙類 | 2.0 | | 184 | 有機化学工業概論 | 2.5 | |
| 152 | 物理化学実験 | 2.0 | | 201 | 膠質化学 | 2.0 | |
| 184 | 有機化学工業概論 | 2.5 | | 401 | 熔融論 | 2.0 | |
| 201 | 膠質化学 | 2.0 | | 501 | 高分子化学 | 2.0 | |
| 401 | 熔融論 | 2.0 | | 601 | 電気材料化学 | 2.0 | |
| 501 | 高分子化学 | 2.0 | | 701 | 材料力学 | 2.5 | |
| 601 | 電気材料化学 | 2.0 | | 708 | 機械製作法 | 2.5 | |
| 701 | 材料力学 | 2.5 | | 856 | 電気工学実験 丙類 | 0.5 | |
| 708 | 機械製作法 | 2.5 | | 1104 | 化学工学第1部 | 2.5 | |
| 856 | 電気工学実験 丙類 | 0.5 | | 1105 | 同上 第2部 | 2.5 | |
| 1104 | 化学工学第1部 | 2.5 | | 1106 | 同上 第3部 | 2.5 | |
| 1105 | 同上 第2部 | 2.5 | | 1107 | 同上 第4部 | 2.5 | |
| 1106 | 同上 第3部 | 2.5 | | 1108 | 金属腐蝕及防蝕 | 1.5 | |
| 1107 | 同上 第4部 | 2.5 | | 1109 | 化学工学演習 第2 | 3.0 | |
| 1108 | 金属腐蝕及防蝕 | 1.5 | | 1110 | 化学工学製図 | 1.5 | |
| 1109 | 化学工学演習 第2 | 3.0 | | 1111 | 化学工学実験 | 2.0 | |
| 1110 | 化学工学製図 | 1.5 | | 103 | 数学解析 甲類 | 3.5 | |
| 1111 | 化学工学実験 | 2.0 | | 111 | 一般物理学 | 4.0 | |
| 103 | 数学解析 甲類 | 3.5 | | 151 | 物理化学 | 4.5 | |
| 111 | 一般物理学 | 4.0 | | 161 | 分析化学 | 2.0 | |
| 151 | 物理化学 | 4.5 | | 162 | 定量分析実験 | 3.0 | |
| 161 | 分析化学 | 2.0 | | 163 | 定性分析実験 | 2.0 | |
| 162 | 定量分析実験 | 3.0 | | 701 | 材料力学 | 2.5 | |
| 163 | 定性分析実験 | 2.0 | | 751 | 機械工学大意 | 3.5 | |
| 701 | 材料力学 | 2.5 | | 755 | 機械設計及製図 乙類 | 2.0 | |
| 751 | 機械工学大意 | 3.5 | | 853 | 電気工学大意 | 2.5 | |
| 755 | 機械設計及製図 乙類 | 2.0 | | 1202 | 物理冶金学 | 2.5 | |
| 853 | 電気工学大意 | 2.5 | | 1204 | 金属化学第1部 | 2.0 | |
| 1202 | 物理冶金学 | 2.5 | | 1205 | 同上 第2部 | | 第2学年 度に継続 |
| 1204 | 金属化学第1部 | 2.0 | | 1206 | 金属化学演習 | 1.5 | |
| 1205 | 同上 第2部 | | | 1208 | 鉍物及鉍床学 | 2.5 | |
| 1206 | 金属化学演習 | 1.5 | | 1209 | 冶金学大意 | 2.5 | |
| 1208 | 鉍物及鉍床学 | 2.5 | | 1210 | 冶金学 第1部 | | 第3学年 度に継続 |
| 1209 | 冶金学大意 | 2.5 | | 1211 | 同上 第2部 | | |
| 1210 | 冶金学 第1部 | | | 1212 | 材料試験 | 2.0 | |
| 1211 | 同上 第2部 | | | | | | |
| 1212 | 材料試験 | 2.0 | | | | | |

| 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 備考 | 科目番号 | 授業科目 | 単位数 | 備考 |
|-------|--------------|-----|--------------|-------|---------------|-----|----|
| 1213 | 材料試験実験 | 1.0 | 第2学年 度に継続 | 1218 | 同上第2部 | 2.5 | |
| 1214 | 金属分析実験 | | | 1219 | 金属加工学 第1部 | 2.5 | |
| 第2学年度 | | | | 1220 | 同上第2部 | 2.0 | |
| 118 | 熱及熱伝導論 | 1.5 | | 1222 | 金属工学設計及 製図 | 2.5 | |
| 201 | 膠質化学 | 2.0 | | 1223 | 金属工学実験 | 3.5 | |
| 408 | 耐火物 | 2.5 | | 1224 | 金属工学実習 第1 | | |
| 709 | 機械製作実習 | 2.5 | | 第3学年度 | | | |
| 757 | 機械工学実験 乙類 | 2.5 | | 120 | 物理学特論 | 2.5 | |
| 856 | 電気工学実験 丙類 | 0.5 | | 154 | 物理化学特論 第1 | 2.5 | |
| 1113 | 高温化学技術 | 2.0 | | 155 | 同上第2 | 2.5 | |
| 1151 | 化学工学大意 | 2.5 | | 182 | 化学工業総論 | 2.0 | |
| 1203 | 物理冶金学実験 | 2.5 | | 191 | 経済学総論 | 2.0 | |
| 1205 | 金属化学第2部 | 2.0 | | 192 | 工場立地及管理 法 | 1.0 | |
| 1207 | 金属化学実験 | 1.5 | | 193 | 法制大意 | 2.0 | |
| 1210 | 冶金学第1部 | 3.0 | | 720 | 精密機械工学 | 2.5 | |
| 1211 | 同上第2部 | 2.5 | | 951 | 建築学大意 | 1.0 | |
| 1214 | 金属分析実験 | 2.0 | | 1051 | 航空工学大意 | 2.0 | |
| 1215 | 金属物理学 | 2.0 | | 1221 | 金属工学特別講 義 | | |
| 1216 | 冶金学第3部 | 2.0 | | 1225 | 金属工学実習 第2 | | |
| 1217 | 金属材料学 第1部 | 2.5 | | 1351 | 燃料工学大意 | 2.5 | |

(3) 授業科目 (新制大学)

科目及び単位数一覧 (2年までの分)

(註-I, IIは学年, aは前学期, bは後学期を示す。)

1 一般教養科目

人文科学関係

| 学科目 | 授業科目 | 単位数 | | | | 単位数内訳 | | | 担当教官 |
|-----|----------|-----|-----|------|------|-------|----|----|------|
| | | I a | I b | II a | II b | 講義 | 演習 | 実験 | |
| 歴史 | 文化史 第一 | 1 | | | | 1 | 0 | 0 | 加茂 |
| | 文化史 第二 | | 1 | | | 1 | 0 | 0 | |
| 文学 | 文学概論 第一 | 1 | | | | 1 | 0 | 0 | 吉田 |
| | 文学概論 第二 | | 1 | | | 1 | 0 | 0 | |
| 言語学 | 言語学概論 第一 | 1 | | | | 1 | 0 | 0 | 小林 |
| | 言語学概論 第二 | | 1 | | | 1 | 0 | 0 | |
| 哲学 | 哲学概論 第一 | | | 1 | | 1 | 0 | 0 | 古在 |
| | 哲学概論 第二 | | | | 1 | 1 | 0 | 0 | |
| 芸術 | 美術史 概論 | 1 | | | | 1 | 0 | 0 | 嘉門 |
| | 音楽概論 | | 1 | | | 1 | 0 | 0 | |

社会科学関係

| 学科目 | 授業科目 | 単位数 | | | | 単位数内訳 | | | 担当教官 |
|-----|--------|-----|-----|------|------|-------|----|----|----------|
| | | I a | I b | II a | II b | 講義 | 演習 | 実験 | |
| 心理学 | 心理学 第一 | 2 | | | | 2 | 0 | 0 | 宮城 |
| | 心理学 第二 | | 2 | | | 2 | 0 | 0 | |
| 社会学 | 社会学概論 | | 2 | | | 2 | 0 | 0 | 早瀬 加茂 |
| | 社会学思想史 | | | 2 | | 2 | 0 | 0 | |
| 経済学 | 経済学 第一 | | 2 | | | 2 | 0 | 0 | 内田 |
| | 経済学 第二 | | | 2 | | 2 | 0 | 0 | |
| 統計学 | 統計学 第一 | | | 2 | | 2 | 0 | 0 | 河田 |
| | 統計学 第二 | | | | 2 | 2 | 0 | 0 | |
| 法学 | 法学概論 | | | 2 | | 2 | 0 | 0 | 能倉 |
| 政治学 | 政治学概論 | | | 2 | | 2 | 0 | 0 | |

自然科学関係

| 学科目 | 授業科目 | 単位数 | | | | 単位数内訳 | | | 担当教官 | | |
|-----|-----------|-----|---|---|---|-------|---|----|------|----|---|
| | | I | a | b | I | a | b | 講義 | | 演習 | 実験 |
| 数学 | 数同 学第一第二 | 3 | | | | | | 2 | 1 | 0 | 河田, 皆川, 丸山 |
| | | | 3 | | | | | 2 | 1 | 0 | |
| 物理学 | 物理学 第一 | 2 | | | | | | 2 | 0 | 0 | 高木, 原島, 武田 河合, 新栄, 野沢 大石, 三宅, 高木 河合, 武田, 本庄 |
| | 物理学 第二 | 1 | | | | | | 0 | 1 | 0 | |
| | 物理学 実験 第一 | | 2 | | | | | 2 | 0 | 0 | |
| 化学 | 化学 第一 | 2 | | | | | | 2 | 0 | 0 | 植村星野(敏)永廻 河上, 水野, 萩野 植村星野(敏)永廻 斯波, 稲村, 佐藤 (徹) |
| | 化学 第二 | 1 | | | | | | 0 | 0 | 1 | |
| | 化学 実験 第二 | | 2 | | | | | 2 | 0 | 0 | |
| 生物学 | 生物学 第一 | 1 | | | | | | 1 | 0 | 0 | 細井, 永久 |
| | 生物学 第二 | 1 | | | | | | 0 | 0 | 1 | |
| | 生物学 実験 第二 | | 1 | | | | | 1 | 0 | 0 | |
| 図学 | 図同 学第一第二 | 2 | | | | | | 1 | 1 | 0 | 渡辺 清家 |

2 外国語

| 学科目 | 授業科目 | 単位数 | | | | 単位数内訳 | | | 担当教官 | | | |
|-----|--------------|-----|---|---|---|-------|---|----|------|----|--------------------------|---|
| | | I | a | b | I | a | b | 講義 | | 演習 | 実験 | |
| 英語 | 英同 語第一第二第三第四 | 2 | | | | | | 2 | 0 | 0 | 竹沢, 東宮, 伊藤 太田, 安倍 | |
| | | | 2 | | | | | 2 | 0 | 0 | | |
| | | | | 2 | | | | | 2 | 0 | | 0 |
| | | | | | 2 | | | | 2 | 0 | | 0 |
| 独語 | 独同 語第一第二第三第四 | 2 | | | | | | 2 | 0 | 0 | 井上, 武村, 藤田 土井, 小沢, 北条 | |
| | | | 2 | | | | | 2 | 0 | 0 | | |
| | | | | 2 | | | | | 2 | 0 | | 0 |
| | | | | | 2 | | | | 2 | 0 | | 0 |
| 佛語 | 佛同 語第一第二第三第四 | 2 | | | | | | 2 | 0 | 0 | 小林 | |
| | | | 2 | | | | | 2 | 0 | 0 | | |
| | | | | 2 | | | | | 2 | 0 | | 0 |
| | | | | | 2 | | | | 2 | 0 | | 0 |
| 露語 | 露同 語第一第二 | 2 | | | | | | 2 | 0 | 0 | 佐々木 | |
| | | | 2 | | | | | 2 | 0 | 0 | | |

3 体育

| 学科目 | 授業科目 | 単位数 | | | | 単位数内訳 | | | 担当教官 | | |
|-----|------------------|-----|---|---|---|-------|---|----|------|----|----------|
| | | I | a | b | I | a | b | 講義 | | 演習 | 実験 |
| 体育 | 保健衛生 第一第二技 同実 | 1 | | | | | | 1 | 0 | 0 | 浦本 塩谷 |
| | | | 1 | | | | | 1 | 0 | 0 | |

4 専門科目

| 授業科目 | 単位数 | | | | 単位数内訳 | | | 担当教官 | | | |
|--------------|--------------|---|---|---|-------|---|----|------|----|----|--|
| | I | a | b | I | a | b | 講義 | | 演習 | 実験 | |
| 数同物 理 学 第三第四 | 数同物 理 学 第三第四 | 3 | | | | | | 2 | 1 | 0 | 小松, 早川, 国沢 本庄, 市村, 小口 大石, 三宅, 高木 河合, 武田, 本庄 |
| | | | 3 | | | | | 2 | 0 | 0 | |
| 数同物 理 学 第二 | 数同物 理 学 第二 | 1 | | | | | | 0 | 0 | 1 | 三宅, 武田, 本庄 |
| | | | 1 | | | | | 0 | 0 | 1 | |
| 数同物 理 学 第四 | 数同物 理 学 第四 | 2 | | | | | | 2 | 0 | 0 | 崎川, 星野(愷) |
| | | | 2 | | | | | 2 | 0 | 0 | |
| 数同物 理 学 第三 | 数同物 理 学 第三 | 1 | | | | | | 1 | 0 | 0 | 岩崎 |
| | | | 1 | | | | | 1 | 0 | 0 | |
| 数同物 理 学 第一 | 数同物 理 学 第一 | 4 | | | | | | 1 | 1 | 2 | 岩崎 |
| | | | 4 | | | | | 1 | 1 | 2 | |
| 数同物 理 学 第二 | 数同物 理 学 第二 | 1 | | | | | | 0 | 0 | 1 | 益田, 原, 益子 |
| | | | 1 | | | | | 0 | 0 | 1 | |
| 数同物 理 学 第一 | 数同物 理 学 第一 | 1 | | | | | | 0 | 0 | 1 | 清家 岩野 岩井 山田(久) |
| | | | 1 | | | | | 0 | 0 | 1 | |
| 数同物 理 学 第二 | 数同物 理 学 第二 | 1 | | | | | | 1 | 0 | 0 | 内田(俊) |
| | | | 1 | | | | | 1 | 0 | 0 | |
| 数同物 理 学 第一 | 数同物 理 学 第一 | 2 | | | | | | 1 | 1 | 0 | 津村 |
| | | | 2 | | | | | 1 | 1 | 0 | |
| 数同物 理 学 第二 | 数同物 理 学 第二 | 3 | | | | | | 2 | 1 | 0 | 谷口(忠) 齋藤 |
| | | | 3 | | | | | 2 | 1 | 0 | |
| 数同物 理 学 第一 | 数同物 理 学 第一 | 4 | | | | | | 4 | 0 | 0 | 堀 |
| | | | 4 | | | | | 4 | 0 | 0 | |
| 数同物 理 学 第二 | 数同物 理 学 第二 | 1 | | | | | | 0 | 0 | 1 | 堀 |
| | | | 1 | | | | | 0 | 0 | 1 | |
| 数同物 理 学 第一 | 数同物 理 学 第一 | 2 | | | | | | 1 | 0 | 1 | 谷本 |
| | | | 2 | | | | | 1 | 0 | 1 | |

備考

- 各科目に対する単位数算出は原則として次の基準による。
 - 講義に対しては1時間の講義に対し教室外における時間の準備又は学習を必要とすることを考慮し、毎週1時間15週の講義を1単位とする。
 - 数学演習の如き演習は2時間の演習に対し1時間の準備を必要とすることを考慮し、毎週2時間15週の演習を1単位とする。
 - 化学実験、機械実験、工作実習、機械製図、体育の実技の如き実験室又は実習場における授業に対しては、学習は凡て実験室又は実習場において行われるものであることを考慮し、毎週3時間15週の実験又は実習を一単位とする。
- この教授要目に記載してある「毎週授業時間数」は教室内、実験室又は実習場における授業時間数である。

(3) 授業科目 (旧制大学)

標準となる学修課程

共通科目

| 科目名 | 単位 | 一年 | 担当教官 |
|------------|----|----|------------------------|
| | | 前 | |
| 数学 第一及演習 | 6 | 6 | 池原, 河田, 遠山 |
| 一般物理 第一及演習 | 2 | 2 | 新楽 |
| 同 第二及演習 | 2 | 2 | 早川 |
| 同 第三及演習 | 2 | 2 | 河合, 星野(愷), 佐藤(一), 志田 |
| 一般化学 第一及演習 | 2 | 2 | 児島 |
| 同 第二及演習 | 2 | 2 | 永廻, 安藤, 斯波, 長崎 |
| 化学工業総論 | 1 | 2 | 内田(俊) |
| 電気工業総論 | 1 | 2 | 竹内 |
| 機械工業総論 | 1 | 2 | 佐々木 |
| 建築総論 | 1 | 2 | 田辺 |
| 語学 | 2 | 4 | |
| 哲学史 | 1 | 2 | 古在 |
| 物理学実験 第一 | 3 | 3 | 大石, 高木, 三宅, 河合, 武田, 木庄 |
| 化学実験 | 3 | 3 | 田代, 吉田, 阿部, 萩野 |
| 合計 | 29 | 36 | |

応用数学

| 科目名 | 単位 | 一年 | | 二年 | | 三年 | | 担当教官 |
|-------------|----|----|----|----|----|----|---|------------|
| | | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | |
| (共通) | 29 | 36 | | | | | | |
| 数学 第二及演習 | 6 | | 6 | | | | | 池原, 遠山 |
| 力学及演習 | 4 | | 4 | | | | | 原島 |
| 物理化学及演習 | 4 | | 4 | | | | | 志田 |
| 経済学及経済史 | 1 | | 2 | | | | | |
| 幾何学及演習 第一 | 4 | | | 4 | | | | 皆川 |
| 理論物理学及演習 第一 | 3 | | | 3 | | | | 河合, 新楽, 野沢 |
| 代数学及演習 第一 | 4 | | | 4 | | | | 丸山 |
| 社会思想史 | 1 | | | 2 | | | | 武田(良) |
| 解析学及演習 第一 | 4 | | | 4 | | | | 小松 |
| 確率論及統計学 第一 | 3 | | | 3 | | | | 国沢 |
| 幾何学及演習 第二 | 4 | | | | 4 | | | 皆川 |
| 代数学及演習 第二 | 4 | | | | 4 | | | 遠山, 丸山 |
| 解析学及演習 第二 | 4 | | | | 4 | | | 小松 |
| 理論物理学及演習 第二 | 3 | | | | 3 | | | 河合, 新楽, 野沢 |
| 確率論及統計学 第二 | 3 | | | | 3 | | | 河田 |
| 技術史 | 1 | | | | 2 | | | 加茂 |
| 科学史 | 1 | | | | 2 | | | 田中 |
| 数学特別講義中二課目 | 4 | | | | | 4 | | |
| 物理学各論中一課目 | 2 | | | | | 2 | | |
| 医学及生理学 | 1 | | | | | 2 | | 清水(文) |
| 数学特別講義中一課目 | 2 | | | | | | 2 | |
| 心理学 | 1 | | | | | | 2 | 宮城 |
| 芸術史 {音楽 | 1 | | | | | | 2 | 國部 |
| {美術 | 1 | | | | | | 2 | 児島(喜) |
| 合計 | 95 | 36 | 16 | 20 | 22 | 8 | 8 | |

二年後期までの単位数 83

数学特別講義は概ね下記科目中数課目行う。高等幾何学, 群論行列論, 特殊函数論, 広微分方程式, 積分方程式論, 数値計算法, 物理学各論第一群, 流体力学, 振動論, 熱力学

応用物理学

| 科目名 | 単位 | 一年 | | 二年 | | 三年 | | 担当教官 |
|-------------|----|----|----|----|----|----|----|---------------|
| | | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | |
| (共通) | 29 | 36 | | | | | | |
| 数学第二及演習 | 6 | | 6 | | | | | 池原, 遠山 |
| 力学及演習 | 4 | | 4 | | | | | 原島 |
| 物理化学及演習 | 4 | | 4 | | | | | 志田 |
| 経済学及経済史 | 1 | | 2 | | | | | |
| 物理学実験第二 | 3 | | 3 | | | | | 武田(栄), 三宅, 本庄 |
| 実験物理学第一 | 2 | | 2 | | | | | 本庄 |
| 実験物理学第三 | 2 | | | 2 | | | | 武田(栄) |
| 熱力学 | 2 | | | 2 | | | | 原島 |
| 理論物理学及演習第一 | 3 | | | 3 | | | | 野沢 |
| 物理学実験第三 | 6 | | | 6 | | | | 大石 |
| 社会思想史 | 1 | | | 2 | | | | 武田(良) |
| 解析学及演習第一 | 4 | | | 4 | | | | 小松 |
| 電磁場論 | 2 | | | 2 | | | | 三宅 |
| 実験物理学第二 | 2 | | | | 2 | | | 高木 |
| 一般量子論 | 2 | | | | 2 | | | 新業 |
| 技術史 | 1 | | | | 2 | | | 加茂 |
| 科学史 | 1 | | | | 2 | | | 田中 |
| 理論物理学及演習第二 | 3 | | | | 3 | | | 野沢 |
| 物理学実験第四 | 6 | | | | 6 | | | 高木, 三宅 |
| 数学特別講義中一課目 | 2 | | | | | 2 | | |
| 物理学特別講義中二課目 | 4 | | | | | 4 | | |
| 医学及生理学 | 1 | | | | | 2 | | 清水(女) |
| 物理学特別講義中一課目 | 4 | | | | | | 4 | |
| 心理学 | 1 | | | | | | 2 | 宮城 |
| 芸術史 {音楽} | 1 | | | | | | 2 | 園部 |
| 芸術史 {美術} | 1 | | | | | | 2 | 児島(喜) |
| 合計 | 98 | 36 | 21 | 21 | 17 | 8 | 10 | |

二年後期までの単位数 84

物理学特別講義

振動論第一及演習(中田) 振動論第二及演習(佐藤常) 伝熱学及演習(川下) 数理物理学(河合) 統計力学(高木) 物性論(三宅) 物理量測定法(大石) 原子物理学(武田) 流体力学(岡本哲) 光学(武田)

化学

| 科目名 | 単位 | 一年 | | 二年 | | 三年 | | 担当教官 |
|-------------|-----|----|----|----|----|----|----|---------------|
| | | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | |
| (共通) | 29 | 36 | | | | | | |
| 経済学及経済史 | 1 | | 2 | | | | | 永廻, 志田 |
| 物理学及演習 | 4 | | 4 | | | | | 岩崎 |
| 物理化学実験 | 1 | | 2 | | | | | 田代, 吉田(幸), 萩野 |
| 分析化学 | 6 | | 6 | | | | | 植村 |
| 無機化学 | 1 | | 2 | | | | | 星野(敏), 大田 |
| 有機化学 | 2 | | 4 | | | | | 星野(敏), 大田, 岩倉 |
| 物理化学 | 3 | | 3 | | | | | 志田 |
| 生物化学 | 1 | | 3 | | | | | 高宮 |
| 化学反応速度論 | 2 | | | 2 | | | | 志田 |
| 物理化学実験第一 | 6 | | | 6 | | | | 星野(敏), 大田, 岩倉 |
| 物理化学実験第二 | 2 | | | 2 | | | | 安藤 |
| 物理化学実験第三 | 3 | | | 3 | | | | 志田 |
| 分子構造論 | 2 | | | 2 | | | | 児島 |
| 社会思想史 | 1 | | | 2 | | | | 武田(良) |
| 解析学 | 1 | | | 2 | | | | 田中(栄)講師 |
| 電磁場論 | 3 | | | 3 | | | | 安藤 |
| 実験物理学第二 | 2 | | | | 2 | | | 植村, 稲村 |
| 一般量子論 | 3 | | | | 3 | | | 高宮 |
| 技術史 | 1 | | | | 2 | | | 加茂 |
| 科学史 | 1 | | | | 2 | | | 田中 |
| 理論物理学及演習第二 | 1 | | | | 2 | | | 児島(邦) |
| 物理学実験第四 | 1 | | | | 2 | | | 星野(敏), 岩倉 |
| 数学特別講義中一課目 | 2 | | | | 2 | | | 大田 |
| 物理学特別講義中二課目 | 2 | | | | 2 | | | 橋山 |
| 医学及生理学 | 3 | | | | 3 | | | 武田(栄), 三宅, 本庄 |
| 物理学特別講義中一課目 | 9 | | | | 9 | | | |
| 物理学特別講義中二課目 | 1 | | | | | 2 | | 清水(女) |
| 医学及生理学 | 2 | | | | | 2 | | 小島(穎) |
| 物理学特別講義中一課目 | 1 | | | | | 2 | | 植村, 稲村 |
| 心理学 | 2 | | | | | 2 | | 金丸 |
| 芸術史 {音楽} | 1 | | | | | 2 | | 小島(穎) |
| 芸術史 {美術} | 1 | | | | | 2 | | 宮城 |
| 芸術史 {美術} | 1 | | | | | 2 | | 園部 |
| 芸術史 {美術} | 1 | | | | | 2 | | 児島(喜) |
| 合計 | 110 | 36 | 28 | 27 | 24 | 8 | 10 | |

二年後期までの単位数 97

化学特別実験は下記実験中の三つ以内を選択するものとする。

分光化学実験(稲村, 阿部) 有機化学特別実験(星野, 大田, 岩倉) 物理分析実験(田代) 物理化学特別実験(田村, 志田) 膠質化学特別実験(安藤) 地質鉱物実験(山田久) 化学物理特別実験(児島) 無機化学実験(稲村) 生物化学特別実験(高宮)

機械工学第一 (機械一般)

| 科目名 | 単位 | 一年 | | 二年 | | 三年 | | 担当教官 |
|------------|-----|----|----|----|----|----|---|---------------|
| | | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | |
| (共通) 演習 | 29 | 36 | | | | | | |
| 数学第2及演習 | 6 | | 6 | | | | | 池原, 遠山 |
| 力学及演習 | 4 | | 4 | | | | | 原島 |
| 材料力学及演習 | 2 | | 2 | | | | | 津村 |
| 機械要素運動学第1 | 2 | | 2 | | | | | 谷口(修) |
| 水力学及演習 | 2 | | 2 | | | | | 板谷 |
| 工業力学及演習 | 2 | | 2 | | | | | 川下 |
| 機械設計汎論 | 2 | | 2 | | | | | 益子 |
| 金属材料汎論 | 1 | | 2 | | | | | 山田(良) |
| 経済学及経済史 | 1 | | 2 | | | | | |
| 機械製造図学 | 6 | | 6 | | | | | 牧, 斎藤(繁) |
| 弾性学及演習 | 2 | | | 2 | | | | 福田 |
| 応用力学第1及演習 | 2 | | | 2 | | | | 岡本(善) |
| 機械要素運動学第2 | 2 | | | 2 | | | | 谷口(修) |
| 機械工学汎論 | 1 | | | 2 | | | | 海老原 |
| 電気工学原動機史 | 1 | | | 2 | | | | 田代, 斎藤(健), 西巻 |
| 社会思想 | 1 | | | 2 | | | | 吉水 |
| 機械設計製図第1 | 6 | | | 6 | | | | 武田(良) |
| 機械工学実験 | 3 | | | 3 | | | | 牧, 益子, 斎藤(繁) |
| 電気ガススターボンプ | 3 | | | 3 | | | | 海老原, 津村, 板谷 |
| 内燃機関 | 1 | | | 2 | | | | 益田, 川下, 原 |
| 液体内燃機 | 1 | | | 2 | | | | 田代, 斎藤(健), 西巻 |
| 工作機械及演習 | 2 | | | 2 | | | | 吉村 |
| 燃焼体 | 1 | | | 2 | | | | 原 |
| 燃焼反転 | 2 | | | 2 | | | | 山田(英) |
| 工芸学 | 1 | | | 2 | | | | 草間(秀) |
| 機械設計製図第2 | 6 | | | 6 | | | | 海老原 |
| 機械製作実習 | 3 | | | 3 | | | | 益田, 川 |
| 機械構造力学 | 1 | | | 2 | | | | 矢木 |
| 機械輸送 | 1 | | | 2 | | | | 加茂 |
| 運送機械 | 1 | | | 2 | | | | 田中 |
| 自働車工 | 1 | | | 2 | | | | 津村, 板谷, 川下, 原 |
| 冷凍及冷蔵 | 1 | | | 2 | | | | 牧, 草間, 斎藤(繁) |
| 振動論第1及演習 | 1 | | | 2 | | | | 海老原, 益田, 浅枝 |
| 風道及車庄縮理 | 1 | | | 2 | | | | 板谷, 川下, 原 |
| 医学及生理解 | 1 | | | 2 | | | | 福田 |
| 芸術史 | 1 | | | 2 | | | | 近藤 |
| 芸術史 | 1 | | | 2 | | | | 川下 |
| 心理学 | 1 | | | 2 | | | | 牧 |
| 合計 | 112 | 36 | 30 | 26 | 32 | 8 | 6 | 川下, 川下, 中田 |

二年後期までの単位数 105

※※, ○, △, ×印より各一科目選択するか, ○, ×印より二科目選択するを可とす。

機械工学第二 (生産)

| 科目名 | 単位 | 一年 | | 二年 | | 三年 | | 担当教官 |
|------------|-----|----|----|----|----|----|---|-----------------|
| | | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | |
| (共通) 演習 | 29 | 36 | | | | | | |
| 数学第2及演習 | 6 | | 6 | | | | | 池原, 遠山 |
| 力学及演習 | 4 | | 4 | | | | | 原島 |
| 材料力学及演習 | 2 | | 2 | | | | | 津村 |
| 機械要素運動学第1 | 2 | | 2 | | | | | 板谷 |
| 水力学及演習 | 2 | | 2 | | | | | 谷口(修) |
| 機械設計汎論 | 2 | | 2 | | | | | 益子 |
| 金属材料汎論 | 1 | | 2 | | | | | 山田(良) |
| 経済学及経済史 | 1 | | 2 | | | | | |
| 機械製造図学 | 6 | | 6 | | | | | 牧, 斎藤(繁) |
| 弾性学及演習 | 2 | | | 2 | | | | 福田 |
| 応用力学第1及演習 | 2 | | | 2 | | | | 中田 |
| 機械工学汎論 | 1 | | | 2 | | | | 海老原 |
| 電気工学原動機史 | 1 | | | 2 | | | | 海老原 |
| 社会思想 | 1 | | | 2 | | | | 田代, 斎藤(健), 西巻 |
| 機械設計製図第1 | 6 | | | 6 | | | | 山田(良) |
| 機械工学実験 | 3 | | | 3 | | | | 山田(良) |
| 電気ガススターボンプ | 3 | | | 3 | | | | 牧, 益子, 斎藤(繁), 原 |
| 内燃機関 | 1 | | | 2 | | | | 海老原, 津村, 益田 |
| 液体内燃機 | 1 | | | 2 | | | | 板谷, 川下, 原 |
| 工作機械及演習 | 2 | | | 2 | | | | 海老原, 益田, 浅枝 |
| 燃焼体 | 1 | | | 2 | | | | 田代, 斎藤(健), 西巻 |
| 燃焼反転 | 2 | | | 2 | | | | 山本(晃) |
| 工芸学 | 1 | | | 2 | | | | 益田 |
| 機械設計製図第2 | 6 | | | 6 | | | | 海老原 |
| 機械製作実習 | 3 | | | 3 | | | | 益田, 浅枝, 渡辺, 益子 |
| 機械構造力学 | 1 | | | 2 | | | | 浅枝, 益子 |
| 機械輸送 | 1 | | | 2 | | | | 渡辺 |
| 運送機械 | 1 | | | 2 | | | | 益田 |
| 自働車工 | 1 | | | 2 | | | | 桶谷, 田中 |
| 冷凍及冷蔵 | 1 | | | 2 | | | | 益田 |
| 振動論第1及演習 | 1 | | | 2 | | | | 清水(文) |
| 風道及車庄縮理 | 1 | | | 2 | | | | 園部 |
| 医学及生理解 | 1 | | | 2 | | | | 児島(喜) |
| 芸術史 | 1 | | | 2 | | | | 宮城 |
| 芸術史 | 1 | | | 2 | | | | |
| 心理学 | 1 | | | 2 | | | | |
| 合計 | 105 | 36 | 28 | 26 | 30 | 12 | 6 | |

二年後期までの単位数 96

機械工学第三(計測)

| 科目名 | 単位 | 一・年 | | 二 年 | | 三 年 | | 担当教官 |
|----------|-----|-----|----|-----|----|-----|---|---------------|
| | | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | |
| (共通) 演習類 | 29 | 36 | | | | | | 池原, 遠山 |
| 数学第2及演習 | 6 | 4 | | | | | | 原島 |
| 力学及演習 | 2 | 2 | | | | | | 津村 |
| 材料力学要素 | 2 | 2 | | | | | | 谷口(修) |
| 機械要素 | 2 | 2 | | | | | | 益子 |
| 機械要素 | 2 | 2 | | | | | | |
| 機械要素 | 1 | 6 | | | | | | 牧, 斎藤(繁) |
| 機械要素 | 2 | 2 | | | | | | 大石, 本庄 |
| 機械要素 | 2 | 2 | | | | | | 中田 |
| 機械要素 | 2 | 2 | | | | | | 佐藤(常) |
| 機械要素 | 2 | 2 | | | | | | 岡本(晋) |
| 機械要素 | 2 | 2 | | | | | | 谷口(修) |
| 機械要素 | 1 | 2 | | | | | | 海老原 |
| 機械要素 | 2 | 2 | | | | | | 田代, 斎藤(健), 西巻 |
| 機械要素 | 1 | 9 | | | | | | 武田(良) |
| 機械要素 | 2 | 2 | | | | | | 中田, 谷口, 田中 |
| 機械要素 | 2 | 2 | | | | | | 中田 |
| 機械要素 | 1 | 1 | | | | | | 斎藤(幸) |
| 機械要素 | 1 | 1 | | | | | | 伊藤(直) |
| 機械要素 | 1 | 1 | | | | | | 谷口(修) |
| 機械要素 | 1 | 1 | | | | | | 山本(晃) |
| 機械要素 | 1 | 1 | | | | | | 山田(良) |
| 機械要素 | 1 | 1 | | | | | | 加茂 |
| 機械要素 | 1 | 9 | | | | | | 田中 |
| 機械要素 | 1 | 1 | | | | | | 伊藤, 林(杵), 山本 |
| 機械要素 | 1 | 1 | | | | | | ○石川(二) |
| 機械要素 | 1 | 2 | | | | | | 浅枝 |
| 機械要素 | 1 | 2 | | | | | | 草間, 山野 |
| 機械要素 | 1 | 1 | | | | | | 末沢 |
| 機械要素 | 1 | 1 | | | | | | 清水(文) |
| 機械要素 | 1 | 1 | | | | | | 園部 |
| 機械要素 | 1 | 1 | | | | | | 児島(喜) |
| 機械要素 | 1 | 1 | | | | | | 宮城 |
| 合計 | 104 | 36 | 26 | 23 | 25 | 12 | 6 | ○印は責任者 |

二年後期までの単位数 94

※. 計測工学特論 A. B. C 6時間中2時間選択

(実験弾性学, 実験流体力学, 誤差論, 数値計算, 数学機械, 特殊実験法)

電気工学第一

| 科目名 | 単位 | 一 年 | | 二 年 | | 三 年 | | 担当教官 |
|------------|-----|-----|----|-----|----|-----|---|----------------|
| | | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | |
| (共通) 演習類 | 29 | 36 | | | | | | 山本(勇), 酒井, 大河内 |
| 電気学第2及演習 | 6 | 2 | | | | | | 森田 |
| 磁気学第2及演習 | 2 | 2 | | | | | | 斎藤(幸) |
| 交流電気学第2及演習 | 2 | 2 | | | | | | 池原, 遠山 |
| 電気学第2及演習 | 6 | 6 | | | | | | |
| 電気学第2及演習 | 1 | 2 | | | | | | 末沢 |
| 電気学第2及演習 | 2 | 2 | | | | | | 斎藤(幸), 酒井 |
| 電気学第2及演習 | 6 | 6 | | | | | | 栗原 |
| 電気学第2及演習 | 2 | 2 | | | | | | 斎藤(幸) |
| 電気学第2及演習 | 2 | 2 | | | | | | 尾本, 田代 |
| 電気学第2及演習 | 2 | 2 | | | | | | 山本 |
| 電気学第2及演習 | 4 | 4 | | | | | | 草間, 原 |
| 電気学第2及演習 | 2 | 2 | | | | | | 武田(良) |
| 電気学第2及演習 | 1 | 6 | | | | | | 斎藤(健), 西巻, 川上 |
| 電気学第2及演習 | 1 | 1 | | | | | | 海老原 |
| 電気学第2及演習 | 3 | 3 | | | | | | 海老原, 益田, 浅枝 |
| 電気学第2及演習 | 3 | 3 | | | | | | 海老原, 津村, 益田 |
| 電気学第2及演習 | 1 | 1 | | | | | | 板谷, 川下, 原 |
| 電気学第2及演習 | 4 | 4 | | | | | | 斎藤(幸) |
| 電気学第2及演習 | 2 | 2 | | | | | | 大槻 |
| 電気学第2及演習 | 2 | 2 | | | | | | 尾本 |
| 電気学第2及演習 | 1 | 1 | | | | | | 竹内 |
| 電気学第2及演習 | 1 | 1 | | | | | | 加茂 |
| 電気学第2及演習 | 1 | 1 | | | | | | 田中 |
| 電気学第2及演習 | 4 | 4 | | | | | | 尾本, 田代 |
| 電気学第2及演習 | 2 | 2 | | | | | | 鈴木(松), 酒井 |
| 電気学第2及演習 | 6 | 6 | | | | | | 有賀 |
| 電気学第2及演習 | 3 | 3 | | | | | | 斎藤(健), 西巻 |
| 電気学第2及演習 | 1 | 1 | | | | | | 斎藤(健) |
| 電気学第2及演習 | 2 | 2 | | | | | | 尾本, 実吉 |
| 電気学第2及演習 | 2 | 2 | | | | | | 大槻 |
| 電気学第2及演習 | 1 | 1 | | | | | | 竹内 |
| 電気学第2及演習 | 2 | 2 | | | | | | 清水(文) |
| 電気学第2及演習 | 2 | 2 | | | | | | 実吉, 西巻 |
| 電気学第2及演習 | 3 | 3 | | | | | | 大槻, 尾本, 酒井 |
| 電気学第2及演習 | 1 | 1 | | | | | | 大槻, 斎藤(健) |
| 電気学第2及演習 | 1 | 1 | | | | | | 園部 |
| 電気学第2及演習 | 1 | 1 | | | | | | 児島(喜) |
| 電気学第2及演習 | 1 | 1 | | | | | | 宮城 |
| 合計 | 121 | 36 | 26 | 27 | 31 | 19 | 6 | |

二年後期までの単位数 105

* 印は何れか一を選択。

電気工学第二

| 科目名 | 単位 | 一年 | | 二年 | | 三年 | | 担当教官 |
|----------------|-----|----|----|----|----|----|---|---------------|
| | | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | |
| (共通) 電気工学第一と通論 | 29 | 36 | | | | | | |
| 電気工学第一と通論 | 25 | 26 | | | | | | |
| 物理性工学 | 2 | | | 2 | | | | 栗原 |
| 子機工学 | 2 | | | 2 | | | | 斎藤(幸) |
| 電気回路 | 4 | | | 4 | | | | 森田, 山本 |
| 電気回路 | 3 | | | 4 | | | | 大富 |
| 電気回路 | 1 | | | 2 | | | | 武田(良) |
| 電気回路 | 1 | | | 2 | | | | 海老原 |
| 電気回路 | 3 | | | 2 | | | | 海老原, 益田, 浅枝 |
| 電気回路 | 6 | | | 3 | | | | 斎藤(健), 西巻, 川上 |
| 電気回路 | 2 | | | 2 | | | | 川上 |
| 電気回路 | 1 | | | 2 | | | | 宋吉田 |
| 電気回路 | 1 | | | 2 | | | | 斎藤(幸) |
| 電気回路 | 1 | | | | 2 | | | 川上 |
| 電気回路 | 4 | | | | 4 | | | 古賀本 |
| 電気回路 | 2 | | | | 2 | | | 尾本 |
| 電気回路 | 2 | | | | 2 | | | 宋吉田 |
| 電気回路 | 2 | | | | 2 | | | 酒井 |
| 電気回路 | 1 | | | | 2 | | | 田中 |
| 電気回路 | 1 | | | | 2 | | | 斎藤(健), 西巻, 川上 |
| 電気回路 | 6 | | | | 6 | | | 斎藤(健) |
| 電気回路 | 3 | | | | 3 | | | 栗原 |
| 電気回路 | 1 | | | | 2 | | | 斎藤(健) |
| 電気回路 | 2 | | | | 2 | | | 出川 |
| 電気回路 | 1 | | | | 2 | | | 田中(信) |
| 電気回路 | 2 | | | | 2 | | | 清水(文) |
| 電気回路 | 1 | | | | 2 | | | 川上, 大河内 |
| 電気回路 | 2 | | | | 2 | | | 森田, 有賀, 大河内 |
| 電気回路 | 1 | | | | 2 | | | 園部 |
| 電気回路 | 1 | | | | 2 | | | 児島(喜) |
| 電気回路 | 1 | | | | 2 | | | 宮城 |
| 合計 | 121 | 36 | 26 | 31 | 29 | 19 | 6 | |

二年後期までの単位数 103

化学工学

| 科目名 | 単位 | 一年 | | 二年 | | 三年 | | 担当教官 |
|--------------|-----|----|----|----|----|----|---|---------------|
| | | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | |
| (共通) 経済学及社会学 | 29 | 36 | | | | | | |
| 経済学 | 1 | | | 2 | | | | |
| 物理学 | 4 | | | 4 | | | | 志田 |
| 有機化学 | 3 | | | 3 | | | | 志田 |
| 有機化学 | 2 | | | 4 | | | | 星野(敏), 大田 |
| 有機化学 | 3 | | | 3 | | | | 星野(敏), 大田, 岩倉 |
| 分析化学 | 1 | | | 2 | | | | 岩崎 |
| 分析化学 | 6 | | | 6 | | | | 田代, 吉田(幸), 萩野 |
| 社会思想 | 2 | | | 2 | | | | 益子 |
| 熱学 | 1 | | | | 2 | | | 武田(良) |
| 流体力学 | 2 | | | | 2 | | | 川下 |
| 化学工学第一 | 3 | | | | 3 | | | 岡本(哲) |
| 化学工学第一 | 2 | | | | 2 | | | 藤田 |
| 工業物理化学第一 | 2 | | | | 2 | | | 藤田 |
| 物理化学実験 | 3 | | | | 3 | | | 永廻 |
| 化学装置設計 | 6 | | | | 6 | | | 志田 |
| 燃料化学 | 1 | | | | 2 | | | 葛岡 |
| アルカリ | 1 | | | | 2 | | | 西川, 崎川, 原 |
| 技術史 | 1 | | | | | 2 | | 久保(輝) |
| 化学工学第二 | 3 | | | | 3 | | | 加茂 |
| 化学工学第二 | 2 | | | | 2 | | | 田中 |
| 工業反応装置 | 2 | | | | 2 | | | 大山 |
| 高圧装置 | 2 | | | | 2 | | | 矢木 |
| 化学装置設計 | 3 | | | | 3 | | | 末沢 |
| 工業物理化学第四 | 2 | | | | 2 | | | 末沢 |
| 化学工学実験 | 6 | | | | 6 | | | 佐藤(一) |
| 流体力学 | 2 | | | | 2 | | | 佐藤(一), 葛岡, 吉田 |
| 有機化学 | 1 | | | | 2 | | | (俊) |
| 燃料化学 | 1 | | | | 2 | | | 草間(秀) |
| 無機化学 | 1 | | | | 2 | | | 神原 |
| 工業及生理 | 1 | | | | 2 | | | 崎川 |
| 機械工学 | 1 | | | | 2 | | | 杉野, 山内 |
| 化学装置設計 | 1 | | | | 2 | | | 清水(文) |
| 化学装置設計 | 1 | | | | 2 | | | 吉田(俊) |
| 化学装置設計 | 1 | | | | 2 | | | 海老原 |
| 化学装置設計 | 1 | | | | 2 | | | 河上 |
| 化学装置設計 | 1 | | | | 2 | | | 園部 |
| 化学装置設計 | 1 | | | | 2 | | | 児島(喜) |
| 化学装置設計 | 1 | | | | 2 | | | 宮城 |
| 合計 | 107 | 36 | 26 | 26 | 30 | 8 | 6 | |

二年後期までの単位数 99

工業化学第一 (工業物理化学)

| 科目名 | 単位 | 一年 | | 二年 | | 三年 | | 担当教官 |
|----------|-----|----|----|----|----|----|---|---------------|
| | | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | |
| (共通) 物理学 | 29 | 36 | | | | | | |
| 物有分 | 4 | | 4 | | | | | 志田 |
| 理化学 | 2 | | 4 | | | | | 星野(敏), 大田 |
| 化学 | 1 | | 2 | | | | | 田代(暢) |
| 及演習 | 2 | | 2 | | | | | 児島(邦) |
| 化学 | 2 | | 2 | | | | | 杉野, 山内 |
| 力学 | 1 | | 2 | | | | | 神原 |
| 概論 | 1 | | 2 | | | | | |
| 論史 | 1 | | 2 | | | | | 田代, 吉田(幸), 萩野 |
| 実験 | 6 | | 6 | | | | | 星野(敏), 大田, 岩倉 |
| 第一 | 3 | | 3 | | | | | 志田 |
| 第二 | 2 | | | 2 | | | | 志田 |
| 第三 | 2 | | | 2 | | | | 安藤 |
| 第四 | 2 | | | 2 | | | | 星野(愷), 水野 |
| 第五 | 3 | | | 4 | | | | 藤田 |
| 第六 | 2 | | | 2 | | | | 藤田 |
| 第七 | 2 | | | 2 | | | | 丸田 |
| 第八 | 1 | | | 2 | | | | 武田(良) |
| 第九 | 3 | | | 3 | | | | 志田 |
| 第十 | 3 | | | 6 | | | | 葛岡 |
| 第十一 | 1 | | | 2 | | | | 安藤 |
| 第十二 | 2 | | | 2 | | | | 西川, 崎川, 原 |
| 第十三 | 1 | | | 2 | | | | 永廻 |
| 第十四 | 2 | | | 2 | | | | 久保(輝) |
| 第十五 | 2 | | | 2 | | | | 久保 |
| 第十六 | 2 | | | 2 | | | | 斯波 |
| 第十七 | 1 | | | 2 | | | | 佐藤(一) |
| 第十八 | 1 | | | 2 | | | | 水野 |
| 第十九 | 1 | | | 2 | | | | 斯波 |
| 第二十 | 1 | | | 2 | | | | 崎川 |
| 第二十一 | 1 | | | 2 | | | | 加茂 |
| 第二十二 | 1 | | | 2 | | | | 田中 |
| 第二十三 | 3 | | | 3 | | | | 永廻 |
| 第二十四 | 3 | | | 3 | | | | 久保 |
| 第二十五 | 3 | | | 3 | | | | 斯波 |
| 第二十六 | 1 | | | 3 | | | | 佐藤 |
| 第二十七 | 1 | | | 2 | | | | 山内 |
| 第二十八 | 1 | | | 2 | | | | 清水(文) |
| 第二十九 | 1 | | | 2 | | | | 園部 |
| 第三十 | 1 | | | 2 | | | | 児島(喜) |
| 第三十一 | 1 | | | 2 | | | | 宮城 |
| 合計 | 109 | 36 | 30 | 30 | 30 | 4 | 6 | |

二年後期までの単位数 103

* 印は何れか一を選択。

工業化学第二 (工業電気化学)

| 科目名 | 単位 | 一年 | | 二年 | | 三年 | | 担当教官 |
|---------|-----|----|----|----|----|----|---|---------------|
| | | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | |
| (共通) 史学 | 29 | 36 | | | | | | |
| 経済学 | 1 | | | | | | | |
| 及社会学 | 2 | | | | | | | 星野(敏) |
| 経済学 | 1 | | | | | | | 植村 |
| 化学 | 1 | | | | | | | 田代(暢) |
| 及物理学 | 4 | | | | | | | 志田 |
| 力学 | 2 | | | | | | | 横山 |
| 実験 | 2 | | | | | | | 児島(邦) |
| 第一 | 1 | | | | | | | 末野 |
| 第二 | 6 | | | | | | | 田代, 吉田(幸), 萩野 |
| 第三 | 3 | | | | | | | 志田 |
| 第四 | 3 | | | | | | | 星野(敏), 大田, 岩倉 |
| 第五 | 1 | | | 2 | | | | 武田(良) |
| 第六 | 2 | | | 2 | | | | 田代, 斎藤(健), 西巻 |
| 第七 | 2 | | | 2 | | | | 児島 |
| 第八 | 1 | | | 2 | | | | 志田 |
| 第九 | 2 | | | 2 | | | | 杉野, 大戸 |
| 第十 | 2 | | | 2 | | | | 大沢 |
| 第十一 | 1 | | | 2 | | | | 星野(愷), 水野 |
| 第十二 | 3 | | | 3 | | | | 杉野, 向 |
| 第十三 | 3 | | | 3 | | | | 志田 |
| 第十四 | 3 | | | 3 | | | | 高宮 |
| 第十五 | 3 | | | 3 | | | | 安藤 |
| 第十六 | 3 | | | 3 | | | | 伊沢, 横山, 岡本(正) |
| 第十七 | 3 | | | 3 | | | | 田中 |
| 第十八 | 3 | | | 3 | | | | 田代, 斎藤(健), 西巻 |
| 第十九 | 1 | | | 2 | | | | 葛岡 |
| 第二十 | 1 | | | 2 | | | | 西川, 崎川, 原 |
| 第二十一 | 1 | | | 2 | | | | 久保(輝) |
| 第二十二 | 1 | | | 2 | | | | 加茂 |
| 第二十三 | 1 | | | 2 | | | | 田中 |
| 第二十四 | 1 | | | 2 | | | | 舟木, 小島(武) |
| 第二十五 | 1 | | | 2 | | | | 杉野, 水口 |
| 第二十六 | 1 | | | 2 | | | | 小島(武), 友成 |
| 第二十七 | 1 | | | 2 | | | | 鈴木(桃) |
| 第二十八 | 1 | | | 2 | | | | 冠木 |
| 第二十九 | 1 | | | 2 | | | | 水野 |
| 第三十 | 1 | | | 2 | | | | 星野(愷) |
| 第三十一 | 1 | | | 2 | | | | 水野 |
| 第三十二 | 1 | | | 2 | | | | 久保 |
| 第三十三 | 3 | | | 3 | | | | 水野, 冠木, 向 |
| 第三十四 | 3 | | | 3 | | | | 舟木, 小島(武) |
| 第三十五 | 3 | | | 3 | | | | 水口, 向, 大戸 |
| 第三十六 | 1 | | | 2 | | | | 星野(愷) |
| 第三十七 | 1 | | | 2 | | | | 清水(文) |
| 第三十八 | 1 | | | 2 | | | | 山内 |
| 第三十九 | 1 | | | 2 | | | | 岡崎 |
| 第四十 | 1 | | | 2 | | | | 金丸 |
| 第四十一 | 1 | | | 2 | | | | 長崎 |
| 第四十二 | 1 | | | 2 | | | | 園部 |
| 第四十三 | 1 | | | 2 | | | | 児島(喜) |
| 第四十四 | 1 | | | 2 | | | | 宮城 |
| 合計 | 110 | 36 | 32 | 32 | 32 | 6 | 6 | |

二年後期までの単位数 103

※ 括弧内は何れか一科目を選択。

工業化学第三 (有機材料化学)

| 科目名 | 単位 | 一年 | | 二年 | | 三年 | | 担当教官 |
|------|-----|----|----|----|----|----|---|---------------|
| | | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | |
| (共通) | 29 | | | | | | | |
| 物理学 | 4 | | 4 | | | | | 志田 |
| 化学 | 2 | | 4 | | | | | 星野(敏), 大田 |
| 有機化学 | 2 | | 2 | | | | | 児島(邦) |
| 分析化学 | 1 | | 2 | | | | | 田代(勲) |
| 工業化学 | 1 | | 2 | | | | | 杉野, 山内 |
| 無機化学 | 1 | | 2 | | | | | 神原 |
| 有機化学 | 1 | | 2 | | | | | |
| 物理化学 | 6 | | 6 | | | | | 田代, 吉田(幸), 萩野 |
| 化学 | 3 | | 3 | | | | | 星野(敏), 大田, 岩倉 |
| 化学 | 3 | | 3 | | | | | 志田 |
| 化学 | 2 | | 2 | | 2 | | | 志田 |
| 化学 | 2 | | 2 | | 2 | | | 永廻 |
| 化学 | 2 | | 2 | | 2 | | | 安藤(愷), 水野 |
| 化学 | 2 | | 2 | | 2 | | | 星野(愷), 水野 |
| 化学 | 2 | | 2 | | 2 | | | 末沢 |
| 化学 | 1 | | 2 | | 2 | | | 金丸 |
| 化学 | 1 | | 2 | | 2 | | | 児島 |
| 化学 | 1 | | 2 | | 2 | | | 山内 |
| 化学 | 1 | | 2 | | 2 | | | 林 |
| 化学 | 1 | | 2 | | 2 | | | 武田(良) |
| 化学 | 1 | | 2 | | 2 | | | 西川, 崎川, 原 |
| 化学 | 1 | | 2 | | 2 | | | 杉野, 大戸 |
| 化学 | 3 | | 3 | | 3 | | | 志田 |
| 化学 | 3 | | 3 | | 3 | | | 葛岡 |
| 化学 | 1 | | 2 | | 2 | | | 久保(輝) |
| 化学 | 1 | | 2 | | 2 | | | 山田(良) |
| 化学 | 1 | | 2 | | 2 | | | 金丸 |
| 化学 | 1 | | 2 | | 2 | | | 清水(誠), 神原 |
| 化学 | 1 | | 2 | | 2 | | | 西川, 斯波 |
| 化学 | 1 | | 2 | | 2 | | | 前田(弘) |
| 化学 | 1 | | 2 | | 2 | | | 星野(愷) |
| 化学 | 1 | | 2 | | 2 | | | 久保 |
| 化学 | 1 | | 2 | | 2 | | | 大田 |
| 化学 | 1 | | 2 | | 2 | | | 加茂 |
| 化学 | 1 | | 2 | | 2 | | | 田中 |
| 化学 | 6 | | 6 | | 6 | | | 清水, 神原, 野口, 畑 |
| 化学 | 6 | | 6 | | 6 | | | 原, 崎川 |
| 化学 | 1 | | | | | 2 | | 清水, 神原, 野口, 畑 |
| 化学 | 1 | | | | | 2 | | 原, 崎川 |
| 化学 | 1 | | | | | 2 | | 清水(文) |
| 化学 | 1 | | | | | 2 | | 園部 |
| 化学 | 1 | | | | | 2 | | 児島(喜) |
| 化学 | 1 | | | | | 2 | | 宮城 |
| 合計 | 106 | 36 | 32 | 30 | 34 | 2 | 6 | |

二年後期までの単位数 101

工業化学第四 (有機合成化学)

| 科目名 | 単位 | 一年 | | 二年 | | 三年 | | 担当教官 |
|------|-----|----|----|----|----|----|---|---------------|
| | | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | |
| (共通) | 29 | | | | | | | |
| 史 | 1 | | 2 | | | | | 志田 |
| 史 | 4 | | 4 | | | | | 児島(邦) |
| 史 | 2 | | 2 | | | | | 田代(勲) |
| 史 | 1 | | 2 | | | | | 植村 |
| 史 | 1 | | 2 | | | | | 星野(敏) |
| 史 | 2 | | 4 | | | | | 高宮 |
| 史 | 1 | | 2 | | | | | 杉野, 山内 |
| 史 | 1 | | 2 | | | | | 神原 |
| 史 | 1 | | 2 | | | | | 志田 |
| 史 | 3 | | 3 | | | | | 志田, 田代, 萩野 |
| 史 | 6 | | 6 | | | | | 星野(敏), 大田, 岩倉 |
| 史 | 3 | | 3 | | | | | 武田(良) |
| 史 | 1 | | 2 | | 2 | | | 志田 |
| 史 | 2 | | 2 | | 2 | | | 安藤 |
| 史 | 2 | | 2 | | 2 | | | 星野(愷), 水野 |
| 史 | 2 | | 2 | | 2 | | | 末沢 |
| 史 | 1 | | 2 | | 2 | | | 岡崎 |
| 史 | 2 | | 2 | | 2 | | | 児島 |
| 史 | 1 | | 2 | | 2 | | | 金丸 |
| 史 | 6 | | 6 | | 6 | | | 星野(敏), 大田, 岩倉 |
| 史 | 3 | | 3 | | 3 | | | 高宮 |
| 史 | 1 | | 2 | | 2 | | | 高宮 |
| 史 | 1 | | 2 | | 2 | | | 西川, 崎川, 原 |
| 史 | 1 | | 2 | | 2 | | | 久保(輝) |
| 史 | 1 | | 2 | | 2 | | | 加茂 |
| 史 | 1 | | 2 | | 2 | | | 田中 |
| 史 | 1 | | 2 | | 2 | | | 大田 |
| 史 | 1 | | 2 | | 2 | | | 岡崎 |
| 史 | 1 | | 2 | | 2 | | | 林 |
| 史 | 1 | | 2 | | 2 | | | 戸崎 |
| 史 | 3 | | 3 | | 3 | | | 戸崎 |
| 史 | 3 | | 3 | | 3 | | | 林 |
| 史 | 3 | | 3 | | 3 | | | 戸崎 |
| 史 | 1 | | 2 | | 2 | | | 清水(文) |
| 史 | 1 | | 2 | | 2 | | | 植村, 稲村 |
| 史 | 1 | | 2 | | 2 | | | 金丸 |
| 史 | 1 | | 2 | | 2 | | | 宮城 |
| 史 | 1 | | 2 | | 2 | | | 園部 |
| 史 | 1 | | 2 | | 2 | | | 児島(喜) |
| 史 | 1 | | 2 | | 2 | | | 星野(敏) |
| 合計 | 104 | 36 | 30 | 29 | 26 | 6 | 8 | |

二年後期までの単位数 96

工業化学第五 (無機材料化学)

| 科目名 | 単位 | 一年 | | 二年 | | 三年 | | 担当教官 |
|---------|-----|----|----|----|----|----|---|----------------|
| | | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | |
| (共) 史習学 | 29 | 36 | | | | | | |
| 通) 史習学 | 1 | | 2 | | | | | 志田 |
| 及学熱 | 4 | | 2 | | | | | 児島(邦) |
| 及学熱 | 2 | | 2 | | | | | 植村 |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | | | | 山田(久) |
| 及学熱 | 2 | | 2 | | | | | 田代(勲) |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | | | | 志田 |
| 及学熱 | 3 | | 6 | | | | | 田代, 吉田(幸), 萩野 |
| 及学熱 | 3 | | 3 | | | | | 種村 |
| 及学熱 | 3 | | 3 | | | | | 末沢 |
| 及学熱 | 2 | | 2 | | 2 | | | 安藤 |
| 及学熱 | 2 | | 2 | | 2 | | | 永藤 |
| 及学熱 | 2 | | 2 | | 2 | | | 児島 |
| 及学熱 | 2 | | 2 | | 2 | | | 丸田(良) |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 武田(愷), 水野 |
| 及学熱 | 2 | | 2 | | 2 | | | 星野(愷), 山田(久) |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 山田(久) |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 志田 |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 西川, 崎川, 原 |
| 及学熱 | 3 | | 3 | | 3 | | | 山内 |
| 及学熱 | 3 | | 3 | | 3 | | | 久保(輝) |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 河嶋 |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 山内, 河嶋 |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 森谷 |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 山内, 浦 |
| 及学熱 | 2 | | 2 | | 2 | | | 清浦, 川久保, 田賀井 |
| 及学熱 | 2 | | 2 | | 2 | | | 河嶋, 田賀井, 吉田 |
| 及学熱 | 2 | | 2 | | 2 | | | 森谷, 川久保, 草間 |
| 及学熱 | 3 | | 3 | | 3 | | | 山内, 河嶋, 森谷, 稲生 |
| 及学熱 | 3 | | 3 | | 3 | | | 加茂 |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 田中 |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 久保 |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 崎川 |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 清水(文) |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 吉田(俊) |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 吉長 |
| 及学熱 | 2 | | 2 | | 2 | | | 志田 |
| 及学熱 | 2 | | 2 | | 2 | | | 川下 |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 星野(愷) |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 斯波 |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 久保 |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 宮城 |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 園部 |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 児島(喜) |
| 合計 | 109 | 36 | 26 | 26 | 34 | 6 | 8 | |

二年後期までの単位数 97

冶金

| 科目名 | 単位 | 一年 | | 二年 | | 三年 | | 担当教官 |
|---------|-----|----|----|----|----|----|---|---------------|
| | | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | |
| (共) 学演習 | 29 | 36 | | | | | | |
| 通) 学演習 | 1 | | 2 | | | | | 田代(勲) |
| 及学熱 | 6 | | 6 | | | | | 田代, 吉田(幸), 萩野 |
| 及学熱 | 4 | | 4 | | | | | 志田 |
| 及学熱 | 3 | | 3 | | | | | 志田 |
| 及学熱 | 2 | | 2 | | | | | 児島(邦) |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | | | | 末野 |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | | | | 横山 |
| 及学熱 | 2 | | 2 | | | | | 伊沢, 横山, 岡本(正) |
| 及学熱 | 3 | | 3 | | | | | 田中 |
| 及学熱 | 2 | | 2 | | | | | 横山 |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 山田(良) |
| 及学熱 | 2 | | 2 | | 2 | | | 川下 |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 武田(良) |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 岡本(正) |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 伊沢 |
| 及学熱 | 2 | | 2 | | 2 | | | 作井 |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 伊沢, 横山, 岡本(正) |
| 及学熱 | 2 | | 2 | | 2 | | | 田代, 斎藤(健), 西巻 |
| 及学熱 | 3 | | 3 | | 3 | | | 田代, 斎藤(健), 西巻 |
| 及学熱 | 3 | | 3 | | 3 | | | 伊沢, 横山, 岡本(正) |
| 及学熱 | 3 | | 3 | | 3 | | | 田中 |
| 及学熱 | 2 | | 2 | | 2 | | | 安藤 |
| 及学熱 | 2 | | 2 | | 2 | | | 河上 |
| 及学熱 | 3 | | 3 | | 3 | | | 河上 |
| 及学熱 | 3 | | 3 | | 3 | | | 大山 |
| 及学熱 | 2 | | 2 | | 2 | | | 大崎 |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 河上 |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 河内 |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 河上 |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 河内 |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 加茂 |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 田中 |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 岡本(正) |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 伊沢 |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 青木 |
| 及学熱 | 2 | | 2 | | 2 | | | 清水(文) |
| 及学熱 | 2 | | 2 | | 2 | | | 吉田(俊) |
| 及学熱 | 2 | | 2 | | 2 | | | 小島(頼) |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 小島(頼) |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 小宮 |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 園部 |
| 及学熱 | 1 | | 2 | | 2 | | | 児島(喜) |
| 合計 | 113 | 36 | 30 | 30 | 29 | 8 | 8 | |

二年後期までの単位数 102

金属加工

| 科目名 | 単位 | 一年 | | 二年 | | 三年 | | 担当教官 |
|---------|-----|----|----|----|----|----|---|---------------|
| | | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | |
| (共通) | 29 | 36 | | | | | | |
| 分析化学実験 | 1 | | 2 | | | | | 田代(勲) |
| 分析化学実験 | 6 | | 6 | | | | | 田代, 吉田(幸), 萩野 |
| 物理化学実験 | 4 | | 4 | | | | | 志田 |
| 物理化学実験 | 3 | | 3 | | | | | 志田 |
| 経済学及演習 | 1 | | 2 | | | | | |
| 材料力学及演習 | 2 | | 2 | | | | | 津村 |
| 機械相学 | 2 | | 2 | | | | | 横山 |
| 金相学 | 2 | | 2 | | | | | 益子 |
| 金相学 | 3 | | 3 | | | | | 伊沢, 横山, 岡本(正) |
| 金相学 | 2 | | 2 | | | | | 田中 |
| 金属材料学 | 1 | | | 2 | | | | 横山 |
| 金属材料学 | 1 | | | 2 | | | | 岡本(正) |
| 金属材料学 | 1 | | | 2 | | | | 伊沢 |
| 金属材料学 | 1 | | | 2 | | | | 伊沢, 横山, 岡本(正) |
| 金属材料学 | 1 | | | 2 | | | | 長崎 |
| 金属材料学 | 1 | | | 2 | | | | 山田(良) |
| 金属材料学 | 3 | | | 3 | | | | 山田(良), 田中 |
| 金属材料学 | 2 | | | 2 | | | | 河上 |
| 金属材料学 | 2 | | | 2 | | | | 作井 |
| 金属材料学 | 1 | | | 2 | | | | 武田(良) |
| 金属材料学 | 1 | | | 2 | | | | 牧, 益子, 斎藤(繁) |
| 金属材料学 | 3 | | | 3 | | | | 田代, 斎藤(健), 西巻 |
| 金属材料学 | 1 | | | 2 | | | | 田代, 斎藤(健), 西巻 |
| 金属材料学 | 1 | | | 2 | | | | 加茂 |
| 金属材料学 | 1 | | | 2 | | | | 田中 |
| 金属材料学 | 1 | | | 2 | | | | 岡本(正) |
| 金属材料学 | 1 | | | 2 | | | | 伊沢 |
| 金属材料学 | 2 | | | 2 | | | | 作井 |
| 金属材料学 | 2 | | | 2 | | | | 益田 |
| 金属材料学 | 3 | | | 3 | | | | 河上 |
| 金属材料学 | 2 | | | 2 | | | | 海老原 |
| 金属材料学 | 3 | | | 3 | | | | 伊沢, 横山, 岡本(正) |
| 金属材料学 | 2 | | | 2 | | | | 田中 |
| 金属材料学 | 3 | | | 3 | | | | 伊沢, 横山, 岡本(正) |
| 金属材料学 | 3 | | | 3 | | | | 田中 |
| 金属材料学 | 3 | | | 3 | | | | 同 上 |
| 金属材料学 | 1 | | | | 2 | | | 益田 |
| 金属材料学 | 1 | | | | 2 | | | 桶谷, 田中 |
| 金属材料学 | 1 | | | | 2 | | | 益田 |
| 金属材料学 | 1 | | | | 2 | | | 清水(文) |
| 金属材料学 | 1 | | | | 2 | | | 宮城 |
| 金属材料学 | 1 | | | | 2 | | | 園部 |
| 金属材料学 | 1 | | | | 2 | | | 児島(喜) |
| 合計 | 112 | 36 | 28 | 30 | 28 | 10 | 6 | |

二年後期までの単位数 103

繊維工学

| 科目名 | 単位 | 一年 | | 二年 | | 三年 | | 担当教官 |
|--------|-----|----|----|----|----|----|---|-------------------------|
| | | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | |
| (共通) | 29 | 36 | | | | | | |
| 経済学及演習 | 1 | | 2 | | | | | |
| 経済学及演習 | 4 | | 4 | | | | | |
| 経済学及演習 | 6 | | 6 | | | | | 原島 |
| 経済学及演習 | 2 | | 2 | | | | | 牧, 斎藤(繁) |
| 経済学及演習 | 2 | | 2 | | | | | 益子 |
| 経済学及演習 | 2 | | 2 | | | | | 末沢 |
| 経済学及演習 | 2 | | 2 | | | | | 谷口(修) |
| 経済学及演習 | 2 | | 2 | | | | | 牧島 |
| 経済学及演習 | 2 | | 2 | | | | | 内田(豊) |
| 経済学及演習 | 3 | | 3 | | | | | 内田(豊), 牧島, 青木 |
| 経済学及演習 | 1 | | | 2 | | | | 武田(良) |
| 経済学及演習 | 1 | | | 2 | | | | 海老原 |
| 経済学及演習 | 3 | | | 3 | | | | 海老原, 益田, 浅枝 |
| 経済学及演習 | 2 | | | 2 | | | | 内田(豊) |
| 経済学及演習 | 1 | | | 2 | | | | 白樫 |
| 経済学及演習 | 1 | | | 2 | | | | 石川(章) |
| 経済学及演習 | 1 | | | 2 | | | | 青木 |
| 経済学及演習 | 1 | | | 2 | | | | 内田(豊) |
| 経済学及演習 | 1 | | | 2 | | | | 吉沢 |
| 経済学及演習 | 9 | | 9 | | | | | 内田(豊), 牧島, 青木 |
| 経済学及演習 | 1 | | | 2 | | | | 加茂 |
| 経済学及演習 | 1 | | | 2 | | | | 田中 |
| 経済学及演習 | 1 | | | 2 | | | | 山本(晃) |
| 経済学及演習 | 1 | | | 2 | | | | 山田(良) |
| 経済学及演習 | 1 | | | 2 | | | | 牧島, 前田 |
| 経済学及演習 | 1 | | | 2 | | | | 細田 |
| 経済学及演習 | 1 | | | 2 | | | | 東 |
| 経済学及演習 | 3 | | | 4 | | | | 内田(豊), 白樫, 石川(章), 東, 青木 |
| 経済学及演習 | 12 | | | 12 | | | | 白樫, 石川, 東, 細田 |
| 経済学及演習 | 1 | | | | 2 | | | 清水(文) |
| 経済学及演習 | 2 | | | | 2 | | | 田代, 斎藤(健), 西巻 |
| 経済学及演習 | 3 | | | | 3 | | | 田代, 斎藤(健), 西巻 |
| 経済学及演習 | 1 | | | | | 2 | | 宮城 |
| 経済学及演習 | 1 | | | | | 2 | | 園部 |
| 経済学及演習 | 1 | | | | | 2 | | 児島(喜) |
| 合計 | 104 | 36 | 25 | 28 | 30 | 7 | 6 | |

二年後までの単位数 95

建築学第一

| 科目名 | 単位 | 一年 | | 二年 | | 三年 | | 担当教官 |
|-----------|-----|----|----|----|----|----|---|---------------|
| | | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | |
| (共) 通 | 29 | 36 | | | | | | |
| 経済学及経済史第一 | 1 | | 2 | | | | | |
| 建築設計第一 | 2 | | 4 | | | | | 藤岡 |
| 建築設計製図第一 | 2 | | 2 | | | | | 谷口(吉) |
| 建築設計製図第一 | 9 | | 9 | | | | | 谷口(吉), 狩野, 藤岡 |
| 建築構造学第一 | 3 | | 4 | | | | | 清家 |
| 建築構造学第一 | 2 | | 4 | | | | | 田辺 |
| 建築構造学第一 | 4 | | 4 | | | | | 狩野 |
| 建築構造学第一 | 3 | | 3 | | | | | 谷口(忠) |
| 建築構造学第一 | 3 | | 3 | | | | | 谷口(忠), 加藤 |
| 社会学思想第二 | 1 | | | 2 | | | | 武田(良) |
| 社会学思想第二 | 1 | | | 2 | | | | 谷口(吉) |
| 建築設計製図第二 | 1 | | | 2 | | | | 清家 |
| 建築設計製図第二 | 3 | | | 3 | | | | 清家 |
| 建築設計製図第二 | 2 | | | 2 | | | | 小林 |
| 建築設計製図第二 | 9 | | | 9 | | | | 谷口(吉), 狩野, 藤岡 |
| 建築設計製図第二 | 1 | | | 2 | | | | 清家 |
| 建築設計製図第二 | 1 | | | 2 | | | | 狩野 |
| 建築設計製図第二 | 3 | | | 4 | | | | 田辺 |
| 都市計画史第三 | 1 | | | | 2 | | | 加茂 |
| 都市計画史第三 | 1 | | | | 2 | | | 田中 |
| 都市計画史第三 | 2 | | | | 2 | | | 小林 |
| 都市計画史第三 | 12 | | | | 12 | | | 小林, 谷口(吉), 藤岡 |
| 都市計画史第三 | 1 | | | | 2 | | | 田中 |
| 都市計画史第三 | 1 | | | | | 2 | | 清水(文) |
| 都市計画史第三 | 12 | | | | | 12 | | 小林, 谷口(吉), 藤岡 |
| 都市計画史第三 | 1 | | | | | | 2 | 小園部 |
| 都市計画史第三 | 1 | | | | | | 2 | 児島(喜) |
| 都市計画史第三 | 1 | | | | | | 2 | 宮城 |
| 合計 | 110 | 36 | 32 | 28 | 20 | 14 | 6 | |

二年後期までの単位数 94

| 選 択 科 目 | 単位 | 前 | 後 | 担当教官 | 摘 要 |
|----------|----|---|---|-------|-----|
| 建築設計製図第一 | 2 | | 2 | 清家 | |
| 建築設計製図第一 | 2 | | 2 | 堀 | |
| 建築設計製図第一 | 2 | 2 | | 堀 | |
| 建築設計製図第一 | 2 | 2 | | 堀 | |
| 建築設計製図第一 | 1 | 2 | | 堀 | |
| 建築設計製図第一 | 3 | | 3 | 大勝 | |
| 建築設計製図第一 | 3 | 3 | | 谷本 | |
| 建築設計製図第一 | 1 | 2 | | 藤岡 | |
| 建築設計製図第一 | 1 | | 2 | 谷口(吉) | |
| 建築設計製図第一 | 1 | | 2 | | |
| 建築設計製図第一 | 1 | | 2 | 森 | |

建築学第二

| 科目名 | 単位 | 一年 | | 二年 | | 三年 | | 担当教官 |
|-----------|-----|----|----|----|----|----|---|---------------|
| | | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | |
| (共) 通 | 29 | 36 | | | | | | |
| 経済学及経済史第一 | 1 | | 2 | | | | | |
| 建築設計製図第一 | 2 | | 2 | | | | | 谷口(吉) |
| 建築設計製図第一 | 9 | | 9 | | | | | 谷口(吉), 狩野, 藤岡 |
| 建築設計製図第一 | 4 | | 4 | | | | | 清家 |
| 建築設計製図第一 | 3 | | 3 | | | | | 谷口(忠) |
| 建築設計製図第一 | 3 | | 4 | | | | | 谷口(忠), 加藤 |
| 建築設計製図第一 | 2 | | 4 | | | | | 田辺 |
| 建築設計製図第一 | 2 | | 4 | | | | | 狩野 |
| 社会学思想第二 | 1 | | | 2 | | | | 藤岡 |
| 社会学思想第二 | 1 | | | 2 | | | | 武田(良) |
| 建築設計製図第二 | 9 | | 9 | | | | | 谷口(吉), 狩野, 藤岡 |
| 建築設計製図第二 | 4 | | 4 | | | | | 清家 |
| 建築設計製図第二 | 1 | | 2 | | | | | 二見 |
| 建築設計製図第二 | 3 | | 3 | | | | | 狩野 |
| 建築設計製図第二 | 2 | | 4 | | | | | 勝田, 後藤 |
| 建築設計製図第二 | 1 | | 2 | | | | | 谷口(忠) |
| 建築設計製図第二 | 1 | | | 2 | | | | 加藤 |
| 建築設計製図第二 | 1 | | | 2 | | | | 加藤 |
| 建築設計製図第二 | 1 | | | 2 | | | | 加藤 |
| 建築設計製図第二 | 2 | | 3 | | | | | 二見 |
| 建築設計製図第二 | 9 | | 9 | | | | | 二見, 加藤 |
| 建築設計製図第二 | 2 | | 2 | | | | | 三浦 |
| 建築設計製図第二 | 1 | | 2 | | | | | 二見 |
| 建築設計製図第二 | 1 | | 2 | | | | | 二見 |
| 建築設計製図第二 | 1 | | 2 | | | | | 二見 |
| 建築設計製図第二 | 1 | | 2 | | | | | 二見 |
| 建築設計製図第二 | 1 | | 2 | | | | | 二見 |
| 建築設計製図第二 | 6 | | 6 | | | | | 二見 |
| 建築設計製図第二 | 6 | | 6 | | | | | 二見 |
| 建築設計製図第二 | 2 | | 2 | | | | | 二見 |
| 建築設計製図第二 | 1 | | 2 | | | | | 二見 |
| 建築設計製図第二 | 1 | | 2 | | | | | 二見 |
| 建築設計製図第二 | 1 | | 2 | | | | | 二見 |
| 建築設計製図第二 | 1 | | 2 | | | | | 二見 |
| 建築設計製図第二 | 1 | | 2 | | | | | 二見 |
| 建築設計製図第二 | 1 | | 2 | | | | | 二見 |
| 合計 | 112 | 36 | 32 | 26 | 22 | 16 | 6 | |

二年後期までの単位数 94

| 選 択 科 目 | 単位 | 前 | 後 | 担当教官 | 摘 要 |
|----------|----|---|---|------|-----|
| 土木工学大意第一 | 1 | 2 | | 青木 | |
| 土木工学大意第一 | 1 | 2 | | 青木 | |
| 土木工学大意第一 | 3 | 3 | 2 | 谷本 | |
| 土木工学大意第一 | 2 | 2 | | 狩野 | |
| 土木工学大意第一 | 1 | 1 | | 狩野 | |

経営工学

| 科目名 | 単位 | 一年 | | 二年 | | 三年 | | 担当教官 |
|----------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----------|
| | | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | |
| (共通) | (29) | | | | | | | |
| (経済学及原論) | (1) | (2) | | | | | | 磯部 |
| (経済学及原論) | 1 | 2 | | | | | | 磯部 三井 |
| (経済学及原論) | 4 | 4 | | | | | | 磯部 宮城 |
| (心算) | (1) | (2) | | | | | | 磯部 武田(良) |
| (社会思想) | (1) | | (2) | | | | | 磯部 内海 |
| (統計学) | 1 | | 2 | | | | | 磯部 淡路 |
| (統計学) | 1 | | 2 | | | | | 磯部 三井 |
| (統計学) | 1 | | 2 | | | | | 磯部 加茂 |
| (統計学) | 4 | | 4 | | | | | 磯部 田中 |
| (統計学) | 1 | | 2 | | | | | 磯部 木暮 |
| (統計学) | 1 | | 2 | | | | | 磯部 小林 |
| (統計学) | 1 | | 2 | | | | | 磯部 三井 |
| (統計学) | 2 | | 2 | | | | | 磯部 石田(保井) |
| (統計学) | 4 | | 4 | | | | | 磯部 渡辺 |
| (統計学) | 1 | | 2 | | | | | 磯部 三井 |
| (統計学) | 1 | | 2 | | | | | 磯部 美濃口 |
| (統計学) | 1 | | 2 | | | | | 磯部 高垣 |
| (統計学) | 1 | | 2 | | | | | 磯部 加茂 |
| (統計学) | 1 | | 2 | | | | | 磯部 木暮 |
| (統計学) | 2 | | 2 | | | | | 磯部 内海 |
| (統計学) | 2 | | 2 | | | | | 磯部 内海 |
| (統計学) | (1) | | | | | (2) | | 磯部 園部 |
| (統計学) | (1) | | | | | (2) | | 磯部 児島(喜) |
| 合計 | (37) | (36) | (4) | (2) | (4) | (2) | (4) | |
| | 33 | 6 | 12 | 12 | 18 | | | |

註 1. 括弧内は共通及び教養科目
 2. 一年後期以降に於いて他のコースに準拠して理工関係科目約 60 単位を任意選択すること。

応用力学

| 科目名 | 単位 | 一年 | | 二年 | | 三年 | | 担当教官 |
|------------|-----|----|----|----|----|----|---|------------|
| | | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | |
| (共通) | 29 | | | | | | | |
| 数学第二及演習 | 6 | 6 | | | | | | 池原, 遠山 |
| 力学及演習 | 4 | 4 | | | | | | 原島 |
| 材料力学及演習 | 2 | 2 | | | | | | 津村 |
| 工業熱力学及演習 | 2 | 2 | | | | | | 川下 |
| 応用力学基礎及演習 | 2 | 2 | | | | | | 岡本(哲), 川下 |
| 経済学及演習 | 1 | 2 | | | | | | 岡本(哲), その他 |
| 応用力学演習 | 6 | 6 | | | | | | 同上 |
| 一般弾性論第一及演習 | 3 | 3 | | | | | | 佐藤(常) |
| 流体力学第一及演習 | 2 | | 2 | | | | | 岡本(哲) |
| 伝動論第一及演習 | 2 | | 2 | | | | | 川下 |
| 振動論第一及演習 | 2 | | 2 | | | | | 中田 |
| 観性学及演習 | 2 | | 2 | | | | | 武田(良) |
| 社会思想第二及演習 | 1 | | 2 | | | | | 岡本(哲), その他 |
| 応用力学演習 | 6 | | 6 | | | | | 同上 |
| 応用力学演習 | 3 | | 3 | | | | | 同上 |
| 統計学演習 | 3 | | 2 | | | | | 高木 |
| 一般弾性論第二及演習 | 2 | | 2 | | 2 | | | 佐藤(常) |
| 流体力学第二及演習 | 2 | | 2 | | 2 | | | 岡本(哲) |
| 振動論第二及演習 | 2 | | 2 | | 2 | | | 栗屋 |
| 応用力学演習 | 2 | | 2 | | 2 | | | 岡本(哲), その他 |
| 応用力学演習 | 6 | | 6 | | 3 | | | 同上 |
| 応用力学演習 | 3 | | 3 | | 2 | | | 加茂 |
| 技術学演習 | 1 | | 2 | | 2 | | | 田中 |
| 医学及生理学 | 1 | | | | | 2 | | 清水(文) |
| 高分子化学第一論 | 2 | | | | | 2 | | 金丸 |
| *化学工学汎論 | 2 | | | | | 2 | | 末沢 |
| *材料力学 | 2 | | | | | 2 | | 栗屋 |
| *運輸機力学 | 2 | | | | | 2 | | 山田(英) |
| *芸術史 | 1 | | | | | 2 | | 近藤 |
| *心理学 | 1 | | | | | 2 | | 園部 |
| *化学熱力学演習 | 1 | | | | | 2 | | 児島(喜) |
| *物理化学及演習 | 4 | | | | | 4 | | 宮城 |
| *制御工学 | 2 | | | | | 2 | | 児島(邦) |
| | | | | | | | | 志田 |
| | | | | | | | | 中田 |
| 合計 | 104 | 36 | 27 | 23 | 21 | 4 | 8 | |

二年後期までの単位数 96

* 印は何れか一を選択。

(4) 東京工業大学名誉教授に関する規定 昭和25年7月20日裁定

第1条 本学名誉教授は学校教育法第68の2、第108条の2及び次の条項により定める。

第2条 本学名誉教授の称号を授与することができるものは本学専任教授又は学長として退職のときにおいて次の各号の1にかかせる要件を満たすものでなければならない。

1 本学専任教授として20年以上勤務したものを原則とするも右の勤務年数については、次の各項により換算された年数も、本学専任教授としての勤務年数と同様にこれを通算することができる。但し、本項により難しい場合に於ても特に選考することができる。

(イ) 本学以外の大学教授としての勤務年数は、その2分の1を以て換算年数とする

(ロ) 本学専任助教授、元東京高等工業学校教授又は元本学附属工業専門部教授としての勤務年数はその2分の1を以て換算年数とする。

(ハ) 本学専任講師又は本学以外の大学助教授としての勤務年数はその3分の1を以て換算年数とする。

2 学長として勤務し本学にたいし特に功勞の顕著であつたもの。

第3条 名誉教授の称号を授与すべき候補者あるときその審議を行うため学長は教授総会にはかり名誉教授審議会を設置する。

第4条 名誉教授審議会の委員は5名とし、教授総会に於てその都度教授の中よりえらぶものとする。

第5条 審議会に委員長1名を置き委員の互選により定める。

第6条 学長は審議会のすいせんに基いて名誉教授の称号を授与するものについて教授会にその可否をはかる。

第7条 教授会に於て本学名誉教授の称号を授与すべきものと議決したときには次の様式による辞令書を交付する。

様式

(番号)

氏

名

生 年 月 日

学校教育法第68条の2の規定に基き東京工業大学名誉教授の称号を授与する
年 月 日

大 学 (校印)

附 則

この規定は昭和25年4月19日から施行し昭和25年4月1日から適用する。

(5) 東京工業大学運営委員会規程 昭和21年5月1日裁定
昭和24年11月1日改正

第1条 東京工業大学運営に関する事項を審議するために運営委員会を置く。

運営委員会は大学長之を招集する。

第2条 運営委員会は各系の運営委員、幹事、研究所長の中1名、事務局長及び教務部長を以て組織する。

大学長が必要と認めたときに前項以外の者も運営委員会に出席せしめることができる。

第3条 運営委員会は大学長が司会するものとする。

但し大学長事故ある場合は運営委員中の上席者がその職務を代理するものとする。

第4条 運営委員会に書記1名を置く大学長之を命ずる。

書記は大学長の指揮を承けて庶務に従事する。

第5条 この規程に定めてない事項は大学長その都度これを決定する。

附 則

この規程は昭和21年5月1日より之を施行する。

(6) 東京工業大学教授総会規定 昭和21年3月1日裁定

第1条 東京工業大学に教授総会を置く。

第2条 教授総会は教授及び助教授を以て之を組織す。

第3条 教授総会は大学長之を召集す。

教授総会の議長は大学長之に当るものとする。

第4条 教授総会は左の事項を審議す。

- 1 学制その他の刷新、改善に関する重要な事項。
- 2 学科課程及び試験に関する事項。
- 3 その他大学長の諮詢したる事項。

第5条 大学長は必要ありと認むるときは、講師を教授総会に列席せしむることを得。

附 則

本規定は昭和21年3月1日より之を施行す。

(7) 東京工業大学教員適格審査委員会規程 昭和21年5月1日裁定

第1条 教職員の適格審査をする委員会に関する規程に基き東京工業大学に、東京工業大学教員適格審査委員会（以下審査委員会という。）を置く。

第2条 審査委員会は、大学長が委嘱する5名の審査委員で組織する。

第3条 審査委員会に委員長を置き、審査委員の互選によつて定める。委員長は会務を総理する。

第4条 審査委員の任期は1年とする。

但し再任はさまたげない。

第5条 審査委員会に幹事若干名を置き、文部事務官の中から大学長が命ずる。

幹事は委員長の命を承けて庶務に従事する。

第6条 この規程に定めてない事項は審査委員会に於てその都度これを定める。

附 則

この規程は昭和22年5月1日からこれを施行する。

昭和21年5月7日裁定の東京工業大学教員適格審査委員会規程はこれを廃止する。

(8) 東京工業大学学位規程 昭和6年5月1日裁定

第1条 本学に於て授与する学位は工学博士とす。

第2条 本学研究科に於て2年以上研究に従事したる者はその研究事項に就き論文を大学長に提出して学位を請求することを得。

前項に該当する者の外、学位を請求せむとする者は、履歴書を添え論文を大学

長に提出すべし。

大学長は前2項の論文を教授会の審議に附す。

第3条 学位請求論文は自著一編とす。但し参考として他の論文を附加提出することを得。

論文の用語は邦文を原則とす。但し教授会に於て適当と認めたる時は、外国語を以て之に代うことを得。

論文は之を返附せず。

第4条 第2条に依り学位を請求する者は審査手数料金100円を本学に納付すべし。但し既納の手数料は之を返附せず。

第5条 教授会は各論文に就き教授中より2人以上の審査委員を選定す。

教授会は必要に応じ教授以外の教員に審査を委嘱し前項の審査委員に代うることを得。

第6条 教授会は論文審査に付必要ある時は論文の副本、訳文又は模型、標本、材料等を提出せしめ場合に依りては試問を行うことあるべし。

第7条 審査委員は1年以内に教授会にその審査の結果を報告すべし。但し特別の事情ある時は教授会はその議決に依り審査期限を延長することを得。

第8条 教授会は審査委員の報告に基きその審議を為す。

前項の教授会は教授全員の3分の2以上の出席あることを要し学位を授与すべきものと議決するにはその出席教授の4分の3以上の賛成あることを要す。

公務又は旅行の爲出席し得ざる教授は之を前項の教授数に算入せず。

第9条 教授会に於て学位を授与すべきものと議決したるときは論文及びその審議の要旨を添え直に之を大学長に報告すべし。

学位を授与すべからずと議決したるとき亦前項に同じ但し審議の要旨を添附するを要せず。

第1項の場合に於て本学は文部大臣の認可を経て学位を授与し学位記を交付す。

第10条 本学に於て学位を授与したる者その榮譽を汚辱する行為あるときは教授会の議決及び文部大臣の認可を経て学位の授与を取消し学位記を還附せしむ。

教授会に於て前項の議決を為すには教授全員の3分の2以上の出席あることを

要し且出席教授4分の3以上の賛成あることを要す。第8条第3項の規定は此の場合に之を準用す。

第11条 学位記の様式左の如し。

学位記

氏 名

右者

論文……………:

を提出し本学教授会は学位を授与すべきものと認めたり仍て大正9年勅令第200号学位令に依り茲に工学博士の学位を授く

年 月 日

東京工業大学 印

(9) 東京工業大学学位請求論文公聴会規程 昭和21年5月10日制定

第1条 学位請求論文が東京工業大学長に提出されたときは、教授会の審議に附する前に学位論文公聴会（以下公聴会という）を開催して審査の適正を期すると共に、教官並に研究科学生の参考に資するものとする。

第2条 公聴会に於ては、論文提出者に、その論文内容の説明を行わせしめ出席者との間に質疑応答をなさしめるものとする。但し已むを得ない事由により論文提出者の説明が不可能の場合には、大学長は教授会の承認を得て他の者に、その代理をさせることが出来る。

第3条 公聴会に於て質疑の出来る者は、本学又は、本学附属機関の文部教官、文部技官、講師、研究嘱託、科究科学生、研究科特別研究生及び特に招待された者に限るものとする。

第4条 公聴会は大学長が命じた大学教授が司会するものとする。

第5条 公聴会の司会者は左の事項を大学長に報告しなければならない。

- 1 公聴会に於ける一般状況
- 2 論文に対する出席教授の意見
- 3 論文審査のためには、如何なる分野の教授を選出せねばならないかに対する出席教授の意見

4 司会者としての所見

5 その他論文審査上参考となる事項

第6条 公聴会開催の通知には論文内容の概要を附し、少くとも2週間以前に大学教授に対して之を発し、且つ学内に告示するものとする。

附 則

この規程は昭和21年7月10日から之を施行する。

(10) 東京工業大学研究協力委員会規程 昭和21年6月1日制定
昭和24年11月1日改正

第1条 東京工業大学の研究活動を助長するため研究協力委員会を置く。

第2条 委員会は左の委員で組織する。

1 各系毎に所属教授、助教授の互選により選出し、その数は理学系、応用化学系、応用物理系（経営系を含む）各2名、建築系及び人文科学系各1名とする。

2 研究所専任所員により選出された研究所長1名

3 事務局長

第3条 委員長は委員の互選によつて定める。

第4条 委員長は会務を総理する。

第5条 選出委員の任期は2年とする。但し重任を妨げない。

第6条 委員会に幹事3名を置き、研究協力課長、工学部事務長及び研究所事務長をもつて充てる。

幹事は委員長の命を承けて庶務に従事する。

附 則

この規程は昭和21年6月12日より之を実施する。

(11) 東京工業大学刊行物委員会規程 昭和24年1月1日制定
昭和24年11月1日改正

第1条 東京工業大学に学術研究及び調査に関する論文報告等を編集刊行するため刊行物委員会を置く。

第2条 委員会は、左の委員で組織する。

1 各系所属教官の互選によつて選出された者（但し専門部門を共にする者か

ら選出する)

理学系 2人
応用化学系 2人
応用物理系 2人(経営系を含む)
建築系 1人
人文科学系 1人

2 事務局長

特に必要あるときは、臨時委員を置くことが出来る。

選出委員の任期は2年とする。但し重任は妨げない。

第3条 委員長は委員の互選によつてこれを定める。

第4条 委員長は会務を総理する。

第5条 委員会に幹事1人を置き、研究協力課長を充てる。

幹事は委員長の指揮を受けて庶務に従事する。

第6条 この規程に定めてないことは、本委員会に於いてその都度これを定める。

附 則

この規程は昭和24年1月10日から施行する。

昭和22年6月1日制定の東京工業大学学報刊行委員会規程はこれを廃止する。

(12) 東京工業大学工業所有権取扱=関スル規程

昭和12年12月27日
文部大臣許可

第1条 東京工業大学長は東京工業大学職員の為したる工業的発明考案に関し、工業所有権又は特許若し登録を受くるの権利を譲り受けることを得。東京工業大学附属研究所職員の発明考案にして性質上その研究所の業務範囲に属し且、発明考案を為すに至りたる行為が当該職員の任務に属するときは之が特許又は登録を受くるの権利は東京工業大学長之を承継す。

第2条 東京工業大学長は相等と認むる価格を以て前条に掲ぐる工業所有権を他に譲渡し又はその実施権を許諾、若し譲渡することを得。

第3条 発明又は考案を為したる者に対する補償金又は給与金に関する事項及前

条に関する事項は別に定むる委員会に諮問するものとす。

第4条 本規程施行に関し必要なる細則は東京工業大学長之を定む。

附 則

本規程は昭和13年1月10日より之を施行す。

東京工業大学工業所有権取扱=関スル規程施行細則

昭和13年1月8日裁定
昭和23年5月31日改正
昭和24年11月1日改正

第1条 工業所有権は別段の定あるものを除くの外本則に拠り取扱うものとす。

第2条 工業所有権取扱に関する規程第1条第1項に依り譲渡を為さむとするときは、当該部局長を経て第1号書式に依る上申書を提出すべし。

工業所有権取扱に関する規程第1条第2項に依り大学長その権利を承継すべき発明又は考案を為したるときは当該研究所長を経て第2号書式に依る上申書を提出すべし。

前2項の場合に於て明細書、説明書及び図面の外第1項の上申書には第3号書式に依る譲渡証書を添附するものとす。

第3条 前条の上申書を受理したるときは、遅滞なく特許又は登録を受くるに必要な手続を為すべし。

前項手続進行中必要あるときは、発明、考案者之が書類その他の作成を為すことを要す。

第4条 工業所有権取扱に関する規程第3条に関する事項を審議答申する為、工業所有権運用委員会を設置す。

委員は委員長1人、委員若干人を以て組織す但し必要あるときは臨時委員を命ずることを得。

委員長は研究協力委員会委員長を以て之に充つ。

委員は研究協力委員を以て之に充つ。

委員会に幹事2人を置く。職員の中より大学長之を命ず。

委員長は会務を総理し、委員は委員長の指揮を受け議案の審議表決を掌る。

幹事は委員長の指揮を受け庶務を整理す。

委員会の議事は過半数に依り之を決す。但し可否同数なるときは委員長の決す

るところに依る。

第5条 工業所有権取扱に関する規程第2条の処分を為さむとするときは、契約の目的及金額、保証金額及その処分、履行方法及期限並に危険負担その他、必要なる事項を詳記し、年月日を記入し両当事者記名調印を為したる契約書を作成すべし。

第6条 本則に定なき事項はその都度之を決定す。

附 則

本則は昭和13年1月10日より之を施行す。

第1号書式

上 申 書

1, 発明の名称

今般 に於て右発明したるに付無償譲渡致度此段上申す

昭和 年 月 日

東京工業大学長 殿

添 附 書 類

1, 明細書 通

1, 図 面 通

第2号書式

上 申 書

1, 発明の名称

今般 に於て右発明したるに付此段上申す

昭和 年 月 日

東京工業大学長 殿

添 附 書 類

1, 明細書 通

1, 図 面 通

第3号書式

譲 渡 証 書

1, 発明の名称

右に付特許を受くるの権利を東京工業大学長に譲渡致候也

昭和 年 月 日

東京工業大学長 殿

(13) 東京工業大学電子顕微鏡管理委員会規程

昭和25年1月25日裁定

第1条 東京工業大学に於ける電子顕微鏡に関する運営及び管理を行うため、電子顕微鏡管理委員会を置く。

第2条 委員会は委員長1人、委員若干人で組織する。

第3条 委員長は委員の互選によつて定める。

委員は各系1人として、教授、助教授の中から選出された者を充てる。

第4条 委員長は会務を掌理する。

第4条 委員会に幹事を置き、大学長がこれを命ずる。

幹事は委員長の命を受けて事務に従事する。

第6条 委員の任期は2年とする。

但し重任を妨げない。

附 則

この規程は昭和25年1月25日から施行する。

(14) 東京工業大学光熱管理委員会規程

昭和23年10月13日
昭和24年11月1日改正

第1条 電力及び瓦斯の節約、調整、適正利用を図るため、光熱管理委員会を置く。

第2条 委員会は、委員長1人、委員若干人を以て組織する。

委員の中若干人を常務委員とする。

第3条 委員長は委員の互選によつて、これを定める。

委員は左の区分によつて選出されたものを以てこれに充てる。

各 系 1人 (但し経営系は応用物理系を含む)

事 務 局 1人

教 務 部 1人

| | |
|----------|----|
| 工学部事務部 | 1人 |
| 研究所事務部 | 1人 |
| 附属図書館 | 1人 |
| 附属予備部 | 1人 |
| 学友会 | 2人 |
| 寄宿舎 | 1人 |
| 構内居住者 | 1人 |
| 職員組合 | 1人 |
| 本館地帯 | 4人 |
| 工場地帯 | 1人 |
| 研究所地帯 | 1人 |
| 分析第一分館地帯 | 1人 |

常務委員は委員長がこれを命ずる。

第4条 委員長は会務を総理する。

常務委員は常時会務を掌理する。

第5条 委員会に分科会を置くことができる。

分科会に関する細則は委員会に於いて、これを決定する。

第6条 委員会に幹事若干人を置く。大学長がこれを命ずる。

幹事は委員長の命を承けて事務に従事する。

第7条 この規定に定めてない事項は、委員会に於いて決定する。

附 則

この規程は昭和23年10月13日からこれを施行する。

昭和22年12月10日制定緊急電力委員会規程はこれを廃止する。

(15) 東京工業大学部屋割委員会規定 昭和25年10月11日

第1条 東京工業大学における建物、部屋等の利用を合理的に行うため具体案を作りその実施に当らせるため、部屋割委員会を置く。

第2条 委員会は左の委員で組織する。

1 各系を代表するもの各1人

ただし当分の間経営系は応用物理系に体育系は人文科学系に含まれる。

2 附置研究所を代表するもの1人

3 事務局長、教務部長、施設管理課長

第3条 委員長は委員のご選によつて定める。

第4条 委員長は会務を総理する。

第5条 委員会で作製した案は、その実施前教授総会に提出してその承認を求めなければならない。

第6条 委員会に幹事若干人を置き大学長がこれを命ずる。

幹事は委員長の命を受けて事務に従事する。

第7条 選出された委員の任期は2ヶ年とする。

附 則

この規定は昭和25年10月11日から実施し、昭和22年7月9日制定の東京工業大学部屋割実施委員会規定はこれを廃止する。

(16) 東京工業大学警防委員会規程 昭和22年9月22日制定
昭和24年11月1日改正

第1条 東京工業大学に於ける火災予防及び盗難防止等に関する具体案を作るため、警防委員会を置く。

第2条 委員会に委員長1人、委員若干人を以て組織する。

第3条 委員長は委員の互選によつてこれを定める。

委員は職員の中から左の区分により選出された者を以てこれに充てる。但し学友会は学生、寄宿舎は職員又は学生とする。

各 系 1人(経営系は応用物理系に、体育系は人文科学系に含まれる)

事務局 2人

教務部 1人

研究所 1人

附属図書館 1人

附属予備部 1人

寄宿舎 2人

警備班 2人
職員組合 1人
学友会 1人

第4条 委員長は会務を総理する。

第5条 委員会に幹事若干人を置く。

大学長がこれを命ずる。

第6条 委員及び幹事の任期は1年とする。

幹事は委員長の命を承けて、事務に従事する。

附則

この規程は昭和22年9月22日からこれを施行する。

(17) 東京工業大学保健衛生委員会規定 昭和23年12月8日裁定
昭和24年11月1日改正

第1条 東京工業大学に於ける職員及び学生等の保健衛生に関する事項を審議するため保健衛生委員会を置く。

第2条 委員会は委員長1人、委員若干人を以つて組織する。

第3条 委員長は委員の互選によつて、これを定める。

委員は左の区分によつて職員又は学生の中から選出された者を以つてこれに充てる。

| | |
|--------------------------|---------------|
| 教授、助教授、専任講師 | 2人 |
| 職員組合 | 4人(内1人は女子とする) |
| 学友会(内1人は寄宿舎生とする) | 3人 |
| 事務局長、施設管理課長 教務部長、厚生課長 | |
| 学 医 | 1人 |

第4条 委員長は会務を掌理する。

第5条 委員会に幹事を置き、大学長が之を命ずる。

幹事は委員長の命を受けて事務に従事する。

第6条 委員会の重要事項については、その記録を保存しなければならない。

第7条 委員の任期は2年とし12月に改選する。

但し学友会から選出される委員は1年とする。

附則

この規定は昭和23年12月8日からこれを施行する。

(18) 東京工業大学教務部委員規程 昭和21年6月12日裁定
昭和23年7月7日改正

第1条 東京工業大学教務部の事務に参画し学生及び生徒の学習並びに生活上の指導を為し、教務部長を補佐するため、教務部に教務委員を置く。

第2条 委員は左に掲げる者を以て之に充てる。

- 1 理学系、建築系各1名 応用化学系、応用物理系各2名
- 2 附属予備部、附属高等工業教員養成所各1名
- 3 寄宿舎監、学友会副会長及び学医の中1名
- 4 理学系及び人文科学系に臨時に各1名を加える。

第3条 各系からの委員は所属教授、助教授の互選により選出し、その他の部局からの委員は大学長之を命ずる。

第4条 各系から選出された委員の任期は2年とする。

但し留任を妨げない。病気、退官、その他已を得ない事情により委員を免ぜられた者の後任の任期は前任者の残余の任期とする。

附則

この規程は昭和21年6月12日から之を施行する。

(19) 東京工業大学研究科特別研究生選定規程

昭和21年7月10日裁定

第1条 第1期特別研究生を志願することが出来る者は左の通りとする。

- 1 東京工業大学を卒業した者。
- 2 前号以外の者であつてこれと同等以上の学力ありと認められた者。

当該年度の卒業予定者は卒業者に準じて入学を志願することが出来る。

第2条 第2期特別研究生を志願することが出来る者は第1期特別研究生の研究年限を了えた者とする。

第3条 特別研究生を志願する者は、その研究事項につき予め指導教官の許可を

受けた後、左の書類を提出しなければならない。

1 第1期特別研究生を志願する者。

イ 第1期特別研究生選定願。

ロ 履歴書。

ハ 成績証明書(第1条第1項第2号に該当する者)。

2 第2期特別研究生を志願する者。

イ 第2期特別研究生選定願。

ロ 研究に関する業績書。

願書提出の時期はその都度之を定める。

第4条 特別研究生の選定は特別研究生候補者選抜委員会に於て、その候補者を選抜し教授総会の議を経て大学長が之を決定する。

第5条 特別研究生候補者選抜委員会委員は、若干名とし大学長がこれを命ずる。

委員の中1名を委員長とし、委員の互選に依り選出する。

第6条 第1期特別研究生候補者の選抜は概ね左の事項を基礎として行う。

1 在学中の成績

2 口頭試問

3 身体検査

前各号の外必要に応じて、知能検査を行い成績を参考にすることが出来る。

第7条 第2期特別研究生候補者の選抜は本人の研究業績に徴して行う。

第8条 入学許可者の氏名は学内に掲示し、且つ本人に通知する。

附 則

この規程は昭和21年7月10日からこれを施行する。

(20) 学修コース委員会規程 昭和22年4月23日裁定
同 24年4月27日改正

第1条 学修コース委員会は学修コースの運営実施に関する事項を取扱う。

第2条 委員会の取扱う事項の内容は概ね左の通りである。

1 コース内容の改善、監査

2 コース相互間の連絡、調整

(122)

3 同一コース内の連絡

4 教育施設の改善、調査

5 講師候補者の選定

6 教務部との連絡

7 その他必要と認められる事項

第3条 委員会は各コース毎に、当該所属教官(教授、助教授、専任講師)の互選に依つて選出された2名の委員からなる。

第4条 委員会に委員長を置き委員の互選によつて、これを定める。

第5条 委員長は会務を総理する。

委員長に事故あるときは、委員長の指名する委員がその職務を代理する。

第6条 委員の任期は1年とする。

委員は3以上のコースの委員を兼ねることが出来ない。

第7条 委員会に幹事を置くことが出来る。

大学長がこれを命ずる。

幹事は委員長の命を受けて庶務に従事する。

附 則

この規程は昭和22年4月23日からこれを施行する。

(21) 図書館委員会規程 昭和23年1月10日裁定
昭和24年11月1日改正

第1条 東京工業大学附属図書館に図書館の運営管理に関し調査審議をするため図書館委員会を置く。

第2条 委員会は委員長1人及び委員若干人を以て組織する。

特に必要あるときは、臨時委員を置くことが出来る。

第3条 委員長は附属図書館長を以てこれに充てる。

第4条 委員は左の区分により所属教官(教授、助教授及び専任講師)の互選によつて選出された者とし大学長がこれを命ずる。

理 学 系 2人

応用化学系 2人

応用物理系 2人(経営系を含む)

(123)

建築系 1人

人文科学系 1人

委員の任期は2年とする。但し重任は妨げない。

第5条 委員長は会務を総理する。

第6条 委員会に幹事1人を置き図書館事務長を以つてこれに充てる。

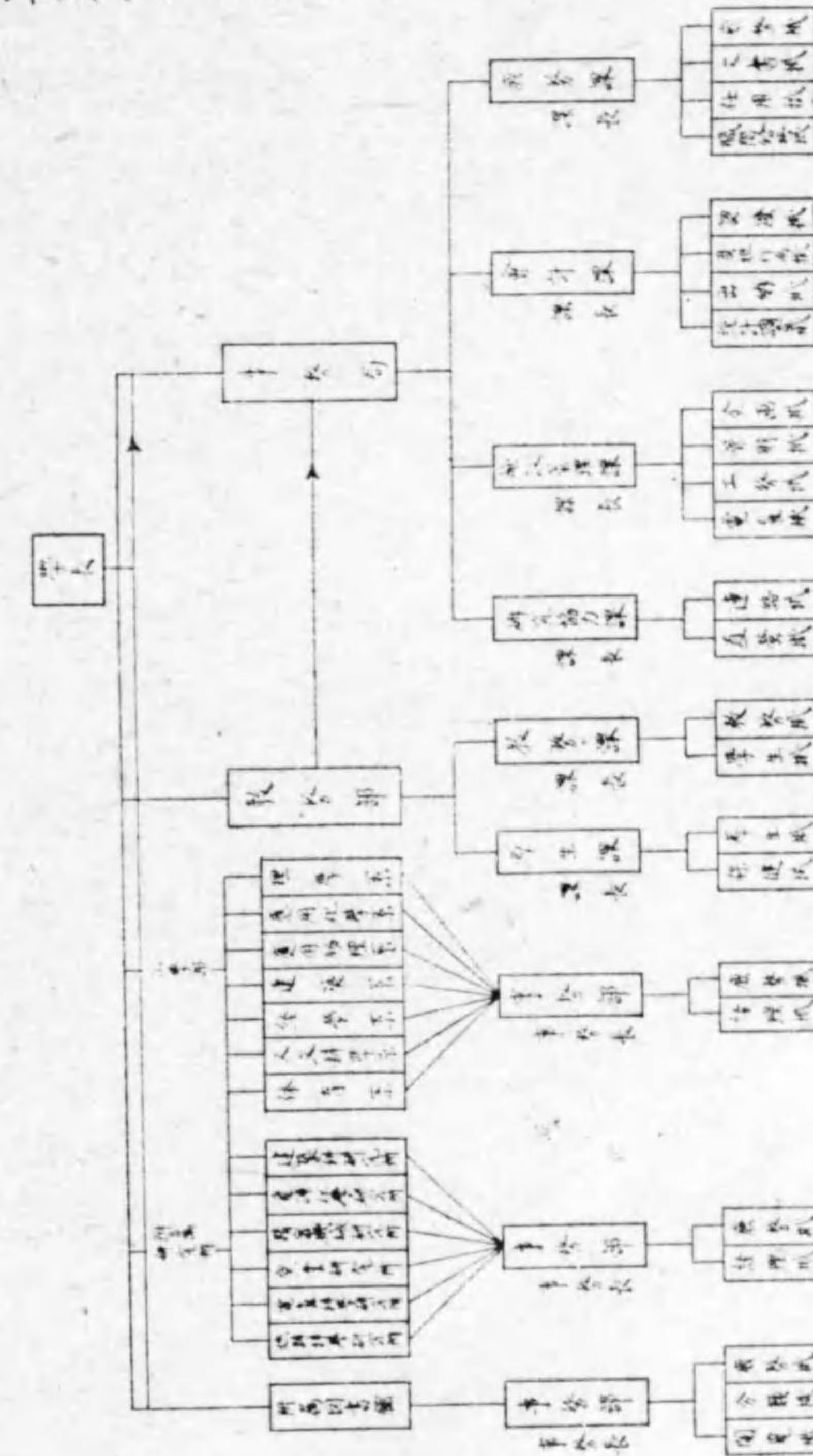
幹事は、委員長の命を承けて、庶務に従事する。

第7条 この規程に定めてない事項は図書館委員会に於てその都度これを定める。

附則

この規程は昭和23年1月10日からこれを施行する。

東京工業大学事務機構図



昭和二十三年一月十日現在

6. 機構及び職員

大学長 (昭和19年12月16日就任) 工学博士 和田小六 東京
 工学士
 名誉教授 (昭和21年7月7日称号授与) 理学博士 加藤与五郎 愛知
 理学士
 (昭和21年7月7日称号授与) 工学博士 浅川権八 東京
 工学士
 (昭和23年8月6日称号授与) 理学博士 渡辺孫一郎 栃木
 理学士

名誉教授審議会委員

教授 山田良之助
 ◇ 内田俊一
 ◇ 植村琢
 ◇ 金丸競
 ◇ 林茂助

運営委員会委員

| | (委員) | (幹事) |
|-------|------------|---------|
| 理学系 | 教授 植村琢 | 助教授 安藤暹 |
| 応用化学系 | ◇ 山内俊吉 | ◇ 斯波忠夫 |
| 応用物理系 | ◇ 内田豊作 | ◇ 川上正光 |
| 建築系 | ◇ 谷口忠 | ◇ 藤岡通夫 |
| 人文科学系 | ◇ 加茂儀一 | ◇ 竹沢啓一郎 |
| 研究所長 | ◇ 佐々木重雄 | |
| 事務局長 | 文部事務官 佐藤憲三 | |
| 教務部長 | 教授 山田良之助 | |

(書記) 文部事務官 杉田源四郎

教員適格審査委員

(委員長) 教授 金丸競
 ◇ 山田良之助

研究協力委員会委員

| | | | |
|-------------|-------|------|---|
| 理学系 | 教授 | 高木 | 豊 |
| 〃 | 助教授 | 高宮 | 篤 |
| 応用化学系 | 教授 | 久保輝一 | 郎 |
| 〃 | 助教授 | 水野 | 滋 |
| 応用物理系 | 教授 | 海老原敬 | 吉 |
| 〃 | 〃 | 齋藤幸 | 男 |
| 建築系 | 〃 | 二見秀 | 雄 |
| 人文科学系 | 〃 | 浦本三 | 嗣 |
| 研究所長 (委員長) | 〃 | 佐々木重 | 雄 |
| 事務局長 | 文部事務官 | 佐藤憲 | 三 |
| 研究協力課長 (幹事) | 〃 | 秋元祥 | 吉 |
| 工学部事務長 | 〃 | 吉岡善 | 衛 |
| 研究所事務長 | 〃 | 剣持輝 | 雄 |

刊行物委員会委員

| | | | |
|-------------|-------|-----|-----|
| 理学系 | 教授 | 河田龍 | 夫 |
| 〃 | 助教授 | 稻村耕 | 雄 |
| 応用化学系 | 教授 | 舟木好 | 右衛門 |
| 〃 | 助教授 | 星野 | 愷 |
| 応用物理系 (委員長) | 教授 | 中田 | 孝 |
| 〃 | 〃 | 尾本義 | 一 |
| 建築系 | 教授 | 二見秀 | 雄 |
| 人文科学系 | 講師 | 田中 | 実 |
| 事務局長 | 文部事務官 | 佐藤憲 | 三 |
| 研究協力課長 (幹事) | 〃 | 秋元祥 | 吉 |

東京工業大学工業所有権運用委員会委員

| | | | |
|-------------|-------|------|----|
| 理学系 | 教授 | 高木 | 豊 |
| 〃 | 助教授 | 高宮 | 篤 |
| 応用化学系 | 教授 | 久保輝一 | 郎 |
| 〃 | 助教授 | 水野 | 滋 |
| 応用物理系 | 教授 | 海老原敬 | 吉 |
| 〃 | 〃 | 齋藤幸 | 男 |
| 建築系 | 〃 | 二見秀 | 雄 |
| 人文科学系 | 〃 | 浦本三 | 嗣 |
| 研究所長 (委員長) | 〃 | 佐々木重 | 雄 |
| 研究協力課長 (幹事) | 文部事務官 | 鷲沢一 | 五郎 |
| 連絡掛長 | 〃 | 鯨岡達 | 郎 |
| 会計課長 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 負担行為掛長 | 〃 | 〃 | 〃 |

東京工業大学電子顕微鏡管理委員会委員

| | | | |
|-------------|-------|------|---|
| 理学系 | 助教授 | 安藤 | 暹 |
| 応用化学系 (委員長) | 教授 | 久保輝一 | 郎 |
| 応用物理系 | 助教授 | 田中 | 実 |
| 建築系 | 教授 | 狩野春 | 一 |
| 人文科学系 | 〃 | 浦本三 | 嗣 |
| 研究協力課長 (幹事) | 文部事務官 | 秋元祥 | 吉 |

東京工業大学光熱管理委員会委員

| | | | |
|--------------|-------|-------|-----|
| 応用物理系 (委員長) | 教授 | 大槻 | 喬 |
| 応用化学系 (副委員長) | 助教授 | 葛岡常 | 雄 |
| 事務局 (常務委員) | 文部事務官 | 杉田源 | 四郎 |
| 研究所地帯 | 〃 | 助教授 | 西藤一 |
| 本館地帯 | 〃 | 〃 | 畑敏 |
| 分析水力地帯 | 〃 | 〃 | 原正 |
| 工場地帯 | 〃 | 助手 | 高井宏 |
| 寄宿舎 | 〃 | 〃 | 田中勇 |
| 構内居住者 | 〃 | 文部事務官 | 南川栄 |

| | | | | |
|----------------|-------|---|---|----|
| 工学部事務部 (委員) | 吉 | 岡 | 善 | 衛 |
| 研究所事務部 | 劍 | 持 | 輝 | 雄 |
| 教務部 | 鈴 | 木 | 春 | 雄 |
| 理学系 | 助手 | 水 | 野 | 俊彦 |
| 建築系 | 青 | 木 | 志 | 郎 |
| 人文科学系 | 教授 | 浦 | 本 | 三嗣 |
| 工業振興会 | 井 | 上 | 啓 | 次郎 |
| 附属図書館 | 文部事務官 | 大 | 越 | 謹吾 |
| 学友会 | 後 | 藤 | 和 | 人夫 |
| 職員組合 | 雇 | 津 | 田 | 米雄 |
| 本館地帯 | 助教授 | 西 | 卷 | 正郎 |
| 教 | 教授 | 清 | 浦 | 雷作 |
| 白 | 樞 | | | 侃 |
| 附属予備部 | 予備部講師 | 青 | 柳 | 茂 |
| 工場地帯 (協力委員) | 助手 | 松 | 田 | 仁作 |
| 本館西側一階 | 山 | 賀 | 礼 | 一 |
| 本館西側二階 | 桜 | 井 | 俊 | 男 |
| 本館西側三階 | 助手 | 中 | 田 | 和夫 |
| 精密機械研究所 | 助教授 | 田 | 中 | 実 |
| 資源化学研究所 | 冠 | 木 | 三 | 郎 |
| 分析化学教室 | 佐 | 藤 | 徹 | 雄 |
| 高分子化学研究部 | 助手 | 市 | 来 | 崎巖 |
| (幹事) | 文部技官 | 長 | 谷 | 川巧 |
| 清水 | 武 | 夫 | | |
| 文部事務官 | 鯨 | 岡 | 達 | 郎 |
| (書記) | 前 | 川 | 友 | 三郎 |
| 東京工業大学部屋割委員会委員 | | | | |
| 理学系 | 助教授 | 安 | 藤 | 暹 |

| | | | | |
|--------|-------|---|---|-----|
| 応用化学系 | 教授 | 林 | 茂 | 助 |
| 応用物理系 | 内 | 田 | 豊 | 作 |
| 建築系 | 助教授 | 勝 | 田 | 千利 |
| 人文科学系 | 講師 | 太 | 田 | 三郎 |
| 研究所 | 教授 | 中 | 田 | 孝 |
| 事務局長 | 文部事務官 | 佐 | 藤 | 憲三 |
| 教務部長 | 教授 | 山 | 田 | 良之助 |
| 施設管理課長 | 文部事務官 | 杉 | 田 | 源四郎 |

東京工業大学警防委員会委員

| | | | | |
|----------|-------|---|---|-----|
| 各系 (委員長) | 教授 | 西 | 川 | 榮三 |
| (委員) | 講師 | 細 | 田 | 一夫 |
| 助教授 | 岩 | 倉 | 義 | 男 |
| 清 | 家 | | | 清 |
| 講師 | 佐 | 木 | | 彰 |
| 研究所 | 助教授 | 伊 | 藤 | 卓爾 |
| 附属予備部 | 予備部教授 | 前 | 田 | 利道 |
| 事務局 | 文部事務官 | 鈴 | 木 | 定光 |
| 鯨 | 岡 | 達 | | 郎 |
| 教務部 | 鈴 | 木 | 春 | 雄 |
| 附属図書館 | 大 | 越 | 謹 | 吾 |
| 寄宿舎 | 学生 | 藤 | 田 | 誠 |
| 峰 | 谷 | 和 | | 夫 |
| 学友会 | 田 | 中 | | 馨 |
| 職員組合 | 助手 | 高 | 橋 | 誠 |
| (幹事) | 文部事務官 | 前 | 川 | 友三郎 |
| 雇 | 真 | 船 | 多 | 四郎 |

東京工業大学保健衛生委員会委員

| | | | | |
|------|-------|---|---|-----|
| 教務部長 | 教授 | 山 | 田 | 良之助 |
| 事務局長 | 文部事務官 | 佐 | 藤 | 憲三 |

| | | | |
|----------|-----|----|----|
| (同) | 助教授 | 田中 | 実 |
| (纖維工学) | 白樫 | 侃 | |
| (同) | 講師 | 細田 | 一夫 |
| (建一, 建二) | 助教授 | 藤岡 | 通夫 |
| (同) | 教授 | 狩野 | 春一 |
| (経営工学) | 助教授 | 磯部 | 喜一 |
| (同) | 木暮 | 正夫 | |
| (応用力学) | 教授 | 岡本 | 哲史 |
| (同) | 川下 | 研介 | |
| (人文系) | 助教授 | 塩谷 | 宗雄 |
| (同) | 講師 | 武村 | 次郎 |
| (同) | 田中 | 実 | |

図書館委員会委員

| | | | |
|------------|-----|----|-----|
| 理学系 | 教授 | 池原 | 止戈夫 |
| " | 助教授 | 河合 | 紀雄 |
| 応用化学系 | 教授 | 神原 | 周 |
| " | 助教授 | 崎川 | 範行 |
| 応用物理系 | 教授 | 津村 | 利光 |
| " | 助教授 | 磯部 | 喜一 |
| 建築系 | 藤岡 | 通夫 | |
| 人文科学系 | 教授 | 小林 | 英夫 |
| 図書館長 (委員長) | 植村 | 琢 | |

事務局

| | | | | |
|------|-------|----|----|----|
| 局長 | 文部事務官 | 佐藤 | 憲三 | 東京 |
| 庶務課長 | 文部事務官 | 渡辺 | 末藏 | 新潟 |
| 庶務掛長 | " | 鈴木 | 定光 | 福島 |
| 学長秘書 | " | 波井 | 鼎 | 東京 |
| " | " | 岩崎 | 辰二 | 郎 |

| | | | | |
|--------------|-------|----|-----|----|
| 文書掛長事務取扱 (兼) | 渡辺 | 末藏 | | |
| 文部事務官 | 服部 | 義雄 | 新潟 | |
| 任用掛長 | 梅田 | 晃 | 東京 | |
| " | 山下 | 政二 | 鹿児島 | |
| 職階給与掛長 | 小林 | 剛三 | 東京 | |
| 会計課長 | 文部事務官 | 南川 | 栄高 | 福井 |
| 認証掛長 | " | 金田 | 清美 | 山形 |
| 負担行為掛長 | " | 鯨岡 | 達郎 | 福島 |
| " | " | 毛利 | 一雄 | 東京 |
| " | " | 水谷 | 良夫 | 東京 |
| " | " | 稲葉 | 実 | 静岡 |
| " | " | 牛丸 | 良一 | 東京 |
| " | " | 池田 | 富雄 | 福岡 |
| " | " | 池田 | 裕彦 | 静岡 |
| 出納掛長 | " | 山本 | 進 | 千葉 |
| " | " | 川崎 | 清彌 | " |
| 統計調査掛長 | " | 上倉 | 菊太郎 | 東京 |
| 施設管理課長 | 文部事務官 | 杉田 | 源四郎 | 埼玉 |
| 企画掛長 | " | 井上 | 康博 | 大 |
| " | " | 原素 | 之 | 東京 |
| 管財掛長事務取扱 (兼) | 文部事務官 | 杉田 | 源四郎 | 東京 |
| 文部事務官 | 前川 | 友三 | 郎 | 東京 |
| 工務掛長 | 文部技官 | 清水 | 武夫 | " |
| " | " | 果信 | 太郎 | 静岡 |
| 文部教官兼文部事務官 | 吉田 | 正司 | 福島 | |
| 文部技官 | 薦田 | 滝男 | 香川 | |
| " | " | 金井 | 茂 | 東京 |

| | | | |
|--------|-----------------|--------|-----|
| 電気掛長 | 〃 | 長谷川 巧 | 北海道 |
| | 〃 | 吉田 朝治 | 埼玉 |
| | 〃 | 青木 良雄 | 東京 |
| | 〃 | 堀内 金夫 | 神奈川 |
| | 文部技官 | 臼井 光臣 | 東京 |
| 研究協力課 | | | |
| 課長 | 文部事務官 | 秋元 祥吉 | 北海道 |
| 連絡掛長 | 〃 | 鷲沢 一五郎 | 東京 |
| | 〃 | 山口 凱子 | 〃 |
| | 〃 | 山田 一良 | 〃 |
| 直営掛長 | 〃 | 根本 勝吉 | 〃 |
| 教務部 | | | |
| 教務部長 | (教授)工学博士 工学士 | 山田 良之助 | 京都 |
| 教務課 | | | |
| 課長 | 文部事務官 | 鈴木 春雄 | 福島 |
| 教務掛長 | 〃 | 長岡 伸章 | 長崎 |
| | 〃 | 田中 誠庸 | 鳥取 |
| | 〃 | 今野 昭 | 東京 |
| 学生掛長 | 〃 | 中島 照一 | 〃 |
| 厚生課 | | | |
| 課長 | 文部事務官 | 吉田 和夫 | 新潟 |
| 厚生掛長 | 〃 | 山中 重則 | 東京 |
| | 〃 | 佐々木 利男 | 〃 |
| 保健掛長 | 〃 | 神田 吉一 | 福島 |
| | 文部技官 | 笛田 八ナ | 北海道 |
| 学医 | | 松野 尙夫 | 東京 |
| | | 村井 久 | 〃 |
| 工学部事務部 | | | |
| 事務長 | 文部事務官 | 吉岡 善衛 | 富山 |

| | | | |
|-------------|--------------------|--------|-----|
| 庶務掛長 | 文部事務官 | 柏邦 四郎 | 東京 |
| | 〃 | 鈴木 春吉 | 〃 |
| | 〃 | 池沢 長三 | 栃木 |
| 経理掛長 | 〃 | 小茂 鳥喜 | 埼玉 |
| | 〃 | 井上 守人 | 兵庫 |
| | 〃 | 伊沢 千三郎 | 京都 |
| | 〃 | 伊藤 剛 | 東京 |
| 附置研究所事務部 | | | |
| 事務長 | 文部事務官 | 剣持 輝雄 | 東京 |
| 庶務掛長 | 〃 | 奥田 連 | 〃 |
| | 〃 | 川合 貞子 | 岐阜 |
| 経理掛長 | 〃 | 志多 清一郎 | 〃 |
| 附属図書館 | | | |
| 附属図書館長 | (教授)理学博士 理学士 | 植村 琢 | 神奈川 |
| 附属図書館事務部 | | | |
| 事務長 | 文部事務官 | 三原 肇 | 広島 |
| 庶務掛長 | 〃 | 前田 俊夫 | 三重 |
| 分類目録掛長 | 〃 | 大越 謙吾 | 東京 |
| 閲覧掛長事務取扱(兼) | 〃 | 三原 肇 | 〃 |
| 理学系 | 担当授業科目中()内は旧制を示す。 | | |

| | | | |
|---|-----------------|--------|----|
| 教授 | | | |
| 化学第一, 同第二, (無機化学, 分光化学, 無機化学特別講義) | 理学博士 理学士 | 植村 琢 | 東京 |
| 化学第一, 同第二, 有機化学(有機化学, 有機化学特別講義, 有機化学実験第一, 第二) | 理学博士 理学士 | 星野 敏雄 | 新潟 |
| 物理学実験第一, 同第二, (物理学実験第一, 第三, 実験物理学第一) | 理学博士 理学士 | 大石 二郎 | 東京 |
| (数学第一及演習, 同第二及演習) | 理学博士 P. h. D | 池原 止戈夫 | 愛媛 |
| 物理学第一, 物理学演習第一(力学, 熱力学) | 理学博士 理学士 | 原 島 鮮 | 東京 |
| 統計学(応用解析学) | 理学博士 理学士 | 河田 龍夫 | 香川 |

| | | | |
|---|----------------------------|-------|-----|
| 物理学第四, 原子物理学 (電磁場論, 原子物理学) | 理学博士 理学士 | 三宅 静雄 | 東京 |
| 分析化学第一, 同第二 (分析化学) | 理学博士 理学士 | 岩崎 岩次 | 新潟 |
| 物理学第一, 物性論 (実験物理学第二, 物理学実験第四) | 理学博士 理学士 | 高木 豊 | 東京 |
| (数学第一及演習, 同第二及演習) | 理学博士 理学士 | 遠山 啓 | 熊本 |
| 数学第三, 同第四 (解析学第一及演習, 同第二及演習) | 理学博士 医学博士 理学士 医学士 | 小松 勇作 | 石川 |
| (物理化学特別実験) | (兼任) 理学博士 理学士 | 田村 幹雄 | 滋賀 |
| 助 教 授 | | | |
| (膠質化学, 同実験, 一般化学第二及演習) | 理学博士 理学士 | 安藤 暹 | 秋田 |
| 物理学第二, 物理学実験第二 | 理学士 | 河合 紀雄 | 三重 |
| 分析化学演習, 分析化学実験 (化学実験, 分析化学実験) | " | 田代 吻 | 静岡 |
| 化学実験第二, 無機化学, 分光化学 (無機化学特別講義, 分光化学, 無機化学実験) | 理学博士 工学士 | 稻村 耕雄 | 東京 |
| (生物化学, 生物化学実験) | 理学博士 理学士 | 高宮 篤 | " |
| 数学第一, 観測値解析, 演算法 | 理学士 | 早川 康弋 | 愛知 |
| 生物化学第一, 同第二, 同第三, 同第四, 生物学実験第一, 同第二 | 理学士 | 細井 輝彦 | 東京 |
| (生理化学及演習, 一般化学, 化学反応速度論, 物理化学実験第一, 第二, 同特別実験) | 理学博士 理学士 | 志田 正二 | 京都 |
| 物理学第四, 原子核物理学第一 (実験物理学第三) | 理学博士 理学士 | 武田 栄一 | 神奈川 |
| 分析化学実験 (分析化学実験, 化学実験) | 理学博士 理学士 | 吉田 幸人 | 鳥取 |
| (有機化学, 理論有機化学, 有機化学実験第一, 第二) | 理学博士 工学士 | 大田 正樹 | 東京 |
| 地学第一, 結晶学, 岩石学 (無機工業原料, 岩石学, 結晶学) | 理学士 | 山田 久夫 | " |
| 数学第四 (確率論及統計学) | 理学博士 理学士 | 国沢 清典 | 高知 |
| 化学実験第一, 同第二 (有機化学実験第一, 第二, 有機化学特別実験) | 工学士 | 佐藤 徹雄 | 福島 |
| 物理学第二 (一般量子論) | 理学士 | 新桑 和夫 | 東京 |
| 物理学第二, 理論物理学入門 (理論物理学第一及演習, 同第二及演習) | " | 野沢 豊吉 | " |

| | | | |
|-------------------------------|----------|--------|----|
| 物理学第三, 同第四, 物理学実験 (実験物理学第一) | " | 本庄 五郎 | " |
| 数学第二 (ポテンシャル論) | " | 魚返 正茨 | 城 |
| 物理学, 物理学実験第一, 同第二 | (予備部) 教授 | 加藤 汎洋 | 徳島 |
| 講 師 | | | |
| 一般化学実験 (分光化学実験, 一般化学, 無機化学実験) | 工学士 | 阿部 望之 | 東京 |
| 生物学第一, 同第二 | 理学士 | 永久 正志 | " |
| (幾何学及演習第一, 同第二) | " | 皆川 多喜三 | " |
| 化学実験第二, 分析化学実験 (分析化学実験) | " | 萩野 堅 | " |
| 数学第一 (代数学) | " | 丸山 滋彌 | " |
| (統計力学, 理論物理学第二及演習) | " | 小口 武彦 | 長野 |
| 数学第二 | " | 木村 直樹 | 大阪 |
| 物理学第三, 量子論第一 (光学) | " | 市村 浩 | 茨城 |
| 地学第二 | " | 岩井 津一 | 東京 |

助 手

| | | |
|-----|--------|----|
| 理学士 | 秋 邦雄 | 東京 |
| 文学士 | 川村 直子 | " |
| 工学士 | 九里 善一郎 | " |
| 理学士 | 市来 崎巖 | 大阪 |
| " | 川垣 恭三 | 東京 |
| 工学士 | 中田 和夫 | " |
| 理学士 | 平野 潤 | 佐賀 |
| 工学士 | 山岡 恒一 | 長野 |
| " | 大和田 悦郎 | 東京 |
| " | 荒井 定吉 | " |
| 理学士 | 齋藤 利彌 | " |
| 工学士 | 渡部 憲治 | 福島 |
| 理学士 | 内海 唯 | 香川 |
| 工学士 | 間庭 秀世 | 東京 |

| | | | |
|-----|----|---|-------|
| 理学士 | 新栗 | 田 | 正山形 |
| " | 松 | 野 | 満茨城 |
| 工学士 | 須藤 | 一 | 久石川 |
| " | 水野 | 六 | 郎鳥取 |
| 理学士 | 林 | 俊 | 彦静岡 |
| " | 上田 | 田 | 侃兵庫 |
| 工学士 | 佐藤 | 政 | 夫東京 |
| 理学士 | 山岸 | 秀 | 雄岩手 |
| " | 大旗 | 和 | 夫東京 |
| " | 藤井 | 三 | 淳島根 |
| " | 若尾 | 慎 | 二郎神奈川 |
| 工学士 | 石塚 | 由 | 郎高知 |
| " | 高橋 | 健 | 東東京 |
| 理学士 | 小沢 | 満 | 愛知 |
| 工学士 | 矢島 | 繁 | 良東京 |
| " | 杉浦 | 孝 | 三 " |
| 工学士 | 藤原 | 一 | 吉 " |
| " | 高木 | ミ | エ " |
| 理学士 | 林 | 一 | 道和歌山 |
| " | 薦田 | 俊 | 彌愛媛 |
| " | 桂 | 敬 | 千葉 |
| " | 守永 | 健 | 一山口 |
| " | 宮崎 | 功 | 大阪 |
| 工学士 | 近藤 | 幸 | 夫神奈川 |
| " | 白根 | 元 | 兵庫 |
| " | 下島 | 光 | 神奈川 |
| " | 大熊 | 正 | 東京 |
| " | 山室 | 信 | 弘 " |

| | | | |
|-----|----|----|-----|
| " | 大場 | 勇治 | 郎静岡 |
| " | 坂田 | 月 | 肇東京 |
| " | 望月 | 誠 | 武山梨 |
| 理学士 | 岡山 | 誠 | 司富山 |
| 工学士 | 中村 | 泰 | 治東京 |
| " | 北村 | 則 | 久 " |
| " | 本間 | 龍 | 雄新潟 |
| " | 桃井 | 慎 | 一東京 |
| " | 各務 | 芳 | 樹岐阜 |
| 理学士 | 服部 | 明 | 彦東京 |
| " | 星 | 楚 | 禎 " |
| " | 広池 | 和 | 夫大分 |
| " | 奥住 | 元 | 一東京 |
| " | 小倉 | 弘 | 一 " |

応用化学系

教授

燃料第二(有機材料化学第三)
 無機化学工業概論, 化学工場計画,
 工業総論
 (有機合成化学汎論, 有機合成化学
 第二)
 冶金物理化学, 電気冶金, 化学用金
 属材料, 金属化学実験, 冶金実験,
 (冶金理論, 化学用金属材料, 金属
 化学実験, 冶金理論演習)
 (有機材料化学第二)
 (高分子化学第二, 有機材料化学)
 (無機化学工業概論, 無機材料化学
 第一, 第三, 第五)
 単位操作第一, 化学工場設計(化学
 工学第二及演習)
 化学第一(工業物理化学及演習)

| | | | |
|------|----|---|------|
| 工学博士 | 西川 | 栄 | 三東京 |
| 工学士 | 内田 | 俊 | 一岡山 |
| 工学士 | 林 | 茂 | 助東京 |
| 理学博士 | 河上 | 益 | 夫 " |
| 理学士 | 清水 | 誠 | " |
| 農学博士 | 金丸 | 競 | " |
| 農学士 | 山内 | 俊 | 吉鹿児島 |
| 工学博士 | 大山 | 義 | 年東京 |
| 工学士 | 永廻 | 登 | 島根 |

| | | | |
|--|-------------|--------|-----|
| (電解化学第一, 第二, 無機工業化学概論, 生物化学特論, 工業電気化学実験第二) | 理学博士 工学士 | 杉野喜一郎 | 三重 |
| 無機工業材料(無機工業材料第四) | 工学博士 工学士 | 森谷太郎 | 群馬 |
| 酸アルカリ, 応用X線(酸アルカリ, 応用X線, 工業物理化学第二) | 工学博士 工学士 | 久保輝一郎 | 〃 |
| (有機材料第四, 繊維工業化学)(兼任) | 工学博士 工学士 | 前田弘邦 | 兵庫 |
| (工業反応装置) | 工学博士 工学士 | 矢木栄 | 東京 |
| 助 教 授 | | | |
| (色染化学, 有機合成化学第四, 色染化学実験) | 工学士 | 関戸実 | 東京 |
| 燃料化学第一, 化学第三(燃料及燃焼論, 燃料化学) | 理学博士 工学士 | 崎川範行 | 〃 |
| (有機合成化学第二, 同実験第三) | 工学士 | 鶴岡信三 | 千葉 |
| 化学実験, 単位反応第一(工業物理化学第三, 触媒論, 一般化学第二, 有機材料化学第三) | 理学士 | 斯波忠夫 | 東京 |
| 工業化学計算法, 工業物理化学実験(一般化学, 工業物理化学第四, 同実験第四) | 〃 | 佐藤一雄 | 〃 |
| (高压装置設計, 材料力学2, 化学工業汎論, 化学装置設計製図第二) | 工学博士 工学士 | 末沢慶忠 | 京都 |
| 油脂塗料, 工業有機化学実験(有機材料化学実験第一, 第二) | 工学士 | 野口達彌 | 東京 |
| 化学第四, 電気材料第二(電気材料化学, 電気化学, 化学及演習) | 工学博士 工学士 | 星野愷 | 群馬 |
| 応用電気化学第一, 工業化学計算第一, 同第二(電気化学, 界面電気化学, 応用膠質化学) | 工学博士 工学士 | 水野滋 | 東京 |
| 金属化学, 金属分析実験(一般化学, 冶金学汎論) | 理学博士 理学士 | 長崎久彌 | 長野 |
| (珪酸塩工学測定法, 珪酸塩物理化学第二, 珪酸塩工学実験第二, 物理化学実験第二) | 理学士 | 川久保正一郎 | 東京 |
| 化学装置設計第一, 化学装置製図第一(化学装置設計製図第一, 化学装置製図, 化学工学実験) | 工学士 | 葛岡常雄 | 福島 |
| (珪酸塩工学実験第二) | 〃 | 草間保 | 東京 |
| 燃料化学第二(燃料化学) | 〃 | 原信宜 | 和歌山 |
| 高分子化学(有機材料化学実験) | 〃 | 畑敏雄 | 東京 |
| (珪酸塩工学) | 〃 | 素木洋一 | 〃 |

| | | | |
|--------------------------------|-----|-------|-----|
| (有機合成化学第一, 同実験第一) | 〃 | 岡崎光雄 | 栃木 |
| 講 師 | | | |
| 窯業学第一, 工業物理化学実験(珪酸塩工学実験第一) | | 吉田博 | 東京 |
| (珪酸塩工学実験第三) | | 稻生謙次 | 〃 |
| 工業窯炉, 化学工学実験(工業窯炉, 化学工学実験) | 工学士 | 吉田俊二 | 〃 |
| 応用電気化学第一(電解化学第一, 電気化学実験第一, 第三) | 〃 | 向正夫 | 石川 |
| (繊維化学, 繊維工学実験第一, 第二) | 〃 | 牧島邦夫 | 長野 |
| (工業電気化学実験第三, 生物化学特論) | | 大戸敬二郎 | 東京 |
| 助 手 | | | |
| | | 宮川愛太郎 | 東京 |
| | | 中村幸義 | 〃 |
| 工学士 | | 大河原晋 | 神奈川 |
| 〃 | | 小川茂 | 東京 |
| 〃 | | 岡良雄 | 三重 |
| 〃 | | 松本基太郎 | 兵庫 |
| 〃 | | 小松和藏 | 長野 |
| 〃 | | 久保田穰 | 神奈川 |
| | | 内田莊祐 | 〃 |
| 工学士 | | 江藤勝清 | 東京 |
| 〃 | | 井上壽雄 | 新潟 |
| 〃 | | 山賀礼一 | 〃 |
| 〃 | | 白井隆 | 東京 |
| | | 太田千里 | 長崎 |
| 工学士 | | 境野照雄 | 東京 |
| 理学士 | | 佐藤猛 | 新潟 |
| 農学士 | | 石坂正綱 | 福島 |
| 工学士 | | 池辺清 | 東京 |
| 〃 | | 藤英章 | 石川 |

| | | |
|-----|-------|-----|
| " | 外島忍 | 福島 |
| 理学士 | 石原健彦 | 岐阜 |
| 工学士 | 寺沢誠司 | 秋田 |
| " | 竹下正明 | 鹿児島 |
| " | 五十嵐之雄 | 千葉 |
| " | 植松市太郎 | 静岡 |
| | 白井孝三 | 東京 |
| | 金子正巳 | 長野 |
| 工学士 | 助野敏雄 | 兵庫 |
| " | 石川欣造 | 愛知 |
| " | 伊藤四郎 | 大分 |
| " | 高木徳二 | 東京 |
| " | 内木光 | 岐阜 |
| " | 関根太郎 | 東京 |
| " | 佐藤実 | 静岡 |
| " | 蒲生真郷 | 長崎 |
| " | 近藤連一 | 東京 |
| " | 佐々木貞治 | 千葉 |
| " | 松本健次 | 大阪 |
| " | 染野檀 | 福岡 |
| " | 加倉井敏夫 | 茨城 |
| " | 堀城幸雄 | 東京 |
| " | 大塚唯男 | 長野 |
| 理学士 | 平田光穂 | 東京 |
| 工学士 | 清水信一 | 愛媛 |
| " | 鈴木弘茂 | 東京 |
| " | 笠井俊保 | 山梨 |
| " | 長谷川泰 | 群馬 |
| " | 太田京一郎 | 千葉 |

| | | |
|-----|-------|----|
| " | 岩佐甲子郎 | 鳥取 |
| " | 西村洋 | 東京 |
| " | 吉野善弥 | 福島 |
| | 並河守 | 東京 |
| | 高根貞清 | 秋田 |
| 工学士 | 飯島俊郎 | 東京 |
| " | 細谷享 | 群馬 |

応用物理系

教授

(電気磁気学及演習, 電子工学汎論)

理学博士 山本勇 東京

(電力工学第一, 第二, 電気設備, 電力工学製図及実験)

工学博士 大槻喬 兵庫

(電気機械学, 電力応用)

工学博士 尾本義一 東京

材料試験, 金属材料(材料試験, 金属材料汎論)

工学博士 山田良之助

機械工作法, 工作機械第一, 機械工学実験第一, 同第二(機械工作汎論, 切削工学, 工作機械及演習)

工学博士 海老原敬吉 栃木

工業力学第一, 同第二, 材料力学第一, 同第二(材料力学甲類)

工学博士 津村利光 和歌山

繊維物理学第一, 同第二, 製織学, 織物設計, 繊維工学実験第一, 同第二(繊維物理学第一, 第二, 製織学, 織物設計, 繊維工学実験第一, 第三)

工学博士 内田豊作 埼玉

機械工作実習, 機械工学実験第一, 同第二, 工業力学実験, 機械工作法, 工作機械第二, 機械製図, 機械設計製図第四(機械工学実験, 機械工作実習, 機械製作法実験, 鍛造工学, 鍛造, 熔接, 機械設計製図第二)

工学博士 益田森治 岡山

(水力学, 送風機及圧縮機)

工学博士 板谷松樹 東京

電気材料, 応用電磁学(電気材料, 電気物性学, 電気磁気実験)

工学博士 齋藤幸男

流体力学(流体力学及演習)

工学博士 岡本哲史 鳥取

工業熱力学, 蒸気原動機第一, 暖房及空調(工業熱力学, 伝熱学, 暖房冷凍)

工学博士 川下研介 東京

(鉄冶金学, 鉄鋼材料学)

工学博士 岡本正三 岡山

機械運動学, 機械力学, 一般機械工学, 機械工学実験第一, 同第二, 工業力学実験, 機械設計製図第四 (機械運動学第一, 第二, 計測工学, 工業計測, 計測技術第一, 第二, 計測工学特論, 材料設計製図第二)

助 教 授

(内燃機関, 火力原動機, 原動機汎論)

自動車及鉄道車輛 (運輸機関力学及演習)

金屬加工学 (金屬加工学)

(纖維物加工, 織物設計, 纖維工学実験第三)

(紡織学第一, 織物設計)

物理実験第一 (応用弾性学, 機械構造力学)

圧縮機 (内燃機械乙類)

(鑄 造)

(紡績学第二, 織物設計, 纖維工学実験第三)

(流体機械, 原動機汎論)

高周波機器, 無線通信第二, 電気工学製図第二 (回路設計学, 高周波工学, 通信工学設計製図)

(電気機械学第一, 第二, 電気工学汎論, 電気実験)

電気工学製図, 電力工学実験 (電気計測, 電力工学実験, 電気工学製図, 電力工学製図)

(板金工作, 機械設計製図第二乙類)

工作機械第一, 精密測定法, 機械工作実習, 機械工学実験第一, 同第二, 一般機械設計製図, 工業力学実験 (精密工作法)

機械要素, 機械製図, 機械設計製図第一, 同第二 (機械設計, 機械製図, 機械設計製図第一, 第二)

講 師

(機械製図)

基礎電気工学, 回路理論, 応用電磁気学実験 (高周波工学汎論, 通信工学実験)

工学博士 谷 口 修 東京
工学士

理学士 原 正 健 広島

工学博士 近 藤 政 市 滋 賀
工学士

工学博士 作 井 誠 太 富 山
工学士

東 昇 東 京

工学士 白 樫 侃 愛 媛

工学博士 福 田 秀 雄 三 重
工学士

工学士 山 田 英 夫 山 口

工学博士 桶 谷 繁 雄 東 京
工学士

工学士 石 川 章 一

草 間 秀 俊

工学博士 川 上 正 光 栃 木
工学士

理学士 田 代 堅 太 郎 大 分

工学士 齋 藤 健 一 神 奈 川

波 辺 英 世 静 岡

浅 枝 敏 夫 東 京

益 子 正 巳

齋 藤 繁 喜

工学士 有 賀 正 直 長 野

(編組学, 纖維工学実験第三)

電子管及回路 (電気磁気学及演習, 通信工学製図, 通信工学実験)

(織物構造学, 織物設計)

基礎電気工学, 応用電磁学実験 (高電圧工学, 電気磁気測定実験)

助 手

工学士 細 田 一 夫 山 口

大 河 内 正 陽 東 京

青 木 朗 山 形

酒 井 善 雄 山 梨

工学士 早 川 龜 雄 東 京

宮 沢 郡 治

山 田 邦 三 郎

渡 辺 幸 広 福 島

奥 山 勝 治 東 京

三 島 吉 治 秋 田

浅 尾 晴 海 愛 媛

工学士 毛 利 浩 新 潟

岡 村 朝 彦 東 京

小 玉 正 雄

田 辺 寛 逸 愛 媛

工学士 芹 沢 龍 之 介 東 京

中 村 正 久

倉 沢 健 治 神 奈 川

礪 波 宏 明 石 川

小 川 潔 東 京

滝 沢 通 長 野

齋 藤 隆 仁 山 梨

樋 口 健 治 千 葉

高 井 安 幸 和 歌 山

依 田 連 平 東 京

青 木 成 文

松 岡 信

| | | | |
|-----|-------|----|-----|
| 工学士 | 横山 | 功 | 神奈川 |
| " | 松田仁 | 作 | 高知 |
| " | 山中俊一 | 一 | 奈良 |
| " | 三上房男 | 男 | 島根 |
| " | 別宮不二雄 | 雄 | 東京 |
| " | 久世栄一 | 一 | 富山 |
| " | 戸沢康壽 | 壽 | 東京 |
| " | 藤本明 | 明 | " |
| " | 横山幹 | 幹 | 島根 |
| " | 山口正隆 | 隆 | 東京 |
| " | 茂岡義雄 | 雄 | 山口 |
| 工学士 | 手島友亮 | 亮 | 東京 |
| " | 古浜庄一 | 一 | 山口 |
| " | 渡川侃二 | 二 | 東京 |
| " | 岩崎武司 | 司 | 神奈川 |
| " | 鳥取友治郎 | 郎 | 香川 |
| 理学士 | 長倉繁鷹 | 鷹 | 栃木 |
| 工学士 | 片山功藏 | 藏 | 東京 |
| " | 武井清見 | 見 | 神奈川 |
| " | 室田忠雄 | 雄 | 茨城 |
| " | 三平和雄 | 雄 | 東京 |
| " | 佐藤洋太 | 太 | " |
| " | 須田稔 | 稔 | 広島 |
| " | 鳥田懋 | 懋 | 徳島 |
| " | 泥堂多積 | 積 | 福岡 |
| 理学士 | 丹羽義栄 | 栄 | 山形 |
| " | 鈴木栄一 | 一 | 東京 |
| " | 岩井実 | 実 | " |
| 工学士 | 隈部淳一郎 | 一郎 | 熊本 |

技官

建築系

教授

(建築設計第二, 第三, 建築設計設
図, 第三, 第四)

(建築構造学第一, 都市計画)

(構造力学第二, 鋼構造, 構造力学
演習第一, 構造学演習第三)

構造力学第一, 建築防災第一(構造
力学第一, 耐震学)

(建築設計第一, 建築史第二, 建築
史特論, 建築意匠特論)

助教授

建築設備第一, 同第二(建築設計理
学, 建築設備)

建築史, 建築設計製図(建築史, 同
特論, 建築設計製図)

鉄筋コンクリート構造, 構造実験(鉄
筋コンクリート構造, 構造力学演習
第一, 構造力学実験第一, 第二)

(木構造)

図学(建築図学, 設計製図)

助手

| | | |
|-----|-------|----|
| 工学士 | 岡田義男 | 長野 |
| " | 山下不二雄 | 東京 |
| " | 辻 | 茂 |
| " | 樋口義男 | 新潟 |
| " | 玉井重成 | 島根 |
| " | 石橋渡 | 東京 |

| | | |
|------|------|----|
| 工学博士 | 小林政一 | 茨城 |
| 工学士 | 田辺平学 | 東京 |
| 工学博士 | 二見秀雄 | 京都 |
| 工学士 | 二見秀 | 京都 |
| 工学博士 | 谷口忠 | 東京 |
| 工学博士 | 谷口吉郎 | 石川 |

| | | |
|------|------|----|
| 工学士 | 勝田千利 | 東京 |
| 工学博士 | 藤岡通夫 | " |
| 工学士 | 加藤六美 | 愛知 |
| " | 後藤一雄 | 東京 |
| " | 清家清 | " |

| | | |
|-----|-------|----|
| 工学士 | 山崎恒吉 | 東京 |
| " | 大石建次 | " |
| " | 藤本盛久 | 山梨 |
| " | 小林立啓美 | 兵庫 |
| " | 官野秋彦 | 愛知 |
| " | 高橋誠 | 岩手 |

工学士 吉 成 元 伸 秋 田
 " 青 木 志 郎 長 野
 " 石 原 舜 介 岡 山

經 營 系

助 教 授

經營経済学, 工業政策, 工業経営(經營
 経済学, 工業政策, 経済原論) 経済学博士 磯 部 喜 一 東 京
 経済学士
 (生産管理論, 経営学演習) 工学士 木 暮 正 夫 "

講 師

(立地論, 経済学演習, 外国経済書
 講読) 法学士 三 井 喜 悦 山 梨

助 手

商学士 小 林 靖 雄 東 京
 文学士 藤 田 忠 茨 城
 工学士 宮 川 宗 弘 熊 本
 " 藤 田 董 東 京

人 文 科 学 系

教 授

世界文化史, 社会思想史, 技術史(産
 業発達史, 技術史) 商学士 加 茂 儀 一 兵 庫
 保健第一, 同第二, 体育実技一部(医
 学及生理学) 医学博士 浦 本 三 嗣 熊 本
 医学学士
 佛 語 文学博士 小 林 英 夫 東 京
 文学学士
 心理学(心理学) 医学博士 宮 城 晋 弥 東 京
 文学士

助 教 授

独逸語(独逸語) 文学士 井 上 正 藏 東 京
 英語第一, 同第三 " 東 官 隆 " "
 体 育 " 塩 谷 宗 雄 大 阪
 英 語(英 語) 竹 沢 啓 一 郎 東 京

講 師

独逸語(独逸語) 文学士 土 井 義 信 兵 庫

科学史, 化学史 " 田 中 実 愛 知
 英 語 " 伊 藤 整 北 海 道
 英 語 " 太 田 三 郎 東 京
 露 語 佐 木 彰 秋 田
 独逸語 文学士 武 村 治 郎 東 京

助 手

工学士 山 崎 俊 雄 新 潟
 法学士 石 田 俊 丸 東 京
 文学士 宇 留 野 藤 雄 "
 金子 英 一 神 奈 川
 網 豊 作 栃 木
 文学士 高 橋 艶 子 東 京

附 属 高 等 教 員 養 成 所

所 長 (教 授) 山 本 勇

助 教 授

教育心理学, 教育史(教育学) 文学士 高 師 広 吉 埼 玉
 教育原理 " 岡 津 守 彦 大 阪

助 手

文学士 草 谷 晴 夫 静 岡

附 属 予 備 部

部 長 (予 備 部 教 授) 栗 林 信 朗

教 授

日 語, 社 会 文 学 士 栗 林 信 朗 東 京
 化学, 化学実験 理 学 士 海 野 正 茨 城
 数 学 富 山 国 之 助 栃 木
 独逸語 文 学 士 前 田 利 道 熊 本
 物理学, 物理学実験第一, 第二 理 学 士 加 藤 汎 洋 德 島

助 教 授

体 育 池 上 金 治 石 川

講 師
 英 語 市 川 藤 市 愛 知
 独 逸 語 文 学 士 内 田 貢 静 岡
 化学, 化学実験 理 学 士 青 柳 茂 東 京
 助 手 吉 田 正 司 福 島

附 置 研 究 所

建 築 材 料 研 究 所

所 長 (教 授) 田 辺 平 学
 教 授
 (建築材料, 建築構造学第二) 工 学 博 士 狩 野 春 一 滋 賀
 助 教 授
 高 温 化 学 (電 熱 化 学) 工 学 士 小 島 武 和 歌 山
 工 学 博 士 西 藤 一 郎 石 川
 工 学 士
 助 手 農 学 士 佐 藤 三 平 鹿 兒 島
 工 学 士 佐 藤 正 雄 東 京
 " 多 田 彦 二 " "
 坂 井 辰 郎 " "
 工 学 士 龍 谷 光 三 千 葉
 " 藤 本 敏 治 東 京
 後 町 良 定 長 野

資 源 化 学 研 究 所

所 長 事 務 取 扱 (大 学 長) 和 田 小 六
 教 授
 高 温 電 氣 化 学, 無 機 工 業 化 学 概 論,
 (熔 融 電 氣 化 学) 理 学 博 士 舟 木 好 右 衛 門 福 島
 工 学 士
 助 教 授
 (電 池 学, 物 理 化 学 実 験 第 二, 電 氣
 化 学 実 験 第 二) 工 学 士 冠 木 三 郎 福 島

(電 解 化 学 第 二, 工 業 電 氣 化 学 実 験
 第 三)

助 手

薬 学 博 士 水 口 純 東 京
 工 学 士 室 谷 寛 石 川
 工 学 士 鈴 木 貞 雄 福 島
 " 伊 藤 卓 爾 千 葉
 工 学 士 宮 沢 三 郎 東 京
 清 水 義 勝 新 潟
 小 島 良 夫 東 京
 工 学 士 草 場 郁 郎 神 奈 川
 内 村 孝 太 郎 東 京
 理 学 士 石 川 勉 " "
 稻 垣 誠 " "
 工 学 士 瀬 川 猛 静 岡
 升 水 萩 男 東 京
 白 崎 高 保 " "

精 密 機 械 研 究 所

所 長 (教 授) 佐 々 木 重 雄
 教 授

(光 学 計 測, 計 測 技 術 第 二)

金 相 学 第 一, 同 第 二 (金 相 学 第 一,
 第 二, 第 三 及 金 相 学 実 験)

(振 動 論 第 一, 制 御 工 学, 計 測 技 術
 第 一)

助 教 授

材 料 試 験 実 験 (材 料 試 験 実 験, 鑄 造,
 金 相 学 実 験, 計 測 技 術 実 験)

(機 械, 計 測)

(計 測 特 論, 計 測 技 術 第 一, 第 二)

助 手

工 学 博 士 佐 々 木 重 雄 東 京
 工 学 士
 理 学 博 士 伊 藤 直 静 岡
 理 学 士
 工 学 博 士 横 山 均 次 " "
 工 学 士
 工 学 博 士 中 田 孝 東 京
 工 学 士
 工 学 博 士 田 中 実 東 京
 工 学 士
 工 学 士 山 本 晃 高 知
 " 石 川 二 郎 東 京

工学士 池 辺 洋 東京
 " 小 野 浩 二 "
 " 局 又 太 郎 福岡
 工学士 喜 多 春 雄 東京
 " 白 鳥 英 亮 長野
 " 山 田 鉄 夫 東京
 " 福 田 康 正 岡山
 " 三 村 誠 一 東京
 " 青 木 弘 静岡
 理学士 鈴 木 和 郎 宮城
 工学士 島 田 隆 介 神奈川
 " 吉 本 勇 東京

窯業研究所

所 長 (教 授) 山 内 俊 吉

教 授

窯業学第一, 工業材料第一(無機材
 料化学第二, 第三, 珪酸塩工学実験
 第一)

工学博士 河 島 千 尋 愛知
 工学士

助 教 授

化学実験第二(珪酸塩化学第一, 珪
 酸塩工学測定法, 窯業工学実験第一)
 (珪酸塩工学測定法)

工学博士 清 浦 雷 作 東京
 工学士 田 賀 井 秀 夫 "

助 手

斎 藤 進 六 栃 木
 工学士 佐 多 敏 之 鹿 児 島
 " 毛 利 純 一 東 京
 " 伊 藤 美 高 千 葉
 " 村 田 順 弘 東 京

電気科学研究所

所 長 (教 授) 山 本 勇

教 授

(交流理論, 超高周波工学)

工学博士 森 田 清 東京

有線通信第一(有線通信第一, 音響
 工学, 電力応用第二)

工学博士 実 吉 純 一 "

回路数学(電気計測特論, 回路理論,
 変換制御学, 電気力学, 振動論第二)

工学博士 粟 屋 潔 東京
 工学士

無線通信第一(電波工学) (兼任)

工学博士 古 賀 逸 策 佐賀
 工学士

助 教 授

電気音響学, 一般電気工学, 電気工
 学実験第二, 高周波実験(電気工学
 汎論, 通信工学汎論, 音響工学, 電
 気工学実験第一, 第二)

工学士 西 巻 正 郎 新潟

助 手

理学士 松 丸 勝 東京
 " 山 本 和 一 "
 工学士 福 与 人 八 "
 " 押 本 愛 之 助 鳥 取
 " 井 上 英 一 新 潟
 " 菅 一 志 東京
 " 末 武 国 広 "
 " 北 野 進 "
 " 鈴 木 孝 宮 城
 " 森 栄 司 徳 島

技 官

浅 場 友 次 郎 神奈川

燃料科学研究所

所 長 (教 授) 神 原 周

教 授

有機化学工業概論, ゴム及プラスチ
 ックス(有機化学工業概論, 有機材
 料化学)

工学博士 神 原 周 東京
 工学士

(化学工学第一及演習)

工学博士 藤 田 重 文 東京
 工学士

助 教 授

分子構造論 (化学熱力学, 分子構造論)

(有機化学特論)

助 手

| | | |
|------|-------|-----|
| 理学士 | 児島邦夫 | 東京 |
| 工学博士 | 岩倉義男 | 群馬 |
| 工学士 | 鹿島晃久 | 東京 |
| " | 桜井俊男 | 神奈川 |
| " | 尾崎萃 | 東京 |
| " | 大北熊一 | 愛媛 |
| " | 池田朔次 | 東京 |
| " | 小沢信俊 | 静岡 |
| " | 石崎正規 | 栃木 |
| " | 藤倉英夫 | 東京 |
| " | 山崎升 | " |
| " | 越後谷悦郎 | 山形 |
| " | 佐藤正雄 | 静岡 |
| " | 小笠原貞夫 | " |
| " | 由良統吉 | 東京 |
| " | 半田卓爾 | 栃木 |
| 理学士 | 吉野常夫 | 東京 |
| " | 坂下潔 | " |
| 工学士 | 谷沢悦 | " |

7. 学 生 生 徒

(1) 学生生徒現在表 (×印は外国人学生) (昭和25年4月現在)

| 入学年度 区分 | 研究科 | | | 大 学 部 | | | | そ の 他 | | | 附属 予備 部 | 合計 |
|----------------|-----------|---------------|-----|----------|----------|-------------------------|-------|---------|---------|---------|---------------|-------|
| | 特別 研究生 | 研究 科学 生 | 計 | 学部 旧制 | 学部 新制 | 附属高 等工業 教員養 成所 | 計 | 選科 生 | 聴講 生 | 委託 生 | | |
| 昭和23年以前 入 学 | 30 | 6 | 36 | 450 | | 9 | 459 | | | 1 | 1 | 496 |
| | | ×1 | ×1 | ×26 | | | ×26 | | | | | ×27 |
| 昭和24年入 学 | 17 | 8 | 25 | 353 | | 3 | 356 | | | | | 381 |
| | | ×2 | ×2 | ×16 | | | ×16 | | | | | ×18 |
| | | | | | 295 | | 295 | | | | | 295 |
| | | | | | ×21 | | ×21 | | | | | ×21 |
| 昭和25年入 学 | 18 | 22 | 40 | 455 | | 6 | 461 | 50 | | 50 | | 551 |
| | | ×10 | ×10 | ×14 | | ×1 | ×15 | ×7 | | ×7 | ×29 | ×61 |
| | | | | | 302 | | 302 | | | | | 302 |
| | | | | | ×11 | | ×11 | | | | | ×11 |
| 合 計 | 65 | 36 | 101 | 1,258 | 597 | 18 | 1,873 | 50 | 1 | 51 | | 2,025 |
| | | ×13 | ×13 | ×56 | ×32 | ×1 | ×89 | ×7 | | ×7 | ×29 | ×138 |

(2) 学生の平均年齢表 (昭和25年4月現在)

| 入学年度 区分 | (旧制) 大学部 | | (新制) 大学部 | | 備 考 |
|---------------|----------|------------|----------|-------|----------|
| | 人 員 | 平均年齢 | 人 員 | 平均年齢 | |
| 昭和23年以前入 学 | 名 89 | 歳 25.43 | 名 | 歳 | 外国人学生を除く |
| 昭和23年入 学 | 371 | 22.93 | | | |
| 昭和24年入 学 | 357 | 22.47 | 295 | 19.31 | |
| 昭和25年入 学 | 461 | 21.39 | 302 | 18.58 | |
| 合 計 | 1,278 | 22.33 | 597 | 18.12 | |

(3) 學生生徒の状況

1. 在籍者, 休学者

大学部 新制

| 入学年度 | 昭和25年4月現在 | | 昭和24年度 | |
|---------|-----------|-----|--------|----|
| | 在籍者 | 休学者 | 退学及除籍 | 死亡 |
| 昭和24年入学 | 323 | 7 | 2 | 0 |
| 昭和25年入学 | 313 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 636 | 7 | 2 | 0 |

大学部 旧制

| 入学年度 | 昭和25年4月現在 | | 昭和24年度 | |
|-----------|-----------|-----|--------|----|
| | 在籍者 | 休学者 | 退学及除籍 | 死亡 |
| 昭和23年以前入学 | 500 | 24 | 24 | 8 |
| 昭和24年入学 | 381 | 12 | 18 | 1 |
| 昭和25年入学 | 469 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 1,350 | 36 | 42 | 9 |

附属高等工業教員養成所

| 入学年度 | 昭和25年4月現在 | | 昭和24年度 | |
|-----------|-----------|-----|--------|----|
| | 在籍者 | 休学者 | 退学及除籍 | 死亡 |
| 昭和24年以前入学 | 10 | 1 | 0 | 0 |
| 昭和24年入学 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 昭和25年入学 | 7 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 20 | 1 | 0 | 0 |

附属予備部

| 入学年度 | 昭和25年4月現在 | | 昭和24年度 | |
|-----------|-----------|-----|--------|----|
| | 在籍者 | 休学者 | 退学及除籍 | 死亡 |
| 昭和23年以前入学 | 1 | 0 | 3 | 0 |
| 昭和24年入学 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 昭和25年入学 | 26 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 29 | 0 | 3 | 0 |

2. 入学率 (昭和25年4月)

| 大学部 新制 | | | 大学部 旧制 | | | 附属高等工業教員養成所 | | | 附属予備部 | | |
|--------|-----|-------|--------|------|-------|-------------|-----|-----|-------|-----|------|
| 入学志願者 | 入学者 | % | 入学志願者 | 入学者 | % | 入学志願者 | 入学者 | % | 入学志願者 | 入学者 | % |
| 2,610 | 305 | 11.6 | 3,331 | 463 | 13.8 | 97 | 7 | 7.2 | 41 | 29 | 70.7 |
| × 8 | × 8 | 100.0 | × 13 | × 13 | 100.0 | | | | | | |

備考 ×印は附属予備部修了者にして無試験入学したるもの。

(4) 学生の父兄職業別表 (外国人を除く) (昭和25年4月現在)

| 種別 | 学部 旧制 | | 学部 新制 | | 合計 | |
|-------|-------|------|-------|------|-------|------|
| | 人員 | % | 人員 | % | 人員 | % |
| 農業 | 46 | 3.6 | 26 | 4.3 | 72 | 3.8 |
| 商業 | 149 | 11.6 | 59 | 9.8 | 208 | 11.1 |
| 官公吏 | 175 | 13.7 | 101 | 16.9 | 276 | 14.7 |
| 銀行会社員 | 549 | 43.0 | 231 | 38.6 | 780 | 41.6 |
| 学校教職員 | 104 | 8.1 | 51 | 8.5 | 155 | 8.2 |
| 工業 | 33 | 2.5 | 27 | 4.5 | 60 | 3.2 |
| 宗教家 | 2 | 0.1 | 1 | 0.1 | 3 | 0.1 |
| 医師 | 34 | 2.6 | 19 | 3.1 | 53 | 2.7 |
| その他 | 100 | 7.8 | 40 | 6.7 | 140 | 7.4 |
| 無職 | 84 | 6.5 | 42 | 7.0 | 126 | 6.7 |
| 計 | 1,276 | | 597 | | 1,873 | |

(5) 学生生徒氏名

(1) 研究科特別研究

昭和22年入学 (19名)

工学士 秋園 幸一 徳島 工学士 石川 欣造 愛知 工学士 高橋 敏雄 福島
工学士 前橋 陽一 東京 工学士 長久保国治 東京 工学士 村松 篤良 静岡
工学士 山下 素治 静岡 工学士 岡本 英一 神奈川 工学士 倉田 道夫 東京
工学士 近藤 融 岡山 工学士 佐藤 菊正 神奈川 工学士 白鳥 一 東京
工学士 田中 郁三 山口 工学士 西田 健三 大阪 工学士 藤沢 宮次 栃木
工学士 前田 清晴 三重 工学士 山田 英夫 静岡 工学士 山本芳太郎 東京
工学士 平林 真 東京

昭和23年入学 (21名)

工学士 天池 邦弘 岐阜 工学士 奈良錫恒三 栃木 工学士 永沢 満 長崎
工学士 野口 浩作 東京 工学士 橋本 栄久 兵庫 工学士 箕浦 有二 三重
工学士 宮川誠之助 東京 工学士 柴田 長夫 東京 工学士 渡辺 宗男 東京
工学士 杉浦 一郎 東京 工学士 梅川 莊吉 東京 工学士 金木 一夫 千葉
工学士 沢田 悦郎 青森 工学士 柴田 村治 愛知 工学士 滝島 延雄 神奈川
工学士 中原 一郎 岡山 工学士 深沢 敏男 静岡 工学士 美代 乙彦 鹿児島
工学士 向山 光昭 長野 工学士 依田 功 山梨 工学士 吉村 寿次 富山

昭和24年入学 (17名)

工学士 吉成 元伸 秋田 工学士 関口 利男 群馬 工学士 吉本 隆明 東京
工学士 原田 達哉 山梨 工学士 赤間 八郎 山口 工学士 小田中敏男 東京
工学士 小高 良平 千葉 工学士 金子 六郎 栃木 工学士 北川 太一 東京
工学士 小島 邦晴 東京 工学士 相馬 信山 神奈川 工学士 田内 省二 神奈川
工学士 田中 英一 島根 工学士 津田 実 山形 工学士 中島 通公 熊本
工学士 前田 史朗 岡山 工学士 福岡 文雄 東京

昭和25年入学 (18名)

工学士 坂口 実 東京 工学士 佐藤 勝夫 山形 工学士 上平 恒 秋田
工学士 安盛 吉雄 東京 工学士 稲田 与作 佐賀 工学士 小島陽之助 東京
工学士 野宗 嘉明 広島 工学士 庄司 務 東京 工学士 坪村 宏 奈良

理学士 三雲 昂 東京 工学士 美浜 和弘 東京 工学士 竹中 俊夫 富山
理学士 末高 治 岡山 工学士 石川 延男 山口 工学士 森 雄次 神奈川
工学士 池田 美登 長野 工学士 阪東憲一郎 静岡 工学士 杉浦 俊男 東京

(2) 研究科

昭和22年入学 (2名)

工学士 遠藤 幸雄 神奈川 工学士 張 鴻烈 中華民國

昭和23年入学 (5名)

工学士 石崎 彰 岐阜 工学士 鈴木 喜隆 東京 工学士 高間 敬一 群馬
工学士 中井 和夫 滋賀 工学士 水科 房男 東京

昭和24年入学 (10名)

工学士 井上 雄治 東京 工学士 伊豆川喜一 神奈川 工学士 大塚 寿次 東京
工学士 太田 茂久 東京 工学士 神谷 正文 愛知 工学士 小巻 卓司 神奈川
工学士 加藤 治喜 東京 工学士 呂 戊辰 中華民國 劉 興傑 中国
工学士 角田 隆弘 千葉

昭和25年入学 (32名)

工学士 大沼 正則 東京 工学士 佐田 進 東京 工学士 谷崎 義衛 新潟
工学士 渡辺 昂 福島 工学士 楊 郁彬 台湾 工学士 藤川 清 東京
工学士 森田 豊 静岡 工学士 今井 政司 埼玉 工学士 張 建祥 台湾
工学士 鄭 江明 台湾 工学士 木村 君男 東京 理学士 鈴木 周一 東京
理学士 青野 茂行 千葉 工学士 大西 俊次 東京 工学士 茂木 登 群馬
農学士 安田 武 石川 工学士 金田 敏 栃木 工学士 前山 幸雄 山形
工学士 陳 而生 中国 工学士 高橋 恒夫 東京 工学士 佐伯敬治郎 佐賀
工学士 平山 和夫 福島 工学士 吉川 祐蔵 東京 工学士 中尾 一男 静岡
工学士 楊 文波 中国 工学士 池田 忠彦 東京 工学士 王 毓声 中国
工学士 佐伯 雄吉 広島 工学士 周 光遠 中国 工学士 姚 清俊 台湾
工学士 高 銘智 台湾 工学士 李 子聰 中国

(3) 大学部 新制

昭和24年6月入学 (295名)

阿金龍之進 熊本 網代 勇 東京 阿部 泰三 東京 愛沼 政雄 埼玉
秋葉 博 千葉 秋元 精道 千葉 明島 高司 新潟 浅井 昭吾 東京

| | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 浅見 哲夫 群馬 | 浅見 博三 千葉 | 厚英 忠光 東京 | 雨宮 久馬 東京 |
| 綾木 一夫 山口 | 荒木 繁蔵 東京 | 栗屋 博 東京 | 安藤 伸元 新潟 |
| 五十嵐栄一 新潟 | 五十嵐一雄 東京 | 五十嵐 高 神奈川 | 伊倉 駿二 新潟 |
| 井手 孟雄 東京 | 伊藤 進 千葉 | 井上 東南 千葉 | 井原 素三 長野 |
| 飯島 和男 茨城 | 池 一恭 東京 | 池上新太郎 静岡 | 池田 孫明 佐賀 |
| 石井啓一郎 静岡 | 磯野 忠雄 東京 | 磯部 混 千葉 | 市川 惇信 千葉 |
| 市川 光男 東京 | 岩尾 実 東京 | 岩崎 晴 広島 | 岩崎 克巳 静岡 |
| 上田 純 福井 | 植村 勝 和歌山 | 内海 武士 長野 | 江尻 一郎 富山 |
| 江藤哲太郎 熊本 | 緒方 京一 熊本 | 小熊 恒徳 新潟 | 尾沢 明 東京 |
| 小園井正信 茨城 | 小野 準之助 長野 | 小山 喜昭 福島 | 大川 進一郎 東京 |
| 大木 祥民 東京 | 大久保 勇 東京 | 大久保昇洋 東京 | 大越 豊久 福島 |
| 大沢 辰夫 埼玉 | 大島 康 神奈川 | 太田 定平 静岡 | 太田 庄司 東京 |
| 太田 晴康 東京 | 太田 珍 東京 | 大谷 正夫 群馬 | 大塚 毅 佐賀 |
| 大西 将夫 東京 | 大美 欽市 東京 | 大和 玄一 長野 | 岡田 俊男 東京 |
| 岡田 茅巳 千葉 | 沖田 直澄 広島 | 奥野善次郎 福島 | 折戸 善一 新潟 |
| 河西 達之 長野 | 加瀬 和夫 千葉 | 加藤 真 富山 | 加藤 庸夫 東京 |
| 神崎 利勝 山形 | 影山 治夫 栃木 | 風間 健 山梨 | 榎木真佐夫 石川 |
| 片山 喬雄 山形 | 片山 泰一 広島 | 勝 清次郎 東京 | 勝田 恵一 福岡 |
| 金子 利夫 新潟 | 金干 義彦 福岡 | 兼巻 通倫 千葉 | 鎌形 慶二 千葉 |
| 川崎 良浩 富山 | 川田 公広 栃木 | 川路 昭 東京 | 川原 欣治 新潟 |
| 木原 嘉彦 岡山 | 木村 幸 神奈川 | 木村 巖一 東京 | 木村 陽一 兵庫 |
| 吉良 義一 大分 | 菊池 芳正 東京 | 岸野 宇吉 埼玉 | 北原 正 東京 |
| 北村 宏 東京 | 久高 克也 東京 | 久野 和世 神奈川 | 草薙 愛 東京 |
| 黒河 内恒 長野 | 黒須 仲男 栃木 | 小関 条身 神奈川 | 小曾 繁 神奈川 |
| 小平 亨 長野 | 小早川誠市 東京 | 小林 尹 長野 | 小林 正憲 広島 |
| 小林 道夫 新潟 | 小林 雄治 長野 | 香田 規彦 佐賀 | 園分 洪 福島 |
| 近田 淳雄 愛知 | 近藤 光 東京 | 近藤 博 長野 | 佐々木悦男 宮城 |
| 佐藤久仁夫 東京 | 佐藤 圭司 茨城 | 佐藤 丞相 千葉 | 佐藤 長生 東京 |
| 佐野 勇 静岡 | 佐野 隆男 徳島 | 斎藤 圭示 東京 | 斎藤 義男 福島 |
| 坂口 晃一 東京 | 坂崎 敏行 京都 | 坂井 宜隆 愛知 | 坂田英比古 東京 |
| 市東札次郎 千葉 | 清水 仁 岐阜 | 実 裕三 東京 | 澁谷 好学 東京 |

| | | | |
|----------|-----------|-----------|----------|
| 島 恒男 東京 | 島崎 秀夫 東京 | 島田 聰 広島 | 新保 松夫 新潟 |
| 新村 年弘 静岡 | 須山 英三 静岡 | 菅野 清六 東京 | 菅野 浩之 東京 |
| 杉浦 恒明 静岡 | 鈴木 捷 秋田 | 鈴木新之輔 静岡 | 鈴木 健夫 東京 |
| 鈴木 博良 新潟 | 住谷 泰雄 茨城 | 畝迫 宗雄 広島 | 関野秀輔 神奈川 |
| 早乙女政一 栃木 | 染谷 富市 茨城 | 田口 当己 東京 | 田代 権龍 静岡 |
| 田代 光仁 東京 | 多田 照夫 東京 | 田中 大介 石川 | 田中 竜雄 東京 |
| 田中 瑞衛 千葉 | 田辺 法人 東京 | 高井 章 東京 | 高岡 恒郎 茨城 |
| 高木 冬二 群馬 | 高橋 寛 新潟 | 高橋 恒 福島 | 高橋 是清 岩手 |
| 高橋 幹雄 群馬 | 高橋 沙 石川 | 高島 明久 愛知 | 高村 博之 富山 |
| 高本 昭 熊本 | 滝山栄一郎 東京 | 山田 瑛 神奈川 | 竹内 幸雄 東京 |
| 武田 義一 東京 | 館 甚吉 神奈川 | 谷 昭信 東京 | 谷口 節郎 熊本 |
| 千田 壮介 秋田 | 千葉 次郎 宮城 | 千葉 義彦 群馬 | 辻 宏行 東京 |
| 鶴田 重夫 茨城 | 戸尾 任宏 奈良 | 豊島 壮治 東京 | 豊田 高 東京 |
| 長尾 進 長崎 | 長岡 敦 東京 | 中島 勇 群馬 | 中島 勝二 東京 |
| 中島 昇 東京 | 永田 和信 鹿児島 | 中西 敦男 岐阜 | 中村 晃 新潟 |
| 中村 紀一 東京 | 中村 佑 山口 | 中村 達生 三重 | 中村 紀夫 東京 |
| 中村 雄次 静岡 | 中村 義彦 佐賀 | 仲元 達雄 東京 | 丹羽 成忠 東京 |
| 丹羽 高尙 愛知 | 西野 寛生 京都 | 西脇 耕治 三重 | 沼田 竜雄 福岡 |
| 野木平八郎 福島 | 野尻 忠彦 奈良 | 野山 進 神奈川 | 長谷川健介 福岡 |
| 長谷川正木 愛媛 | 馬場 幸夫 長崎 | 萩原 竜馬 東京 | 服部 弘 東京 |
| 服部 宏 新潟 | 服部 忠道 愛知 | 浜谷 健三 東京 | 早川 豊彦 富山 |
| 早川 博充 東京 | 早川 允雄 愛知 | 林 義雄 東京 | 原 省三 埼玉 |
| 原 実 東京 | 原田 中 鹿児島 | 坂 高芳 東京 | 半沢 重雄 宮城 |
| 日浦 敏 新潟 | 平井 修 神奈川 | 平井 協輔 三重 | 平田 徳蔵 東京 |
| 府川 幸資 東京 | 深田 和夫 東京 | 深津 哲三 東京 | 福崎 福七 新潟 |
| 藤井 奨 神奈川 | 古野 勝雄 山形 | 北条 英光 神奈川 | 星山 全 東京 |
| 細金 忠幸 新潟 | 堀江 勳 東京 | 堀江 鏡二 東京 | 堀江 達雄 東京 |
| 本間 孝明 東京 | 木多 充 東京 | 真野 一徳 熊本 | 前田 孝 静岡 |
| 増田 勝一 東京 | 町田 俊行 東京 | 町田 豊 埼玉 | 松井 清 広島 |
| 松浦 通隆 香川 | 松島 勇作 鳥取 | 松橋 忠彬 東京 | 松瀬 滋 秋田 |
| 松村 晃 東京 | 松本 哲雄 東京 | 松元 徹郎 東京 | 末至馨 弘 茨城 |

| | | | | | | | |
|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|
| 三次 衛 | 神奈川 | 三原 保定 | 長野 | 三宅 高嶺 | 山形 | 溝口 長男 | 静岡 |
| 水島 江身 | 岡山 | 南 健 | 北海道 | 宮内 圭治 | 茨城 | 宮坂 悦司 | 長野 |
| 宮坂 安雄 | 長野 | 村市 良夫 | 東京 | 村上 忠弘 | 愛媛 | 村多 明 | 東京 |
| 持田 哲夫 | 埼玉 | 望月 武彦 | 山梨 | 森 偉之輔 | 高知 | 森田 明 | 神奈川 |
| 八重垣芳夫 | 東京 | 屋沢 史郎 | 千葉 | 矢島一治男 | 神奈川 | 安田 浩 | 岐阜 |
| 安永宗一郎 | 福岡 | 柳沢 健 | 長崎 | 山内 泉 | 広島 | 山片 孜 | 北海道 |
| 山本 和夫 | 東京 | 山本 喬一 | 東京 | 横山 桂 | 山梨 | 横山 寛一 | 青森 |
| 横山 信弘 | 岡山 | 吉井 一夫 | 東京 | 吉沢 有介 | 新潟 | 吉田 武 | 静岡 |
| 吉田 篤夫 | 千葉 | 吉原 隆二 | 栃木 | 四十宮真次 | 東京 | 米沢 良平 | 秋田 |
| 若山 茂 | 石川 | 渡辺 一郎 | 石川 | 渡辺 好邦 | 埼玉 | | |

予備部より進学生 (21名)

| | | | | | | | |
|------|----|------|----|------|----|------|----|
| 何 松全 | 中国 | 韓 慶徳 | 中国 | 許 戊申 | 中国 | 喬 伝源 | 中国 |
| 金 鉄祐 | 朝鮮 | 黄 允湫 | 中国 | 黄 伝義 | 中国 | 張 甲宗 | 朝鮮 |
| 張 春河 | 中国 | 陳 知雄 | 中国 | 潘 来日 | 中国 | 楊 集源 | 中国 |
| 余 銘燦 | 中国 | 葉 永熙 | 中国 | 楊 礼光 | 中国 | 顧 振声 | 中国 |
| 李 符節 | 中国 | 劉 漢禹 | 中国 | 柳 承鏞 | 朝鮮 | 林 基次 | 中国 |
| 李 惠然 | 中国 | | | | | | |

昭和25年入学 (302名)

| | | | | | | | |
|-------|-----|-------|----|-------|-----|-------|-----|
| 相川 迪康 | 千葉 | 青木 正夫 | 静岡 | 赤池 和美 | 長野 | 赤石 庄一 | 東京 |
| 明石 圭介 | 東京 | 秋田 孝 | 愛知 | 秋元 三郎 | 東京 | 朝倉 宏 | 神奈川 |
| 浅野 勇 | 東京 | 東 幹男 | 大分 | 阿部 武司 | 栃木 | 荒井 秀 | 栃木 |
| 有村 卯 | 鹿児島 | 五十嵐昭男 | 茨城 | 石井 秀夫 | 東京 | 石井平一郎 | 埼玉 |
| 石井陽一郎 | 東京 | 石川 明 | 愛知 | 石川 和男 | 茨城 | 石川 瑞 | 神奈川 |
| 石島 格 | 東京 | 板垣 清司 | 静岡 | 市橋長太郎 | 新潟 | 伊豆井信夫 | 埼玉 |
| 伊藤 一 | 北海道 | 井上 玄定 | 島根 | 今泉乾次郎 | 東京 | 今吉 尙一 | 大分 |
| 岩沢 弘 | 千葉 | 岩田 安弘 | 大分 | 岩淵 晋 | 東京 | 岩見 定 | 東京 |
| 岩村 一正 | 静岡 | 植村 佳久 | 東京 | 宇佐美 博 | 群馬 | 氏家 一彬 | 千葉 |
| 内田 康男 | 神奈川 | 内山 輝夫 | 東京 | 生方 博之 | 神奈川 | 榎田 秀雄 | 東京 |
| 浦崎 宗吉 | 徳島 | 海老塚佳衛 | 兵庫 | 速藤善二郎 | 東京 | 及川 利幸 | 東京 |
| 種田 導博 | 東京 | 大井 令一 | 静岡 | 大井田 浩 | 静岡 | 大河原 浩 | 群馬 |
| 大熊 正 | 埼玉 | 大島 哲二 | 埼玉 | 大須賀 豊 | 福島 | 大部 操 | 茨城 |

| | | | | | | | |
|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|
| 岡田一喜代 | 愛媛 | 岡田 晃一 | 群馬 | 岡田 隆 | 東京 | 岡田 隆治 | 群馬 |
| 緒方 公明 | 熊本 | 岡戸 清一 | 埼玉 | 奥田 祥茲 | 兵庫 | 小沢 恭一 | 東京 |
| 小沢 節也 | 愛知 | 尾関 隆重 | 京都 | 小野 直也 | 新潟 | 小野 直哉 | 大分 |
| 小野沢輝夫 | 東京 | 香西 孝 | 兵庫 | 加瀬 泰二 | 神奈川 | 桂川 弘 | 岐阜 |
| 加藤 三郎 | 愛知 | 加藤 亨 | 埼玉 | 加藤 博之 | 愛知 | 金川 昭 | 東京 |
| 金久保周吾 | 埼玉 | 金沢 豊助 | 秋田 | 金子 和雄 | 埼玉 | 金子 静雄 | 東京 |
| 神野 正 | 鹿児島 | 亀谷 一雄 | 山口 | 川合 亘 | 東京 | 川上 辰男 | 千葉 |
| 川口 隆造 | 三重 | 川崎 和三 | 栃木 | 三村 善明 | 東京 | 菅 寿郎 | 兵庫 |
| 神作 敏男 | 千葉 | 木口 俊夫 | 長野 | 北原 栄二 | 山梨 | 木村芳男 | 神奈川 |
| 木村和四郎 | 石川 | 木本 宏 | 和歌山 | 熊谷 善衛 | 東京 | 倉沢 和郎 | 福島 |
| 栗田 治郎 | 神奈川 | 栗原 尙美 | 東京 | 桑原 利夫 | 東京 | 小泉 博 | 東京 |
| 小出 一成 | 愛知 | 鯉沼 章 | 東京 | 神津 修二 | 長野 | 小久保孝雄 | 東京 |
| 児島 栄三 | 東京 | 小杉 體裕 | 東京 | 小玉 規雄 | 島根 | 小林 一郎 | 東京 |
| 小林 久雄 | 長野 | 小林三佐夫 | 東京 | 小林 善弘 | 東京 | 小松 昭英 | 石川 |
| 古丸 勇 | 東京 | 五味 正則 | 東京 | 斎藤 昭 | 千葉 | 斎藤 恭平 | 東京 |
| 斎藤 弘悦 | 北海道 | 酒井 慎二 | 大分 | 酒井 寛人 | 神奈川 | 坂本 和夫 | 長野 |
| 坂本 泰治 | 石川 | 佐久本 陽 | 東京 | 指田 幸三 | 埼玉 | 佐藤 光男 | 東京 |
| 佐藤 松則 | 山形 | 佐藤 実治 | 福島 | 真田 統之 | 広島 | 佐村 裕義 | 東京 |
| 沢口 栄一 | 東京 | 三条 貞男 | 新潟 | 三瓶 孝允 | 東京 | 塩入 明 | 東京 |
| 鳴原 和夫 | 東京 | 島田 浩 | 高知 | 清水 薫 | 長野 | 清水 宏 | 東京 |
| 下山 太郎 | 東京 | 白井 亨 | 千葉 | 真藤 知 | 東京 | 新明 良一 | 香川 |
| 杉元圓太郎 | 鹿児島 | 杉山 良道 | 静岡 | 鈴木嘉一郎 | 千葉 | 鈴木志津雄 | 愛知 |
| 鈴木 節三 | 東京 | 鈴木 健 | 栃木 | 鈴木 解雄 | 秋田 | 鈴木 智彦 | 岩手 |
| 鈴木 嶺雄 | 静岡 | 鈴木 亮 | 栃木 | 須磨 昭吾 | 秋田 | 住江 太郎 | 熊本 |
| 関 長臣 | 東京 | 芹沢 正治 | 静岡 | 大門 啓治 | 秋田 | 高木 賢 | 静岡 |
| 高橋 章一 | 千葉 | 高橋 敏郎 | 新潟 | 高橋 広光 | 東京 | 高橋 政夫 | 東京 |
| 武 純也 | 神奈川 | 武井 幸蔵 | 山梨 | 武井 永 | 群馬 | 田島 弘 | 東京 |
| 田島 学 | 長崎 | 立馬 千年 | 東京 | 館野 光男 | 栃木 | 田中 和雄 | 長野 |
| 田中 達博 | 東京 | 田中 孝昭 | 山梨 | 田中 正美 | 東京 | 谷山 紀 | 福岡 |
| 田沼 春樹 | 埼玉 | 田村 元男 | 東京 | 塚田 国雄 | 東京 | 塚田 隆 | 長野 |
| 塚本 宏 | 東京 | 角田 健一 | 神奈川 | 釣巻 貞男 | 栃木 | 鶴村 清寛 | 熊本 |

| | | | |
|-----------|----------|-----------|----------|
| 手塚 健治 東京 | 植原 重三 東京 | 戸塚 繁 静岡 | 富谷 泰 東京 |
| 富山 実 愛媛 | 外山 英世 愛知 | 豊岡 孝治 新潟 | 豊田 万三 新潟 |
| 中井 俊美 和歌山 | 中里見 勝 群馬 | 中島 章弘 長野 | 泳汐 孝 福岡 |
| 中谷 道夫 東京 | 中野 和夫 東京 | 仲野 道雄 静岡 | 永野 峰雄 福岡 |
| 永見 文男 大阪 | 中村 厚 新潟 | 中村 勝俊 静岡 | 中村 研二 島根 |
| 中村 哲 三重 | 中村 正毅 埼玉 | 中村 陽一 静岡 | 梨木 雄児 東京 |
| 仁尾 浩一 高知 | 西 武史 徳島 | 西島 道也 東京 | 西谷 泰雄 千葉 |
| 西村 武 愛媛 | 西木 保雄 東京 | 野口健太郎 埼玉 | 野寺 陽一 東京 |
| 萩野谷 稔 茨城 | 橋口 力造 長崎 | 橋本 定雄 東京 | 橋本 慎平 東京 |
| 橋本 昌之 東京 | 長谷川 哲 東京 | 長谷川達朗 神奈川 | 長谷部 亮 東京 |
| 畑 則行 長野 | 羽田 衛 静岡 | 浜田 義男 愛媛 | 浜野 信孝 東京 |
| 浜野 久義 富山 | 林 勝美 東京 | 林 謙二 長野 | 林 茂雄 秋田 |
| 林 正 岡山 | 原田 賢 東京 | 春木 忠雄 千葉 | 久富 洋 熊本 |
| 日比野 高 京都 | 広瀬 学 岐阜 | 深井幸四郎 東京 | 福島 章介 富山 |
| 福島 幹 長野 | 藤岡 靖雄 長崎 | 藤井 透 島根 | 藤井 裕二 東京 |
| 藤田 政 三重 | 藤原 宏 山口 | 古島 昭雄 栃木 | 古谷 洋三 東京 |
| 星野 一樹 栃木 | 星野 順吉 東京 | 堀 敏夫 富山 | 堀江 正晃 東京 |
| 牧田 健 長野 | 真下 松見 群馬 | 増田 一雄 東京 | 増田 裕行 東京 |
| 増田 裕孝 広島 | 松浦 伸秀 東京 | 松沢 英雄 長野 | 松原 昭 福井 |
| 松本 巖 鳥取 | 松本 都博 鳥取 | 松本 憲章 山口 | 丸山 昭作 新潟 |
| 丸山 純 福岡 | 三浦 純一 東京 | 三浦 正春 三重 | 三神 孝 東京 |
| 三入 利一 東京 | 三野 寿雄 香川 | 三方田 弘 熊本 | 宮崎 信行 東京 |
| 宮本 正雄 静岡 | 村上 英雄 愛媛 | 村松 仁 東京 | 村山 哲也 青森 |
| 毛利 隆 東京 | 森 参治 東京 | 守田 徹 山口 | 森田 幹夫 埼玉 |
| 矢木 敏彦 東京 | 安田 貞夫 栃木 | 安村 幸雄 東京 | 矢田 精一 島根 |
| 山上 英見 三重 | 山口 力 埼玉 | 山崎勝之助 千葉 | 山下 亨平 岐阜 |
| 山田 仁彦 福井 | 山根 重利 岡山 | 山村 勝美 群馬 | 山本 茂明 長崎 |
| 山本 弘 東京 | 横田 博 東京 | 横溝 元之 埼玉 | 横山 忠夫 群馬 |
| 横山 弘 東京 | 吉垣 四郎 兵庫 | 吉田 孝 佐賀 | 吉田 利教 福岡 |
| 芳根 寛樹 東京 | 吉村 博隆 佐賀 | 良知 勤 静岡 | 若月 祥吾 山口 |
| 脇田 栄一 神奈川 | 和久田芳生 東京 | 渡辺 達夫 神奈川 | 渡辺 富男 東京 |

渡辺 亮二 福島 和田 忠三 東京
 外国人学生(3名)
 具志 幸昌 琉球 南 静雄 琉球 劉 飛君 中華民國
 于備部より進学生(8名)
 王 振基 中国 金 律 朝鮮 黄 國彦 中国 高 俊哲 中国
 徐 柄道 朝鮮 孫 柏銘 中国 陳 茂雄 中国 林 則大 中国
 (3) 大学部 旧制
 昭和17年4月入学(1名)
 市川 鶴幸 大阪
 昭和17年10月入学(3名)
 内田 力 福岡 山田 潔 神奈川 松沢 正明 岩手
 昭和18年10月入学(7名)
 岡村 晴 岡山 坪倉 美夫 鳥取 岡部 一郎 神奈川 広橋栄市郎 東京
 杉山 剛一 岐阜 平沢 克彦 長野 富山 豊久 台湾
 昭和19年10月入学(11名)
 小沢 喜博 山梨 妻鹿 秀次 兵庫 藤村 敏記 福岡 野村正治 鹿児島
 窪小谷英敏 福島 遠藤 英三 岡山 田代 新吉 神奈川 松本 協三 東京
 山川 忠臣 静岡 山下 重明 静岡 川原 寛幸 福岡
 昭和20年入学(20名)
 岩切 徹 鹿児島 原 毅夫 岡山 亀井 四郎 和歌山 氏家 鋭士 東京
 高橋 淳 愛媛 岡田 敏雄 京都 青木竜太郎 千葉 馬 沢 中国
 河上 護 東京 塚田 政伊 東京 古橋 一馬 山口 木下 鼎 長野
 田中 護 東京 立花 英夫 島根 井上 正三 滋賀 宇部宮 新 東京
 平野 千秋 徳島 海藤 康夫 宮城 近藤 浩江 新潟 星野 淳 東京
 昭和20年10月再入学(1名)
 吹野 雅彦 鳥取
 昭和21年5月入学(3名)
 佐藤 達夫 東京 間宮 永一 東京 孫 厚隆 奉天
 昭和21年9月転入学(1名)
 小松原英男 茨城

昭和22年4月入学(45名)

今井 吉久 神奈川 今関進一郎 東京 魚崎 啓一 大阪 小川 昭二 千葉
加藤長二郎 東京 河村 祐治 大阪 木村 勝作 東京 菊間 英夫 千葉
菊 盛雅 富山 佐藤 通夫 山形 佐野 曙 東京 沢田 恒 福井
清水 国雄 福井 清水 商二 群馬 塩野 治男 東京 柴野 拓美 石川
鈴木 千勝 東京 田口千登美 岐阜 田草川元一 山梨 田代 亘 埼玉
竹内 宏 愛知 塚田 敏一 東京 辻 俊彦 福岡 高野 和夫 群馬
寺島貞二郎 群馬 鳥飼誠之助 東京 中根 滋 東京 西沢 俊雄 長野
秦 正吾 東京 林 慎 静岡 紅谷 由雄 千葉 福田 健 岡山
益頭 尚和 静岡 松井 暉 富山 三橋 重喜 千葉 水川 清 岡山
葉山益次郎 神奈川 村上 毅臣 島根 山本善一郎 東京 山下 甫 宮崎
金 豊 岩手 金 灼松 広東 李 永熙 朝鮮 陳 鴻群 河北
張 守慶 台湾

昭和22年4月転入学(2名)

牧田 嘉一 東京 信次 篤忠 山口

昭和22年4月入学委託生(1名)

松井きくゑ 愛知

昭和23年4月入学(362名)

安部 宗昌 東京 安藤 一雄 東京 安立 郁夫 大分 足立 公夫 鳥取
足立 毅 東京 相川 澄衛 東京 青木 治郎 東京 青柳 俊夫 群馬
赤尾 勝雄 茨城 明石 宏 富山 秋山 進 岡山 朝倉徹郎 神奈川
葦原 悦朗 京都 天野 英世 大阪 荒井 国重 神奈川 有坂 勝治 新潟
有賀 令 長野 有我 欣司 東京 井口 昭洋 東京 井出 重喜 長野
伊藤 和郎 東京 伊藤 寛一 群馬 伊藤 国彦 東京 猪脇 秀一 栃木
飯塚 三男 埼玉 池辺 潤 東京 池谷 剛 静岡 石川 栄一 山形
石黒久三郎 東京 石崎 弘 愛媛 磯部 昭二 群馬 稲葉 陽 東京
今川 志朗 京都 入江 英俊 神奈川 岩崎 達雄 東京 岩垂 邦昭 東京
岩下 恒雄 東京 岩永 昭二 東京 宇佐美豊二 東京 宇野 敬吉 茨城
浦屋 徹 愛媛 上村 民夫 三重 白井 宗郎 群馬 内田 隆 長野
内田 恒雄 群馬 内山 秀信 長野 梅田 宏之 石川 漆原富士夫 東京

江本 信夫 兵庫 遠藤 一夫 東京 遠藤 敏弘 東京 小川 芳雄 千葉
小川 俊一 静岡 小口 登 長野 小原 昭二 長野 小倉 巖 茨城
小山内正夫 北海道 小田 保光 東京 尾崎 全弘 栃木 大野 勇 東京
大石 幸明 東京 大川 親久 千葉 大塚 重信 千葉 大友 麻次 千葉
大幡 秀一 石川 大森 益久 山口 大矢 克吉 東京 岡崎 章三 愛知
岡村 起 滋賀 岡本 芳男 東京 織田 裕 和歌山 折茂 穰 群馬
狩野 三士 滋賀 加藤健之助 広島 加藤 太郎 広島 加藤 竜雄 埼玉
加藤 哲男 千葉 鹿島 幸哉 東京 梶塚 千里 福岡 梶山勝津芳 福岡
風間 正 東京 片山 繁夫 島根 片山 恒雄 和歌山 勝田 勝人 静岡
門脇 博 鳥取 金子 敏夫 栃木 金沢 敬次 神奈川 金網 久明 千葉
兼重 健二 東京 上田 一郎 鹿児島 上田 泰 栃木 亀井 幹允 栃木
川浦 孝三 愛知 川上申冬至 新潟 川下 徹 福井 川崎 礼三 東京
川角宗一郎 福島 川角 春雄 東京 川瀬 豊栄 埼玉 河田 伸一 東京
河合 秀夫 石川 河村 清和 岐阜 喜多見 秀 千葉 喜多 正男 東京
菊沢 借夫 埼玉 岸 源也 徳島 岩田 宏次 東京 北川 豊和 京都
北林 照助 秋田 北村 淑人 東京 北村正太郎 石川 肝付 兼光 東京
久保田 巧 東京 熊谷 章 長野 蔵掛 春忠 東京 黒沢辰雄 北海道
黒江 義雄 福島 黒岩 胖 福岡 小泉 肇 千葉 小島伊那男 長野
小島 省二 愛知 小玉 剛二 神奈川 小西 希一 東京 小林 孝雄 長野
小林 宏 新潟 小林 道夫 富山 小畑 昇三 千葉 小松 達彌 東京
小松 哲夫 滋賀 小松千夫 長野 五味 邦郎 東京 後藤 和久 東京
後藤 健 東京 香村 繁玄 愛知 権頭 忠則 奄美大島 佐々川静夫 東京
佐々木三夫 長野 佐藤 伸 福島 佐藤 照治 東京 佐藤 恭二 東京
佐治 孝 東京 斎藤 馨児 東京 斎藤 正夫 東京 斎藤 洋一 山形
酒井 節次 東京 崎田文史郎 新潟 作田 利夫 広島 志村幸雄 神奈川
塩川 延洋 長野 推名 立男 千葉 篠原 太郎 東京 柴田 善夫 東京
島田 豊治 東京 島田 三郎 東京 清水 夏雄 東京 清水 勳 愛知
新保喜代嗣 新潟 新橋 照也 千葉 仕入 豊和 東京 末広道昭 鹿児島
末永 元夫 鹿児島 杉浦 輝一 東京 杉原昭一郎 島根 梶山 和郎 東京
管井喜久雄 東京 鈴木 勇 千葉 鈴木 邦勇 静岡 鈴木英三郎 神奈川

| | | | |
|-----------|----------|----------|-----------|
| 鈴木 弘道 東京 | 鈴木 芳朋 新潟 | 鈴木 義一 静岡 | 助川 茂 宮城 |
| 世良 共秀 東京 | 関根 彰 東京 | 曾我 公一 大分 | 宗宮 重行 岐阜 |
| 田口 弘 東京 | 田口 芳美 静岡 | 田中 勇作 大分 | 田中 稜二 東京 |
| 田中 大作 愛知 | 田畑 昌顕 東京 | 大門 恒雄 秋田 | 高島 正己 福岡 |
| 高瀬 昭三 富山 | 高田 雄吉 栃木 | 高橋 弘一 千葉 | 高橋 重男 福島 |
| 高橋 誠一 新潟 | 高橋 保 山形 | 高橋 成一 東京 | 高津 精一 千葉 |
| 滝川 和男 群馬 | 滝沢 章 長野 | 滝本 公雄 長野 | 竹田 正 富山 |
| 竹本 健 東京 | 竹野内慎司 東京 | 武 祐一郎 群馬 | 武田 秋津 東京 |
| 武田 宣雄 神奈川 | 館野 政雄 群馬 | 谷口 雅男 東京 | 長石 進 石川 |
| 津村 和雄 秋田 | 都築敏一郎 東京 | 柘植 茂二 静岡 | 筒井 直 福岡 |
| 筒井貞次郎 神奈川 | 葛川 真 岡山 | 穂田 武次 千葉 | 田村 章義 東京 |
| 戸嶋 藤郎 秋田 | 土井 達海 東京 | 徳永 琢彌 東京 | 富永 滋 東京 |
| 内藤 浩 神奈川 | 中川 泰幸 山口 | 中込 省三 東京 | 中島 隆 福岡 |
| 中島 富夫 東京 | 中島 幸雄 大阪 | 中島 智也 兵庫 | 中塚 武司 岡山 |
| 中野 稔 香川 | 中村 晃 長野 | 中村 公相 佐賀 | 中村 健二郎 千葉 |
| 中村 武彦 静岡 | 中村 孝一 東京 | 中村 正義 香川 | 中村 弘治 千葉 |
| 中村 裕道 東京 | 中村 良平 埼玉 | 中村 良平 石川 | 永田 竜起 熊本 |
| 永森 幸雄 神奈川 | 長岩 猛夫 東京 | 滑志田榮二 東京 | 成田 正 東京 |
| 新海康太郎 東京 | 新居 健三 東京 | 二宮 友二 東京 | 西尾 裕 東京 |
| 西野 博治 東京 | 西山礼太郎 岡山 | 根本 昇 神奈川 | 野口精一郎 東京 |
| 野中 哲雄 群馬 | 野村 喬 鹿児島 | 馬場 嘉彦 岐阜 | 橋本 坦 愛知 |
| 橋本 秀一 埼玉 | 蓮沼 敏三 東京 | 長谷川清衛 東京 | 初谷 照夫 栃木 |
| 服部 薫 茨城 | 服部源一郎 千葉 | 服部 正 京都 | 浜野 英一 埼玉 |
| 早川 一也 宮崎 | 林 俊郎 山形 | 林 昇 愛媛 | 播磨 幹夫 兵庫 |
| 日向 弘 東京 | 樋口 次郎 東京 | 樋口 英健 新潟 | 樋口 政明 東京 |
| 広木 光雄 東京 | 深田 譲治 東京 | 福岡 英三 大阪 | 福田 徳蔵 熊本 |
| 福原 隆二 東京 | 藤原 毅 東京 | 舟木 昭二 東京 | 古山 宏一 新潟 |
| 細谷 清 埼玉 | 細野 辰龍 長野 | 堀内 徳彌 山梨 | 堀江 裕 東京 |
| 堀口正二郎 東京 | 間宮 純 愛知 | 真壁 肇 神奈川 | 前田 明 神奈川 |
| 前田 昭 新潟 | 前田 豊 鹿児島 | 牧 清 東京 | 栢山 年夫 富山 |

| | | | |
|-----------|-----------|-----------|----------|
| 松岡 義直 栃木 | 松賀 義明 神奈川 | 松永 孝雄 香川 | 松村 淳 東京 |
| 松本 繁 東京 | 松本 俊 東京 | 松本 英雄 群馬 | 松本 正夫 大阪 |
| 丸山 礼三 東京 | 三上 俊夫 石川 | 三井 要蔵 東京 | 三輪 瑛逸 東京 |
| 味埜 広司 岡山 | 御園生堯久 東京 | 右田 昇一 神奈川 | 溝口 貞雄 東京 |
| 溝端 康郎 和歌山 | 佐藤 隆 山形 | 嶺脇 浩 東京 | 宮入真亀男 長野 |
| 宮川 敏夫 福井 | 宮垣 義一 千葉 | 宮崎 由朗 埼玉 | 宮城良太郎 東京 |
| 村上 光一 神奈川 | 柳田 達馬 愛知 | 村山 浩 栃木 | 室谷 健一 富山 |
| 目黒 豊 和歌山 | 毛利 竜夫 東京 | 元木 信一 神奈川 | 盛田 正明 愛知 |
| 森 啓太郎 愛媛 | 森 常吉 愛媛 | 森 宏 三重 | 森好 邦 埼玉 |
| 森田 稔 神奈川 | 森越 精一 山梨 | 森本 脩 徳島 | 森村 英典 東京 |
| 矢野 昭 高知 | 谷内田辰夫 新潟 | 八木 雄二 栃木 | 焼田 俊夫 東京 |
| 安田 力 東京 | 山内 尙隆 鹿児島 | 山口昌一郎 香川 | 山口研一 神奈川 |
| 山口 稔 栃木 | 山本 英爾 山形 | 山本 久吉 神奈川 | 山本 千三 東京 |
| 山本 良治 東京 | 山本 豊 三重 | 横井 良一 愛知 | 横倉 謙治 東京 |
| 横田 広 長野 | 横山 明 東京 | 横山 謙三 三重 | 吉井 出 富山 |
| 吉田 貞夫 静岡 | 吉村 昇 石川 | 芳沼 隆 東京 | 米田 稔 広島 |
| 和田 貞夫 神奈川 | 和田 泰蔵 東京 | 渡辺 謙一 東京 | 渡辺昭太郎 新潟 |
| 渡辺仁左右 大阪 | 渡辺 治昭 長野 | 脇 馨 神奈川 | 若松 昭二 香川 |
| 若杉 敏久 富山 | 佐山 吉弘 福井 | | |

昭和23年再入学(1名)

木村 博 山形

附属高等工業教員養成所(4名)

清水 達夫 茨城 下川 純一 長野 樽田 光男 長野 古矢敏一 神奈川

転入 学生(4名)

大橋 豊一 山形 笹倉 五郎 兵庫 田坂 隆馨 広島 川名俊郎 神奈川

外国人 学生(13名)

| | | | |
|-----------------|----------|---------|----------|
| 吳 完教 朝鮮 | 莊 延瑛 中国 | 洪 聰仁 中国 | 陳 秋曼 中国 |
| 尹 華桃 朝鮮 | 韓 応教 朝鮮 | 蕭 見朝 中国 | 陳 金竜 中国 |
| 蔡 文慶 中国 | 森下 直路 米國 | 謝 敏鏗 中国 | ユ オ ノ 印度 |
| ラデナムリョノブンタラン 印度 | | | |

予備部よりの進学生(7名)

孫 貽忠 河北 郭 功凱 福建 馬 広秀 安東 張 銘忠 奉天
恩 毓田 奉天 李 玉綱 安東 薫 永増 河北

昭和24年4月入学(352名)

青木 昌俊 長野 相沢 哲也 岩手 足立原久夫 神奈川 秋葉久三郎 埼玉
秋庭 賢 埼玉 秋山 忠男 東京 秋山 直也 東京 浅野 正和 東京
朝日出正一 東京 厚谷 欣一 北海道 尼子 一郎 兵庫 天田 佳一 群馬
荒井 雅夫 新潟 荒川 次弘 東京 荒木欣一郎 東京 有富 亨 福岡
淡川 泰正 東京 安藤 秀行 東京 伊藤 淳 東京 伊藤 敬二 徳島
伊藤 晃二 東京 伊藤 栄郎 愛知 伊藤 良一 新潟 猪俣 宇吉 新潟
井田 正士 愛知 井田村英夫 東京 井上 昭 広島 井上 和生 広島
和泉 忠美 鹿児島 碓 謙一 新潟 池上 昭久 東京 池田 順二 新潟
石井 清 山口 石井 謙三 山梨 石井 常春 埼玉 石井 康雄 東京
石川不二雄 静岡 石田 雅昭 東京 石田 道夫 愛知 板橋 吉良 東京
市川 道明 茨城 市川祐三郎 東京 稲葉 和通 東京 稲葉 昌一 東京
飯島 一成 長野 飯塚常太郎 東京 飯野 英夫 奈良 岩橋 善昭 福岡
今井 孝二 東京 今村 敏行 熊本 今村 允 福岡 宇野 精二 東京
上杉 伸二 新潟 上山 哲成 福井 植松 芳郎 静岡 宇田川重和 埼玉
内田 昭三 岡山 内野 洋一 東京 梅津 之路 東京 梅林 弘 東京
江沢 正 千葉 榎本 輯次 東京 小川 正夫 東京 小田島耕一 新潟
小沢 重樹 山梨 大崎 賢一 新潟 太田 四郎 新潟 太田 毅 岐阜
太田 義男 栃木 大橋 完 東京 大谷 功 東京 岡 竜平 山口
岡塚 尚 新潟 奥島 甚良 愛媛 奥田 隆造 島根 奥田 典夫 東京
奥村 昌之 石川 長田 敏雄 山梨 落合昭二郎 広島 香馬 峻 兵庫
織戸 恒雄 東京 海東 幸男 神奈川 賀川 二雄 東京 賀集 巖 兵庫
持井 恒雄 鹿児島 春日 卓三 長野 柏木 学 青森 柏原 久二 東京
片瀬 伝治 長野 片野 利治 東京 梶 光雄 香川 加藤 誠軌 東京
金井 元 静岡 金井 久雄 新潟 金田 芳男 福島 亀井 邦二 群馬
鴨飛田 清 東京 川上 清 熊本 川島 健栄 東京 川角 辰雄 福島
川西 剛 兵庫 川畑 兼俊 鹿児島 川原 忠雄 岡山 川平 豊 静岡

川村 光男 新潟 管 正直 兵庫 木内 健 香川 木村 圭吾 茨城
木村 義夫 神奈川 菊地 武 愛媛 菊地 陽一 東京 岸上 泰三 愛知
北川 甫 福井 北浜 三郎 兵庫 北村美都穂 京都 久保 秀孝 静岡
久保田裕文 東京 倉田 昭 東京 来栖 猛 茨城 小池栄一郎 埼玉
小島 辰一 栃木 小島 博 埼玉 小林健次郎 新潟 小林 源祐 栃木
小林 敬 東京 小林 理作 群馬 小林 利行 広島 小松 省吾 岡山
小松 康男 高知 小森 有二 岐阜 小柳浩一郎 東京 小柳 俊一 東京
小山 達也 群馬 子安 英次 千葉 子安 一義 千葉 古牧 久義 長野
国府田恒雄 茨城 幸本 茂 広島 甲本 知道 岡山 神代 晴 東京
神山 弘章 滋賀 近藤 道夫 東京 今野 一恵 東京 佐久田昌昭 鹿児島
佐藤 健 東京 佐藤 進 東京 佐藤 則明 東京 雑賀 屯 長野
斎藤 正 東京 斎藤 鶴義 佐賀 酒井 亨 東京 坂本 雄吉 東京
相良 省三 鹿児島 清水 仁 東京 清水 昌夫 富山 塩川 省吾 埼玉
柴田 観 長野 椎名勢一郎 岩手 島崎 巖 東京 島田 公明 滋賀
島田 源嗣 千葉 下川 四郎 福岡 白川 善昭 石川 白崎 和男 東京
白土 四男 茨城 白浜 謙一 長崎 真保 礼吾 東京 須原 康夫 東京
末次 雅夫 佐賀 杉浦淳一郎 静岡 杉田 豊 東京 杉山喜一郎 静岡
鈴木 乙二 茨城 鈴木 栄 東京 鈴木 茂 東京 鈴木 典男 福島
鈴木 早蔵 神奈川 須藤 信夫 東京 住谷 光陽 茨城 関 安康 愛媛
関根 毅 栃木 田中 茅子 埼玉 田中 健二 愛媛 田中 三郎 東京
田中 達二 徳島 田中 永信 東京 田中 庸治 東京 田村 寛 島根
多賀野 久 茨城 多崎 敏雄 福井 多田 昭三 高知 高崎 伸夫 茨城
高橋 寛実 岩手 高林 満春 新潟 高島 修時 石川 滝島 敏雄 神奈川
竹越 起一 東京 武中 敏雄 高知 竹林 啓 鳥取 竹本 弘 石川
武部 忠邦 東京 谷岡 香雄 鳥取 玉田 実 大阪 千葉 元秀 宮城
津田圭四郎 宮城 塚本 昭慶 鳥取 辻 定三 岐阜 露木 重彦 山梨
手塚 達 栃木 手塚 義郎 東京 寺尾 浩次 京都 寺崎 巖 広島
寺本 俊彦 静岡 天日 誠 東京 戸崎 康隆 熊本 徳永 嘉夫 佐賀
富村 正彦 東京 名執 三郎 山梨 中川 孝一 東京 中沢 博司 新潟
長久保大司 茨城 長島 貞治 東京 永戸 正一 徳島 長屋 稔 山口

| | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 中野 浩 東京 | 中原 勝儼 東京 | 中村 惠一 東京 | 中村洋一郎 東京 |
| 中山 辰夫 神奈川 | 成家 健之 東京 | 難波 正治 東京 | 西沢 照太 長野 |
| 西館 和之 北海道 | 西村 昭治 山口 | 西村 達雄 滋賀 | 西村 俊之 熊本 |
| 西村 誠 東京 | 西尾 勉 岐阜 | 二宮 信行 鳥取 | 丹波 康雄 東京 |
| 沼口 安隆 福岡 | 沼尾 邦雄 栃木 | 能村 昭 石川 | 羽賀 舜布 新潟 |
| 袴田 孝一 静岡 | 橋本 真 栃木 | 島山 光佑 宮城 | 長谷川政夫 東京 |
| 浜島 修二 千葉 | 浜田 昭二 福島 | 浜田 泰 東京 | 原田 元夫 東京 |
| 春木 浩 神奈川 | 比嘉 良夫 沖縄 | 東島 武夫 大阪 | 樋口 元一 新潟 |
| 土方 整 東京 | 平井 聖 愛知 | 平井 直兄 大阪 | 平井 保夫 東京 |
| 平岡 延三 東京 | 平野 賢一 静岡 | 平野 清吾 三重 | 平林喜久夫 岐阜 |
| 広井 健造 東京 | 広田 実 石川 | 広瀬 信夫 山形 | 深井 正一 富山 |
| 福井 博 愛知 | 福島 英利 鹿児島 | 福富 博 福島 | 藤沢 広 群馬 |
| 藤原 謙二 鳥取 | 藤原 文嘉 茨城 | 藤本 正光 東京 | 別所 照彦 徳島 |
| 星田 安正 熊本 | 星野 定司 新潟 | 宝積 宏 神奈川 | 細川 俊雄 東京 |
| 堀江 守 栃木 | 堀 昭二郎 和歌山 | 堀尾 公一 東京 | 本宮 達也 福島 |
| 木城 通一 滋賀 | 本間 進 新潟 | 本間 元雄 新潟 | 前田 光永 東京 |
| 町野 綽 千葉 | 松岡 兵衛 岡山 | 松島 哲也 東京 | 松本 旭 鳥取 |
| 松尾 良二 長崎 | 益田 和昭 広島 | 又吉 彦 沖縄 | 円井 素輔 兵庫 |
| 三浦 泰彦 兵庫 | 三刀屋恭信 広島 | 三矢 周夫 東京 | 御船 昭 鳥取 |
| 三船 英雄 徳島 | 皆川 竜也 東京 | 宮内 徳之 鹿児島 | 宮下 秀久 東京 |
| 宮野 恭一 群馬 | 宮本 紳三 茨城 | 村田 久彌 福島 | 村尾 麟一 熊本 |
| 李子 達雄 埼玉 | 望月 健一 広島 | 持永 純一 長崎 | 森 孝次郎 長崎 |
| 森 正 佐賀 | 森 竜雄 香川 | 森 春元 東京 | 森安 二 群馬 |
| 森 正和 鹿児島 | 森川 亮 東京 | 森島 周利 岡山 | 森田 敏夫 石川 |
| 森田 和 千葉 | 安岡 澄夫 福島 | 山県 淳 東京 | 山口 美明 東京 |
| 山崎 敏幸 佐賀 | 山田 達三 愛知 | 山田 達郎 岐阜 | 山田 豊治 東京 |
| 山田 重 兵庫 | 山田 隆三 京都 | 山中 太郎 広島 | 山之内昭夫 鹿児島 |
| 山本 明 東京 | 山本 孝彦 高知 | 山本 博孝 東京 | 山本 雅彦 東京 |
| 湯口 照平 東京 | 横田与士郎 福井 | 横山 奨雄 兵庫 | 吉江 冬樹 長野 |
| 吉岡 仗治 東京 | 吉田 敬 東京 | 吉野 正昭 愛知 | 吉村清孝 神奈川 |

| | | | |
|----------|----------|---------|----------|
| 米沢 克昌 青森 | 乗智 明 東京 | 笠 大次 福岡 | 和田 計二 群馬 |
| 和田 義彰 長野 | 若槻 慶男 新潟 | 若林 敏 千葉 | 渡辺 至 東京 |
| 渡辺 昭三 岐阜 | 渡辺 喜昭 秋田 | | |

附属高等工業教員養成所 (3名)

| | | |
|----------|----------|----------|
| 浜野 宏輝 佐賀 | 荒井 慶一 東京 | 増田 貞義 静岡 |
|----------|----------|----------|

昭和24年転入学 (1名)

| |
|----------|
| 佐々木清允 東京 |
|----------|

外国人学生 (8名)

| | | | |
|----------|---------|----------|---------|
| 姜 晶圭 朝鮮 | 胡 振邦 中国 | 施 玉森 中国 | 陳 永漢 中国 |
| 柳原光太郎 朝鮮 | 頼 民権 中国 | 比嘉 良夫 沖縄 | 又吉 彦 沖縄 |

予備部より進学者 (8名)

| | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 王 大文 中国 | 玉 万江 中国 | 翁 清 中国 | 周 曙光 中国 |
| 趙 書経 中国 | 徐 仕興 中国 | 白 清志 中国 | 梁 民徳 中国 |

昭和25年4月入学 (453名)

| | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 安倍 昭彦 大分 | 阿部 浩一 福島 | 青木 正義 神奈川 | 天野 豊治 東京 |
| 新井 昭三 埼玉 | 有賀 昭三 北海道 | 有村 丞二 熊本 | 安藤 鏡治 東京 |
| 井上 哲彦 東京 | 伊藤 健吉 愛知 | 伊藤 進 東京 | 伊藤 昭一 大分 |
| 池内 義明 山口 | 池上 昭一 岡山 | 石田 巽 新潟 | 石田満三郎 新潟 |
| 磯松 定義 福井 | 市川 和男 長野 | 市橋 和道 鹿児島 | 今成 昭雄 埼玉 |
| 岩熊 昭三 熊本 | 上田 庸夫 高知 | 内田 昭就 山口 | 海野 洋平 岩手 |
| 江本 茂 鳥取 | 大石 庸 静岡 | 大石 昇吾 静岡 | 大岩 明雄 新潟 |
| 大田 清平 富山 | 大月 晃 栃木 | 大橋 弘 滋賀 | 大橋 宏 東京 |
| 岡本 忠三 山口 | 荻野和一郎 山梨 | 織部 芳則 兵庫 | 風間宏太郎 東京 |
| 桂木 学 山口 | 兼重 一郎 東京 | 神尾 涉 大阪 | 神山 昌哉 東京 |
| 川崎 治平 東京 | 川中子昌一 栃木 | 水原 紀吉 茨城 | 菊田 平 千葉 |
| 久保内 修 東京 | 国武 雅男 福岡 | 窪田 英男 東京 | 熊谷 博彰 東京 |
| 能坂 寿久 神奈川 | 倉員 嘉郎 福岡 | 栗山 将 愛知 | 黒崎 新也 徳島 |
| 小久保 肇 愛知 | 小窪 勇平 東京 | 小塚 勉 東京 | 小林 重良 神奈川 |
| 小林 忠彦 山梨 | 小松 敦 長野 | 香田 康夫 東京 | 河野 通陽 栃木 |
| 高良 仁人 福岡 | 佐川 康行 熊本 | 佐藤 和典 新潟 | 高井 哲也 神奈川 |

| | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 志波 泰男 富山 | 清水 和夫 群馬 | 清水 二郎 東京 | 島田 茂 東京 |
| 正垣 愛備 兵庫 | 白石 進 神奈川 | 新谷 隆一 広島 | 菅田 一利 山口 |
| 杉村 元威 東京 | 鈴木 三郎 愛知 | 鈴木 昭次 千葉 | 鈴木 辰夫 茨城 |
| 田口 淳 東京 | 田中 節子 岐阜 | 田辺 徹生 東京 | 田原 久旗 島根 |
| 高井俊一郎 東京 | 高田 薫 愛知 | 高原 猛 茨城 | 滝 頼母 福岡 |
| 但馬 惟昭 鹿児島 | 種本 和男 福岡 | 丹下 達雄 鹿児島 | 津田 昌男 石川 |
| 辻 芳郎 静岡 | 土屋 宏二 静岡 | 寺岡 義之 東京 | 豊島 巖 愛媛 |
| 那須 太郎 東京 | 中倉礼次郎 長崎 | 中俣 長男 鹿児島 | 長瀬 博和 岡山 |
| 波平健一郎 大分 | 西川 章三 神奈川 | 西迫 俊二 広島 | 根尾 泰 東京 |
| 端山 孝 東京 | 萩本 博幸 長野 | 幡鎌 秀夫 静岡 | 蜂谷 和夫 長野 |
| 服部 信夫 茨城 | 林 国一 長野 | 林 鎮夫 愛知 | 林 隆 香川 |
| 日向 豊雄 山形 | 東 啓介 広島 | 久田 孝一 滋賀 | 久富 徹 神奈川 |
| 泥谷 直大 宮崎 | 平川 良俊 熊本 | 深川 宗光 熊本 | 福井 幸夫 山口 |
| 藤井 成二 三重 | 藤江 昭 青森 | 藤波 堅一 埼玉 | 藤野 弘 埼玉 |
| 藤本 勝也 兵庫 | 藤本 正夫 東京 | 真下 博和 東京 | 松井 健児 東京 |
| 松井善之助 神奈川 | 松井 昭孝 京都 | 松浦 敏行 香川 | 松浦 寛 兵庫 |
| 松尾 一郎 茨城 | 松友 昭生 愛媛 | 松本 茂 香川 | 三木 実 香川 |
| 三雲 正夫 東京 | 三増 節雄 山口 | 溝口 武 東京 | 水野 幸男 東京 |
| 宮 恭 新潟 | 宮沢 朗 長野 | 宮沢 浄 長野 | 村越 俊治 東京 |
| 村田 達夫 鳥取 | 村田 芳治 神奈川 | 村松 茂樹 新潟 | 望月 良雄 静岡 |
| 森田次次郎 千葉 | 八代 圭造 大阪 | 山口 昭一 東京 | 山口 泰治 東京 |
| 山田英一郎 東京 | 山本 千秋 福島 | 山本 敏樹 愛知 | 山本 尊 岡山 |
| 山本 泰正 東京 | 横田 大 東京 | 吉岡 範行 東京 | 吉田 恒 岡山 |
| 和田 邦久 和歌山 | 渡辺 惇 愛知 | 渡辺 隆 新潟 | 荒井 忠重 神奈川 |
| 飯島 芳知 東京 | 井上 敦 秋田 | 猪股秀三郎 新潟 | 今城 昭男 福井 |
| 江南 光 東京 | 遠藤 幾郎 東京 | 小田 莊一 新潟 | 大森 喬 島根 |
| 岡 和義 高知 | 落合 昭典 岐阜 | 香川 四郎 愛媛 | 加納 実 東京 |
| 景山 好夫 岩手 | 川西 博 東京 | 川真田幸男 徳島 | 畔柳 功芳 愛知 |
| 小林 正和 香川 | 後藤 直安 高知 | 近藤 素夫 愛知 | 作間 澄久 東京 |
| 四万 稔 神奈川 | 清水 泉 埼玉 | 塩沢 知行 栃木 | 鋪 春男 東京 |

| | | | |
|-----------|----------|-----------|-----------|
| 島村 敏 千葉 | 鈴木 勲 愛媛 | 砂川 博 東京 | 瀬川 泰男 鹿児島 |
| 袖山 忠一 長野 | 多田 修 東京 | 高橋 正昭 長野 | 高浜 和秀 宮崎 |
| 高柳 誠一 埼玉 | 竹中 透 宮崎 | 竹田 清 長野 | 竹田 平八 熊本 |
| 辻 誠 東京 | 土本 裕天 茨城 | 角村 正雄 東京 | 土肥 宏 富山 |
| 徳江 哲夫 群馬 | 中津留 達 大分 | 中道 松郎 秋田 | 西沢 令智 東京 |
| 西村 正俊 東京 | 沼倉 俊郎 東京 | 浜野 恒雄 東京 | 林 泉 長野 |
| 林 順雄 東京 | 平野 達郎 秋田 | 藤原 忠志 岡山 | 藤本 京平 広島 |
| 前田 稔 山口 | 松井 伸崇 広島 | 松尾 武 佐賀 | 松永 時和 鹿児島 |
| 松原 英世 長野 | 三尾 恵一 宮崎 | 三木 正夫 山口 | 水井清一郎 東京 |
| 山川 亨 三重 | 大和 薫 島根 | 結城 大 東京 | 吉田 弘 東京 |
| 吉野 宏一 富山 | 若田 和明 石川 | 渡辺 彰 茨城 | 相沢 吉郎 秋田 |
| 青沼 孝正 東京 | 赤羽 信久 東京 | 秋山 義亮 福島 | 浅川 昭二 北海道 |
| 安藤 由典 東京 | 井上 喜幸 愛媛 | 井村 宗文 東京 | 猪瀬 太郎 東京 |
| 池田 豊 東京 | 市川 光昭 東京 | 一針 善彦 石川 | 大塚 達也 北海道 |
| 今泉登喜次 佐賀 | 岩崎 正己 東京 | 岩沢 泉 東京 | 岩田 雅明 北海道 |
| 牛尾 格 兵庫 | 内田 盛也 佐賀 | 恵谷 賢司 東京 | 小川 浩 三重 |
| 小田 一彦 新潟 | 小野 京一 大分 | 尾田 弘文 熊本 | 大石 新 熊本 |
| 大石 英夫 静岡 | 太田 尚 島根 | 大野 拓郎 東京 | 岡 和郎 福岡 |
| 岡崎 孝 山口 | 岡田 治 愛知 | 岡田昭二郎 香川 | 岡本 行雄 鳥取 |
| 沖山 泰蔵 東京 | 奥野 健男 東京 | 落安正太郎 青森 | 加勢 範雄 東京 |
| 加地 昭夫 愛媛 | 加藤 巖 富山 | 加藤 勝蔵 千葉 | 加藤 忠幸 鳥取 |
| 片山 七郎 新潟 | 門脇 孝 島根 | 金井 淳 長野 | 金子 憲司 千葉 |
| 亀田 昭 埼玉 | 亀田 信雄 熊本 | 川上 通雄 鹿児島 | 河野賢太郎 宮崎 |
| 神田 隆之 兵庫 | 木島多喜男 群馬 | 木村 清 栃木 | 喜覚 雄作 愛知 |
| 金原 一守 静岡 | 銀林 皓 新潟 | 梶見 昭三 岡山 | 国久 和子 東京 |
| 倉田 昌治 福島 | 栗林 滋男 東京 | 桑山 則彦 高知 | 小島 久雄 神奈川 |
| 小島 雅郎 埼玉 | 小林 宏臣 兵庫 | 小林 博樹 東京 | 小南 直也 福島 |
| 小室 経治 神奈川 | 後藤 英雄 東京 | 後藤勇太郎 東京 | 河野 広久 愛媛 |
| 上郎 新八 神奈川 | 佐久間晴一 大分 | 佐藤 茂 群馬 | 佐藤 好成 栃木 |
| 佐野兵之助 愛知 | 齋木 学 山梨 | 齋藤 浩 東京 | 坂倉 栄 神奈川 |

| | | | |
|-----------|-----------|-----------|----------|
| 坂戸 直行 石川 | 坂野 義郎 東京 | 坂本 興雄 東京 | 清水 幸夫 静岡 |
| 椎名 宏 茨城 | 浜江 昭夫 長崎 | 島村 弘之 東京 | 下田 繁 東京 |
| 白岩 正豊 福島 | 神 潔 北海道 | 酢谷 外雄 富山 | 諏訪多辰治 東京 |
| 杉松 昭人 東京 | 鈴木 康雄 東京 | 澄川 昌三 山口 | 住谷 正夫 茨城 |
| 関口 設也 東京 | 田川 浩三 熊本 | 田口 達雄 東京 | 田代 清 山梨 |
| 田代 辰夫 群馬 | 田中 馨 広島 | 田宮 頼之 広島 | 高野秀三郎 新潟 |
| 滝田 欽一 兵庫 | 竹居 光二 東京 | 武石 喜幸 東京 | 民門 隆 熊本 |
| 坪島 和彦 広島 | 寺島 彌八 東京 | 富田 徳造 神奈川 | 富永 素雄 東京 |
| 中川 邦好 東京 | 中島 幸男 東京 | 中根 実 東京 | 中根 康雄 東京 |
| 中原 匡 新潟 | 中原 安治 福岡 | 中村 好雄 栃木 | 中村 能人 福岡 |
| 仲尾次政浩 兵庫 | 鍋谷 愛子 東京 | 仁科 正夫 岡山 | 西尾 稔 鳥取 |
| 西川外喜雄 富山 | 西沢 保 東京 | 西野 一宏 富山 | 野口 昭男 高知 |
| 芳賀 恒夫 愛知 | 長谷川克衛 新潟 | 長谷部義彦 東京 | 橋本 正治 熊本 |
| 浜田憲三郎 高知 | 浜田 博 大阪 | 林 茂夫 山形 | 林 茂樹 和歌山 |
| 春山 志郎 群馬 | 平井 澄三 千葉 | 福田 喜洋 石川 | 福代 喜十 東京 |
| 藤沢 旭 神奈川 | 藤本章一郎 大阪 | 藤本 昭三 神奈川 | 藤山 実佑 東京 |
| 弘 弘 岐阜 | 古川 孝志 鹿児島 | 古川 昌彦 東京 | 古谷 馨 東京 |
| 堀 彌八郎 東京 | 本多 直 長野 | 真野 孝雄 愛知 | 巻島 得二 東京 |
| 松田 恒男 広島 | 松原 光一 東京 | 前田 勇 愛知 | 三田村昭夫 福井 |
| 三井 良平 北海道 | 水島 幸男 新潟 | 宮坂 勝郎 長野 | 宮崎 俊吉 福岡 |
| 宮崎 陽允 愛媛 | 宮沢 鉄蔵 長野 | 村上 薫 宮城 | 村上 雄一 東京 |
| 村上 祐輔 香川 | 森 辰男 東京 | 矢田 信也 大分 | 安竹 了知 東京 |
| 安永 暉義 東京 | 柳沢 宏 東京 | 山形 昭衛 東京 | 山崎 健 東京 |
| 山下 白 広島 | 山田 敏三 愛知 | 山田 道彦 東京 | 山本 純三 東京 |
| 山本 勝 東京 | 横田 哲雄 群馬 | 吉井 金吉 大阪 | 吉村 三郎 福井 |
| 米山 高範 東京 | 和田 仁 茨城 | 和田 保 茨城 | 若月 昇 新潟 |
| 渡部 金助 愛媛 | 渡部 寿 愛媛 | 青山 栄一 東京 | 浅野 昭寿 愛知 |
| 今村 驥一 熊本 | 岩仲 秀明 千葉 | 上浪 恒 東京 | 梅村 直孝 愛知 |
| 小笠原平一郎 長野 | 藤山 光顕 青森 | 川崎 浩司 大分 | 岸 隆司 神奈川 |
| 篠原 一男 東京 | 柴家 茂 大分 | 田尾 良温 兵庫 | 田尻 貞夫 島根 |

| | | | |
|----------|-----------|----------|----------|
| 田爪 寿典 宮崎 | 高橋 修 東京 | 高柳 昭治 東京 | 谷山 隆典 東京 |
| 津下 一英 岡山 | 寺畑 秀夫 神奈川 | 土井 洋三 東京 | 豊島 光夫 東京 |
| 中井 啓輔 東京 | 西尾 元孝 岐阜 | 野々垣忠雄 愛知 | 林 昌二 東京 |
| 番匠谷堯二 大阪 | 彦井 昭一 北海道 | 広橋謙次郎 富山 | 兵藤 真之 東京 |
| 細田 治隆 長野 | 増谷 宏 鳥取 | 美川 浩也 熊本 | 三ツ井達雄 長野 |
| 宮坂 修吉 長野 | 宮下 稔 鳥取 | 村上陽一郎 愛媛 | 元成千万喜 岡山 |
| 森 京介 東京 | 山岡 薫 高知 | 吉田 正義 埼玉 | 若林 英彦 東京 |
| 渡辺 敬三 山梨 | | | |

附属高等工業教員養成所(7名)

| | | | |
|---------|----------|----------|----------|
| 藤田 誠 長野 | 前田 秀 東京 | 佐藤 信治 群馬 | 今野 太三 樺太 |
| 石井 登 埼玉 | 渡辺 信男 山梨 | 高橋 俊郎 東京 | |

外国人学生(1名)

王 克莊 中華民國

予備部よりの進学生(13名)

| | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 王 錦水 中国 | 高 永祥 中国 | 高 克三 中国 | 徐 騰茹 中国 |
| 張 仁吉 中国 | 羅 雲財 中国 | 林 堯九 中国 | 易 広洪 中国 |
| 張 鴻飛 中国 | 陳 文彬 中国 | 楊 集竜 中国 | 謝 竜光 中国 |
| 蘇 水吉 中国 | | | |

昭和25年再入学(1名)

田中 貞夫 栃木

昭和25年再入学外国学生(1名)

李 天興 台湾

(4) 附属予備部

昭和25年入学(29名)

| | | | |
|---------|--------------|---------|---------|
| 陳 逸郎 中国 | 田 相鐘 朝鮮 | 金 仲泰 朝鮮 | 林 志雄 中国 |
| 李 八淳 朝鮮 | 蔡 洙昌 朝鮮 | 古 乾蘭 中国 | 金 義兼 朝鮮 |
| 李 輝埒 中国 | 文 容会 朝鮮 | 金 仁顯 朝鮮 | 金 炯万 朝鮮 |
| 黄 樹技 中国 | 曹 圭錫 朝鮮 | 林 振基 中国 | 玄 承瑄 朝鮮 |
| 陳 維明 中国 | オコール・ハツサン 印度 | 趙 炎統 中国 | 玄 永錫 朝鮮 |
| 鄭 錫胤 中国 | 蔡 咸東 中国 | 何 乃昌 中国 | 奇 鐘三 朝鮮 |

林 克明 中国 金沢 弘治 朝鮮 鄭 成采 朝鮮 鄭 東秀 朝鮮
魯 朝臣 中国

(5) 聽講生及び選科生

聽 講 生 (50名)

| | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 戸室 英雄 東京 | 友森 寛 静岡 | 井上 孝允 福岡 | 竹村 直 東京 |
| 茂木 一雄 東京 | 松本 兵大 兵庫 | 木内 信宏 長野 | 鮎川 麟一 東京 |
| 石川昭一郎 福岡 | 高橋礼三郎 東京 | 山田 和男 神奈川 | 亀之園藤吉 鹿児島 |
| 古沢 順江 千葉 | 藤田 友也 京都 | 川野幸三郎 東京 | 日浦 政治 秋田 |
| 渡辺 登 長野 | 吉田 泰治 岩手 | 志茂 昌幸 東京 | 石渡 宏 東京 |
| 加藤 成吉 東京 | 今村 修 静岡 | 小山 平八 長野 | 根倉 源吉 東京 |
| 安藤 浩次 埼玉 | 坪井 要 東京 | 松本 敏明 東京 | 倉茂 正一 東京 |
| 檜山 茂樹 茨城 | 和田 英男 鹿児島 | 三ヶ木見竜 東京 | 大津常五郎 東京 |
| 小島 浜男 東京 | 小峰 利雄 埼玉 | 柳沼 常治 福島 | 佐野 英夫 山梨 |
| 牛島 友吉 茨城 | 新村 登 東京 | 高塚 忠夫 熊本 | 山崎 敏男 長野 |
| 西村 人士 長野 | 岩根 政雄 東京 | 山田 一隆 千葉 | 中島 福一 新潟 |
| 本田 秀導 岐阜 | 西村 清 滋賀 | 大道 邦雄 福井 | 成川 昭弘 東京 |
| 泉 恒雄 長崎 | 鈴木喜久次 群馬 | | |

外国人聽講生 (7名)

| | | | |
|---------|-----------|---------|---------|
| 吳 承樹 中国 | 陳 紹林 中国 | 鄭 柄五 朝鮮 | 李 玩春 朝鮮 |
| 李 正東 朝鮮 | スギノ イシヤ 韓 | 相明 朝鮮 | |

選 科 生 (10名)

| | | | |
|----------|----------|-----------|----------|
| 伏原幹一郎 愛知 | 寺田 昭 富山 | 津村 利宏 和歌山 | 辻 景虎 福岡 |
| 小林勇太郎 福井 | 須藤 育雄 富山 | 沖 和男 岡山 | 内柴 信郎 愛知 |
| 豊永 隆彌 東京 | 永持 温也 東京 | | |

8. 卒 業 者

(1) 卒業生氏名

大 学 部

昭和24年9月卒業

機 械 工 学 (2名)

堀江 宏 福岡 後藤 齊 京都

有機材料化学 (1名)

井村 久彌 静岡

織 維 工 学 (1名)

巖斗 秀夫 奈良

昭和24年10月卒業

機 械 工 学 (1名)

高田 正治 東京

昭和25年3月卒業

応 用 数 学 (2名)

川部 市蔵 東京 坂口 実 東京

応 用 物 理 学 (12名)

| | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 近藤 実 東京 | 佐藤 勝夫 山形 | 志賀 重之 東京 | 庄司 務 東京 |
| 高橋 恒夫 東京 | 竹中 俊夫 千葉 | 富田 隆詮 東京 | 深瀬 昭二 東京 |
| 福田 興作 佐賀 | 星野 紀一 茨城 | 木間 端雄 新潟 | 美浜 和弘 東京 |

化 学 (26名)

| | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 磯野 昌生 静岡 | 上平 恒 秋田 | 大沼 正則 東京 | 萩野 義定 長野 |
| 金田 敏 栃木 | 亀井 康雄 東京 | 小林喜八郎 長野 | 佐田 進 東京 |
| 佐藤真佐樹 茨城 | 坂田 豊 愛媛 | 田中 博 東京 | 谷崎 義術 新潟 |
| 都築竜一郎 東京 | 塚越 正治 埼玉 | 中村 正 東京 | 野宗 嘉明 広島 |
| 花輪 義男 東京 | 平林 良勝 長野 | 藤川 清 東京 | 藤倉 三郎 東京 |
| 保里 敏夫 富山 | 森 雄次 神奈川 | 安盛 岩雄 東京 | 矢野 幸男 東京 |

角田 昭 群馬 津守 祐次 山口

機械一般 (60名)

| | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 阿刀田 実 宮城 | 相原 民彦 宮城 | 浅井 正雄 大阪 | 荒谷 勲 佐賀 |
| 草 清泰 中華 | 池田 美登 長野 | 石川 伝七 千葉 | 石田 敏男 埼玉 |
| 今西 達雄 香川 | 白井 徹 山梨 | 内山 晴夫 新潟 | 江口 威 東京 |
| 遠藤 幸雄 東京 | 大沢 水澄 東京 | 大田 和雄 兵庫 | 王 鴻徳 台湾 |
| 梶山 武夫 茨城 | 川上 聰 東京 | 久保 明 東京 | 熊谷 連治 長野 |
| 坂上 博 東京 | 笹生 南明 神奈川 | 税所 正邦 鹿児島 | 関口 和男 東京 |
| 田中 大麓 兵庫 | 高田 博行 大分 | 高橋 忠夫 新潟 | 谷本 勝清 東京 |
| 寺崎 和郎 東京 | 中尾 一男 山口 | 中村 哲哉 埼玉 | 二木 清夫 東京 |
| 西森 督 熊本 | 八田 健蔵 静岡 | 秀島 瑛一 東京 | 平井 茂 香川 |
| 平野 昇 兵庫 | 広田 義人 長野 | 星野 一男 東京 | 堀 裕 富山 |
| 前山 幸雄 山形 | 松永 俊生 東京 | 松宮 和正 東京 | 松本 泉 東京 |
| 三沢 貞 長野 | 光沢 富雄 東京 | 南 秀夫 東京 | 宮田 求 東京 |
| 矢島 正己 埼玉 | 山口 啓 群馬 | 山口 二郎 福島 | 安田 正義 神奈川 |
| 結城 舜一 東京 | 吉本真佐雄 山口 | 米谷 茂 岩手 | 劉 炳松 中国 |
| 桑名 正之 三重 | 熊野 米徳 東京 | 金藤 馨一 新潟 | 河合 宏 広島 |

機械生産 (34名)

| | | | |
|----------|-----------|-----------|----------|
| 伊藤 光雄 静岡 | 池谷 敏男 静岡 | 石井 泰造 山梨 | 石橋 光伴 愛知 |
| 稲生 稔 東京 | 尾沢 好一 神奈川 | 大内 昇 東京 | 加藤 恒 静岡 |
| 葛 公一 東京 | 金子 成世 東京 | 鎌田 裕之 神奈川 | 川又 美夫 茨城 |
| 金在 昇 朝鮮 | 隈部淳一郎 熊本 | 柴木 敦 熊本 | 下村 武 静岡 |
| 白戸 昭 青森 | 田中 隆正 静岡 | 田中 稔 埼玉 | 竹内 弘 千葉 |
| 玉沢 健司 東京 | 張 兆明 中国 | 陳 而生 中国 | 辻 栄一 東京 |
| 富山 栄 茨城 | 直井孝三郎 茨城 | 南部 金次 兵庫 | 西村 嘉雄 長野 |
| 本田 英美 東京 | 増田壮一郎 埼玉 | 湯浅 政治 千葉 | 吉原 誠二 東京 |
| 林 則秀 中国 | 吉永 婦一 東京 | | |

機械計測 (10名)

| | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 石渡欽三甫 東京 | 岡沢 幸治 東京 | 神木 武美 静岡 | 黒坂 孝三 長野 |
|----------|----------|----------|----------|

| | | | |
|----------|----------|---------|----------|
| 斎藤 真司 東京 | 式 正大 福岡 | 田賀 明 石川 | 谷井 琢也 富山 |
| 永倉 和郎 静岡 | 渡辺 俊郎 東京 | | |

電気第一 (36名)

| | | | |
|-----------|----------|-----------|-----------|
| 足立 洋一 神奈川 | 相原 淑 神奈川 | 井上隆一郎 東京 | 伊藤 剛郎 東京 |
| 飯島 慶紀 茨城 | 石川 直正 東京 | 石栗 一民 東京 | 石原 純 千葉 |
| 今井 国雄 長野 | 尾川 照雄 静岡 | 岡田 浩 東京 | 川橋 登 東京 |
| 鬼頭 明 愛知 | 栗原 秀次 東京 | 小室 勝彦 埼玉 | 是木 昭二 福岡 |
| 斎藤 茂雄 東京 | 三条 貞治 新潟 | 白松 重明 東京 | 鈴木 憲司 福島 |
| 外川 勉 愛知 | 田口 大 鳥取 | 館山 武裕 青森 | 谷口 芳男 和歌山 |
| 長坂 猛 長野 | 萩原 英二 群馬 | 橋木 敏雄 埼玉 | 深津美津雄 東京 |
| 本多 晴 群馬 | 水町 輝彦 東京 | 宮川 澄夫 神奈川 | 室田 幸雄 富山 |
| 本山 登 神奈川 | 山下喜美雄 福井 | 吉沢 干明 長野 | 米花 昭二 広島 |

電気第二 (27名)

| | | | |
|----------|-----------|----------|----------|
| 浅古 幸一 埼玉 | 爪屋 茂 大阪 | 江崎藤一郎 福岡 | 大塚 晋 群馬 |
| 岡田 義男 長野 | 金沢 暁 東京 | 北村 敏 静岡 | 小菅 正夫 群馬 |
| 小林 正紀 長野 | 近藤 辰男 神奈川 | 阪本 高 山梨 | 竹内 芳郎 長野 |
| 谷山 陽 宮崎 | 十合 道子 奈良 | 内藤 恵吉 千葉 | 中上 一雄 東京 |
| 中山 隆樹 栃木 | 西村 孟郎 東京 | 村松喜八郎 静岡 | 森 栄司 徳島 |
| 安広 輝夫 東京 | 山川 博 東京 | 劉 燈宝 中国 | 渡辺 紀嘉 島根 |
| 小野寺 亮 東京 | 矢津 透 東京 | 田辺 春彌 岡山 | |

化学工学 (28名)

| | | | |
|-----------|----------|-----------|----------|
| 秋葉 昌信 福岡 | 伊藤 高昭 愛知 | 岩田 喜博 神奈川 | 植田 政裕 愛媛 |
| 遠藤 和夫 北海道 | 笠谷 彰 東京 | 木村 茂 富山 | 北川 一雄 高知 |
| 権川 保 秋田 | 白井 俊夫 東京 | 高橋 秀彦 大分 | 滝田 俊雄 東京 |
| 鄭 正鋪 中国 | 豊田 貞男 東京 | 永野 剛 東京 | 羽賀 興一 新潟 |
| 平井 英二 福井 | 星野 庸治 東京 | 堀田 昭 富山 | 丸山 俊彦 栃木 |
| 水野 善雄 埼玉 | 宮内 庸恵 愛媛 | 宮代 利光 神奈川 | 持田 隆 東京 |
| 森 達郎 神奈川 | 森田富次郎 東京 | 横山 桂治 東京 | 菅野 信雄 富山 |

工業物理化学 (12名)

| | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 井山 幸雄 東京 | 伊東 一郎 富山 | 大西 俊次 東京 | 小林 盛 北海道 |
|----------|----------|----------|----------|

坂本 敬親 神奈川 須藤 宗久 東京 杉浦 俊男 東京 武岡 壯 島根
 花沢 孝 東京 阪東憲一郎 静岡 李 肇慶 台湾 渡辺 昂 福島

工業電気化学 (18名)

飯島 徳三 山梨 石井 良平 神奈川 石山 豊次 東京 大島一善 神奈川
 王 毓声 中国 岡本 祥一 東京 香山 孝夫 千葉 渡木 光一 長野
 唐沢 涉 長野 木村 君男 東京 佐伯 雄造 広島 中村 智善 愛知
 長谷川 敬 山梨 深山 喬 千葉 茂木 登 群馬 森田 耕一 栃木
 渡辺 弘 東京 池上 久 長野

有機材料化学 (42名)

安 承玉 朝鮮 赤染 義一 東京 麻原 秀夫 東京 新井 康允 群馬
 市原 重男 神奈川 岩元 聰夫 鹿児島 遠藤 進 静岡 大貫 雄策 群馬
 大野 源治 千葉 萩野 圭三 栃木 片岡 忠夫 茨城 河合 徹 愛知
 木戸上利男 石川 岸田 満夫 東京 北沢 弘 長野 金持正次郎 栃木
 栗田 学 茨城 小島陽之助 東京 小松 隆 北海道 小山 巖 和歌山
 古藤 秀三 東京 斎藤 修一 栃木 斎藤 博久 千葉 周神 祐 中国
 関野 昭 北海道 千布 正雄 東京 千葉 重明 東京 柄脇 雅之 広島
 坪井 清秀 新潟 鉄 信雄 茨城 富岡啓太郎 静岡 豊田 靖 大分
 瀧川 洪介 東京 深沢 義朗 東京 福島三千夫 滋賀 藤沢 和三 東京
 三浦 邦夫 大分 三矢武次郎 東京 木瀬 正道 東京 森 薫 兵庫
 楊 郁彬 台湾 林 師甫 中国

有機合成化学 (29名)

安部 信義 大分 新井 厚明 埼玉 飯島 俊郎 東京 石川 延男 山口
 板橋 資郎 愛知 今井 政司 埼玉 上島 繁美 福岡 大石 武次 静岡
 岡 喜三 東京 岡太 昭 広島 岡村 博光 群馬 木下 博史 東京
 木村 研 東京 柴田 敏夫 福岡 鈴木 久男 静岡 高橋 美寛 奈良
 張 建祥 中国 鄭江 明 台湾 豊田 保 東京 中島 功 東京
 中西 實 山口 原田 和男 東京 細川健二郎 秋田 森田 豊 静岡
 山本 進 東京 姚 清俊 台湾 吉田 修 茨城 渡辺 幸洪 福岡
 石井 善久 長野

無機材料化学 (10名)

各務 芳樹 岐阜 川浪 重年 佐賀 菊地 史 東京 小林 三雄 群馬
 島田 信郎 東京 巽 昭夫 和歌山 成瀬 庸一 岡山 松岡 伸 鳥取
 鈴木 正義 東京 林 愛信 中国

冶金 (1名)

大塚 正哉 長野

金属加工 (1名)

辻 昭二 富山

繊維工学 (19名)

安藤清一郎 東京 朝比奈正二 静岡 井田 正昭 埼玉 池田 信人 東京
 白田 嘉也 岐阜 王 以存 中国 加藤 庫千 埼玉 片柳 豊 東京
 高 銘智 中国 斎藤 昭二 埼玉 周光 遠 台湾 中島 資郎 岡山
 星野 外彦 新潟 前田 徳三 東京 壬生 衛 静岡 李 子聰 中国
 陳 仁寔 中国 島田 克浩 兵庫 宮田 芳郎 神奈川

建築第一 (13名)

相川 竜夫 東京 赤松 重美 埼玉 伊藤 春光 埼玉 池田 忠彦 東京
 石井準之助 長野 石田 昭 神奈川 笠松 成美 和歌山 坂本 正俊 福島
 鈴木 昇 愛知 竹重 富男 神奈川 吉見 吉昭 愛媛 永田 一雄 宮崎
 田中 貞夫 栃木

建築第二 (18名)

伊東 竜男 福井 菊池 武雄 長野 小西 敏夫 福井 近藤 元弘 東京
 佐藤 清 東京 谷山 信夫 愛知 中西 正明 三重 深谷 辰彦 愛知
 前沢 喜清 熊本 松下富士雄 群馬 森 万幸 福岡 山田孝一郎 石川
 山田 芳明 東京 寒川 清 和歌山 北後 寿 兵庫 嘉屋 克巳 東京
 沢井 敏雄 東京 森 懸 神奈川

附属高等工業教員養成所 (3名)

上野 譲 山梨 酒井 純 茨城 吉田 昌年 神奈川

委託生

神谷 元泰 東京

(2) 学科別卒業生表(昭和24年度)

| 学 科 別 | 大 学 部 卒 業 人 員 | 大学部卒業人 員外国人学生 | 計 | 備 考 |
|-----------|------------------|------------------|-----|-------------------------|
| 応 用 数 学 | 2 | 0 | 2 | |
| 応 用 物 理 学 | 14 | 0 | 14 | |
| 化 学 | 26 | 0 | 26 | |
| 機 械 工 学 | 60 | 3 | 63 | |
| 機 械 生 産 | 30 | 4 | 34 | |
| 機 械 計 測 | 10 | 0 | 10 | |
| 電 気 第 一 | 36 | 0 | 36 | |
| 電 気 第 二 | 26 | 1 | 27 | |
| 化 学 工 学 | 27 | 1 | 28 | |
| 工業物理化学 | 11 | 1 | 12 | |
| 工業電気化学 | 17 | 1 | 18 | |
| 有機材料化学 | 36 | 4 | 43 | |
| 有機合成化学 | 26 | 3 | 29 | |
| 無機材料化学 | 9 | 1 | 10 | |
| 冶 金 | 1 | 0 | 1 | |
| 金 属 加 工 | 1 | 0 | 1 | |
| 繊 維 工 学 | 15 | 5 | 20 | |
| 建 築 第 一 | 12 | 1 | 13 | |
| 建 築 第 二 | 18 | 0 | 18 | |
| 機 械 工 学 | 1 | 0 | 1 | 附属高等工業教 員養成所課程併 修 |
| 応 用 物 理 学 | 1 | 0 | 1 | |
| 建 築 第 二 | 1 | 0 | 1 | |
| 合 計 | 383 | 25 | 408 | |

(3) 昭和24年度卒業生卒業後の状況調査表

(昭和25. 6. 30. 現在)
(外国人卒業生を除く)

| 就職進 学の区分 | 学科別 | | | | | | | | | | | | | 計 |
|--------------------------|-----|-----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| | 応用学 | 物理学 | 化学 | 機工 | 電工 | 化工 | 工業 | 工業 | 工業 | 工業 | 工業 | 工業 | 工業 | |
| 石 炭 礦 業 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| 非 金 属 工 業 | 0 | 0 | 0 | 3 | 4 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 |
| 建 設 業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 | 12 |
| 食 料 品 製 造 業 | 0 | 0 | 0 | 3 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| 紡 織 業 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 2 | 0 | 0 | 11 | 0 | 0 | 6 | 0 | 25 |
| 印 刷 出 版 及 び 類 似 業 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 化 学 工 業 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 8 | 1 | 4 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 25 |
| ガ ラ ス 及 び 土 石 製 品 製 造 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| 金 属 製 品 製 造 | 0 | 0 | 1 | 4 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 |
| 機 械 製 造 業 | 0 | 0 | 0 | 13 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 |
| 電 気 機 械 器 具 製 造 業 | 0 | 0 | 0 | 2 | 9 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 |
| 輸 送 用 設 備 製 造 業 | 0 | 0 | 1 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 |
| 専 門 機 械 等 製 造 業 | 0 | 0 | 1 | 9 | 3 | 0 | 0 | 0 | 10 | 1 | 0 | 5 | 0 | 28 |
| そ の 他 の 製 造 業 | 0 | 0 | 2 | 3 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 |
| 陸 運 業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 |
| 通 信 業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| 教 育 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 非 営 利 的 団 体 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 5 |
| そ の 他 の サ ー ビ ス 業 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 1 | 13 |
| 公 務 | 0 | 0 | 0 | 2 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 10 | |
| そ の 他 の 産 業 | 0 | 0 | 4 | 10 | 3 | 6 | 1 | 5 | 10 | 5 | 0 | 2 | 0 | 46 |
| 上 級 学 校 入 学 者 | 1 | 6 | 3 | 3 | 0 | 0 | 4 | 2 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 28 |
| 無 業 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 4 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 |
| 不 詳 | 1 | 5 | 8 | 27 | 11 | 2 | 0 | 3 | 7 | 1 | 2 | 1 | 15 | 83 |
| 合 計 | 2 | 14 | 25 | 100 | 62 | 28 | 11 | 16 | 66 | 9 | 2 | 15 | 33 | 383 |

9. 敷地建物及設備

(1) 敷地

| | 坪 |
|------------------------------------|------------|
| 目黒区大岡山, 大田区南千束町北千束町及び石川町所在, 電鉄線路以南 | 41,873,817 |
| 大田区北千束町, 目黒区大岡山及び緑ヶ丘所在, 電鉄線路以北都道西側 | 27,038,134 |
| 大田区北千束町所在, 電鉄線路以北都道東側 | 664,870 |
| 大田区南千束町 381 番地 | 9,207,159 |
| 群馬県吾妻郡嬭恋村所在 | 5,880, - |
| 茨城県東茨城郡大貫町所在 | 3,300, - |
| 東京都台東区浅草蔵前所在 | 773,490 |
| 合計 | 88,737,470 |

(2) 建物

| 名称 | 構造 | 延坪 |
|----------|--------------------------|-----------|
| 本館 | 鉄筋コンクリート三階一部二階一四階地下室及塔屋付 | 7,779,191 |
| 講堂 | 鉄骨造一部木造平家 | 167,950 |
| 蔵前記念館 | 組立鋼筋コンクリート造 | 53,543 |
| 雨天体操場 | 木造平家建 | 64, - |
| 運動場附属控所 | 木造平家建 | 57, - |
| 学生体育用更衣室 | 木造平家建 | 14, - |
| 自動車車庫 | 木造平家建 | 24, - |
| 車庫 | 木造鉄板張 | 28, - |
| 車庫 | 鉄骨鉄板張 | 8,660 |
| 自動車ポンプ置場 | 木造平家建 | 7, - |
| 自転車置場 | 木造平家建 | 16, - |
| 門衛所 | 木造平家建 | 7, - |

| | | |
|-----------|---------------------|---------|
| 門衛所(西部) | 木造平家建 | 12, - |
| 門衛所(寄宿舍) | 木造平家建 | 2,500 |
| 門衛所(南門) | 木造平家建 | 4,500 |
| 印刷室 | 木造平家建 | 90, - |
| 製氷室 | 木造平家建 | 9,500 |
| 植物温室 | 鉄骨ガラス張一部木造平家 | 27, - |
| 映写室 | 木造中二階建 | 5, - |
| 木工所 | 木造平家建 | 15, - |
| 変電所 | 木造平家建 | 12,500 |
| 倉庫 | 鉄骨鉄板張平家 | 41,666 |
| 第四号倉庫 | 木造平家建 | 20, - |
| 第五号倉庫 | 鉄骨造平家 | 50,200 |
| 第六号倉庫 | 木造平家建 | 9,500 |
| 第七号倉庫 | 木造平家建 | 84, - |
| 第八号倉庫 | 鉄骨造平家 | 16, - |
| 第九号倉庫 | 鉄骨造平家 | 80, - |
| 第十号倉庫 | 鉄骨造平家 | 30,100 |
| 第十一号倉庫 | 鉄骨造平家 | 40,200 |
| 講義室研究室 | 木造二階建 | 150,040 |
| 染料化学実験工場 | 鉄骨鉄筋コンクリート造平家中二階建 | 147,423 |
| 紡織学科実験工場 | 木造平家建 | 266, - |
| 同 | 鉄骨鉄筋コンクリート平家建 | 503,118 |
| 同 動力室 | 鉄骨造平家 | 48, - |
| 窯業学科実験工場 | 鉄骨, 鉄筋コンクリート造平家中二階建 | 146,062 |
| 窯業学科窯室 | 鉄骨造平家建 | 80, - |
| 応用化学科実験工場 | 鉄骨, 鉄筋コンクリート造 | 137,214 |
| 電気化学科実験工場 | 鉄骨, 鉄筋コンクリート造 | 137,214 |
| 機械工学科実験工場 | 鉄骨, 鉄筋コンクリート造 | 200,920 |
| 同 | 同 | 137,214 |
| 同 | 同 | 137,214 |

| | | |
|-------------------|--------------------|---------|
| 同 | 同 | 156,816 |
| 同 | 同 | 102,700 |
| 水力実験室本館 | 鉄筋コンクリート造平家一部二階 | 161,037 |
| 給水ポンプ室 | 木造平家建 | 3, - |
| 発電所 | 鉄筋コンクリート造平家 | 13,613 |
| ポンプ室 | 鉄筋コンクリート造平家 | 5,445 |
| 内燃機関車置場 | 木造平家建 | 30, - |
| 電気工学科実験工場 | 鉄骨, 鉄筋コンクリート造平家 | 80,465 |
| 同 | 同 | 137,214 |
| 同 | 木造平家建 | 137,214 |
| 同 | 同 | 39, - |
| 電気工学科工場 | 鉄骨造平家 | 73,100 |
| 電気工学科超短波研究室 | 木造平家建 | 12, - |
| 建築学科実験工場 | 鉄筋コンクリート二階建 | 134,763 |
| 同 | 木造平家建 | 10, - |
| 建築学科研究室兼実験工場 | 木造平家建 | 120, - |
| 耐弾建築研究室 | 木造平家建 | 19,662 |
| 化学工学科実験工場 | 木造平家建 | 60, - |
| 化学工学科及物理化学教室実験工場 | 鉄骨, 鉄筋コンクリート平家中二階建 | 143,748 |
| 金属工学科実験工場 | 木造平家建 | 80, - |
| 航空機工学科発動機実験室 | 鉄骨造鉄板張一部木造平家 | 51,625 |
| 燃料工学科実験工場 | 木造平家建 | 60, - |
| 臨時工業技術員養成所教室(薬業科) | 木造二階建 | 150, - |
| 同(機械科) | 木造二階建 | 120, - |
| 同(化学分析科) | 木造二階建 | 90, - |
| 同(化学分析科) | 木造二階建 | 90, - |
| 分析化学教室 | 鉄筋コンクリート二階建一部地階 | 411,282 |
| 同 | 木造二階建 | 120, - |

| | | |
|----------------|-------------------|---------|
| 分析化学教室附属変電所兼物置 | 鉄筋コンクリート造平家建 | 5,989 |
| 低温実験室 | 木造平家建 | 17,500 |
| 建築材料研究所 | 鉄筋コンクリート三階一部一階及四階 | 705,218 |
| 建築材料研究所研究室 | 木造平家建 | 120, - |
| 同 | 鉄骨造平家 | 8, - |
| 資源化学研究所研究室 | 木造平家建 | 150, - |
| 同 | 木造平家建 | 50, - |
| 精密機械研究所 | 鉄筋コンクリート三階一部二階 | 811,746 |
| 精密機械研究所研究室 | 木造平家建 | 120, - |
| 同 | 鉄筋コンクリート平家 | 117,612 |
| 同実験室 | 鉄骨造鉄板張 | 118,312 |
| 同 | 木造平家建 | 120, - |
| 同附属家 | 鉄骨造平家 | 73,431 |
| 同 | 木造平家建 | 3, - |
| 電気科学研究所音響実験室 | 木造平家建 | 12, - |
| 寄宿舍北寮 | 木造平家建 | 315, - |
| 同南寮 | 木造平家建 | 235, - |
| 同食堂 | 木造平家建 | 120, - |
| 同病室 | 木造平家建 | 18,750 |
| 同学生集会所 | 木造平家建 | 50, - |
| 寄宿舍附属物置並便所 | 木造平家建 | 8,416 |
| 寄宿舍渡廊下 | 木造平家建 | 33,100 |
| 同 | 木造平家建 | 4,500 |
| 同汽暖室 | 木造平家建 | 3, - |
| 同附属物置 | 木造平家建 | 5, - |
| 同 | 木造平家建 | 1, - |
| 学生寄宿舍 | 木造平家建 | 40, - |
| 高津寄宿舍 | 木造二階建 | 181,500 |
| 監理舎 | 木造平家建 | 15, - |

| | | |
|-------------------|-------|--------|
| 東 一 号 宿 舍 | 木造平家建 | 10,250 |
| 同 二 号 宿 舍 | 木造平家建 | 11,250 |
| 同 三 号 宿 舍 | 木造平家建 | 7,500 |
| 西 一 号 宿 舍 | 木造平家建 | 27, - |
| 同 二 号 宿 舍 | 木造平家建 | 12, - |
| 同 三 号 宿 舍 | 木造平家建 | 12,500 |
| 同 四 号 宿 舍 | 木造平家建 | 15, - |
| 同 五 号 宿 舍 | 木造平家建 | 18, - |
| 同 六 号 宿 舍 | 木造平家建 | 10, - |
| 南 一 号 宿 舍 | 木造平家建 | 12, - |
| 同 二 号 宿 舍 | 木造平家建 | 21,500 |
| 同 三 号 宿 舍 | 木造平家建 | 10, - |
| 北 一 号 宿 舍 | 木造平家建 | 27,500 |
| 同 二 号 宿 舍 | 木造平家建 | 10, - |
| 同 三 号 宿 舍 | 木造平家建 | 25, - |
| 同 四 号 宿 舍 | 木造平家建 | 27, - |
| 同 五 号 宿 舍 | 木造平家建 | 9, - |
| 同 六 号 宿 舍 | 木造平家建 | 15, - |
| 同 七 号 宿 舍 | 木造平家建 | 11,250 |
| 同 八 号 宿 舍 | 木造平家建 | 13,750 |
| 同 九 号 宿 舍 | 木造平家建 | 8,750 |
| 同 十 号 宿 舍 | 木造平家建 | 8,750 |
| 同 十 二 号 宿 舍 | 木造平家建 | 12, - |
| 別 一 号 宿 舍 | 木造平家建 | 36, - |
| 同 二 号 宿 舍 | 木造平家建 | 14, - |
| 北 職 員 第 一 寮 | 木造平家建 | 60, - |
| 西 職 員 第 二 寮 | 木造平家建 | 61,750 |
| 山岳敷地・鹿沢宿舍兼 監理舎 | 木造平家建 | 92, - |
| 臨海敷地・宿舍 一 号 | 木造平家建 | 25, - |
| 同 二 号 | 木造平家建 | 25, - |

| | | |
|---------|-------|------------|
| 同 三 号 | 木造平家建 | 15, - |
| 同 四 号 | 木造平家建 | 15, - |
| 同 五 号 | 木造平家建 | 15, - |
| 監 理 舎 | 木造平家建 | 25, - |
| 食 堂 | 木造平家建 | 50, - |
| 同 附 属 家 | 木造平家建 | 1,500 |
| そ の 他 | 木造平家建 | 70,250 |
| 合 計 | | 17,782,687 |

(3) 設 備

実験室, 実験工場の設備大要

本学の諸設備は直接に実験, 実習, 研究用の設備と直接の研究用設備でなく, 研究に協力しその研究効果を充分發揮させる 目的の設備とがある。現在保有の備品を大別すれば(昭和25, 7, 31現在)機械9,886点, 器具66,493点, 一般教育図書45,020冊, 専門図書85,256冊, 雑誌報告, 紀要1,197冊, 標本2,512点あるが今, 主なるものとして列記すれば次表のように各コース毎に, それぞれ特長をもつ設備がある。

事 務 局

| 設備箇所 | 設備の大要 | 用 途 | 実験学生延 人員(年間) | 備 考 |
|------|-----------------------|---|-----------------|--|
| 印刷室 | 平版 菊四頁オフセット 印刷機 | 講義, 演習, 実験等 に必要な各種図面, プリント, 及びデー タ, グラフ用紙等 印刷能力1時間約200 枚 | | 印刷室は1棟90坪 の独立した建物に 工場設備がある。 印刷が直接の研究 実験設備でなく, 学内に必要な印刷 物を迅速に供給す るのが目的であ る。 |
| | 活版 菊八頁印刷機 | 研究発表論文及びパ ンフレットその他印 刷能力1時間約800 枚 | | |
| | 活版 菊四頁印刷機 | 用紙・罫紙・カード 等, 事務用印刷物及 び案内等印刷能力1 時間約1,000枚 | | |